V401SA 基本操作編

マナーもいっしょに携帯しましょう。

V401SA 基本操作編

vodafone

This Manual includes an English Abridgement

V401SA
基本操作編

はじめに

このたびは、「V401SA」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- V401SAをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- V401SAのボーダフォンライブ！に関する説明は付属のVodafone live!編をご参照ください。
- 本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
- 本書を万一紛失または損傷したときは、お問い合わせ先（☞16-14ページ）までご連絡ください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

V401SAは1.5GHzの周波数帯を利用し、ボーダフォンのネットワークに対応した仕様になっております。

V401SAは、日本国外ではご使用になれません。
This product is exclusively for use in Japan.

ご注意

- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたらお問い合わせ先（☞16-14ページ）までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

目　次

お買い上げ品の確認

■ **電池パック**
スプレーホワイト（SABM01）
グラブカーキ（SABM02）
トリックオレンジ（SABM03）

■ **急速充電器**
（SACM01）

■ **卓上ホルダー**
（SAEM01）

■ **FMアンテナ付ステレオイヤホン**
（SALM01）

■ **USBケーブル**
（SAGM01）

※ オプション品としても取り扱いしております。

- 付属品につきましては、お問い合わせ先（☞16-14ページ）までご連絡ください。
- 付属のFMアンテナ付ステレオイヤホン（SALM01）には、マイク機能は搭載されておりません。マイク機能をご利用になられる場合は、別途ご用意ください。

本書の見かた

画面表示について

本書中の画面（ディスプレイ）表記については、配色設定（☞7-7ページ）の「標準」を設定した場合を想定しています。印刷物としての見易さを考慮し、便宜上、実際と変えている画面もあります。あらかじめご了承ください。

フレキシブルボタンについて

V401SAは「フレキシブルボタン」を備えています。それぞれのボタンは、ディスプレイ下部に表示されている項目に対応しています。ディスプレイに表示されるフレキシブルボタンの内容は状況によって変化します。本書では、右図のように表示されているフレキシブルボタンの操作を次のように表記しています。

例） -/・を実行する → （**ー/・**）を押す

登録を実行する → （**登録**）を押す

メニューを実行する → （**メニュー**）を押す

4接点ボタンについて

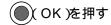
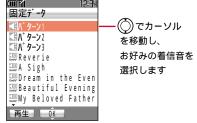
本書では4接点ボタンの押す箇所を下記のように表現しています。

例） 上または下を押す →

項目の選択方法について

本書では、文字を入力する位置に表示される「▮」をカーソルと呼んでいます。メニューの項目を選択するときに表示される「□」や「」もカーソルで、現在選択されている項目を表しています。

本書の操作手順では、◎で選択したい文字や項目にカーソルを移動させることを、「選択する」と表現しています。

例） **着信音を選択し、●(OK)を押す**

項目を選択して実行するには、◎で項目を選択したあとに●を押しますが、項目の頭に0〜9、#、✱が表示されているときは、対応するボタン(0〜9、#、✱)を押しても選択・実行できます。

本書では、項目の選択操作について以下のように簡潔に表現している箇所があります。

例） **「着信設定」を呼び出す**

呼び出し方：待受画面→●→「設定」→「音設定」→「着信設定」

上記の記述は、以下の操作手順を表しています。

① 待受画面で●を押す
② ◎で「設定」を選択し、●を押す
③ ◎で「音設定」を選択し、●を押す
④ ◎で「着信設定」を選択し、●を押す

4接点ボタン(◎、●)で順番に項目を選択してください。

安全上のご注意

■製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。お読みになったあとは、必要なときにご覧になれるよう大切に保管してください。

■ここに示した説明事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。

絵表示について	この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
絵表示の例	
	行ってはいけない「禁止」内容です。
	必ず実行していただく「強制」内容です。
	電源プラグを必ずコンセントから抜いていただく「強制」内容です。

万一、故障が起きたら

煙が出たり、異常な音やにおいがしたときなどはV401SAの電源を切ってください。充電中に発生したときは電源プラグをコンセントから抜いて、最寄りのボーダフォンショップなどにご連絡ください。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害について、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠危　険

■ V401SAの取り扱いについて

●**雷が鳴ったら使用をおやめください。**

禁　止

ゴルフ場などでご使用中に雷鳴が聞こえたときは、直ちにご使用をおやめください。落雷により、感電や死亡の危険があります。

●**引火性ガスの発生する場所で使用しないでください。**

禁　止

引火・爆発の恐れがある場所では、V401SAを使用しないでください。プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスの発生するような場所では、V401SAの電源を切り、充電もしないでください。

■ 電池パックの取り扱いについて

●**専用の充電器を使用してください。**
V401SA以外に使用しないでください。

強　制

感電や火災、電池パックの破裂・発熱・発火・液漏れ、充電器の破損・発熱・発火・故障の原因となりますので、次のことは必ずお守りください。

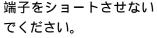
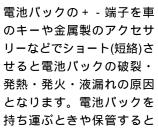
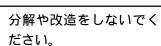
・充電には必ず、専用の充電器を使用してください。
・電池パックをV401SA以外に使用しないでください。

●**火の中に投入しないでください。**

禁　止

電池パックを火に近づけたり、火の中に入れないでください。電池パックの破裂・発熱・発火・液漏れの原因となります。

●**端子をショートさせないでください。**

禁　止

電池パックの＋－端子を車のキーや金属製のアクセサリーなどでショート(短絡)させると電池パックの破裂・発熱・発火・液漏れの原因となります。電池パックを持ち運ぶときや保管するときは必ず専用の電池パックケースに入れてください。

●**分解や改造をしないでください。**

分解禁止

感電や火災、電池パックの破裂・発熱・発火・液漏れ、充電器の破損・発熱・発火・故障などの原因となります。電池パックを分解したり、改造したりしないでください。

⚠危　険

●**強い衝撃を与えないでください。**

禁　止

電池パックを落としたり、ぶつけたり、ハンマーで叩いたりして、強い衝撃が加わると電池パックの破裂・発熱・発火・液漏れの原因となります。

●**引火性ガスの発生する場所で充電しないでください。**

禁　止

プロパンガス、ガソリンなど、引火性ガスの発生するような場所では、絶対に電池パックを充電しないでください。

●**濡れた手で充電端子や電源プラグに触れないでください。**

禁　止

感電や故障の原因となりますので、濡れた手で電池パックの端子、充電器の充電端子、電源プラグに触れないでください。

⚠ 警　告

■ 医用電気機器の近くでの電話機本体の取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（不要電波問題対策協議会「平成９年４月」）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成１３年３月「社団法人電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

●植込み型心臓ペースメーカ及び植込み型除細動器や医用電気機器の近くで携帯電話をご使用される場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与える恐れがありますので、次のことを守ってください。

1 植込み型心臓ペースメーカ及び植込み型除細動器を装着されている場合は、携帯電話をペースメーカなどの装着部位から22cm以上離して携行及び使用してください。
2 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカ及び植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、携帯電話の電源を切ってください。自動電源ONやアラームが設定されている場合は設定を解除して電源を切ってください。
3 電波により植込み型心臓ペースメーカ及び植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。
4 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
・手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には携帯電話を持ち込まないでください。
・病棟内では、携帯電話の電源を切ってください。自動電源ONやアラームが設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
・ロビーなどであっても付近で医用電気機器が使用されている場合は電源を切ってください。自動電源ONやアラームが設定されている場合は設定を解除して電源を切ってください。
・その他、医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合がありますのでその医療機関の指示に従ってください。
5 植込み型心臓ペースメーカ及び植込み型除細動器以外にも医療機関の外で医用電気機器が使用される場合があります（自宅療養など）。これらの機器の使用者は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

⚠ 警　告

■ V401SAの取り扱いについて

●航空機の機内で使用しないでください。

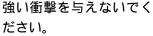
V401SAから発生する電磁波が電子機器に影響を及ぼし、運行の安全に支障をきたす恐れがありますので、航空機の機内では電源を切り、V401SAを使用しないでください。

●車を運転しながら使用しないでください。

車を運転される方は、交通事故防止のため運転しながらのご使用はおやめください。運転中に電話がかかってきた場合は、車を安全な場所に停めてから応答してください。

●分解や改造をしないでください。

感電、火災、故障などの原因となりますので、V401SAを分解したり、改造したりしないでください。改造することは電波法違反となります。

●強い衝撃を与えないでください。

V401SAを落としたり、ぶつけたりして本機に強い衝撃が加わると、電子部品の脱落、基板の破損が発生し、感電、火災、故障の原因となります。

●においがしたり、煙が出たら電源を切ってください。

異常な音、におい、煙が出たらV401SAの電源を切り、電池パックを取り外してください。

●小さなお子様の手の届かないところでご使用ください。

感電や火災などの事故防止のため、小さなお子様のいるご家庭では保管場所など取り扱いに充分注意してください。

■ 電池パックの取り扱いについて

●液漏れしたときはすぐに火気より遠ざけてください。

電池パックが液漏れしたり、異臭がするときはすぐに火気より遠ざけてください。漏れた液に引火して破裂、発火の恐れがあります。

●電池パック液が目に入ったときはすぐにきれいな水で洗ってください。

電池パックの破損などにより電池パック液が目に入ったり、皮膚に付着したときは、こすらずすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。失明や皮膚傷害を起こす恐れがあります。

⚠ 警　告

●電子レンジや乾燥機に入れないでください。

電池パックの破裂・発熱・発火・液漏れの原因となりますので、電子レンジや乾燥機に入れないでください。

●においがしたり、発熱したら使用しないでください。

感電や火災、電池パックの破裂・発熱・発火・液漏れ、充電器の破損・発熱・発火・故障などの原因となります。

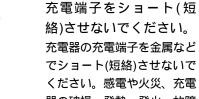
●電池パックを濡らさないでください。濡れた電池パックを使用しないでください。

感電や火災、電池パックの破裂・発熱・発火・液漏れ、充電器の破損・発熱・発火・故障の原因となります。

●電池パックが損傷したら、使用しないでください。

■ 充電器の取り扱いについて

●指定の専用電池パック以外を充電しないでください。

専用電池パック以外を充電すると、火災や電池パックの破裂・発熱・発火・液漏れ、充電器の破損・発熱・発火・故障の原因となります。

●分解や改造をしないでください。

感電や火災、充電器の破損・発熱・発火・故障などの原因となります。

●充電端子をショート(短絡)させないでください。

充電器の充電端子を金属などでショート(短絡)させないでください。感電や火災、充電器の破損・発熱・発火・故障の原因となります。

●引火性ガスの発生する場所で充電しないでください。

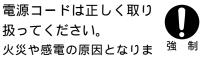
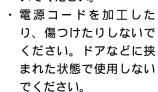
プロパンガス、ガソリンなど、引火性ガスの発生するような場所では絶対に電池パックを充電しないでください。

⚠ 警　告

●AC100Vの家庭用電源以外は使用しないでください。

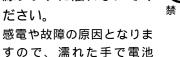
充電器はAC100Vの家庭用電源以外では使用しないでください。指定以外の電源をご使用になると火災や充電器の破損・発熱・発火・故障の原因となります。

●電源コードは正しく取り扱ってください。

火災や感電の原因となりますので、次のことは必ずお守りください。

- 電源コードを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしないでください。ドアなどに挟まれた状態で使用しないでください。
- 電源コードの上に重いものを載せたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。

●濡れた手で充電端子や電源プラグに触れないでください。

感電や故障の原因となりますので、濡れた手で電池パックの端子や充電器の充電端子、電源プラグに触れないでください。

●充電器を濡らさないでください。

感電や火災、電池パックの破裂・発熱・発火・液漏れ、充電器の破損・発熱・発火・故障などの原因となります。

●においがしたり、発熱したら使用しないでください。

充電器を使用中に異常な音、におい、煙が出たら、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて、充電器から電池パックを取り外してください。そのままご使用になると感電や火災、電池パックの破裂・発熱・発火・液漏れ、充電器の破損・発熱・発火・故障などの原因となります。

■ V401SAの取り扱いについて

●レシーバー(受話口)部の吸着物に注意してください。

強　制

レシーバー(受話口)部に磁石を使用しているため、画鋲やピンなどの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、レシーバー(受話口)部に異物がないかを必ず確かめてください。

●湿気や水濡れ、極端な高温・低温の場所に放置しないでください。

禁　止

火災や電池パックの破裂・爆発・発火・液漏れ、充電器の破裂・発熱・発火・故障などの原因となりますので、次のような場所に放置しないでください。

- 振動、ほこり、湿気の多い場所
- 水、雨水、海水、ジュースなどに濡れやすい場所
- 直射日光の強いところや炎天下の車の中、熱器具の近く

●開閉時にスライド部分に指や物を挟まないよう、ご注意ください。

強　制

内蔵カメラ収納部分などにすき間があいているので、開閉時に指や物が挟まると、ケガや破損の原因となります。

●磁気カードを近づけないでください。

禁　止

前面のスピーカー部やレシーバー(受話口)部に磁石を使用しているため、フロッピーディスクやキャッシュカードを近づけると内容が消去されることがあります。

●電子機器の近くで使用しないでください。

禁　止

医用電気機器、自動制御機器など高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで本機を使用すると、電子機器に影響を与えることがあります。また、一般の電話機やテレビ、ラジオ、自動車の車種によっては、まれにカーオーディオなど車両電子機器に影響を与えることがありますので遠ざけてご利用ください。

●次のような取り扱いをすると、故障や破損の原因となりますので、ご注意ください。

禁　止

- ズボンの後ろポケットに入れたまま、座席や椅子などに座らないでください。
- 荷物の詰まったカバンなどに入れるときは、重いものの下にならないようにご注意ください。

⚠ 注　意

●皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめ、医師の診断を受けてください。

強　制

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じる場合があります。

部　位	使用材料	表面処理
外装ケース(ディスプレイ前面)	マグネシウム合金	アクリル系焼付け塗料
外装ケース(その他)	PC／ABS樹脂	アクリル系UV硬化塗料
レシーバー部飾りパネル	PC／ABS樹脂	アクリル系UV硬化塗料
ディスプレイ部	アクリル樹脂	アクリル系UV硬化塗料
カメラ部	アクリル樹脂	アクリル系UV硬化塗料
カメラ部飾りパネル	アルミニウム	アルマイト染色
電池パック外装	ポリカーボネート樹脂	アクリル系UV硬化塗料
操作ボタン(メッキボタン以外)	ポリカーボネート樹脂	アクリル系UV硬化塗料
操作ボタン(メッキボタン)	ABS樹脂	クロムメッキ
操作ボタン(ファンクションボタン)	PC／ABS樹脂	アクリル系UV硬化塗料
アンテナ	ABS樹脂	なし
アンテナ金属部	アルミニウム	クロムメッキ
アンテナ(トップ及び金属部以外)	ポリアミド樹脂／PBT樹脂	なし
ネジ目隠し(ディスプレイ側裏面上部)	ポリカーボネート樹脂	アクリル系UV硬化塗料
ネジ目隠し(ボタン側上部)	ポリカーボネート樹脂	なし
ネジ目隠し(ボタン側下部)	シリコンゴム	なし
カメラ自分撮り用ミラー部	ABS樹脂	クロムメッキ
イヤホン端子、外部接続端子カバー	エストラマー樹脂	なし

⚠ 注　意

■ 電池パックの取り扱いについて

●湿気や水濡れ、極端な高温・低温の場所に放置しないでください。

火災や電池パックの破裂・発熱・発火・液漏れ・ソフトケースの変形や損傷の原因となります。

●小さなお子様の手の届かないところで使用してください。

感電や火災などの事故防止のため、小さなお子様のいるご家庭では電池パックの保管場所など取り扱いに充分注意してください。

■ 充電器の取り扱いについて

●湿気や水濡れ、極端な高温・低温の場所に放置しないでください。

火災や電池パックの破裂・発熱・発火・液漏れ、充電器の破損・発熱・発火・故障などの原因となります。

●強い衝撃を与えないでください。

充電器を落としたり、ぶつけたり、ハンマーで叩いたりして、強い衝撃が加わると充電器の破損・発熱・発火・故障の原因となります。

●小さなお子様の手の届かないところで使用してください。

感電や火災などの事故防止のため、小さなお子様のいるご家庭では充電器の保管場所など取り扱いに充分注意してください。

お願いとご注意

■ ご利用にあたって

●V401SAは、電波を利用しているので、屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり通話が困難なことがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。

●V401SAを公共の場所でご利用いただくときは、まわりの方の迷惑にならないようにご注意ください。

●V401SAは電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

●一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、ご注意ください。

●事故や故障などによりV401SAに登録したデータ(メモリダイヤル・画像・メロディなど)が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切なメモリダイヤルなどのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。

■ 自動車内でのご使用にあたって

●運転をしながらV401SAをご使用になると危険ですので、おやめください。

●V401SAをご使用になるために、禁止された場所に駐停車しないでください。

●V401SAを車内で使用した場合、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を与えることがありますので、ご注意ください。

■ 航空機内でのご使用について

●航空機内では、絶対にご使用にならないでください。(電源も入れないでください。)

■ お取り扱いについて

●Ｖ４０１ＳＡを極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でご使用にならないでください。
●Ｖ４０１ＳＡを落下されるなど衝撃を与えたり、また、重い物を載せるなど強い圧力をかけた状態での使用・保管はしないでください。故障の原因となることがあります。
●お手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
●Ｖ４０１ＳＡは防水構造になっておりませんので、河川、湖沼など水濡れの危険性の高い場所での使用には充分ご注意ください。また、雨の中での使用は故障の原因となりますのでお避けください。
また、塩害（塩分によって装置内部が腐食するなど）の防止のため、海上などでのご利用時には、波しぶき、潮風などにさらさないでください。
●夏など汗をかいた状態で、Ｖ４０１ＳＡを使用または携帯すると、アンテナなどから汗が浸入し、内部が腐食する恐れがありますので、ご注意ください。
●Ｖ４０１ＳＡは精密部品で作られた無線通信装置です。絶対に分解、改造はしないでください。
●Ｖ４０１ＳＡの電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますのでご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 著作権などについて

●音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的に、または家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。Ｖ４０１ＳＡを使用して複製などをなさる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますようお願いいたします。また、Ｖ４０１ＳＡにはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

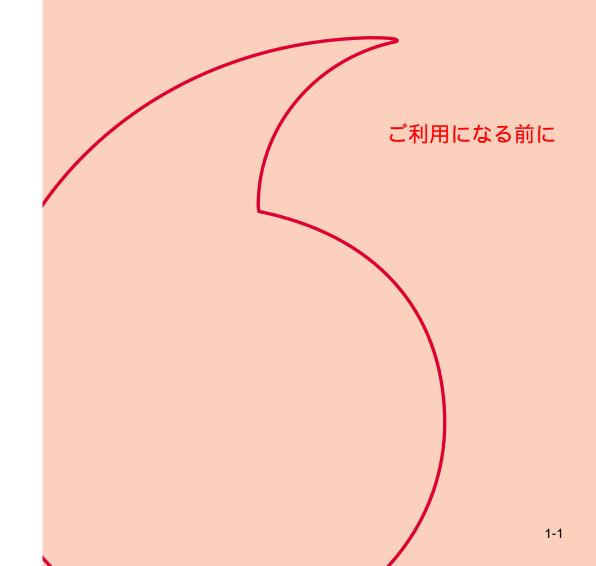
この機種【V401SA】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

この携帯電話機【V401SA】のSARは、0.98W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ　http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ　http://www.arib-emf.org/initiation/sar.html

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

ご利用になる前に

代表的な機能

簡易留守録
電話に出られないときに、相手からのメッセージを録音します。
2-9、13-2ページ

迷惑電話防止
迷惑電話の声をオウム返しして撃退します。
2-10ページ

音声メモ／マイボイスメモ
相手の声やご自分の声を録音できます。
2-13ページ

マナー設定
周囲に迷惑がかからないような着信設定ができます。
3-3ページ

オフラインモード
電源を切らずに、電波の送受信を停止できます。
3-5ページ

入力予測機能
学習機能＋予測機能で文字入力が簡単でスピーディに。
4-17ページ

メモリダイヤル
500件記憶できるので、かける相手が多いときはここに登録すると便利です。
5-1ページ

指定着信設定
特定の人やグループからの着信やメール受信を着信音などを変えてお知らせします。
5-9、5-15ページ

時短検索
メモリダイヤルをダイヤルボタンに割り当てられた文字から検索できます。
5-20ページ

スピードダイヤル
1桁または2桁のメモリ番号で電話がかけられます。
5-21ページ

カメラ
フラッシュ内蔵なので暗いところでもきれいに撮影できます。撮影した画像を壁紙にしたり、メールで送ったりできます。
6-1ページ

プリント
カメラで撮影した静止画像をPictBridge対応プリンタにつないでプリントできます。
6-22ページ

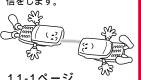
壁紙／マイキャラクタ
待受中や電源を入れるとき、切るときなどにイラストや画像でお知らせします。
7-2、7-6ページ

Language（言語選択）
ディスプレイの表示が英語になります。
7-13ページ

着信設定
電話がかかってきたときの着信音やバイブレータのパターンなどを設定できます。
8-3ページ

FMラジオ
FMラジオ放送を受信できます。
9-1ページ

データフォルダ
撮影した画像やダウンロードしたメロディなどを一括管理します。
10-1ページ

赤外線通信
赤外線を使ってデータの送受信をします。
11-1ページ

着信制限／非通知拒否
電話番号を通知してこない相手やリストに登録した相手からの着信、ワン切り着信を拒否します。
12-6、12-9ページ

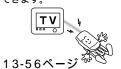
オープンクローズ
本体の開閉だけで、電話を受けたり切ったりできます。
13-15ページ

ココケータイ
着信音量がOFFになっていてV401SAが見つからないとき、電話をかけると通知音を鳴らしてお知らせします。
13-17ページ

カレンダー機能
休日や記念日、スケジュールなどを設定できます。指定した日や時刻になると、メロディや画像などでお知らせします。
13-28ページ

英単語辞書
英和、和英辞書などとして使えます。また、英単語クイズも楽しめます。
13-52ページ

キーライト
フラッシュ／スポットライトをキーライトとして使えます。
13-55ページ

リモコン
赤外線リモコン対応のTV、ビデオ、DVDプレーヤーを操作できます。
13-56ページ

絵葉書メール／マルチ写メール
イラスト付きの絵葉書メールや、アニメやメロディ付きの楽しいメールを送れます。
Vodafone live!編

お天気アイコン表示
ステーション機能と連動して、お天気情報を表示します。
Vodafone live!編

オプションサービス

転送電話サービス
かかってきた電話を指定の電話番号へ転送します。
14-3ページ

留守番電話サービス
電話に出られないとき、留守番電話センターが相手のメッセージをお預かりします。
14-5ページ

割込通話サービス
お話し中にかかってきた電話を受けられます。
14-9ページ

三者通話サービス
3人で同時にお話しできます。また、相手を切り替えてお話しすることもできます。
14-11ページ

各部の名称と機能

■ 本体

自分撮り用ミラー
ご自分を撮影するときに、こちらで撮影範囲を確認します。

フラッシュ／スポットライト
撮影するときに、ライトまたはフラッシュとして使用します。また、キーライトとしても使用できます。

アンテナ

MEMO／シャッターボタン（サイドキー）
簡易留守録を設定／解除したり、通話中に相手の声を録音したり、録音した内容を再生するときに使用します。また、カメラで撮影するときにシャッターとして使用します。

USB接続端子
付属のUSBケーブルでPictBridge 対応プリンタと接続します。PictBridge 対応プリンタ以外の機器との接続には対応していません。

接写切り替えスイッチ
接写撮影するときに🌷の方にスライドさせます。

内蔵カメラ
こちらのレンズから撮影します。

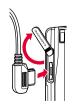
ストラップ取り付け穴

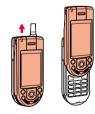
イヤホン端子
付属のFMアンテナ付ステレオイヤホンや別売のイヤホンマイクを接続します。別売のイヤホンマイクを使用する場合は、設定が必要です（☞13-61ページ）。

ストラップの取り付けかた

ストラップを取り付け穴に通します。

イヤホンの接続のしかた

イヤホンを接続するときは、イヤホン端子のキャップを180度回転させてください。キャップを回転させず無理に接続すると破損の原因になります。

本体の開閉のしかた

V401SAで、ダイヤルボタンを使った入力操作などを行うときは、ディスプレイが付いた本体前面部を上方向にスライドさせます。カチッと音がするまで十分に引き上げてください。戻すときは逆方向にゆっくりとスライドさせます。

本体前面部の裏側にシールなどを貼り付けないでください。シールが引っかかったりして、スムーズなスライド動作ができなくなる恐れがあります。

着信／充電ランプ
電話、メール、ウェブなどの通知を点滅してお知らせします。充電中は赤色に点灯します。

レシーバー（受話口）
相手の声が聞こえます。

ディスプレイ（表示部）

フレキシブルボタン
他のボタンと組み合わせていろいろな機能を設定するときに使用します。
◎は、ウェブを利用するときにも使用します。
✉は、メールを利用するときにも使用します。
●は、メインメニューを表示するときにも使用します。

開始ボタン
電話をかけるとき、受けるときに使用します。

スピーカー
着信音やメロディファイルの再生音などが鳴ります。

クリア／マナーボタン
入力した電話番号や文字を消去するときや、前の表示に戻るときに使用します。また、マナーモードを設定／解除するときにも使用します。

📷/文字ボタン
カメラ／ビデオ撮影を開始するときに使用します。また、文字入力モードを切り替えるときに使用します。

⁎ボタン
⁎／だく点・半だく点を入力するときや、大文字／小文字を切り替えるときに使用します。また、1つ前のファイルやデータを表示するときにも使用します。オフラインモードにするときにも使用します。

赤外線ポート
赤外線通信でデータを送受信するときに使用します。

4接点ボタン
項目を選んだり、カーソルを移動するときに使用します。
▲: 着信履歴／上ボタン
着信履歴、メール受信履歴を呼び出すときなどに使用します。
▼: リダイヤル／下ボタン
リダイヤル、メールリダイヤルを呼び出すときなどに使用します。
◀: メモリダイヤル／左ボタン
メモリダイヤルを呼び出すときなどに使用します。
▶: カレンダー／右ボタン
カレンダーを表示するときなどに使用します。

終了／電源ボタン
電話を切るとき、電源を入れたり切ったりするとき、応答保留をするときに使用します。また、機能の設定を中止するときにも使用します。

マイク（送話口）
ご自分の声をここから伝えます。

記号／絵文字ボタン
記号、絵文字、顔文字を入力するときに使用します。また、キーライト機能を使うときにも使用します。

ダイヤルボタン
電話番号の入力や、文字入力に使用します。0は画像を拡大・縮小表示するときにも使用します。

#ボタン
#や↵（改行）を入力するときに使用します。また、次のファイルやデータを表示するときにも使用します。

外部接続端子
急速充電器やシガーライター充電器（別売）などを接続します。通常は端子キャップを閉じてお使いください。

充電端子

■ディスプレイ

液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素がありますので、あらかじめご了承ください。

① 電池レベル表示
レベル3：十分残っています
レベル2：少なくなっています
レベル1：ほとんど残っていません
レベル0：充電してください
電池の残量の目安を表示します。電池レベルはご使用状態により変動する場合があります。低温下ではを早めに、高温下では遅めに表示します。

充電表示
充電中に表示します。

② 電波状態表示
：微弱　：弱　：中　：強
電波の状態を表示します。棒の数が多いほど電波状態が良好です。

圏外表示
サービスエリア外または電波の届かない場所にいるときに表示します。

オフラインモード表示
オフラインモード設定中や電波が送受信できない機能を利用しているときに表示します。

赤外線通信表示
赤外線通信中に表示します。

③ シークレット表示
シークレットモードを「ON」に設定したときに表示します。

④ メッセージお預かり表示
留守番電話センターに伝言メッセージがあるときに表示します。

⑤ 拡大／縮小表示
ディスプレイに表示中の画像を拡大／縮小できるときに表示します。を押すごとに拡大／縮小します。

⑥ ウェブ受信
ウェブの未読の情報があるときに表示します（☞Vodafone live!編）。

⑦ メール表示
未読のメール（ロングメール以外）があるときに表示します（☞Vodafone live!編）。

⑧ ロングメール表示
未読のロングメールがあるときに表示します（☞Vodafone live!編）。

⑨ ステーション表示
ステーションの未読の情報があるときに表示します（☞Vodafone live!編）。

⑩ FMラジオ表示
FMラジオ動作中に表示します。

⑪ 時計表示
現在時刻を表示します。

前／次表示
を押して、表示を切り替えられるときに表示します。前／次のファイルやデータを表示できます。

⑫ サイレント表示
音声着信の音量が「OFF」のときに表示します。

バイブレータ表示
音声着信のバイブレータが設定されているときに表示します。

⑬ （赤）S（サイレント）バイブモード表示
マナーモードのS（サイレント）バイブ設定中に表示します。

（青）スーパーサイレントモード表示
マナーモードのスーパーサイレント設定中に表示します。

（緑）オリジナルマナーモード表示
オリジナルマナーモード設定中に表示します。

⑭ スケジュール／タスク表示
スケジュール、タスクで設定したアラームが未通知のときに表示します。

⑮ お知らせ表示
デスクトップモード（☞7-4ページ）中に、不在着信や未読メール、ウェブやステーションの未読情報、スケジュールやタスクのアラーム通知があったときに表示します。

⑯ お天気表示
ステーション機能と連動してお天気情報を表示します。
：晴れ（昼）　：晴れ（夜）
：曇り　：雨
：雪　：雷
：時々　：のち

⑰ メモリ残表示
メモリの空きが少なくなったときに表示します。
：メモリの空きが6Kバイト以下のとき
：メモリの空きが256バイト未満のとき

⑱ （黒）簡易留守録設定表示
簡易留守録の設定中に表示します。

（黒）未再生簡易留守録表示
未再生の簡易留守録があるときに表示します。

（赤）簡易留守録録音不可表示
簡易留守録の録音時間が残っていないか、件数がいっぱいでこれ以上録音できないときに表示します。

簡易留守録設定無／未再生録音有表示
簡易留守録は設定されていないが、未再生の録音があるときに表示します。

（赤）簡易留守録録音不可／未再生録音有表示
これ以上録音できない状態で、かつ未再生の録音があるときに表示します。

⑲ 目覚まし表示
目覚ましを設定したときに表示します。

⑳ 前項目／次項目表示
ディスプレイに表示しきれない項目が上下にあるときに表示します。

㉑ スクロール表示
カーソルや画面表示をスクロールできる方向を表示します。

節電設定について
V401SAでは電池の消費量を少なくするため、一定時間ボタン操作を行わなかったときは、自動的に節電状態になってディスプレイが消灯し、ボタン操作などにより表示が復帰します。
お買い上げ時は節電状態になるまでの時間が「30秒」に設定されています。節電設定（☞13-50ページ）で省電力移行時間を変更できますが、長めに設定した場合、連続待受時間および連続通話時間は短くなります。

ボタン操作を行うと、パネル照明（☞7-12ページ）で設定された時間、照明が点灯します。

電池パックと充電器のお取り扱い

電池が切れると、アラームとともに右のような画面が表示されます。アラーム音は約30秒間鳴り続けますが、◉(停止)を押すと止まります。電池が切れたときは、次の内容をご確認の上、充電済みの電池パックと交換するか、V401SAの電源を切ってから充電してください。

12:34
充電(電池交換)してください
停止

電池パックの利用可能時間について
ディスプレイやボタンの照明が点灯した状態（メールの作成やメモリダイヤル登録時、カメラの使用中など）が続くと、電池の消耗がはげしくなります。このような場合、パネル照明（☞7-12ページ）や節電設定（☞13-50ページ）の設定によって、電池の消耗を軽減することができます。

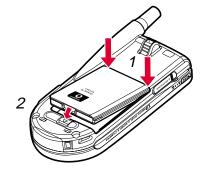
■ 電池パックと充電器をご利用になる前に

- 初めてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときは、必ず充電してからお使いください。その際、充電時間が長くなることがあります。
- 電池パックの端子が汚れていると充電器との接触が悪くなり、充電できないことがあります。定期的に乾いた布で端子を拭いてください。
- 充電中、電池パックが温かくなることがありますが、故障ではありませんので、そのままご使用ください。
- 電池パックは消耗品です。完全に充電したあとにご使用できる時間が著しく短くなった場合は、新しい電池パックをお買い求めください。
- 環境保護のため、不要になった電池パックを一般のゴミと一緒に捨てないでください。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り絶縁してから個別回収に出すか、最寄りのボーダフォンショップへお持ちください。
- V401SAにはリチウムイオン電池を使用しております。高温下・低温下では十分な性能を発揮できませんので、5～35℃の場所で充電、ご使用ください。
- 充電器をご使用中、テレビ、ラジオなどに雑音が入るときは、充電器をテレビやラジオのアンテナから遠ざけてください。
- 充電中に充電表示が点灯しないときは接触不良、電池パックの故障が考えられます。乾いた布で端子を拭いてからもう一度充電してください。それでも充電表示が点灯しないときは最寄りのボーダフォンショップへご相談ください。
- 長時間使わなかったり、電池交換警告音が鳴ったあとで充電せずに放置した電池パックを充電した場合、ディスプレイ表示部の「充電」が点灯しないことがあります。電池パックの寿命や故障でない場合は、数分後に充電を開始します。
- 電池パックが損傷したら、使用しないでください。

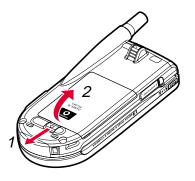
■ 電池パックを取り付ける／取り外す

電池パックの取り付けかた

1 **電池パックのツメを本機上部にある凹部のガイドに差し込む**

2 **カチッと音がして完全にロックされるまで押し込む**

電池パックの取り外しかた

1 **電池パックのロック部を押す**

2 **電池パックを引き上げる**

電池パックは必ず専用のものをご使用ください。

■急速充電器を利用して充電する

お買い上げのとき、電池パックは十分に充電されていません。初めてご使用になるときは、電池パックを充電してください。

1 **急速充電器のコネクターをV401SAの外部接続端子に接続する**

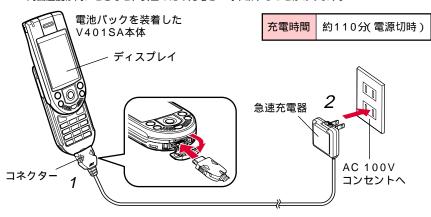
2 **急速充電器をACコンセントに差し込む**

▶充電ランプが赤く点灯したことを確認してください。

- 充電中、充電完了時などにおけるV401SAの充電ランプとディスプレイ表示は、下表のとおりです。

	充電中	充電完了※1	充電待機中※2	充電異常
充電ランプ	赤色点灯	消灯	消灯	赤色点滅
ディスプレイ表示	充電 点灯	充電 消灯→▥ 点灯	待機 点灯	☒ 点灯

※1 電源を切ったときは、すべて消灯します。
※2 周囲温度が高いときなど、安全のため充電を一時中断することがあります。

充電時間	約110分(電源切時)

- 故障の原因となりますので、V401SAに電池パックを取り付けずに充電しないでください。
- コネクターを外す場合は、コネクターの両側にあるリリースボタンを押しながら引き抜いてください。

- 電源を入れたまま、待受状態で充電することもできます。ただし、充電時間が長くなることがあります。
- 接触不良防止のため、V401SAの充電端子は、乾いた綿棒などで定期的に清掃してください。

■卓上ホルダーを利用して充電する

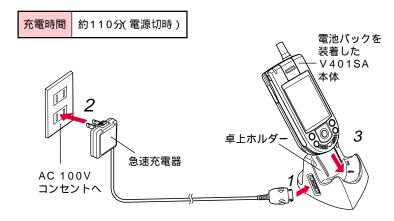
1 **急速充電器のコネクターを卓上ホルダーに接続する**

2 **急速充電器をACコンセントに差し込む**

3 **V401SAを卓上ホルダーに確実に取り付ける**

▶充電ランプが赤く点灯したことを確認してください。

- 充電中、充電完了時などにおけるV401SAの充電ランプとディスプレイ表示は、前ページの表のとおりです。

充電時間	約110分(電源切時)

- 故障の原因となりますので、V401SAに電池パックを取り付けずに充電しないでください。
- V401SAを卓上ホルダーに取り付ける際は、本体の向きを確認して、前後左右にむやみにこじらないでください。本体に傷が付いたり、充電端子の接触不良の原因となります。

- 電源を入れたまま、待受状態で充電することもできます。ただし、充電時間が長くなることがあります。
- 接触不良防止のため、V401SAの充電端子は、乾いた綿棒などで定期的に清掃してください。

1 ご利用になる前に

■ シガーライター充電器を利用して充電する

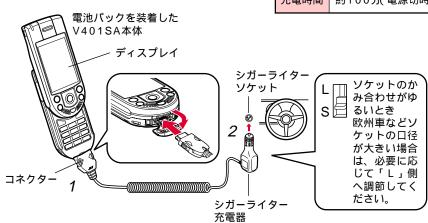
オプション品のシガーライター充電器を利用します。

1　シガーライター充電器のコネクターをV401SAの外部接続端子に接続する

2　シガーライター充電器をシガーライターソケットに差し込む

▶ 充電ランプが赤く点灯したことを確認してください。

- 充電中、充電完了時などにおけるV401SAの充電ランプとディスプレイ表示は、前ページの表のとおりです。

充電時間	約100分（電源切時）

- 故障の原因となりますので、V401SAに電池パックを取り付けずに充電しないでください。
- 車のバッテリーがあがる原因となりますので、エンジンをかけない状態でのご使用はお避けください。
- コネクターを外す場合は、コネクターの両側にあるリリースボタンを押しながら引き抜いてください。

電源を入れたまま、待受状態で充電することもできます。ただし、充電時間が長くなることがあります。

電源を入れる／切る

（電源キー）を長く（約1秒以上）押す

▶ 効果音が鳴って、電源が入／切します。

- 音声着信のバイブレータ（☞8-4ページ）を設定しているときや、マナーモード（☞3-3ページ）のS（サイレント）バイブまたはオリジナルマナー（音声着信のバイブレータ設定が「OFF」以外）を設定しているときは、電源を入れるとバイブレータが振動します。
- 電源を入れたときに着信制限（☞12-6ページ）や非通知拒否（☞12-9ページ）が設定されていると、設定中の機能が表示されます。◎（**OK**）を押すか、しばらくすると、待受画面が表示されます。

■ 電源入／切時に表示するイラストなどを変更するには

マイキャラクタ（☞7-6ページ）の設定を変更してください。

■ 電源入／切時の効果音を変更するには

効果音設定（☞8-8ページ）の設定を変更してください。

日付・時刻の設定

V401SAをお使いになる前に、日付・時刻を設定してください。

1 「時計設定」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→●→「設定」→「時計設定」→「時計設定」

- すでに日付・時刻を設定している場合は、その日付・時刻が表示されます。

2 ●（変更）を押す

▶ 日付と時刻の入力画面が表示されます。

3 年・月・日・時刻を入力する

カーソルがあるところに1～0で数字を入力します。

- 年は西暦（下2桁）で、時刻は24時間表示で入力します。
- ◎でも入力できます。

4 ●（OK）を押す

▶ 日付・時刻が設定されます。

設定した時刻は、電池パックを交換するときも記憶されていますが、長時間電池パックを外していると消去される場合があります。その場合、画面に時刻が表示されなくなりますので、再度、時計設定を行ってください。

- 入力を間違えたときは◎で修正する数字の上にカーソルを移動してから入力し直してください。
  clearを短く押すと、カーソル上の文字が消去されます。また、clearを長く（約1秒以上）押すと表示されている日付・時刻が消去されます。
- お買い上げ時、オールリセット（☞12-15ページ）を実行したときは、「20－－／－－／－－」「－－：－－」と表示されます。
- 時計設定で可能な西暦の範囲は2004～2050年です。
- 年・月・日および時・分に誤った値（たとえば13月）を入力しようとしても警告音が鳴り、入力できません。
- 曜日は自動的に設定されます。

機能の呼び出しかた

■ メインメニューの表示について

待受画面で◎を押すと、メインメニューが表示されます。メインメニューを使うと、画面を見ながら◇と◎(OK)のボタンだけで、ほとんどの機能が呼び出せます。
clearを押して1つ前の画面に戻ることもできます。

待受画面

◇と
◎(OK)

設定
①音設定
②画面設定
③時計設定
④ﾏﾅｰ設定
⑤規制/ﾘｾｯﾄ
⑥その他
⑦通話時間/料金
⑧付加ｻｰﾋﾞｽ

メインメニュー

スケジュール＆アラーム	
Vodafone live!	☞Vodafone live!編
アドレス帳	
設定	
カメラ	
機能＆ツール	
ジャンプメニュー	☞13-59
フォルダBOX	☞10-1
FMラジオ	☞9-1

設定メニュー

音設定	
画面設定	
時計設定	
マナー設定	☞3-3
規制／リセット	
その他	
通話時間／料金	
付加サービス	
プロフィール	☞2-22、5-22
機能ガイド	☞13-58

着信設定	☞8-2、8-3
効果音設定	☞8-8
ボタン確認音	☞8-7
受話音量	☞2-12
メロディ音量	☞8-9
呼び出しバイブ	☞13-9
イルミネーション設定	☞13-9

待受設定	☞7-2
マイキャラクタ	☞7-6
照明設定	☞7-12、13-50
文字サイズ設定	☞7-5
Language	☞7-13
配色設定	☞7-7
電池／アンテナ設定	☞7-13

時計設定	☞1-14
からくり時計	☞13-20

ダイヤル操作禁止	☞12-3
簡易ロック	☞12-4
ダイヤル発信禁止	☞12-5
メモリ使用禁止	☞12-4
シークレット	☞12-10
指定着信拒否	☞12-6
リセット	☞12-13
暗証番号変更	☞12-2

通話品質アラーム	☞13-8
自動電源	☞13-18
オフラインモード	☞3-5
オープンクローズ	☞13-15
国際発信	☞13-16
セット発信	☞13-14
ココケータイ設定	☞13-17
メモリ確認	☞13-49
イヤホン設定	☞13-61

通話時間料金	☞2-17
累積時間料金	☞2-20
通話料金表示	☞2-18
通話時間表示	☞2-19

呼出時間設定	☞14-8
転送電話サービス	☞14-3
留守番電話サービス	☞14-5
秘書停止	☞14-4、14-6
秘書確認	☞14-4、14-8
割込通話設定	☞14-9
割込通話確認	☞14-9
留守番再生	☞14-7
三者／転送※	☞14-11

機能&ツールメニュー

リモコン	☞13-56
赤外線通信	☞11-1
PictBridgeモード	☞6-22
簡易留守録	☞13-2
簡易電卓	☞13-51
文字入力設定	☞4-11、4-14～4-24
英単語辞書	☞13-52
マルチ写メール作成	☞Vodafone live!編
絵葉書	☞Vodafone live!編
画像結合	☞10-28
アニメ作成	☞10-25

カメラメニュー

写メールモード	☞6-4
デジタルカメラモード	☞6-4
ビデオモード	☞6-9

スケジュール＆アラームメニュー

目覚まし	☞13-22
カレンダー	☞13-28
スケジュール	☞13-32
タスク	☞13-39
特別日	☞13-45

アドレス帳メニュー

メモリダイヤル	☞5-1
プロフィール	☞2-22、5-22
リダイヤル	☞2-15
着信履歴	☞2-15
メールリダイヤル	☞Vodafone live!編
メール受信履歴	☞Vodafone live!編
ノートパッドメモリ	☞2-14

▭ は待受中だけでなく音声通話中にも操作できます。
※切り替え通話／三者通話をご利用中のときのみ選択できます。

■ サブメニューを利用する

ディスプレイの右下に「メニュー」が表示されているときに◎を押すと、サブメニューが表示され、メインの機能を補助する機能が呼び出せます。

〈例〉文字入力中にサブメニューから「ライブラリ」を呼び出す場合

文字入力画面　サブメニュー　ライブラリ

■ ジャンプメニューを利用する

ジャンプメニューとは、よく使う機能などをあらかじめ登録しておいたメニューのことです。
待受画面で◎を押し、メインメニューで「ジャンプメニュー」を選択し◎(**OK**)と押すとジャンプメニューが表示されます。

〈例〉「着信設定」をジャンプメニューに登録している場合(お買い上げ時の状態)

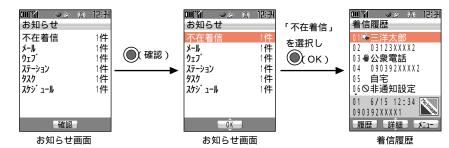
待受画面　メインメニュー　ジャンプメニュー

ジャンプメニューへの登録のしかたは13-59ページを参照してください。

■ お知らせ画面を利用する

不在着信や未読メール、ウェブやステーションの未読情報があるときは、お知らせ画面が表示され、着信履歴やメールボックスなど各種機能の画面を簡単に呼び出せます。通知の内容を確認するときは、お知らせ画面で◎(**確認**)を押します。
お知らせ画面はclearや☎を押すと消えますが、通知の内容を確認するまでは、待受画面でclearを押すと表示できます。スケジュールやタスクのアラーム通知もお知らせ画面で確認できます。

〈例〉お知らせ画面から「着信履歴」を呼び出す場合

お知らせ画面　お知らせ画面　着信履歴

暗証番号

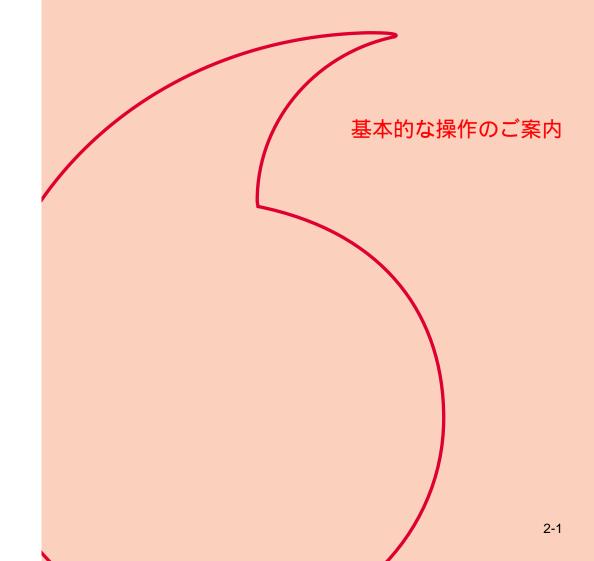
V401SAのご利用にあたっては、「操作用暗証番号」と「交換機用暗証番号」の暗証番号が必要になります。暗証番号はとても大切です。
暗証番号を必要とする操作ができなくなりますので、絶対に忘れないようにご注意ください。また、トラブルなどの原因となりますので、他人に知られないようにご注意ください。他人に知られ、悪用された場合、その損害について当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 操作用暗証番号

お客様の個人情報を保護したり、他人による携帯電話機の無断使用を避けるための暗証番号で、V401SAの機能を利用する際に使用します。「9999」もしくはご契約時にお決めいただいた4桁の番号に設定されていますが、V401SAの操作で変更することができます(☞12-2ページ)。

■ 交換機用暗証番号

一般電話からオプションサービス(☞14-2ページ)の設定を遠隔操作する際に使用します。ご契約時にお決めいただいた4桁の番号に設定されており、V401SAの操作では変更できません。交換機用暗証番号を変更したい場合は、お問い合わせ先(☞16-14ページ)までご連絡ください。

いずれの暗証番号もお忘れになった場合は、所定の手続きが必要となります。詳しくは、お問い合わせ先(☞16-14ページ)までご連絡ください。

基本的な操作のご案内

電話をかける

1 **アンテナを伸ばす**

「カチッ」と音がして止まるまで引き出してください。

2 **本体を開いて電源が入っていることを確認し、電話番号を入力する**

●一般電話
　必ず市外局番から入力します。
●携帯電話・自動車電話・PHS
　0から始まる全桁の番号を入力します。

- 電話番号は24桁まで入力できます。

3 **電話番号を確認し、を押す**

▶相手につながると通話できます。

- 相手が電話に出たことをバイブレータの振動で知ることができます(☞13-9ページ)。
- を押してから相手の電話番号を入力しても電話をかけられます。
- を押してからメモリダイヤル、リダイヤル、着信履歴などを検索すると、一定時間後表示している相手に電話がかかります。

4 **通話が終わったらを押す**

▶通話が切れ、待受画面に戻ります。

- アンテナを縮めるときは、アンテナの下の方を持って収納してください。上の方を持って無理に押し込むと破損の原因になります。

- 通話中、本体が温かくなることがありますが、故障ではありません。
- アンテナに触れると、無線感度は弱まる特性を持っています。ご使用の際は、できるだけアンテナに触れないようご注意ください。
- ダイヤル発信禁止(☞12-5ページ)が設定されていると、ダイヤルボタンでの発信はできません。また、オフラインモード(☞3-5ページ)が設定されているときは、発信が一切できません。設定を解除してください。

本体を閉じたままでも、メモリダイヤル、リダイヤル、着信履歴から電話をかけることができます。

■電話番号を押し間違えたら

●1文字ずつ消去する場合

clearを短く押すごとに、右端から1文字ずつ消えていきます。

●カーソルで選択した数字を消去する場合

を押すとカーソルが現れます。消去したい数字までカーソルを移動してclearを押すと、カーソル上の数字が消えます。

●全部消去する場合

clearを長く(約1秒以上)押すと、入力中の数字がすべて消え、待受画面に戻ります。

■相手が話し中の場合は

「プーップーッ」という話中音が聞こえます。を押して、しばらく待ってからかけ直してください。リダイヤルを使うと便利です(☞次ページ)。

■ご自分の電話番号を相手に通知するには

ご自分の電話番号を、相手の電話機のディスプレイに表示させる/させないことができます(☞14-13ページ)。

■国際電話を利用するには

V401SAから、国際電話サービスがご利用になれます。詳しくはサービスガイドブックをご覧ください。

■ 以前かけた電話番号にもう一度かける（リダイヤル）

以前にかけた電話番号を新しいものから最大30件まで確認できます。かけ直したい相手の電話番号を選択して、を押すと電話がかかります。

1 を押す

▶ 以前にかけた電話番号が新しいものから順に表示されます。

2 でかけたい相手の電話番号を選択する

- （**詳細**）を押すと、詳細画面が表示されます。
- リダイヤルの電話番号が登録されているメモリダイヤルを確認するときは、確認するリダイヤルを選択して（**メニュー**）を押し、「メモリダイヤル検索」を選択します。

3 電話番号を確認してを押す

▶ 相手につながると通話できます。

注意

- ダイヤル発信禁止（☞12-5ページ）が設定されていると、リダイヤルでの発信はできません。設定を解除してください。
- 30件を超えた場合は、一番古いリダイヤルから順に消去されます。

補足

- リダイヤルの内容は、電源を切っても記憶されています。
- リダイヤルと同じ電話番号に電話をかけた場合、時刻のみ更新されます。
- メモリダイヤルに電話番号と名前が登録されていると、名前が表示されます。シークレットメモリの名前はシークレットモード（☞12-10ページ）以外では表示されません。
- メモリ使用禁止を設定しているときは、メモリダイヤルに名前が登録されていても電話番号が表示されます。
- リダイヤルを消去するときは、消去するリダイヤルを選択し、（**メニュー**）を押します。「消去」を選択して（**OK**）を押し、消去方法を選択します。
  「1件消去」：選択したリダイヤルを消去します。
  「選択消去」：リダイヤルを複数選択して消去します。
  「全件消去」：すべてのリダイヤルを消去します。

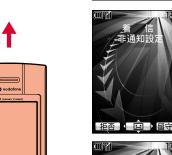
■ リダイヤルの電話番号をメモリダイヤルに登録するには

呼び出したリダイヤルをメモリダイヤルに登録できます（☞5-13ページ）。

電話を受ける

1　着信音が鳴りバックライトが点灯し、「着信」と表示される

相手が番号通知をした場合

メモリダイヤルに電話番号と名前が登録されている相手が番号通知をした場合

相手が番号通知をしなかった場合
非通知の理由(「非通知設定」または「公衆電話」)が表示されます。

相手が番号通知できない電話などからかけてきた場合

- シークレットメモリの名前はシークレットモード(☞12-10ページ)以外では表示されません。
- メモリ使用禁止(☞12-4ページ)設定中は名前は表示されません。

2　☎を押す

▶通話できます。

- 本体を閉じたままでも電話を受けられます。本体を開いたときは、☎以外に左図で色の付いたボタンを押しても、電話を受けられます(エニーキーアンサー)。

3　通話が終わったら☎を押す

▶通話が切れ、待受画面に戻ります。

■電話に出られなかったときは
お知らせ画面(☞1-19ページ)が表示され、不在着信があったことをお知らせします。「不在着信」を選択して◉(OK)を押すと、着信履歴が表示されます(☞2-15ページ)。

■着信をバイブレータの振動で知らせるには
バイブレータ(☞8-4ページ)の設定を変更してください。

■着信音量を変更するには
着信中に◯で調節してください。(ただし、マナー設定で着信音量を「OFF」(無音)に設定している場合は調節できません。)また、着信音量(☞8-2ページ)の設定で変更することもできます。

■着信音/着信ランプの色や点滅パターンを変更するには
着信設定(☞8-3ページ)の音声着信の設定を変更してください。

■着信時に表示する画像を変更するには
マイキャラクタ(☞7-6ページ)の設定を変更してください。

■本体を開くと電話を受けられるようにするには
オープンクローズ(☞13-15ページ)の設定を変更してください。本体を閉じるだけで電話を切れるようにも設定できます。

電話に出られないとき

電話に出られないときは、次の3通りの方法で対応できます。
- 現在応答できない旨のアナウンスを流す（応答保留）
- 応答のアナウンスを流して相手からのメッセージを録音する（簡易留守録）
- 留守番電話センターに転送する（留守番電話サービス※）（☞14-6ページ）

※別途お申し込みが必要です。

■ 着信を保留にする（応答保留）

1 電話がかかってきたら、☎を押す

▶「応答保留」と表示されます。
- 応答保留中は、相手に「まもなく電話に出ますのでそのままお待ちになるかしばらくたってからもう一度おかけ直しください。」というアナウンスが流れます。

2 電話に出られる状態になったら、を押す

▶通話できます。
- エニーキーアンサー（☞2-7ページ）でも電話に出られます。

注意
- 応答保留中でも、相手側に通話料金がかかります。
- 応答保留中に再度☎を押すと、電話が切れます。
- 応答保留中は、割込着信（☞14-9ページ）は行われません。

■ メッセージを録音する（簡易留守録）

簡易留守録の設定（☞13-2ページ）を「ON」にしていない場合でも、その場の操作で応答のアナウンスを流し、相手のメッセージを90秒以内で録音します。

電話がかかってきたら（サイドキー）またはを押す

▶相手には「ただいま電話に出ることができません。ピーという発信音のあとに、お名前、連絡先などをお話しください」とアナウンスが流れます。
- 応答中や録音中でも◉（通話）、▭（サイドキー）、☎、エニーキーアンサー（☞2-7ページ）を押すと相手と通話できます。
- 本体を閉じていても簡易留守録応答ができます。

注意
- 簡易留守録は、音声メモ、マイボイスメモと合わせて最大99件までです。録音件数がすでに99件の場合や録音可能な残り時間が10秒未満の場合は、簡易留守録応答はできません。
- 録音終了後も簡易留守録の設定は「OFF」のままです。

補足

簡易留守録の再生については13-4ページを参照してください。

迷惑電話を防止する

受けた電話がイタズラ電話とわかった場合に、相手の声を送り返して撃退します。こちらの声は相手に聞こえません。

1 通話中にを押す

2 (迷惑)を押す

▶ 迷惑電話防止が設定されます。相手の声をそのまま送り返し、相手にはこちらの声が聞こえなくなります。

通話を終了すると、迷惑電話防止は自動的に解除されます。

- 迷惑通話中に(**解除**)を押すと、迷惑電話防止が解除されます。
- 迷惑電話中に割込電話があったときは、この機能は解除されます。
- 相手が番号通知をしている場合は、迷惑電話防止を設定した時点で迷惑リスト(☞12-7ページ)に登録されます。迷惑電話拒否(☞12-6ページ)を設定しておけば、次回から、その電話番号からの着信を拒否できます。
- 迷惑電話、番号通知のない着信は受けないように、あらかじめ設定しておけます(☞12-6、12-9ページ)。

着信を拒否する

かかってきた電話を強制的に切ります。

電話がかかってきたら(拒否)を長く(約1秒以上)押す

▶ 電話が切れ、待受画面に戻ります。

- 番号通知のない着信は受けないように、あらかじめ設定しておくことができます(☞12-9ページ)。
- 通話中に別の電話がかかってきたときも、同様の操作で拒否できます。(割込通話サービスをお申し込みで、「ON」に設定している場合に限ります。)

通話中の操作

■ 受話音量を調節する

相手の声の大きさを9段階に調節します。
お買い上げ時は「LEVEL9」に設定されています。

通話中に◯を押す

- 音量を上げるときは◯、音量を下げるときは◯を押します。

設定された受話音量は、電源を切っても記憶されています。

待受中に受話音量を調節するときは、待受画面→◉→「設定」→「音設定」→「受話音量」で受話音量の設定画面を呼び出し、◉(**変更**)を押してから◯で音量を調節してください。

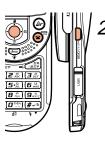
■ 通話中の声や待受中のご自分の声を録音する

通話中の声を音声メモとして録音します。また、待受中に同様の操作を行うと、マイボイスメモとしてご自分の声を録音します。
録音時間は最大約138秒で、この時間内であれば簡易留守録(☞13-2ページ)と合わせて最大99件まで録音できます。

1 待受中または通話中に、▭(サイドキー)を2回押す

▶ 録音開始時に音が鳴ります。
録音開始からの秒数と録音可能な残り時間の目安が表示されます。

- 通話中の場合、相手と自分の会話が録音されます。
- 録音時間満了の約5秒前に警告音が鳴ります。
- ◯を押すと音量を調節できます。

2 ▭(サイドキー)、◉(停止)、☎、clearのいずれかを押す

▶ 録音を終了します。終了時に音が鳴ります。

- 録音時間満了になると、自動的に録音を終了します。
- 通話中に☎を押すと、録音終了と同時に通話も終了します。

録音件数がすでに99件の場合や録音可能な時間がなくなった場合は、録音できません。

- 音声メモ、マイボイスメモを録音中に本体を開閉しても効果音は鳴りません。
- 音声メモ、マイボイスメモの再生については13-4ページを参照してください。

■ 通話中にメモを登録する（ノートパッドメモリ）

通話中に聞いた電話番号などを、ダイヤルボタン（0～9、＊、#）を押してメモします。通話終了後、このメモを呼び出して確認したり、電話をかけたりします。

通話中にダイヤルボタンで番号を入力する

- 24桁まで記憶されます。メモは最新の1件のみ記憶されます。
- 修正するときはclearを押してから正しい番号を入力します。

ノートパッドメモリを呼び出す

「ノートパッドメモリ」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「アドレス帳」→「ノートパッドメモリ」

- ノートパッドメモリは、電源を切っても記憶されています。
- ノートパッドメモリを消去するときは、待受中にノートパッドメモリを呼び出して（**メニュー**）を押し、「消去」を選択します。

- 通話中にもノートパッドメモリを呼び出せます。
- ノートパッドメモリが電話番号の場合、表示中にを押すとその電話番号にかけられます。
- ノートパッドメモリを呼び出して、◉（**登録**）を押すとメモリダイヤルに登録できます（☞5-3ページ）。

リダイヤル／着信履歴の確認

以前にかけた電話の履歴（リダイヤル）とかかってきた電話の履歴（着信履歴）は、それぞれ新しいものから最大30件まで確認できます。電話番号を選択してを押すだけで電話がかけられます。

1 待受画面で（リダイヤル）または（着信履歴）を押す

▶ 履歴が新しいものから順に一覧表示されます。

着信履歴に表示されるアイコンには、次の種類があります。

- ：不在着信
- ：手動で着信拒否した着信
- ：自動で着信拒否した着信
- ：簡易留守録で受けた未再生着信

着信履歴

電話番号が通知されなかった履歴には、名前の部分に「非通知設定」「公衆電話」「発番通知不可」と非通知の理由が表示されます。

「非通知設定」　：電話番号の通知のない着信
「公衆電話」　　：公衆電話からかけてきている着信
「発番通知不可」：国際電話など番号通知できないエリアまたはネットワークからかけてきている着信

- 通話中にリダイヤル／着信履歴を確認するときは、（リダイヤル）または（着信履歴）を長く（約1秒以上）押します。
- リダイヤルや着信履歴の電話番号が登録されているメモリダイヤルを確認するときは、確認する履歴を選択して（**メニュー**）を押し、「メモリダイヤル検索」を選択します。
- 迷惑電話拒否の設定（☞12-6ページ）が「ON」の場合、迷惑電話拒否リストに登録した相手からの着信履歴は表示されません。

2 確認したい履歴を選択し、◉（詳細）を押す

▶ 選択した履歴の詳細が表示されます。◉（**一覧**）を押すと、一覧に戻ります。

3 電話をかけるときは、[発信キー]を押す

- ダイヤル発信禁止(☞12-5ページ)が設定されていると、リダイヤルや着信履歴を使った発信はできません。また、オフラインモード(☞3-5ページ)が設定されているときは、発信が一切できません。設定を解除してください。
- 30件を超えた場合は、一番古い履歴から順に消去されます。

- リダイヤルと同じ電話番号に電話をかけた場合は、時刻のみ更新されます。
- リダイヤルと着信履歴の内容は、電源を切っても記憶されています。
- メモリダイヤルに電話番号と名前が登録されていると、名前が表示されます。シークレットメモリの相手の名前はシークレットモード(☞12-10ページ)以外では表示されません。
- メモリ使用禁止(☞12-4ページ)を設定しているときは、メモリダイヤルに名前が登録されていても名前は表示されません。
- リダイヤル、着信履歴を消去するときは、消去する履歴を選択し、[メニューキー](**メニュー**)を押します。「消去」を選択して[決定キー](**OK**)を押し、消去方法を選択します。
  「1件消去」：選択した履歴を消去します。
  「選択消去」：履歴を複数選択して消去します。
  「全件消去」：すべての履歴を消去します。
- メインメニューから「リダイヤル」「着信履歴」を呼び出すこともできます(☞1-16ページ)。
- かかってきた電話に出られず、相手が電話を切ってしまったときは、不在着信のお知らせが表示されます。この画面で[決定キー](**確認**)を押し、「不在着信」を選択し[決定キー](**OK**)を押すと着信履歴が表示されます。

■ リダイヤル／着信履歴の電話番号を活用するには

呼び出したリダイヤルや着信履歴の電話番号をメモリダイヤルに登録します(☞5-13ページ)。

通話時間表示と通話料金表示

最後にかけた電話の通話時間や通話料金の目安を確認します。

「通話時間料金」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→[決定キー]→「設定」→「通話時間／料金」→「通話時間料金」

▶ 通話時間・通話料金の目安が表示されます。

- 表示される時間や料金はあくまでも目安です。実際とは異なる場合があります。
- 電源を切ると通話時間・通話料金の記録は消えます。
- 三者通話したときは合算して表示します。

［時間表示］

- 発信、着信いずれの場合でも表示されます。
- 999時間59分59秒を超えると0からカウントします。

［料金表示］

- 発信した場合のみ表示されます。
- 電波が弱くなって通話が切断したときや国際電話をご利用いただいた場合は表示されません。

自動的に通話料金を表示する

通話終了後に通話料金の目安を自動的に表示します。
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

1 「通話料金表示」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「通話時間／料金」→「通話料金表示」

▶ 現在の設定が表示されます。

2 ◉（変更）を押す

3 「ON」を選択し、◉（OK）を押す

2 基本的な操作のご案内

自動的に通話時間を表示する

通話中に通話時間の目安を自動的に表示します。
お買い上げ時は「ON」に設定されています。

1 「通話時間表示」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「通話時間／料金」→「通話時間表示」

▶ 現在の設定が表示されます。

2 ◉（変更）を押す

3 「ON」を選択し、◉（OK）を押す

- 「OFF」を選択すると、設定が解除されます。

2 基本的な操作のご案内

累積通話時間表示と累積通話料金表示

累積通話時間・累積通話料金の目安の表示や、過去3か月前までの「月毎」の累積通話時間・累積通話料金の目安を表示します。

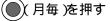
メニューから「累積時間料金」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「通話時間／料金」→「累積時間料金」

▶ これまでの累積された通話時間、通話料金の目安が表示されます。

- 表示される時間や料金はあくまでも目安です。実際とは異なる場合があります。
- 電源を切っても累積通話時間・累積通話料金の記録は消えません。
- 累積通話時間は、999時間59分59秒を超えると0秒からカウントします。
- 累積通話料金は、999999999円を超えると0円からカウントします。
- 表示される累積通話時間・累積通話料金は、リセット時からの累計です。

3か月前までの累積通話時間と累積通話料金の目安を表示する

累積時間料金の表示中に、◉(月毎)を押す

▶ 今月分が表示されます。
◎を押していくと、3か月前までの毎月の累積が表示されます。

- 該当月のデータがない場合は、「X̶X̶X̶時間X̶X̶分X̶X̶秒」「X̶X̶X̶X̶X̶X̶X̶X̶X̶円」と表示されます。

毎月の累積表示は、月が変わると自動的に1日～月末までが集計され、3か月より前のデータは消去されます。

累積通話時間・累積通話料金をリセットする

1 累積時間料金の表示中に、(リセット)を押す

- 月毎の累積を表示中は、3か月前までのすべての累積をリセットします。

2 操作用暗証番号を入力する

- 入力した番号は、ディスプレイ上では「X̶」で表示されます。
- 入力途中で修正するときは、clearを押します。
- 操作用暗証番号が一致しない場合は、警告メッセージが表示されます。

3 「YES」を選択し、◉(OK)を押す

- 累積通話時間・累積通話料金をリセットしても各月毎に累積された通話時間・通話料金はリセットされません。
- 各月毎に累積された通話時間・通話料金をリセットしても、累積通話時間・累積通話料金はリセットされません。

自分の電話番号とプロフィールの確認

自分の電話番号や登録したプロフィール(☞5-22ページ)を確認します。

「プロフィール」を呼び出す

呼び出し方:待受画面→◉→「設定」→「プロフィール」

▶ V401SAの電話番号が表示されます。

- 待受画面→◉→「アドレス帳」→「プロフィール」でも呼び出せます。
- プロフィールに名前を登録している場合、電話番号のほかに名前が表示されます。また、◎を押すと登録されているE-mailアドレスや電話番号などが表示されます。
- プロフィールの詳細情報を表示中は、◎で内容を確認できます。

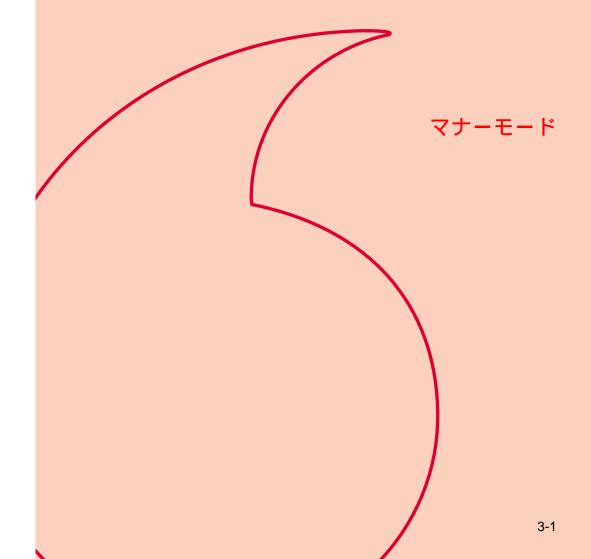
■ **プロフィールを登録するには**

名前や誕生日、血液型など自分のプロフィールを登録します(☞5-22ページ)。

■ **プロフィール表示中の各種操作**

1 **(メニュー)を押す**

2 **◎で項目を選択し、◉(OK)を押す**

項　目	概　要	参照ページ
発信	電話をかけます。	−
メール作成	選択した電話番号またはE-mailアドレスを宛先にしてメールを作成します。	Vodafone live!編
赤外線送信	プロフィールデータの赤外線送信を行います。	11-3
名刺交換	プロフィールデータの赤外線送受信を一括して行います。	11-6
データフォルダに保存	プロフィールデータをデータフォルダへ保存します。	10-18
データクリア	初期状態に戻します。	−

マナーモード

マナーについて

携帯電話をご使用になるときは、周囲の方へ迷惑にならないように気配りをしましょう。

- ●劇場、映画館、美術館、図書館など人の集まる場所では、迷惑にならないようにマナーモードに設定するか、電源を切っておきましょう。
- ●レストランやホテルのロビーなど、静かな場所で使用する場合は周囲の迷惑にならないように着信音や音量に気をつけましょう。
- ●乗り物、病院の中など使用制限のある場所では、アナウンスや掲示に従いましょう。
- ●街中、人通りの多い場所では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。

マナーを守るための機能

次の機能をご活用ください。

●マナーモード（☞次ページ）
着信音やボタン確認音を鳴らさないよう、ワンタッチで設定できます。
また、状況に合わせて着信のお知らせ方法を変えることができます。

●オフラインモード（☞3-5ページ）
電源を入れたままで電波の送受信を停止し、発着信やメールの送受信などができないようにします。

●着信音量（☞8-2ページ）
着信音の大きさを設定することができます。「OFF」に設定すると、音を鳴らさないようにできます。

●バイブレータ（☞8-4ページ）
着信をバイブレータでお知らせします。

●簡易留守録（☞13-2ページ）
電話に出られないときに応答のアナウンスを流して、相手のメッセージを録音します。

●ナイショ通話（☞13-8ページ）
通話中にマイクの感度を上げて、小さな声で話しても伝わるようにします。

※その他にも、オプションサービスの転送電話サービス（☞14-3ページ）や留守番電話サービス（☞14-5ページ）をご利用いただけます。

マナーモード設定

静かな場所や公共の場所でV401SAをご利用のときは、周囲の迷惑とならないようマナーモードを設定してください。V401SAのマナーモードは3種類のモードがあります。状況に合わせて着信のお知らせ方法を変更できます。

■ マナーモードを設定／解除する

待受画面でclearを長く（約1秒以上）押す

▶ マナーモードが設定されます。

- お買い上げ時は「Sバイブ」が選択されています。
- もう一度clearを長く押すと、マナーモードが解除されます。

■ マナーモードの種類を選択する

マナーモードを選択します。公共の場などで音だけをすべて消したいときはS（サイレント）バイブモード、バイブレータもOFFになるスーパーサイレントモード、ご自分で設定のできるオリジナルマナーモードがあります。
お買い上げ時は「Sバイブ」に設定されています。

1 「マナー設定」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「設定」→「マナー設定」→「マナー設定」

2 ◎（変更）を押す

3 「ON」を選択し、◎（OK）を押す

4 モードを選択し、◎（OK）を押す

マナーモードの種類	設定内容
Sバイブ	着信音量：OFF、バイブレータ：ON、すべての音を消す
スーパーサイレント	着信音量：OFF、バイブレータ：OFF、すべての音を消す
オリジナルマナー	着信音量、着信バイブレータ、効果音量、ボタン確認音量、メロディ音量、アラーム音量、アラームバイブレータ、簡易留守録を自由に設定

■ オリジナルマナーモードを設定する

オリジナルマナーモードを選択すると、ご自分の使いかたに合わせてマナーモードの設定内容を変更できます。
お買い上げ時は簡易留守録以外すべてOFFに設定されています。

1 「マナー設定」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「設定」→「マナー設定」→「マナー設定」

2 ◎(変更)を押す

3 「ON」を選択し、◎(OK)を押す

4 「オリジナルマナー」を選択し、(編集)を押す

5 設定したい項目を選択し、◎(編集)を押す

「着信音量」：着信音の大きさを調節します。7種類の着信種別それぞれについて設定できます(☞8-2ページ)。
「着信バイブレータ」：着信をバイブレータでお知らせします。7種類の着信種別ごとにバイブレータパターンを選択します(☞8-4ページ)。
「効果音量」：電源を入れたときなどの各種効果音量を調節します(☞8-8ページ)。
「ボタン確認音量」：ボタンを押したときの確認音量を調節します。
「メロディ音量」：メロディデータの再生音量を調節します。
「アラーム音量」：目覚ましなどのアラーム音量を調節します。
「アラームバイブレータ」：目覚ましなどのアラームのバイブレータパターンを選択します。
「簡易留守録」：簡易留守録のON／OFFを設定します(☞13-2ページ)。
それぞれの設定を行ってください。

- 着信音量、着信バイブレータ、効果音量、アラーム音量、アラームバイブレータでは、(**一括設定**)を押すと、一括で音量やバイブレータパターンを設定することができます。「着信音量」と「着信バイブレータ」では、さらに「全着信」と「全メール着信」(メールのみ)を選択して設定します。

6 設定内容を確認して、(保存)を押す

▶オリジナルマナーモードの設定が保存されます。

電波の送受信を停止する(オフラインモード)

電源が入っていても電波を送受信しないようにします。電話やメールの着信などを気にすることなく、いろいろな機能を利用できます。
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

■ オフラインモードを設定／解除する

待受画面で(✱ a/A)を長く(約1秒以上)押す

▶「」に代わって「」が表示され、オフラインモードに設定されます。

- オフラインモード中に(✱ a/A)を長く(約1 秒以上)押すと、オフラインモードは解除されます。

メニューから設定する

1 「オフラインモード」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎ →「設定」→「その他」→「オフラインモード」

2 ◎(変更)を押す

3 「ON」を選択し、◎(OK)を押す

- 解除するときは「OFF」を選択します。

注意　オフラインモード中は、電話の発着信、メールの送受信、ウェブ接続、ステーション受信など電波を利用する操作はできなくなります。

文字の入力方法

文字入力について

メモリダイヤルの登録やメール作成などの文字入力画面での操作について説明します。文字入力画面を表示するまでの操作は、それぞれの機能の章を参照してください。

■文字入力モード

文字を入力する前に、入力する文字の種類に合わせて入力モードを切り替えておきます。入力モードには、「漢字ひらがな」、「全角カタカナ」、「半角カタカナ」、「全角英字(大文字)」、「半角英字(大文字)」、「全角英字(小文字)」、「半角英字(小文字)」、「全角数字」、「半角数字」、「記号」、「絵文字」、「顔文字」があります。
入力モードは、(文字)を押すごとに切り替わります。入力モードを選択し、◉(OK)を押すと、入力モードが確定します。

〈例〉メモリダイヤルの名前入力画面

入力モードの表示は次のとおりです。

漢	漢字ひらがな	ｱ	全角カタカナ	ｱｲ	半角カタカナ
A	全角英字(大文字)	AB	半角英字(大文字)	a	全角英字(小文字)
ab	半角英字(小文字)	1	全角数字	12	半角数字
記	記号	絵	絵文字	顔	顔文字

- 各入力モードで入力できる文字の種類は、「ダイヤルボタンの割り当て」(☞次ページ)を参照してください。また、記号、絵文字、顔文字については、「記号・絵文字・顔文字などを入力する」(☞4-8ページ)を参照してください。
- 文字入力画面によって、最初に設定されている入力モードや選択できる入力モードは異なります。
- ポケベル方式で入力することもできます(☞4-11ページ)。

■ダイヤルボタンの割り当て

ボタンを押すたびに、次のように文字が変わります。

<table>
<tr><th>ボタン＼入力モード</th><th>漢字ひらがな(全角)</th><th>カタカナ(半角／全角)</th><th>英字(半角／全角)</th><th>数字(半角／全角)</th></tr>
<tr><td>1</td><td>→あいうえお おえういあ←</td><td>→アイウエオ オエウイア←</td><td>→.@-(ハイフン)_(アンダーバー) 1～※1:/←</td><td>1</td></tr>
<tr><td>2</td><td>→かきくけこ→</td><td>→カキクケコ→</td><td>→ABCabc2→</td><td>2</td></tr>
<tr><td>3</td><td>→さしすせそ→</td><td>→サシスセソ→</td><td>→DEFdef3→</td><td>3</td></tr>
<tr><td>4</td><td>→たちつてとっ→</td><td>→タチツテトッ→</td><td>→GHIghi4→</td><td>4</td></tr>
<tr><td>5</td><td>→なにぬねの→</td><td>→ナニヌネノ→</td><td>→JKLjkl5→</td><td>5</td></tr>
<tr><td>6</td><td>→はひふへほ→</td><td>→ハヒフヘホ→</td><td>→MNOmno6→</td><td>6</td></tr>
<tr><td>7</td><td>→まみむめも→</td><td>→マミムメモ→</td><td>→PQRSpqrs7→</td><td>7</td></tr>
<tr><td>8</td><td>→やゆよゃゅょ→</td><td>→ヤユヨャュョ→</td><td>→TUVtuv8→</td><td>8</td></tr>
<tr><td>9</td><td>→らりるれろ→</td><td>→ラリルレロ→</td><td>→WXYZwxyz9→</td><td>9</td></tr>
<tr><td>0</td><td>→わをんゎ、。ー(長音) (スペース)？！～・←</td><td>→ワヲン、。ー(長音) ー(ハイフン) (スペース)？！～※1・←</td><td>0</td><td>0</td></tr>
<tr><td>※</td><td colspan="2">文字が未確定のとき→大文字／小文字の切り替え、だく点／半だく点の付加 ※2</td><td>文字が未確定のとき→大文字／小文字の切り替え ※3</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">#</td><td colspan="3">文字が未確定のとき→逆の順番で表示します。</td><td rowspan="2">改行 ※4</td></tr>
<tr><td colspan="3">文字が確定しているとき→改行 ※4</td></tr>
<tr><td>記号／絵文字</td><td colspan="4">文字が確定しているとき→記号、絵文字、顔文字の入力 ※5</td></tr>
<tr><td>clear</td><td colspan="4">短く押す →■(カーソル)上の文字を1文字消去します。
文字の最後尾に■(カーソル)があるときは、■の1つ前の文字を1文字消去します。
長く(約1秒以上)押す→■(カーソル)以降の文字をすべて消去します。
文字の最後尾に■(カーソル)があるときは、すべての文字を消去します。</td></tr>
<tr><td>◎(左右)</td><td colspan="4">■(カーソル)を左右に移動します。</td></tr>
<tr><td>◎(上下)</td><td>通常変換で文字が未確定のとき
→文字を変換します。
文字が確定しているとき
→■(カーソル)を上下に移動します。</td><td colspan="3">■(カーソル)を上下に移動します。</td></tr>
<tr><td>◉</td><td colspan="3">文字が未確定のとき → 文字を確定します。
文字が確定しているとき → 文字を登録します。</td><td>文字を登録します。</td></tr>
</table>

※1 「～」は、半角入力時には「~」になります。

※2 ひらがな／カタカナ入力時の、大文字／小文字の切り替え、だく点／半だく点の付加については、4-7ページを参照してください。

※3 英字入力時の、大文字／小文字の切り替えについては、4-7ページを参照してください。

※4 メールやウェブ(☞Vodafone live!編)でメッセージを編集するときに、改行記号「↵」を入力できます。(文末にカーソルがあるときは、◎でも入力できます。)

※5 記号、絵文字、顔文字の入力については4-8ページを参照してください。

同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するときは、◎を押してカーソルを移動させてから入力してください。

4 文字の入力方法

文字の入力方法

■ 漢字／ひらがな／カタカナを入力する

ひらがなを漢字などに変換する場合、通常の変換を行う方法と、入力予測機能を利用する方法の2通りがあります。
入力予測機能とは、お客様が入力しようとしている文字列をV401SAが予測し、変換候補として一覧表示する機能のことです(☞4-17ページ)。
ここでは、通常の変換を行って漢字／ひらがな／カタカナを入力する方法を説明します。
通常の変換には、文節ごとに変換していく単文節変換と、20文字までのひらがなを一度に入力して変換する連文節変換があります。

〈例1〉「さんよう太郎」と入力する場合(単文節変換)

1 文字入力画面を表示し、漢字ひらがなモードにする

- 入力モードの切り替えについては、「文字入力モード」(☞4-2ページ)を参照してください。

2 文字の割り当てられたボタンを押す

3を1回押す：「さ」が表示されます。
0を3回押す：「ん」が表示されます。
8を3回押す：「よ」が表示されます。
1を3回押す：「う」が表示されます。

3 ●(OK)を押す

▶「さんよう」がひらがなのまま確定します。

- 入力モードを全角カタカナ、半角カタカナにして同様の操作をするとカタカナを入力することができます。
- 入力モードを間違えていたときや、途中で変えたいときは、確定前に(**英数カナ**)を押すと、他の入力モードで入力した場合の候補が表示されます。

4 文字の割り当てられたボタンを押す

4を1回押す：「た」が表示されます。
9を5回押す：「ろ」が表示されます。
1を3回押す：「う」が表示されます。

5 (変換)を押す

▶ 通常変換に切り替わります。

6 ○または○を押す

▶ 変換候補が一覧表示され、候補数が分数で表示されます。

- 最初に変換された漢字でよいときは、●(**OK**)を押します。
- 変換候補には全角カタカナ、半角カタカナも表示されます。変換を使ってカタカナを入力することができます。

名前
さんよう足ろう
通常候補 2/7
太郎 足ろう 田老
たろう 太朗 タロウ
ﾀﾛｳ
8/24
予測 OK

7 ○で候補を選択し、●(OK)を押す

- 候補が一度に表示できないときは、(**次ページ**)で候補の表示を切り替えられます。
- ●(**OK**)を押す前にclearを押すと、変換前の状態に戻せます。

- 1行に表示しきれない候補の右端には「…」が表示されます(候補を選択しているときは「SIDE」が表示されます)。全体を表示するときは○でその候補を選択し、(サイドキー)を押します。
- 漢字を間違えて確定したときや、入力した文字を消去したとき、ペーストしたときは、直後(他の操作をしていない場合)に(**元に戻す**)を押すと、確定、消去またはペーストする前の状態に戻せます。

〈例2〉「今日は医者に行きます」と入力する場合（連文節変換）

1　文字入力画面で「きょうはいしゃにいきます」と入力する

- 20文字まで一度に入力できます。

2　(変換)を押す

▶通常変換に切り替わり、まとめて漢字に変換されます。一度にたくさんの文字を入力したときは、自動的に文節が区切られます。
最初の文節（今日は）の変換候補を選択できます。

- 目的の文節で変換されなかったときは、で文節の区切り位置を指定し直します。文字が再変換されます。
（例）「今日は医者に行きます」と変換された文を「今日歯医者に行きます」のように変換するときは、を押して、最初の文節を「今日」に指定し直します。

3　別の変換候補を選択するときは、または を押し、で候補を選択する

4　(OK)を押す

▶「今日は」が確定され、次の文節（医者に）の変換候補を選択できます。

5　操作3と4を繰り返して、変換候補を確定する

補足

確定前の文節の文字を修正する場合は、修正する文節が選択されているときにclearを押します。確定前の文字がひらがなに戻るので、入力し直して変換します。
（例）「今日は医者に行きます」という文を「今日は医者に行きません」と入力し直すときは、「今日は医者に」までを確定後、clearを押して修正します。

小文字を入力する

小文字になる文字を入力したあと、を押すと切り替わります。
（あ行、や行の文字、「つ」、全角の「わ」、全角カタカナの「カ」「ケ」）
※「つ」「ウ」「カ」「ケ」はを2回押すと小文字になります。

だく点（゛）・半だく点（゜）を入力する

だく音、半だく音になる文字を入力したあと、を押すと切り替わります。半角カタカナの場合、だく点（゛）、半だく点（゜）は1文字とみなされます。
（だく点：か行、さ行、た行、は行の文字、カタカナの「ウ」、半だく点：は行の文字）
※は行の文字はを2回押すと半だく点になります。

■英数字を入力する

アルファベットまたは数字が入力できるモードに切り替えます（☞4-2ページ）。また、入力したあとでを押すと、入力した文字の大文字と小文字を切り替えることができます。

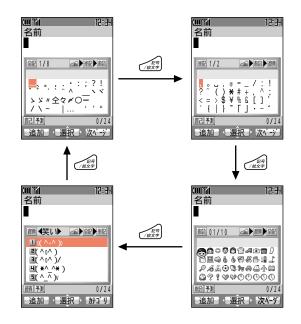
補足

対応するボタン（～）を繰り返し押しても、小文字を入力できます。

■ 記号・絵文字・顔文字などを入力する

記号/絵文字ボタンを使って記号・絵文字・顔文字を入力する

1 文字入力画面で記号/絵文字を押す

- 記号/絵文字を繰り返し押すと、全角記号一覧画面、半角記号一覧画面、絵文字一覧画面、顔文字一覧画面が切り替わります。

2 入力したい記号、絵文字、顔文字を選択し、●(選択)を押す

- ◎(追加)を押すと、続けて記号や顔文字などを入力できます。
- 文字入力画面で(文字)を押し、「記」、「絵」、「顔」のいずれかを選択しても一覧画面を呼び出せます。
- 入力できる記号の一覧は次ページを、絵文字の一覧はVodafone live!編を参照してください。

記号一覧表

<table>
<tr><td>全角入力モードのとき</td><td>␣、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～∥｜…‥‘’
“”（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″
℃￥＄￠￡％＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓〓∈∋⊆⊇⊂⊃∪
∩∧∨￢⇒⇔∀∃∠⊥⌒∂∇≡ ≪≫√∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪†‡¶◯ゎゐゑヮヰヱ
ヴヵヶΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝΞΟΠΡΣΤΥΦΧΨΩαβγδεζηθικλ
μνξοπρστυφχψωАБВГДЕЁЖЗИЙКЛМНОПРСТУФХЦЧ
ШЩЪЫЬЭЮЯабвгдеёжзийклмнопрстуфхцчшщъыь
эюя─│┌┐┘└├┬┤┴┼━┃┏┓┛┗┣┳┫┻╋┠┯┨┷
┿┝┰┥┸╂①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡⅢ
ⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩ㍉㌔㌢㍍㌘㌧㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻㎜㎝㎞㎎㎏㏄
㎡∮〟№㏍℡㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹㍾㍽㍼㍻∟⊿</td></tr>
<tr><td>半角カタカナ/半角英字/
半角数字入力モードのとき</td><td>､｡␣.@-_/:!?~()*#+,^;<=>$¥%&[]'`{|}"｢｣･ｰﾞﾟ</td></tr>
<tr><td>メールアドレス入力時</td><td>.@-_/!?~*+^=$%&</td></tr>
<tr><td>URL入力時</td><td>.@-_/:!?~*#+,^;=$%&</td></tr>
<tr><td>ファイル/フォルダ名入力(半角)時</td><td>␣@-_!~()#+^=$%&[]'`{}</td></tr>
<tr><td>ブラウザ中パスワード入力時</td><td>.@-_/:!?~()*#+,^;<=>$¥%&[]'`{|}"</td></tr>
</table>

※ ␣ はスペースを表します。
※ ▒ の部分はファイル名入力の場合表示されません。

キーワードで記号・文字・顔文字を入力する

文字入力画面で「きごう」「ろしあ」「かお」などのキーワードを入力し、変換候補の中から記号や文字、顔文字を選択します。

1　文字入力画面でキーワードを入力し、◯を押す

2　入力したい記号や文字を選択し、◉(OK)を押す

<table>
<tr><th>キーワード</th><th>表示される文字</th></tr>
<tr><td>きごう</td><td>、 。 ・ ： ； ？ ！ ゜ ゝ 〃 仝 々 〆 ー ― ‐ ／ ＼ ～ ‖ ｜ … ‥ （ ） 〔 〕 ［ ］ ｛ ｝
＜ ＞ 《 》 「 」 『 』 【 】 ＋ ± × ÷ ≠ ＜ ＞ ≦ ≧ ∞ ∴ ♂ ♀ ′ ″ ℃ ￥ ＄
¢ £ ％ ＆ ＊ ＠ § ☆ ★ ○ ● ◎ ◇ ◆ □ ■ △ ▲ ▽ ▼ ※ 〒 → ← ↑ ↓ 〓 ∈ ∋ ⊆
⊇ ⊂ ⊃ ∪ ∩ ∧ ∨ ¬ ⇒ ⇔ ∀ ∃ ∠ ⊥ ⌒ ∂ ∇ ≡ ≪ ≫ √ ∽ ∝ ∵ ∫ ∬ Å ‰ ＃
♭ ♪ † ‡ ¶ O Ω</td></tr>
<tr><td>ろしあ</td><td>А Б В Г Д Е Ё Ж З И Й К Л М Н О П Р С Т У Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ Ы Ь Э
Ю Я а б в г д е ё ж з и й к л м н о п р с т у ф х ц ч ш щ ъ ы
ь э ю я</td></tr>
<tr><td>ぎりしゃ</td><td>Α Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ Φ Χ Ψ Ω α β γ δ ε ζ η
θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ σ τ υ φ χ ψ ω</td></tr>
<tr><td>けいさん</td><td>／ ‖ ｜ ＋ － ± × ÷ ＝ ≠ ＜ ＞ ≦ ≧ ≡ ≪ ≫ √ ∫ ∬</td></tr>
<tr><td>まる</td><td>○ ● ◎ 。</td></tr>
<tr><td>けいせん</td><td>─ │ ┌ ┐ ┘ └ ├ ┬ ┤ ┴ ┼ ━ ┃ ┏ ┓ ┛ ┗ ┣ ┳ ┫ ┻ ╋ ┠ ┯ ┨ ┷ ┿ ┝ ┰ ┥ ┸ ╂</td></tr>
<tr><td>たんい</td><td>° ′ ″ ℃ ￥ ＄ ¢ £ ％ Å ‰ μ π</td></tr>
<tr><td>やじるし</td><td>→ ← ↑ ↓</td></tr>
<tr><td>ずけい</td><td>☆ ★ ○ ● ◎ ◇ ◆ □ ■ △ ▲ ▽ ▼</td></tr>
<tr><td>きじゅつ</td><td>´ ｀ ¨ ＾ ￣ ＿ ヽ ヾ ゝ ゞ 〃 仝 々 〆 ー ‐ ＼ ‖ ｜ … ‥</td></tr>
<tr><td>かっこ</td><td>() 「」 『』 【】 〈〉 [] ‘ ’ “ ” （ ） 〔 〕 ［ ］ ｛ ｝ 〈 〉 《 》</td></tr>
<tr><td>がくじゅつ</td><td>・ ／ ～ ‖ ｜ ‥ ‘ ＋ － ± × ÷ ＝ ≠ ＜ ＞ ≦ ≧ ∞ ∴ ♂ ♀ £ ％ ＃ ※ ∈ ∋ ⊆ ⊇ ⊂
⊃ ∪ ∩ ∧ ∨ ¬ ⇒ ⇔ ∀ ∃ ∠ ⊥ ⌒ ∂ ∇ ≡ ≪ ≫ √ ∽ ∝ ∵ ∫ ∬ ‰ ♭ ♪</td></tr>
<tr><td>みだし</td><td>＝ ＆ ＊ ＠ § ☆ ★ ○ ● ◎ ◇ □ ■ ※ ＃ † ‡ ¶</td></tr>
<tr><td>もじ／かな</td><td>ヽ ヾ ゝ ゞ 〃 仝 々 〆 ゐ ゑ ヰ ヱ ヴ ヵ ヶ</td></tr>
<tr><td>しめ</td><td>〆</td></tr>
<tr><td>かお</td><td>(^_^)／ (’_?) ((((((((^_^;) (＊^o^＊) (＊_＊) (+_+) (-.-) (-_-) (-_-;)
(..) (._.) (._.)_ (;_;) (>_<) (@_@) (T_T) (^-^) (^-^)v (^.^)
(^0_0^) (^0^) (^ ^) (^ ^ゞ (^_-) (^_-)(^_^) (^_^) (^_^;) (^o^)
(^o^)／~~ (^○^) (_ _)Zzz (_ _) (~Q~) (~_~) (~_~;) (~o~) (° o° ;) (` ´)
(¬_¬))^o^(00o(^o^)y–° ° >^_^< ^/^ ^ ^; ^_^; _(._.)_ f(^_^;)
m(_ _)m m(_ _)m o(^-^)o w(^o^)w w(° o°)w |(-_-)| ＼(^_^)(^_^)／
＼(^o^)／ σ(^_^)</td></tr>
<tr><td>かおもじ</td><td>(^_^)／ (＊_＊) (+_+) (-.-) (-_-) (-_-;) (..) (._.) (._.)_ (;_;)
(>_<) (@_@) (T_T) (^.^) (^0_0^) (^0^) (^ ^) (^_-) (^_^) (^_^;)
(^o^) (^○^) (_ _)Zzz (_ _) (~_~) (~_~;) (~o~) (` ´))^o^(>^_^< ^/^
^ ^; ^_^; _(._.)_ m(_ _)m m(_ _)m</td></tr>
</table>

※通常変換候補と絵文字は省略しています（例：「きごう」の場合、「記号」、「キゴウ」など）。

スペースを入力する

◯を押してカーソルを進めます。

改行を入力する

メールやウェブ（☞Vodafone live!編）でメッセージを編集するときに、改行記号「↵」を入力できます。

#↵を押す

- 文末にカーソルがあるときは、◯でも入力できます。

■ポケベル方式で入力する

ポケットベルで入力するときと同じ方法で、文字を入力できます。
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

1　「ポケベル入力」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「機能＆ツール」→「文字入力設定」→「ポケベル入力」

2　「ON」を選択し、◉(OK)を押す

- ポケベル方式で入力しないときは「OFF」を選択します。

ポケベル入力設定は、電源を切っても記憶されています。

入力モードを切り替える

ポケベル入力を「ON」に設定すると、入力モードは次のように変わります。

アイコン	入力モード	アイコン	入力モード	アイコン	入力モード
漢	漢字ひらがな	ア	全角カタカナ	ｱｲ	半角カタカナ
ab	半角英字（小文字）	AB	半角英字（大文字）※		
A	全角英字（大文字）	AB	半角英字（大文字）	a	全角英字（小文字）
ab	半角英字（小文字）	1	全角数字	12	半角数字
記	記号	絵	絵文字	顔	顔文字

▭ の入力モードを選択すると、ポケベル方式で入力できます。
※ab時に文字が未確定のとき＊a/Aを押すと、ABに切り替わります。

その他の操作は、通常の文字入力と同じです。

ポケベルコード表

文字は2桁の数字（ポケベルコード）で入力します。次の表に従い文字を入力してください。

漢字ひらがなモード

（行：1桁目、列：2桁目）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	?	!	ー	／
7	ま	み	む	め	も	＼	&	🕒	☎	☕
8	や	（	ゆ	）	よ	¥	#	スペース	♥	スペース
9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
0	わ	を	ん	゛	゜	6	7	8	9	0

全角／半角カタカナモード

（行：1桁目、列：2桁目）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ア	イ	ウ	エ	オ	A	B	C	D	E
2	カ	キ	ク	ケ	コ	F	G	H	I	J
3	サ	シ	ス	セ	ソ	K	L	M	N	O
4	タ	チ	ツ	テ	ト	P	Q	R	S	T
5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	U	V	W	X	Y
6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	Z	?	!	ー	／
7	マ	ミ	ム	メ	モ	＼	&	🕒	☎	☕
8	ヤ	（	ユ	）	ヨ	¥	#	スペース	♥	スペース
9	ラ	リ	ル	レ	ロ	1	2	3	4	5
0	ワ	ヲ	ン	゛	゜	6	7	8	9	0

半角英字（大文字）モード

（行：1桁目、列：2桁目）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	スペース	スペース	スペース	スペース	スペース	A	B	C	D	E
2	スペース	スペース	スペース	スペース	スペース	F	G	H	I	J
3	スペース	スペース	スペース	スペース	スペース	K	L	M	N	O
4	スペース	スペース	スペース	スペース	スペース	P	Q	R	S	T
5	スペース	スペース	スペース	スペース	スペース	U	V	W	X	Y
6	スペース	スペース	スペース	スペース	スペース	Z	?	!	ー	/
7	スペース	スペース	スペース	スペース	スペース	＼	&	🕒	☎	☕
8	スペース	（	スペース	）	スペース	¥	#	スペース	♥	スペース
9	スペース	スペース	スペース	スペース	スペース	1	2	3	4	5
0	スペース	スペース	スペース	スペース	スペース	6	7	8	9	0

半角英字（小文字）モード

（行：1桁目、列：2桁目）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	スペース	スペース	スペース	スペース	スペース	a	b	c	d	e
2	スペース	スペース	スペース	スペース	スペース	f	g	h	i	j
3	スペース	スペース	スペース	スペース	スペース	k	l	m	n	o
4	スペース	スペース	スペース	スペース	スペース	p	q	r	s	t
5	スペース	スペース	スペース	スペース	スペース	u	v	w	x	y
6	スペース	スペース	スペース	スペース	スペース	z	?	!	ー	/
7	スペース	スペース	スペース	スペース	スペース	＼	&	🕒	☎	☕
8	スペース	（	スペース	）	スペース	¥	#	スペース	♥	スペース
9	スペース	スペース	スペース	スペース	スペース	1	2	3	4	5
0	スペース	スペース	スペース	スペース	スペース	6	7	8	9	0

- 🕒☎☕♥は宛先にE-mailアドレスが含まれるメール作成中には、入力後スペースになります。
- ▭ の部分は半角モードで入力すると、スペースになります。

■サブメニューから各種操作を行う

文字入力画面で✉を押すと、サブメニューが表示されます。
サブメニューからは以下のような機能が呼び出せます。

項　目		概　要	参照ページ
引用	メモリダイヤル	メモリダイヤルからデータを引用します。	―
	メールリダイヤル	メールリダイヤルから電話番号またはE-mailアドレスを引用します。	―
	メール受信履歴	メール受信履歴から電話番号またはE-mailアドレスを引用します。	―
	リダイヤル	リダイヤルから電話番号を引用します。	―
	着信履歴	着信履歴から電話番号を引用します。	―
	URLアドレス履歴	URLアドレス履歴からURLを引用します。	―
	プロフィール	プロフィールからデータを引用します。	―
ペースト一覧		コピーまたはカットした文字列を一覧から選んで、指定した場所に貼り付けます。	4-23
インプットメモリ		ウェブアクセス中に入力した文字列を一覧から選んで、指定した場所に貼り付けます。	下記
ライブラリ		ライブラリに登録されている文字列を貼り付けます。	4-14
定型文引用		メールの入力画面で定型文を選択して入力します。	Vodafone live!編
署名		メールの入力画面で署名を呼び出して入力します。	Vodafone live!編
文頭ジャンプ		カーソルが文頭に移動します。	―
文末ジャンプ		カーソルが文末に移動します。	―
位置情報ペースト		位置情報を指定した場所に貼り付けます。	Vodafone live!編
各種設定	文字サイズ設定	文字入力画面に表示される文字のサイズを設定します。	4-15
	入力予測設定	過去の変換履歴から続きの語句を予測して表示します。	4-17

■インプットメモリを利用する

ウェブアクセス中に入力した文字列は、インプットメモリとして登録されます。インプットメモリの一覧を文字入力画面に呼び出して使用できます。

1　文字入力画面で✉（メニュー）を押す

2　「インプットメモリ」を選択し、◉（OK）を押す

3　呼び出す項目を選択し、◉（OK）を押す

- 項目を選択して✉（**詳細**）を押すと、登録されている文字列の全体が表示されます。

- インプットメモリは、最大で20件まで登録されます。すでに20件登録されている場合は、古いものから順に消去されます。
- インプットメモリを消去するときは、項目を選択して◎（**消去**）を押します。「1件消去」または「全件消去」を選択します。

■ ライブラリを利用する

よく使う文字列や文章をライブラリに登録しておき、文字入力画面に呼び出して使用できます。ライブラリには最大で20件まで登録できます。
お買い上げ時には8件登録されています。

ライブラリNo.	内　容	ライブラリNo.	内　容
01	自局電話番号	11	(未登録)
02	www.	12	(未登録)
03	http://www.	13	(未登録)
04	.co.jp	14	(未登録)
05	.ne.jp	15	(未登録)
06	.com	16	(未登録)
07	.ac.jp	17	(未登録)
08	.or.jp	18	(未登録)
09	(未登録)	19	(未登録)
10	(未登録)	20	(未登録)

ライブラリに登録する

1 「ライブラリ編集」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「機能＆ツール」→「文字入力設定」→「ライブラリ編集」

- 「01」にはお客様のV401SAの電話番号が登録されています。

2 登録する番号を選択し、◉(変更)を押す

- 登録済みの項目を選択して、内容を変更することもできます。
- 「01」～「08」に登録されている内容も、変更できます。

3 登録する文字列や文章を入力し、◉(OK)を押す

- 1件につき最大で全角64文字、半角128文字まで入力できます。

ライブラリを利用して入力する

ライブラリに登録した文字列や文章を、文字入力画面に呼び出します。

1 文字入力画面で✉(メニュー)を押す

2 「ライブラリ」を選択し、◉(OK)を押す

3 呼び出す項目を選択し、◉(OK)を押す

- 項目を選択して✉(**詳細**)を押すと、登録した文字列や文章の全体が表示されます。

ライブラリをリセットする

ライブラリをお買い上げ時の内容に戻します。

1 「ライブラリ編集」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「機能＆ツール」→「文字入力設定」→「ライブラリ編集」

2 ◎(リセット)を押す

3 操作用暗証番号を入力する

- 入力した番号は、ディスプレイ上では「*」で表示されます。
- 入力途中で修正するときは、clearを押します。
- 操作用暗証番号が一致しない場合は、警告メッセージが表示されます。

4 「YES」を選択し、◉(OK)を押す

■ 文字入力画面の文字サイズを変更する

すべての文字入力画面に表示される文字の大きさを変更します。次の4種類から選択します。

項　目	1行に表示される文字数	1画面に表示される行数
極小	全角19文字、半角38文字	13行
小さめ	全角11文字、半角22文字	9行
普通	全角9文字、半角19文字	7行
大きめ	全角6文字、半角12文字	5行

お買い上げ時は「普通」に設定されています。

1 「文字サイズ設定」を呼び出す

呼び出し方：文字入力画面→✉(**メニュー**)→「各種設定」→「文字サイズ設定」

2 「極小」、「小さめ」、「普通」、「大きめ」のいずれかを選択し、◉(OK)を押す

▶ 設定した文字サイズで表示されます。

文字入力中または各種登録・設定中に着信などで操作が中断したときは

文字入力中や各種の登録・設定、またはその修正中に電話がかかってきたときなどは、操作中の編集内容は一時的に保護されます。通話終了後や操作を中断させた機能の動作終了後に、再び編集中の画面に戻ります。
ただし、通話が終了する前に別の機能を使用した場合は、次の操作を行って編集中画面を呼び出してください。

1 待受画面で◉を押したあと、◎()を押す

- 編集中のデータがあるときだけ「」が表示されます。

2 編集を続けたい項目を選択し、◉(OK)を押す

▶ 中断される直前の編集中画面が表示されます。

補足
- 確定していない文字は保護されません。
- 電話がかかってきた場合のほか、次の場合にも編集内容は一時的に保護されます。
  - ・自動電源OFF(☞13-19ページ)で電源が切れた場合
  - ・電池残量が少なくなり警告メッセージが表示された場合(☞1-8ページ)
  - ・スケジュール(☞13-32ページ)、タスク(☞13-39ページ)、目覚まし(☞13-22ページ)のアラーム通知時※
  - ・ココケータイ(☞13-17ページ)の通知音鳴動時※
  - ・ステーションの強制表示(☞Vodafone live!編)の受信時

※ 動作終了後に別の機能を利用したときは編集内容は破棄され、上記の操作で編集中画面を呼び出すことはできません。

文字の変換機能

■ 入力予測機能を利用する

学習機能と入力予測機能を利用して、少ない操作で快適に文字を入力します。
V401SAには、文字列を入力、変換、確定した履歴を記憶する学習機能があります。
学習機能には、主に次の5種類があります。

「語句学習」：以前に入力した文字を記憶します。
「関係学習」：単語同士の結び付きを記憶します。
「文節区切り学習」：文節の正しい区切り位置を記憶します。
「無変換学習」：漢字に変換しない文字を記憶します。
「使用頻度学習」：よく使う単語を優先的に変換候補として表示します。

これらの学習は、文字入力をするたびに行われています。
入力予測設定を「ON」にすると、これらの学習情報とユーザー辞書に登録された語句の情報から、変換候補が表示されます。たとえば、最初の1～2文字を入力しただけでそれらの文字から始まる語句の入力候補が表示されたり、語句を確定すると次に続く語句の候補が表示されたりします。

補足　「学習データクリア」(☞4-20ページ)を行うと、学習情報が消去されます。

入力予測設定を「OFF」に設定する

お買い上げ時は「ON」に設定されています。入力予測機能を利用したくないときは「OFF」に設定します。なお、「OFF」に設定されているときでも、変換内容の学習は行われています。

1 「入力予測設定」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「機能＆ツール」→「文字入力設定」→「入力予測設定」

- 文字入力画面→✍(**メニュー**)→「各種設定」→「入力予測設定」でも呼び出せます。

2 「OFF」を選択し、◉(OK)を押す

- 入力予測機能を利用するときは「ON」を選択します。

入力予測機能を使った変換例

「あか」と入力した場合の変換例を示します。予測候補は、最新の学習情報をもとに表示されるので、内容や順序はそのつど変わっていきます。

通常変換する場合は
(変換)を押す

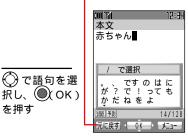
本文
あか
▼/▲で選択
赤ちゃん 赤い 赤坂
明石 赤羽 赤 垢 朱
アカ 阿加 阿嘉 丹 緋
0/128
変換 OK 英数カナ

予測候補一覧

「あか」と入力すると、予測候補の一覧が表示されます。(OK)を押すと、変換せずに入力されます。

次ページに予測候補がある場合は(次ページ)を押すと、次ページの予測候補が表示されます。

(元に戻す)を押すと、入力した語句が元に戻ります。

予測候補の一覧から語句を選択する場合はを押す

予測候補の一覧から語句が選択できるようになります。

選択した語句が入力されます。次に続くと予測される語句がある場合は、予測候補の一覧が表示されます。

● **日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のAdvanced Wnn を使用しています。**
"Advanced Wnn" (C) OMRON SOFTWARE Co,. Ltd. 2003−2004

■ よく使う言葉を登録する(ユーザー辞書)

よく使う語句や特有の読みかたをする熟語などを「よみ」とセットで登録しておき、「よみ」を入力して変換操作を行うと登録した語句が表示されます。「よみ」を通常の読みかたより短いことばで登録したり、変換しにくい語句を登録したりしておけば、文字入力が速く簡単にできます。最大100件まで登録できます。

ユーザー辞書に登録する

1 「ユーザー辞書登録」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→→「機能＆ツール」→「文字入力設定」→「ユーザー辞書登録」

2 (新規)を押す

3 よみを入力し、(OK)を押す

- よみは、最大で10文字まで入力できます。

4 登録する語句を入力し、(OK)を押す

- 登録文字は、最大で全角10文字、半角20文字まで入力できます。

5 (登録)を押す

- 同じ「よみ」で同じ「登録文字」のユーザー辞書がすでに登録されている場合は、登録できません。

メール、ウェブ・ステーション情報画面やメモリダイヤルなどの文字入力画面で、文字列を選択してユーザー辞書に登録することもできます。

①メール、ウェブ・ステーション情報画面の場合：(**メニュー**)を押して「範囲指定」を選択し、登録したい文字列の最初の文字にカーソルを移動し、(**始点**)を押す
文字入力画面の場合：登録したい文字列の最初の文字にカーソルを移動し、(**範囲**)を押す
②登録したい文字列の最後の文字にカーソルを移動し、(**終点**)を押す
③「ユーザー辞書登録」を選択し、(**OK**)を押す
④よみを入力し、(**OK**)を押す

ユーザー辞書の内容を編集する

1 **「ユーザー辞書登録」を呼び出す**

呼び出し方：待受画面→◎→「機能＆ツール」→「文字入力設定」→「ユーザー辞書登録」

2 **編集する項目を選択し、◎（確認）を押す**

3 **「よみ」または「登録文字」を選択し、◎（編集）を押す**

4 **よみまたは登録文字を編集し、◎（OK）を押す**

5 **（登録）を押す**

6 **「書換え」または「新規」を選択し、◎（OK）を押す**

「書換え」：編集内容が上書きされ、元の内容は消去されます。
「新規」　：新規に登録されます。

ユーザー辞書の内容を消去するときは、操作***2***で消去する項目を選択し、（**消去**）を押します。「1件消去」または「全件消去」を選択します。

■ 学習データを消去する

文字を入力、変換するときにV401SAに記憶される語句学習、文節区切り学習、使用頻度学習などの学習情報を消去します。

1 **「学習データクリア」を呼び出す**

呼び出し方：待受画面→◎→「機能＆ツール」→「文字入力設定」→「学習データクリア」

2 **操作用暗証番号を入力する**

- 入力した番号は、ディスプレイ上では「＊」で表示されます。
- 入力途中で修正するときは、clearを押します。
- 操作用暗証番号が一致しない場合は、警告メッセージが表示されます。

3 **「YES」を選択し、◎（OK）を押す**

- 消去を中止するときは「NO」を選択します。

■ ダウンロードした辞書を利用する

ウェブからダウンロードしてデータフォルダに保存されている辞書ファイルを、文字入力時に使えるように設定します。同時に使用できる辞書は5件または合計64KBまでです。
辞書ファイルは、SANYOオリジナルサイト「SANYOケータイプラネット」からダウンロードできます。ダウンロードのしかたはVodafone live!編を参照してください。

使用する辞書を選択する

1 **「ダウンロード辞書」を呼び出す**

呼び出し方：待受画面→◎→「機能＆ツール」→「文字入力設定」→「ダウンロード辞書」

▶ データフォルダ内にある辞書ファイルが表示されます。

2 **◎（設定）を押す**

- すでに使用されている辞書ファイルは☑が表示されます。

3 **使用する辞書ファイルを選択し、◎（選択）を押す**

▶ 選択した辞書ファイルに☑が表示されます。

- 複数選択する場合は、この操作を繰り返します。
- 選択を解除するには、◎（**解除**）を押します。
- （**情報**）を押すと、辞書の内容を確認できます。

4 **（実行）を押す**

5 **「YES」を選択し、◎（OK）を押す**

- 設定しないときは「NO」を選択します。

文字の編集

■入力した文字を修正する

入力した文字を消去したり修正したりします。

1文字消去する

で消去する文字にカーソルを移動し、clearを押すと消去されます。
文字の最後尾にカーソルがあるときは、1つ前の文字が消去されます。

カーソル以降の文字をまとめて消去する

で消去する文字列の先頭にカーソルを移動し、clearを長く(約1秒以上)押します。
カーソル以降の文字がすべて消去されます。

入力済みの文字をまとめて消去する

文字列の最後尾にカーソルを移動し、clearを長く(約1秒以上)押すと、入力した文字がすべて消去されます。

文字を訂正する

訂正する文字を消去してから、入力し直します。

間違えて入力した文字を消去したときは、直後(他の操作をしていない場合)に(**元に戻す**)を押すと、消去する前の状態に戻せます。

■ コピー／切り取り／貼り付けをする

文字入力画面の文字列を別の場所にコピーしたり、移動したりします。また、メールウェブ、ステーション情報画面の文字列をコピーすることもできます(☞Vodafone live!編)。

コピー／カット(切り取り)する

文字列の範囲を選択してコピーまたはカットします。

1 **文字入力画面で、コピー／カットする範囲の最初の文字にカーソルを移動し、(範囲)を押す**

2 **コピー／カットする最後の文字にカーソルを移動し、(終点)を押す**

3 **「コピー」または「カット」を選択し、(OK)を押す**

「コピー」：文字をコピーするときに選択します。指定した文字列がペースト一覧に登録されます。
「カット」：文字を移動するときに選択します。指定した範囲の文字は画面から切り取られ、ペースト一覧に登録されます。

コピーまたはカットできる文字列の長さは、最大で全角128文字、半角256文字までで、20件まで保存できます。

ペースト(貼り付け)する

コピーまたはカットした文字列は、ペーストデータとしてペースト一覧に登録されます。ペースト一覧を呼び出して、指定した位置に貼り付けます。

1 **文字入力画面で、ペーストする位置の右側にカーソルを移動し、(メニュー)を押す**

2 **「ペースト一覧」を選択し、(OK)を押す**

3 **ペーストする文字列を選択し、(OK)を押す**

- ペースト一覧には、1行ずつ最初の部分が表示されます。文字列を選択して(**詳細**)を押すと、内容を確認できます。

- ペースト先に入力できない文字は消去されます。
- ペースト先に入力できる文字数を超えていた場合は、入力できる文字数だけペーストされます。
- ペーストデータは、電源を切っても記憶されています。

- ペーストデータを消去するときは、文字列を選択して(**消去**)を押します。「1件消去」または「全件消去」を選択します。
- 間違えて文字をペーストしたときは、直後(他の操作をしていない場合)に(**元に戻す**)を押すと、ペーストする前の状態に戻せます。
- ペーストデータは20件を超えると古いデータから消去されます。

文頭／文末にすばやく移動するには

文字の編集中にすばやく文頭または文末にカーソルを移動することができます。メールなど長い文章を編集するときに利用します。

1 文字入力画面で(メニュー)を押す

2 「文頭ジャンプ」または「文末ジャンプ」を選択し、(OK)を押す

■ 顔文字を編集する

内蔵されている顔文字を編集します。また、お買い上げ時の内容に戻すこともできます。

顔文字を編集する

1 「顔文字編集」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→→「機能＆ツール」→「文字入力設定」→「顔文字編集」

2 編集するカテゴリを選択し、(OK)を押す

3 編集する顔文字を選択し、(編集)を押す

4 顔文字を編集し、(OK)を押す

顔文字をリセットする

顔文字をお買い上げ時の内容に戻します。

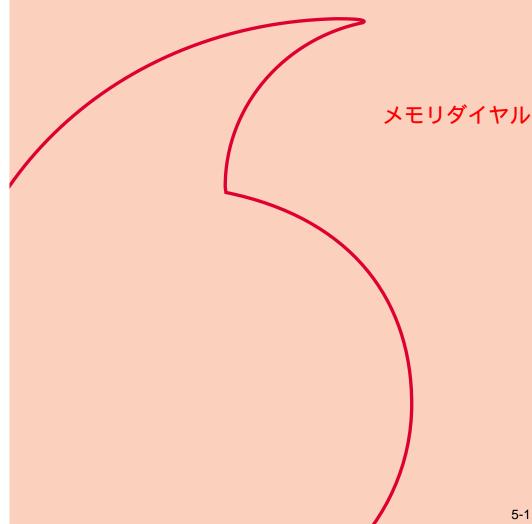
1 「顔文字編集」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→→「機能＆ツール」→「文字入力設定」→「顔文字編集」

2 (リセット)を押す

3 操作用暗証番号を入力する

- 入力した番号は、ディスプレイ上では「＊」で表示されます。
- 入力途中で修正するときは、clearを押します。
- 操作用暗証番号が一致しない場合は、警告メッセージが表示されます。

4 「YES」を選択し、(OK)を押す

メモリダイヤル

メモリダイヤルの登録

よくかける電話番号やE-mailアドレスをメモリダイヤルに登録しておくと、簡単な操作で電話をかけたりメールを送信したりできます。最大500件まで登録できます。

大切なデータを失わないために
メモリダイヤルに登録した電話番号や名前は、電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。また、事故や故障でも同様の可能性があります。大切なメモリダイヤルなどは、控えをとっておかれることをおすすめします。なお、メモリダイヤルが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ メモリダイヤルに登録できる項目

メモリダイヤルには、次の項目を登録できます。

項 目		最大入力文字数	備 考	参照ページ
メモリNo.		―	000～499	5-5、5-6
名前		全角12文字(半角24文字)まで	―	5-7
ヨミ		半角24文字まで	「名前」を入力すると自動的に入力されます。	5-7
電話番号1		24桁まで	6種類の番号種別で分類管理します。	5-7
電話番号2				
Eメールアドレス1		半角英数のみで60文字まで	6種類のE-mail種別で分類管理します。	5-8
Eメールアドレス2				
グループNo.(グループ名)		―	10種類のグループに分類管理します。	5-8
音声着信	着信音パターン	―	電話がかかってきたときの着信音を設定します。	5-9
	バイブレータ	―	電話がかかってきたときのバイブレータを設定します。	
	着信イルミネーション	―	電話がかかってきたときの着信ランプの色と点滅パターンを設定します。	
メール着信	着信音パターン	―	メール着信時の着信音を設定します。	5-10
	バイブレータ	―	メール着信時のバイブレータを設定します。	
	着信イルミネーション	―	メール着信時の着信ランプの色と点滅パターンを設定します。	
	鳴動時間	1～29秒まで	メール着信音またはバイブレータの鳴動時間を設定します。	
着信画像		―	着信時に表示する画像を設定します。	5-10
応答メッセージ		―	着信時に電話に出られないときの応答メッセージを設定します。	5-11
住所		全角64文字(半角128文字)まで	―	5-11
メモ		全角40文字(半角80文字)まで	―	5-11
PINコード設定		―	メールでPINコードを設定している相手のPINコードを登録します。	5-12
シークレット		―	他人に登録内容を知られないようにします。	5-12

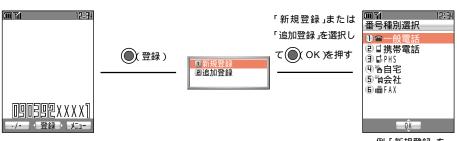
■ メモリダイヤルに登録する

メモリダイヤルの登録には、主に次の3通りの方法があります。

● **メモリダイヤルの新規登録画面を呼び出します。**

待受画面で**を長く(約1秒以上)押す**

補足
または、以下の方法でも呼び出せます。
- 待受画面→◯→(**メニュー**)→「新規登録」
- 待受画面→◉→「アドレス帳」→「メモリダイヤル」→「新規登録」

● **待受画面で電話番号を入力し、◉(登録)を押します。**

〈例〉「新規登録」を選択した場合

ノートパッドメモリを呼び出して◉(**登録**)を押しても、同様に登録できます(☞2-15ページ)。

● **通信履歴（リダイヤル、着信履歴、メールリダイヤル、メール受信履歴）画面で（メニュー）を押して、サブメニューから「メモリダイヤル登録」を選択し（OK）を押します。**

〈例〉着信履歴の電話番号を登録する場合

（メニュー）

ﾒﾆｭｰ 1/2
1 184付加
2 186付加
3 国際発信
4 ﾒｰﾙ作成
5 ﾒﾓﾘﾀﾞｲﾔﾙ登録
6 迷惑ﾘｽﾄ登録
7 ﾜﾝ切り履歴
8 消去

「メモリダイヤル登録」を選択して（OK）

1 新規登録
2 追加登録

「新規登録」または「追加登録」を選択して（OK）

番号種別選択
① 一般電話
② 携帯電話
③ PHS
④ 自宅
⑤ 会社
⑥ FAX
OK

〈例〉「新規登録」を選択した場合

登録操作の流れ

待受画面で電話番号を入力し、新規登録する方法で登録操作の流れを説明します。

1 **待受画面で電話番号を入力する**

2 **（登録）を押す**

3 **「新規登録」を選択し、（OK）を押す**

「新規登録」：名前、電話番号などを新規に登録します。
「追加登録」：登録済みのメモリダイヤルに追加登録します（☞5-6ページ）。

4 **番号種別を選択し、（OK）を押す**

▶ 登録項目一覧画面が表示されます。

- 各項目の内容については「メモリダイヤルの登録項目」（☞5-2ページ）を参照してください。

登録項目一覧画面

5 **各項目を選択し、（選択）を押す**

それぞれの設定を行ってください。

6 **（保存）を押す**

▶ 空いている最小のメモリNo.が表示されます。

7 **（OK）を押す**

▶ 登録が完了し、待受画面に戻ります。

- 別のメモリNo.を指定することもできます（☞5-6ページ）。

- ５００件すべて登録済みの場合は登録できません。不要なメモリダイヤルを消去（☞5-26ページ）してから登録し直すか、登録済みのメモリNo.に上書きしてください。
- 指定したメモリNo.がすでに登録済みの場合は、書き換えるかどうかを選択します。
- メモリ使用禁止（☞12-4ページ）やダイヤル発信禁止（☞12-5ページ）が設定されている場合は、操作用暗証番号の入力を求められます。
- 指定したメモリNo.がすでに登録済みのシークレットメモリの場合は、操作用暗証番号の入力を求められます。

- メモリダイヤルは待受中のほか、通話中にも登録できます。
- メモリダイヤル登録中に着信があっても、編集中のデータは消去されません（☞4-16ページ）。

メモリダイヤルに追加登録するとき

すでに登録されているメモリダイヤルに追加登録するときの操作です。

〈例〉 待受画面で電話番号を入力して追加登録する場合

1 登録する電話番号を入力する

2 ◉(登録)を押す

3 「追加登録」を選択し、◉(OK)を押す

4 登録先のメモリダイヤルを選択し、◉(OK)を押す

5 電話番号1または電話番号2を選択し、◉(OK)を押す

- 電話番号が登録されている場合は、書き換えるかどうかを確認する画面が表示されます。「YES」を選択し、◉(OK)を押すと番号種別選択画面が表示されます。

6 番号種別を選択し、◉(OK)を押す

7 必要に応じて各項目を設定し、◉(保存)を押す

8 「YES」を選択し、◉(OK)を押す

- 別のメモリNo.に登録するときは「NO」を選択します。

メモリNo.を指定するには

● メモリNo.入力画面で◎を押すと、前後の空いているメモリNo.が表示されます。

● メモリNo.を指定して登録する場合は、3桁の番号(000～499)を入力します。次のように[＊]を使って入力すると、空いているメモリNo.を検索する範囲を指定でき、その中で最小のメモリNo.に登録できます。

[0][0][＊]	000～009	・・・	
[0][1][＊]	010～019	[0][＊]	000～099
・・・		[1][＊]	100～199
[1][0][＊]	100～109	・・・	
[1][1][＊]	110～119	[＊]	000～499

● 000～099に登録すると、スピードダイヤル(☞5-21ページ)として使用できます。

名前を入力し、名前のヨミを修正する

名前を入力すると、自動的にヨミも入力されます。

1 登録項目一覧画面から「名」(名前)を選択し、◉(選択)を押す

2 名前を入力する

3 ◉(OK)を押す

▶ 入力した名前のヨミが表示されます。

- 名前は、最大で全角12文字、半角24文字まで登録できます。
- 名前で入力した文字は、すべてヨミに反映されます。あとから名前を修正したときは、必ずヨミも確認・修正してください。

4 ヨミを修正し、◉(OK)を押す

▶ 登録項目一覧画面に戻ります。

- ヨミは、半角(カタカナ、英数字、記号)で最大24文字まで登録できます。

メモリダイヤルを名前検索する場合は、入力した文字での検索となります。また、電話帳検索やヨミ検索する場合は、ヨミをもとに検索します。

電話番号と番号種別を入力する

電話番号と番号種別を入力します。
1件のメモリダイヤルにつき「電話番号1」と「電話番号2」の2つを登録でき、6種類の番号種別に分けて管理できます。

☎	一般電話	📱	携帯電話		PHS
🏠	自宅	🏢	会社	📠	FAX

1 登録項目一覧画面から「☎1」(電話番号1)または「☎2」(電話番号2)を選択し、◉(選択)を押す

2 電話番号を入力し、◉(OK)を押す

- 電話番号は、最大で24桁まで登録できます。24桁を超えて入力すると、最後に入力した桁から数えて24桁目までが登録されます。

3 番号種別を選択し、◉(OK)を押す

▶ 登録項目一覧画面に戻ります。

登録先が一般電話の場合には、市外局番を必ず入力してください。携帯電話またはPHSの場合には、必ず11桁の番号で入力してください。

E-mail アドレスを入力する

E-mailアドレスとE-mail種別を入力します。
1件のメモリダイヤルにつき「Eメールアドレス1」と「Eメールアドレス2」の2つを登録でき、6種類のE-mail種別に分けて管理できます。

	インターネット		携帯電話		PHS
	自宅		学校		仕事

1 登録項目一覧画面から「」(Eメールアドレス1)または「」(Eメールアドレス2)を選択し、(選択)を押す

2 E-mailアドレスを入力し、(OK)を押す

- E-mailアドレスは、半角英数文字で最大60文字まで登録できます。

3 E-mail種別を選択し、(OK)を押す

▶登録項目一覧画面に戻ります。

グループを指定する

10種類のグループに分けて、登録・管理します。

1 登録項目一覧画面から「」(グループ)を選択し、(選択)を押す

2 グループを選択し、(OK)を押す

▶登録項目一覧画面に戻ります。

グループ1〜9には、ご自分で自由に任意のグループ名を付けられます。あらかじめグループ名を付けておくと便利です(☞5-14ページ)。

5 メモリダイヤル

指定着信設定を設定する

電話やメールの着信音、着信ランプの色、着信画像などを、相手によって変えられます。また、簡易留守録の応答メッセージを個別に設定できます。指定着信設定には次の設定項目があります。

項目		概要	参照ページ
音声着信	着信音パターン	電話がかかってきたときの着信音を設定します。	下記
	バイブレータ	電話がかかってきたときのバイブレータを設定します。	
	着信イルミネーション	電話がかかってきたときの着信ランプの色を設定します。	
メール着信	着信音パターン	メール着信時の着信音を設定します。	5-10
	バイブレータ	メール着信時のバイブレータを設定します。	
	着信イルミネーション	メール着信時の着信ランプの色を設定します。	
	鳴動時間	メール着信時の着信音の鳴動時間(またはバイブレータの振動時間)を設定します。	
着信画像		電話やメールの着信時に表示する画像を設定します。また、メモリダイヤルの一覧画面にも表示されます。	5-10
応答メッセージ		簡易留守録の応答メッセージを設定します。	5-11

音声着信時の設定をする

1 登録項目一覧画面から「」(音声着信)を選択し、(選択)を押す

2 「ON」を選択し、(OK)を押す

3 各項目を選択し、(OK)を押す

それぞれの設定を行ってください。

♪(着信音パターン)　：「固定データ」または「データフォルダ」を選択したあと、着信音を選択します。「着信音なし」に設定することもできます。
(バイブレータ)　：バイブレータパターンを選択します。
(着信イルミネーション)：着信ランプの点滅パターンを選択したあと、点灯色を選択します。

4 設定終了後、(完了)を押す

▶登録項目一覧画面に戻ります。

5 メモリダイヤル

メール着信時の設定をする

1 登録項目一覧画面から「 」(メール着信)を選択し、 (選択)を押す

2 「ON」を選択し、 (OK)を押す

3 各項目を選択し、 (OK)を押す

それぞれの設定を行ってください。

(着信音パターン) ：「固定データ」または「データフォルダ」を選択したあと、着信音を選択します。「着信音なし」に設定することもできます。
(バイブレータ) ：バイブレータパターンを選択します。
(着信イルミネーション)：着信ランプの点滅パターンを選択したあと、点灯色を選択します。
(鳴動時間) ：1〜29秒の間で設定します。

4 設定終了後、 (完了)を押す

▶登録項目一覧画面に戻ります。

着信画像を設定する

1 登録項目一覧画面から「 」(着信画像)を選択し、 (選択)を押す

2 「ON」を選択し、 (OK)を押す

3 種類を選択し、 (OK)を押す

それぞれの操作を行ってください。

「固定データ」 ：V401SAに内蔵されているイラストを選択します。
「データフォルダ」 ：データフォルダに保存されている画像を選択します。フォルダを選択したあと、着信画像を選択します。
「デジタルカメラフォルダ」：デジタルカメラフォルダに保存されている画像を選択します。
「カメラ撮影」 ：カメラを起動し静止画を撮影します(☞6-4ページ)。
「ビデオ撮影」 ：カメラを起動し動画を撮影します(☞6-9ページ)。

- 着信画像をなしにしたいときは、「固定データ」から「画像表示なし」を選択します。

4 画像を確認して (OK)を押す

▶登録項目一覧画面に戻ります。

- 画像位置を変更できるときは「 」が表示されます。 で位置を調整できます。
- 選択した画像が表示領域より大きい場合／小さい場合は、「サイズ変更」が表示されます。 (**サイズ変更**)を押すと、画像の縦横比を変えないまま表示領域の縦／横に合わせて拡大／縮小します。 (**解除**)を押すと、元のサイズに戻ります。
- 他の画像を選択できるときは「 ・ 」が表示されます。 ／ を押すと前／次の画像に切り替わります。

応答メッセージを設定する

1 登録項目一覧画面から「 」(応答メッセージ)を選択し、 (選択)を押す

2 「ON」を選択し、 (OK)を押す

3 応答メッセージを選択し、 (OK)を押す

▶登録項目一覧画面に戻ります。

- すでに録音されている自作応答メッセージには、「 」が表示されます。応答メッセージの録音方法については、13-6ページを参照してください。
- (**再生**)を押すと、選択した応答メッセージを再生して確認できます。

住所を登録する

1 登録項目一覧画面から「 」(住所)を選択し、 (選択)を押す

2 住所を入力し、 (OK)を押す

▶登録項目一覧画面に戻ります。

- 住所は、最大で全角64文字、半角128文字まで登録できます。

メモを登録する

1 登録項目一覧画面から「 」(メモ)を選択し、 (選択)を押す

2 メモを入力し、 (OK)を押す

▶登録項目一覧画面に戻ります。

- メモは、最大で全角40文字、半角80文字まで登録できます。

PINコードを登録する

PINコード(☞Vodafone live!編)を登録します。

1 登録項目一覧画面で「PIN」(PINコード設定)を選択し、●(選択)を押す

2 「ON」を選択し、●(OK)を押す

3 PINコードを入力し、●(OK)を押す

▶登録項目一覧画面に戻ります。

- 入力途中で修正するときはclearを押します。

シークレットメモリを登録する

シークレットモード(☞12-10ページ)を「ON」に設定している場合に、メモリダイヤルをシークレットとして登録できます。

1 登録項目一覧画面で「🔑」(シークレット)を選択し、●(選択)を押す

2 「ON」を選択し、●(OK)を押す

▶登録項目一覧画面に戻ります。

シークレット登録は、シークレットモードの設定が「ON」のときにのみ登録可能です(☞12-10ページ)。

■ リダイヤル／着信履歴の電話番号を登録する

リダイヤル、着信履歴に表示された電話番号や、メールリダイヤル、メール受信履歴に表示されたE-mailアドレスをメモリダイヤルに登録します。新規登録と追加登録を選択できます。

1 リダイヤル、着信履歴などを表示する

リダイヤルの表示方法　：待受画面→◎を押す
着信履歴の表示方法　：待受画面→◎を押す
メールリダイヤルの表示方法：待受画面→◎を長く(約1秒以上)押す
メール受信履歴の表示方法　：待受画面→◎を長く(約1秒以上)押す

2 登録する相手を選択し、✉(メニュー)を押す

3 「メモリダイヤル登録」を選択し、●(OK)を押す

4 「新規登録」を選択し、●(OK)を押す

- 「追加登録」を選択した場合の操作については、「メモリダイヤルに追加登録するとき」(☞5-6ページ)の操作**4**以降を参照してください。

5 番号種別を選択し、●(OK)を押す

▶登録項目一覧画面が表示されます。

- 各項目の内容については「メモリダイヤルの登録項目」(☞5-2ページ)を参照してください。
- メールリダイヤル、メール受信履歴からE-mailアドレスを登録する場合は、E-mail種別を選択します。

6 各項目を選択し、●(選択)を押す

それぞれの設定を行ってください(☞5-7〜5-12ページ)。

7 設定終了後、◎(保存)を押す

▶空いている最小のメモリNo.が表示されます。

8 ●(OK)を押す

- 別のメモリNo.を指定することもできます(☞5-6ページ)。

グループ設定

メモリダイヤルのグループ（1〜9）に名前を付けます。
また、グループごとに指定着信設定を設定できます。

■ グループ名を登録する

1 「グループ編集」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→✉（**メニュー**）→「グループ編集」

2 グループNo.を選択し、◉（編集）を押す

3 「名」（グループ名）を選択し、◉（選択）を押す

4 グループ名を入力し、◉（OK）を押す

- グループ名は、最大で全角7文字、半角14文字まで登録できます。

5 ◉（保存）を押す

■ グループごとの指定着信設定を設定する

グループごとに指定着信設定を設定します。グループの指定着信設定を設定すると、グループに登録された方からの着信やメール受信の際に、着信音や着信画像などで区別できます。

1 「グループ編集」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→✉（**メニュー**）→「グループ編集」

2 グループNo.を選択し、◉（編集）を押す

3 各項目を選択し、◉（選択）を押す

それぞれの設定を行ってください（☞5-9〜5-11ページ）。

4 設定終了後、◉（保存）を押す

補足　グループごとに設定されている指定着信設定よりも、個々のメモリダイヤルに設定されている指定着信設定が優先します。

メモリダイヤルの利用

メモリダイヤルに登録されている電話番号を呼び出して電話をかけます。

■ メモリダイヤルから電話をかける

1 待受画面で◯を押す

▶ メモリダイヤルの一覧画面が表示されます。

- 前回表示した検索方法で表示されます。そのままで良いときは、操作**4**に進みます。
- 待受画面→◉→「アドレス帳」→「メモリダイヤル」→「検索」でもメモリダイヤルの一覧画面を表示できます。

2 メモリダイヤルの検索方法を表示する

電話帳／メモリNo.／グループ／番号種別検索画面の場合：◎（**検索**）を押す
名前／ヨミ／電話番号／メールアドレス検索画面の場合：✉（**メニュー**）→「検索切替」

3 検索方法を選択し、◉（OK）を押す

それぞれの方法で検索を行ってください。

項　目	概　要	参照ページ
電話帳検索	ヨミの先頭の文字で検索します。	5-17
名前検索	名前で検索します。	5-17
ヨミ検索	ヨミで検索します。	5-18
メモリNo.検索	メモリNo.で検索します。	5-18
グループ検索	グループNo.で検索します。	5-18
電話番号検索	電話番号の一部で検索します。	5-19
メールアドレス検索	メールアドレスの一部で検索します。	5-19
番号種別検索	番号種別で検索します。	5-20

4 相手を選択し、☎を押す

▶ 選択した相手に電話をかけます。

- 電話番号が2件登録されている場合は選択画面が表示されます。番号を選択し、◉（**OK**）を押します。

補足　操作**4**で相手を選択して◉を押すと、メモリダイヤルの確認画面が表示されます。◯で番号種別を選択し、☎を押しても電話がかけられます。

ヨミの行を指定して呼び出す（電話帳検索）

見出し（ア、カ、サ、タ、ナ、ハ、マ、ヤ、ラ、ワ、英、数、ナシ）ごとに分類して表示します。

見出し	ヨミの先頭の文字
ア	ア行
カ	カ行、ガ行
サ	サ行、ザ行
タ	タ行、ダ行
ナ	ナ行
ハ	ハ行、バ行、パ行
マ	マ行
ヤ	ヤ行
ラ	ラ行
ワ	ワ行
英	英字
数	数字
ナシ	記号、ヨミが登録されていないメモリダイヤル

1 メモリダイヤルの検索方法（☞5-16ページ）から「電話帳検索」を選択し、◉（OK）を押す

2 ◯で見出しを選択し、◯でメモリダイヤルを選択する

3 ☎を押す

▶ 選択した相手に電話をかけます。

名前を入力して呼び出す（名前検索）

名前の先頭から一部（または全部）を入力して検索します。

1 メモリダイヤルの検索方法（☞5-16ページ）から「名前検索」を選択し、◉（OK）を押す

2 名前の先頭から一部（または全部）を入力し、◉（検索）を押す

- 名前を入力しないで◉（**検索**）を押すと、ヨミの五十音順にメモリダイヤルが表示されます。ただし、名前が登録されていないメモリダイヤルは表示されません。

3 相手を選択し、☎を押す

▶ 選択した相手に電話をかけます。

ヨミを入力して呼び出す(ヨミ検索)

ヨミの先頭から一部(または全部)を入力して検索します。

1 **メモリダイヤルの検索方法(☞5-16ページ)から「ヨミ検索」を選択し、◉(OK)を押す**

2 **ヨミの先頭から一部(または全部)を入力し、◉(検索)を押す**

- ヨミを入力しないで◉(**検索**)を押すと、ヨミの五十音順にメモリダイヤルが表示されます。ただし、ヨミが登録されていないメモリダイヤルは表示されません。

3 **相手を選択し、☎を押す**

▶選択した相手に電話をかけます。

メモリNo. を入力して呼び出す(メモリNo.検索)

メモリNo.を指定して検索します。数字を入力すると、その数字に連動して、表示されるメモリダイヤルが切り替わります。

1 **メモリダイヤルの検索方法(☞5-16ページ)から「メモリNo.検索」を選択し、◉(OK)を押す**

- 000から順にメモリNo.が表示されます。

2 **メモリNo.を入力する**

▶入力したメモリNo.のメモリダイヤルが先頭に表示されます。

- <例>「1」を入力するとメモリNo.が100以降のメモリダイヤルが表示され、「11」と入力するとメモリNo.が110以降のメモリダイヤルが表示されます。

3 **相手を選択し、☎を押す**

▶選択した相手に電話をかけます。

グループNo.を指定して呼び出す(グループ検索)

1 **メモリダイヤルの検索方法(☞5-16ページ)から「グループ検索」を選択し、◉(OK)を押す**

2 **◎でグループを選択し、◎でメモリダイヤルを選択する**

- グループNo.は、0～9を押して選択することもできます。

3 **☎を押す**

▶選択した相手に電話をかけます。

電話番号の一部を入力して呼び出す(電話番号検索)

電話番号の一部を入力すると、その番号が含まれる電話番号を検索します。該当するメモリダイヤルが複数ある場合は、五十音順に表示されます。

1 **メモリダイヤルの検索方法(☞5-16ページ)から「電話番号検索」を選択し、◉(OK)を押す**

2 **電話番号の一部を入力し、◉(検索)を押す**

- 電話番号を入力しないで◉(**検索**)を押すと、電話番号が登録されているすべてのメモリダイヤルが五十音順に表示されます。

3 **相手を選択し、☎を押す**

▶選択した相手に電話をかけます。

メールアドレスの一部を入力して呼び出す(メールアドレス検索)

メールアドレスの一部を入力すると、その文字が含まれるメールアドレスを検索します。該当するメモリダイヤルが複数ある場合は、五十音順に表示されます。

1 **メモリダイヤルの検索方法(☞5-16ページ)から「メールアドレス検索」を選択し、◉(OK)を押す**

2 **メールアドレスの一部を入力し、◉(検索)を押す**

- 大文字、小文字は区別しません。
- メールアドレスを入力しないで◉(**検索**)を押すと、メールアドレスが登録されているすべてのメモリダイヤルが表示されます。

3 **相手を選択し、☎を押す**

▶選択した相手に電話をかけます。

- メールを送信するときは、操作***3***で✉(**メニュー**)を押し、「メール作成」を選択します。

アイコンを指定して呼び出す(番号種別検索)

番号種別(一般電話、携帯電話、PHS、自宅、会社、FAX、電話番号なし)のアイコンで検索します。

1 メモリダイヤルの検索方法(☞5-16ページ)から「番号種別検索」を選択し、(OK)を押す

2 で番号種別を選択し、でメモリダイヤルを選択する

3 を押す

▶選択した相手に電話をかけます。

ダイヤルボタンに割り当てられた文字から呼び出す(時短検索)

ヨミの先頭の文字が割り当てられているダイヤルボタンを長く(約1秒以上)押して、検索を行います。五十音順または発信頻度順に並べて表示します。

ダイヤルボタン	ヨミの先頭の文字
1	ア行、1
2	カ行、ガ行、A、a、B、b、C、c、2
3	サ行、ザ行、D、d、E、e、F、f、3
4	タ行、ダ行、G、g、H、h、I、i、4
5	ナ行、J、j、K、k、L、l、5
6	ハ行、バ行、パ行、M、m、N、n、O、o、6
7	マ行、P、p、Q、q、R、r、S、s、7
8	ヤ行、T、t、U、u、V、v、8
9	ラ行、W、w、X、x、Y、y、Z、z、9
0	ワ行、0
#	記号、ヨミが登録されていないメモリダイヤル

待受画面で0～9、#のいずれかを長く(約1秒以上)押す

▶指定した文字で始まるヨミを持つメモリダイヤルが表示されます。

- (**切替**)を押すと、発信した頻度が高い順に表示されます。もう一度(**切替**)を押すと、五十音順に表示されます。
- ヨミの先頭の文字が異なるメモリダイヤルを表示するときは、を押します。
- 発信頻度データをリセットするには、発信頻度順に表示されているときに(**メニュー**)を押して「発信頻度リセット」を選択します。暗証番号入力画面が表示され、正しく操作用暗証番号が入力されると、リセットするかどうかを確認する画面が表示されます。「YES」を選択するとリセットされます。

■スピードダイヤルから電話をかける

メモリNo.000～099に登録されているメモリダイヤルは、下1桁または下2桁のメモリNo.を入力するだけで電話をかけられます。

1 待受画面でメモリNo.を押す

2 を押す

補足
- 該当するメモリダイヤルの「電話番号1」と「電話番号2」の両方に電話番号が登録されている場合は「電話番号1」にかかります。
- 該当するメモリダイヤルが見つからないときや、シークレットモードが「OFF」に設定されているときにシークレットメモリとして登録されているメモリダイヤルのメモリNo.を指定したときは、警告メッセージが表示されます。

■メモリダイヤルの登録内容をコピーする

メモリダイヤルの内容を文字入力に引用する

メモリダイヤルに登録されている電話番号、メールアドレス、住所などの内容を、文字入力中に引用することができます。文字入力場面によっては引用できない場合があります。

1 文字入力画面で、(メニュー)を押す

2 「引用」を選択し、(OK)を押す

3 「メモリダイヤル」を選択し、(OK)を押す

4 メモリダイヤルを選択する

5 引用したい項目を選択し、(OK)を押す

プロフィールを登録する

自分のプロフィールを登録します。登録した内容は、「自分の電話番号とプロフィールを確認」(☞2-22ページ)でいつでも表示できます。
登録できる項目は次のとおりです。

項　目	登録内容
自局電話番号	(編集不可)
自局Eメールアドレス	半角英数字60文字まで
名前	全角12文字(半角24文字)まで
ヨミ	半角24文字まで
誕生日	年月日
血液型	A型/B型/O型/AB型/?型
私の画像	静止画像/動画/画像表示なし
電話番号1	24桁、6種類の番号種別
Eメールアドレス1	半角英数字60文字まで、6種類のE-mail種別
自宅住所	全角64字(半角128字)まで
会社名	全角16字(半角32字)まで
電話番号2	24桁、6種類の番号種別
Eメールアドレス2	半角英数字60文字まで、6種類のE-mail種別
会社住所	全角64字(半角128字)まで
所属先名	全角40字(半角80字)まで

1 「プロフィール」を呼び出す

呼び出し方:待受画面→◉→「設定」→「プロフィール」
▶ プロフィール画面が表示されます。

- 待受画面→◉→「アドレス帳」→「プロフィール」でもプロフィールを呼び出せます。

2 ◉(編集)を押す

3 操作用暗証番号を入力する

- 入力した番号は、ディスプレイ上では「¥」で表示されます。
- 入力途中で修正するときはclearを押します。
- 操作用暗証番号が一致しない場合は、警告メッセージが表示されます。

4 各項目を選択し、◉(選択)を押す

それぞれの設定を行ってください。

5 設定終了後、◉(保存)を押す

お客様ご自身の携帯電話番号は編集できません。

- プロフィールの内容を消去するときは、操作 ***1*** の画面で✉(**メニュー**)を押して「データクリア」を選択します。暗証番号入力画面が表示され、正しく操作用暗証番号が入力されると、消去するかどうかを確認する画面が表示されます。「YES」を選択すると消去されます。
- プロフィール登録中に着信があっても、編集中のデータは消去されません(☞4-16ページ)。

メモリダイヤルの編集

■ メモリダイヤルの一覧画面と確認画面

メモリダイヤルの検索を行うと、メモリダイヤルの一覧画面が表示されます。
一覧画面で◉(OK)を押すと、選択したメモリダイヤルの確認画面が表示されます。
一覧画面や確認画面で✉(メニュー)を押すと、メール作成画面を表示したり、メモリダイヤルを消去したりするなど、いろいろな機能を呼び出せます。

一覧画面のサブメニューについて

1 待受画面で◯を押す

▶ メモリダイヤルの一覧画面が表示されます。

- 必要に応じて、検索メニューから検索方法を選んでメモリダイヤルを検索してください(☞5-16ページ)。

メモリダイヤルの一覧画面

2 メモリダイヤルを選択し、✉(メニュー)を押す

3 各項目を選択し、◉(OK)を押す

それぞれの操作を行ってください。

項　目	概　要	参照ページ
新規登録	メモリダイヤルを新規登録します。	5-3
メール作成※1	選択したメモリダイヤルの電話番号またはE-mailアドレスを送信先にしてメールを作成します。	Vodafone live!編
赤外線送信※1	選択したメモリダイヤルを赤外線で送信します。	11-3
データフォルダに保存※1	選択したメモリダイヤルをデータフォルダに保存します。	10-17
グループ編集※1	グループの設定を行います。	5-14
文字サイズ設定	文字入力画面に表示される文字の大きさを4段階に切り替えます。	－
メモリダイヤル消去	メモリダイヤルを消去します。	5-26
プッシュトーン一括送信※2	プッシュトーンを一括して送信します。	13-11
発信頻度リセット※3	時短検索(☞5-20ページ)の頻度の積算をリセットします。	－

※1　待ち受け中のみ表示されます。
※2　通話中のみ選択できます。
※3　時短検索(頻度順)の一覧画面でのみ表示されます。

確認画面のサブメニューについて

1 待受画面で◯を押す

▶ メモリダイヤルの一覧画面が表示されます。

- 必要に応じて、検索メニューから検索方法を選んでメモリダイヤルを検索してください(☞5-16ページ)。

2 メモリダイヤルを選択し、◉(OK)を押す

▶ メモリダイヤルの確認画面が表示されます。

メモリダイヤルの確認画面

3 ✉(メニュー)を押す

4 各項目を選択し、◉(OK)を押す

それぞれの操作を行ってください。

項　目	概　要	参照ページ
184付加	自局電話番号を通知しないで電話をかけます。	－
186付加	自局電話番号を通知して電話をかけます。	－
国際発信	電話番号の前に設定された国際コードを付けて電話をかけます。	13-16
メール作成※1	選択したメモリダイヤルの電話番号またはE-mailアドレスを送信先にしてメールを作成します。	Vodafone live!編
赤外線送信※1	表示中のデータを赤外線で送信します。	11-3
データフォルダに保存※1	表示中のデータをデータフォルダに保存します。	10-17
メモリダイヤル消去	表示中のメモリダイヤルを消去します。	5-26
プッシュトーン一括送信※2	プッシュトーンを一括して送信します。	13-11

※1　待ち受け中のみ表示されます。
※2　通話中のみ選択できます。

■ メモリダイヤルを修正する

登録済みのメモリダイヤルを呼び出して、各項目を修正します。修正した内容を別のメモリNo.に登録することもできます。

1 **待受画面でを押す**

- 必要に応じて、検索メニューから検索方法を選んでメモリダイヤルを検索してください（☞5-16ページ）。

2 **メモリダイヤルを選択し、(OK)を押す**

3 **(編集)を押す**

4 **修正する項目を選択し、(選択)を押す**

5 **内容を修正し、(OK)を押す**

- 複数の項目を修正する場合は、操作**4**～**5**を繰り返してください。

6 **(保存)を押す**

7 **「YES」または「NO」を選択し、(OK)を押す**

「YES」：修正前のメモリNo.に上書きして登録します。
「NO」　：修正前のメモリダイヤルを残し、修正後の内容を別のメモリNo.に登録します。最小の空き番号が表示されるので(**OK**)を押すか、別のメモリNo.を入力してください。

名前を修正した場合は、そのヨミも確認・修正してください。

■ メモリダイヤルを消去する

一覧画面のサブメニューからは1件消去、選択消去と全件消去が、確認画面のサブメニューからは1件消去ができます。

一覧画面から消去する

1件または全件消去する場合

1 **一覧画面のサブメニュー（☞5-24ページ）から「メモリダイヤル消去」を選択し、(OK)を押す**

2 **「1件消去」または「全件消去」を選択し、(OK)を押す**

「1件消去」：選択したメモリダイヤルのみ消去します。
「全件消去」：すべてのメモリダイヤルを消去します。操作用暗証番号を入力してください。

- 「全件消去」を選択した場合、シークレットで登録したメモリダイヤルがあるときは、さらに消去の対象を「シークレットデータ」、「通常データ」から選択します。

3 **「YES」を選択し、(OK)を押す**

複数選択して消去する場合

1 **一覧画面のサブメニュー（☞5-24ページ）から「メモリダイヤル消去」を選択し、(OK)を押す**

2 **「選択消去」を選択し、(OK)を押す**

3 **消去するメモリダイヤルを選択し、(選択)を押す**

▶選択したメモリダイヤルにチェックマークが付きます。

- 複数選択する場合は、この操作を繰り返してください。
- (**解除**)を押すと、選択が解除されます。
- (**選択／解除**)を長く（約1秒以上）押すと、全件選択／全件解除できます。
- メモリダイヤルの内容を確認するときは、確認するメモリダイヤルを選択して(**確認**)を押します。

4 **(実行)を押す**

- シークレットで登録したメモリダイヤルがあるときは、さらに消去の対象を「シークレットデータ」、「通常データ」から選択します。

5 **「YES」を選択し、(OK)を押す**

確認画面から消去する

1 **確認画面のサブメニュー（☞5-25ページ）から「メモリダイヤル消去」を選択し、(OK)を押す**

2 **「YES」を選択し、(OK)を押す**

カメラ

PictBridge

カメラをご利用になる前に

■ カメラ利用時のご注意

画質などについて知っておいてください

●V401SAのディスプレイの最大表示色は6.5万色です。

●カメラの画素数は130万画素です。

撮影前にレンズカバーをきれいにしておいてください

●レンズカバーに指紋や油脂がつくと、ピントが合わなくなります。撮影前にやわらかい布で拭いてください。

内蔵カメラはCMOSを使用しています

カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や暗く見える画素もありますのでご了承ください。

V401SAを暖かい場所に長時間置いたあとに撮影したり静止画や動画を保存したときは、画質が劣化する場合があります。

■ 撮影時のご注意

●撮影するときに手ぶれでV401SAが動くと、画像がぶれる原因となります。V401SAが動かないようしっかり持って撮影するか、固定してセルフタイマー（☞6-15ページ）で撮影してください。

●被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッターを押してください。カメラを動かしながらシャッターを押すと、正常に撮影できない場合があります。

●被写体の明るさによって、画像に縞模様が映る場合があります。撮影時に明るさ調整（☞6-12ページ）である程度補正することは可能ですが、完全に補正することはできませんのであらかじめご了承ください。

●撮影するときは、被写体との距離を通常で30cm以上、接写時で約10cm程度とってください。

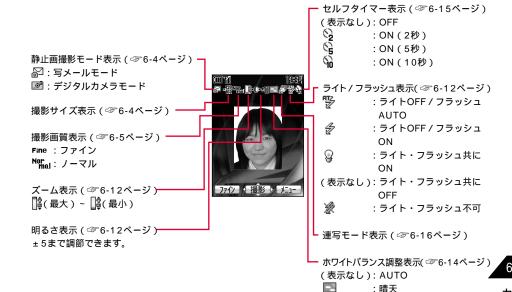
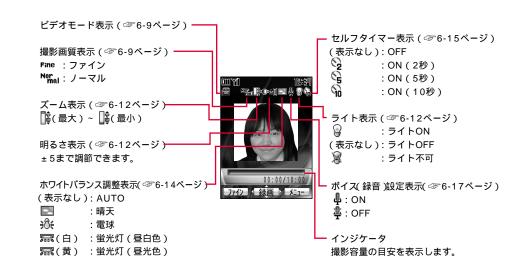
●撮影するときは、カメラに指やストラップなどがかからないように注意してください。

●マナーモード中でもシャッター音は鳴ります。音量は変更できません。

●フラッシュを目の前で発光させないように注意してください。視力障害を引き起こす原因となります。

※フラッシュは、暗い場所などでの撮影を補助するもので、通常のカメラのストロボのような光量はありません。

●スポットライトを目に近づけて点灯させないでください。また、スポットライトの点灯中は発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障害を引き起こす原因となります。

■ 静止画撮影時のディスプレイ表示

■ 動画撮影時のディスプレイ表示

静止画の撮影

内蔵のカメラで静止画を撮影します。撮影した静止画は編集したり、データフォルダに保存したり、メールに添付したりできます。また、12枚の静止画を連続して撮影することもできます(☞6-16ページ)。
フラッシュやセルフタイマーを使った撮影など、撮影時の便利な機能については6-11ページを参照してください。

■ 静止画撮影モード

静止画の撮影には2種類の撮影モードと5種類の撮影サイズがあります。用途によって使い分けてください。

撮影モード	撮影サイズ	データサイズ	主な用途
写メールモード	QQVGA (120×160)	ノーマル5KB以内 ファイン約10KB	写メールを送信するのに適しています。
	QVGA (240×320)	ノーマル約20KB ファイン約40KB	V401SAの壁紙に適しています。
デジタルカメラモード	VGA (480×640)	ノーマル約50KB ファイン約150KB	パソコンで加工したり印刷したりするときに利用します。
	XGA (768×1024)	ノーマル約100KB ファイン約300KB	
	SXGA (960×1280)	ノーマル約150KB ファイン約400KB	

■ 静止画を撮影する

1 本体を開く

- 本体が閉じた状態では、撮影できません。

2 「カメラ」を呼び出す

呼び出し方:待受画面→◉→「カメラ」

- 待受画面で[カメラキー]を押すと、静止画の撮影画面が表示され、撮影サイズ、撮影モードは自動的に前回と同様に設定されます。必要に応じて変更してください(☞6-11ページ)。

3 「写メールモード」または「デジタルカメラモード」を選択し、◉(OK)を押す

▶ 起動中画面が表示されたあと、撮影画面が表示されます。

静止画の撮影画面

4 必要に応じて撮影サイズを切り替える

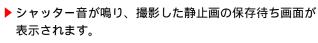
- 撮影サイズの切り替えについては6-11ページを参照してください。

5 必要に応じて撮影画質を切り替える

◎(**ファイン/ノーマル**)を押します。

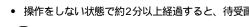
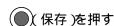
- ◎(**ファイン**)を押すと「ファイン」に、◎(**ノーマル**)を押すと「ノーマル」に切り替わります。
- 「ファイン」に設定すると、ファイルサイズが大きくなり、保存できる数が少なくなります。
- カメラ機能を終了しても、撮影画質の設定は記憶されます。

6 ディスプレイを見ながら撮影範囲を決めて、◉(撮影)または[サイドキー](サイドキー)を押す

▶ シャッター音が鳴り、撮影した静止画の保存待ち画面が表示されます。

- 写メールモードで撮影サイズ120×160のときは、[0]を押すと表示を2倍のサイズに切り替えることができます。もう一度押すと元に戻ります。
- 撮影時の機能については6-7ページを参照してください。

- 操作をしない状態で約2分以上経過すると、待受画面に戻ります。

保存待ち画面

7 ◉(保存)を押す

▶ 撮影した静止画は、写メールモードの場合はデータフォルダに、デジタルカメラモードの場合はデジタルカメラフォルダに保存されます。

- 撮影した静止画を消去して撮影し直すときは、[clear]を押します。
- 撮影した静止画を保存する前にいろいろな編集を行えます(☞6-8ページ)。
- 操作をしない状態で約2分経過すると、撮影した静止画を自動的に保存して待受画面に戻ります。
- 保存先の空き容量がないときは、警告メッセージが表示されます。不要なファイルを消去してください(☞10-21ページ)。

8 カメラ機能を終了するときは☎を押す

- 通話中はカメラ機能をご利用になれません。
- 撮影中に電話がかかってきたときは、カメラ機能が停止して着信画面が表示されます。通話終了後、カメラ起動画面に戻り操作を続けられます。

撮影した静止画をメールで送る

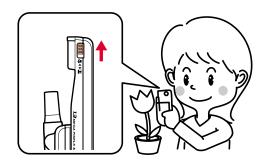
写メールモードで撮影した静止画は、すぐにメールに添付して送信できます。

撮影した静止画の保存待ち画面で◎(写メール)を押す

▶ 静止画がデータフォルダに保存され、メール新規作成画面が表示されます。以降の操作はVodafone live!編を参照してください。

デジタルカメラモードで撮影した静止画をパソコンなどV401SA以外の機器で確認／プリントしたときは、左に90度回転した横長の静止画となります。

■ 近くのものを撮影する(接写)

10cmぐらいのごく近い距離を撮影するときは、[000](接写切り替えスイッチ)を🌷の方にスライドさせるとピントを合わせて撮影できます。

以降の操作は「静止画を撮影する」(☞6-4ページ)を参照してください。

接写切り替えスイッチの位置は、ディスプレイには表示されません。撮影後には必ず接写切り替えスイッチの位置を戻してください。

■ 静止画撮影で利用できる機能

静止画を撮影するときに、さまざまな設定や操作ができます。

機能	概要	写メールモード	デジタルカメラモード	参照ページ
ズーム	ズームを設定します。	○	○※1	6-12
明るさ	明るさを調整します。	○	○	6-12
ライト／フラッシュ	撮影時のフラッシュおよび撮影前に点灯するスポットライトを設定します。	○※2	○	6-12
撮影モード	撮影モードを切り替えます。	○	○	6-11
撮影サイズ	撮影サイズを切り替えます。	○	○	6-11
フレーム	画像にフレーム(枠)を付けて撮影します。	○	×	6-13
特殊効果	画像の色調を変えたり効果を加えます。	○	○	6-13
ホワイトバランス	ホワイトバランスを調整します。	○	○	6-14
日付スタンプ	写し込む日時の形式を設定します。	○	×	6-14
セルフタイマー	セルフタイマーを使って撮影します。	○	○	6-15
連写モード	静止画を連続して撮影します。	○	×	6-16
シャッター音	撮影時のシャッター音を設定します。	○※3	○	6-17
メモリ確認	メモリの使用状況を確認します。	○	○	－
情報表示	撮影時の各種アイコンのON(表示)／OFF(非表示)を切り替えます。	○	○	－
データ確認	データフォルダまたはデジタルカメラフォルダの内容を確認します。	○※4	○※4	－

※1 デジタルカメラモード960×1280(SXGA)の撮影時はズーム機能は使用できません。
※2 連写モードのときは、ライトのみの設定となります。
※3 連写モードのときは設定できません。
※4 データフォルダまたはデジタルカメラフォルダにデータがある場合のみ選択できます。

■ 静止画撮影後に利用できる機能

撮影した静止画を保存する前にいろいろな編集ができます。ただし、デジタルカメラモードで撮影した静止画、連写モードでは編集できません。

1 保存待ち画面で（メニュー）を押す

2 各項目を選択し、（OK）を押す

それぞれの設定を行ってください。

項　目	概　要	参照ページ
フレーム	撮影した静止画にフレーム（枠）を付けます。	10-9
特殊効果	撮影した静止画の色調を変えたり効果を加えます。	10-10
マーカースタンプ	撮影した静止画の上にマークなどを貼り付けます。	10-10
日付スタンプ	撮影した静止画に写し込む日時の形式を設定します。	6-14
テキスト	撮影した静止画の上にメッセージなどを書き込みます。	10-11
編集一括キャンセル	撮影後に行った編集を撮影直後の内容に戻します。	－
ファイル名編集	撮影した静止画のファイル名を変更します。	－
撮り直し	撮影し直します。撮影した静止画は消去されます。	－

動画の撮影

動画を撮影します。撮影した動画は、データフォルダに保存したり、着信時の呼び出し画面に設定したりできます。
スポットライトを使った撮影など、撮影時の便利な機能については次ページを参照してください。

■ 動画撮影モード

動画の撮影には「ノーマル」「ファイン」の2種類の撮影画質があります。
用途によって使い分けてください。

撮影画質	撮影サイズ	最大録画時間
ノーマル	176×144	10分
ファイン	176×144	2分30秒

■ 動画を撮影する

1 本体を開く

- 本体が閉じた状態では、撮影できません。

2 待受画面でを長く（約1秒以上）押す

▶ビデオ録画中に着信を受けるか確認のメッセージが表示されます。

- 待受画面→→「カメラ」→「ビデオモード」、またはカメラ起動中にを押しても、ビデオモードになります。

3 「YES」または「NO」を選択し（OK）を押す

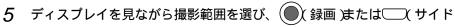
「YES」：撮影中に電話がかかってきたときは、それまで撮影したデータを保存して、着信画面が表示されます。通話終了後、元の画面に戻り操作を続けられます。
「NO」　：オフラインモード（☞3-5ページ）になります。

▶起動中画面が表示されたあと、撮影画面が表示されます。

動画の撮影画面

4 必要に応じて撮影画質を切り替える

（**ファイン／ノーマル**）を押します。

- （**ファイン**）を押すと「ファイン」に、（**ノーマル**）を押すと「ノーマル」に切り替わります。
- 「ファイン」に設定すると、ファイルサイズが大きくなり、最大録画時間が少なくなります。
- カメラ機能を終了しても、撮影画質の設定は記憶されます。

5 **ディスプレイを見ながら撮影範囲を選び、◎（録画）または▭（サイドキー）を押す**

▶開始音が鳴り、撮影が始まります。

- ▭を押すと表示を1.5倍のサイズに切り替えることができます。もう一度押すと元に戻ります。
- 撮影時の機能については下記を参照してください。
- 撮影を一時停止する場合は◎（**中断**）を押します。◎（**再開**）を押すと撮影を再開します。
- 操作をしない状態で約2分以上経過すると、待受画面に戻ります。

6 **◎（停止）を押す**

▶終了音が鳴り、撮影を終了しデータを保存します。

7 **カメラ機能を終了するときは☎を押す**

■ 動画撮影で利用できる機能

撮影するときにいろいろな設定ができます。

機　能	概　要	参照ページ
ズーム	ズームを設定します。	6-12
明るさ	明るさを調整します。	6-12
ライト	ライトのON／OFFを設定します。	6-12
撮影モード	撮影モードを切り替えます。	6-11
特殊効果	画像の色調を変えたり効果を加えます。	6-13
ホワイトバランス	ホワイトバランスを調整します。	6-14
セルフタイマー	セルフタイマーを使って撮影します。	6-15
ボイス	撮影時の音声録音のON／OFFを設定します。	6-17
シャッター音	撮影時のシャッター音を設定します。	6-17
メモリ確認	メモリの使用状況を確認します。	－
情報表示	撮影時の各種アイコンのON（表示）／OFF（非表示）を切り替えます。	－
データ確認	データフォルダの内容を確認します。※	－

※ データフォルダにデータがある場合のみ選択できます。

便利なカメラ機能

■ 撮影モードを切り替える

1 **撮影画面で✉（メニュー）を押す**

2 **「撮影モード」を選択し、◎（OK）を押す**

3 **撮影モードを選択し、◎（設定）を押す**

補足　カメラ機能を終了しても、設定は記憶されています。

■ 撮影サイズを切り替える

1 **撮影画面で✉（メニュー）を押す**

2 **「撮影サイズ」を選択し、◎（OK）を押す**

3 **撮影サイズを選択し、◎（設定）を押す**

注意　ビデオモードのときはご利用できません。

補足　カメラ機能を終了しても、設定は記憶されています。

■ ズームを使う

ズームはQQVGA(120×160)サイズで26段階、QVGA(240×320)サイズで22段階、VGA(480×640)サイズで11段階、XGA(768×1024)サイズ、ビデオモードで7段階の調整ができます。
ズームの最大値は、静止画QQVGA(120×160)サイズで8倍、QVGA(240×320)サイズで4倍、VGA(480×640)サイズで2倍、XGA(768×1024)サイズで1.25倍、ビデオモードで5.4倍となります。
静止画SXGA(960×1280)サイズではズーム機能は使用できません。

撮影画面でまたはを押す

- を押すとズームインし、を押すとズームアウトします。
- ディスプレイには設定したズームがアイコンで表示されます(☞6-3ページ)。

■ 明るさ調整

明るさは－5～＋5までの11段階の調整ができます。
カメラ起動時は「0」に設定されています。

撮影画面でまたはを押す

で－(暗く)、で＋(明るく)なります。

■ ライト／フラッシュを設定する

カメラ起動時は「ライト：OFF／フラッシュ：AUTO」、連写モード、ビデオモード時は「ライト：OFF」に設定されています。

撮影画面でを押す

を押すたびにライト／フラッシュの設定が切り替わります。

→OFF／AUTO→OFF／ON→ON／ON→OFF／OFF

- 連写モード、ビデオモード時はライトの「ON」、「OFF」が切り替わります。
- ディスプレイには設定したライト／フラッシュがアイコンで表示されます(☞6-3ページ)。

撮影場所の気温が極端に低いときは、ライト／フラッシュを使用できない場合があります。その場合は「」または「」が表示されます。また、電池レベル表示がのときも「」または「」が表示され、ライト／フラッシュを使用できません。

■ フレームを付けて撮影する

画像にフレームを付けて撮影します。撮影サイズに合わせて120×160、240×320用のフレームから選択します。データフォルダに保存されたフレームデータからも選択できます。

1 撮影画面で(メニュー)を押す

2 「フレーム」を選択し、(OK)を押す

3 フレームの種類を選択する

- (**確認**)を押すと、選択したフレームを拡大して表示します。を押すと前／次のフレームに切り替わります。
- (**解除**)を押すと、フレームを解除できます。
- データフォルダに保存されているフレームデータには、撮影時のフレームとして使用できないものがあります。
- 撮影後にフレームを変更することもできます(☞6-8ページ)。

4 (選択)を押す

デジタルカメラモード、ビデオモードのときはご利用できません。

■ 特殊効果を設定する

特殊効果は「セピア」、「モノクロ」、「ネガ」、「ポスター」から選択します。

1 撮影画面で(メニュー)を押す

2 「特殊効果」を選択し、(OK)を押す

3 効果を選択する

「セピア」　：セピア色(古い写真のような色調)にします。
「モノクロ」：色を付けずに単色にします。
「ネガ」　　：画像の階調を反転し、ネガにします。
「ポスター」：画像の色の諧調数を減らします。

- (**確認**)を押すと、選択した効果を設定して表示します。を押すと前／次の効果に切り替わります。
- (**解除**)を押すと、特殊効果の設定を解除できます。

4 (選択)を押す

■ ホワイトバランスを設定する

撮影する場所や状況に応じて、AUTO(自動調整)、晴天、電球、蛍光灯(昼白色)、蛍光灯(昼光色)の5つのモードから選択できます。
カメラ起動時は「AUTO」に設定されています。

1 撮影画面で(メニュー)を押す

2 「ホワイトバランス」を選択し、(OK)を押す

3 モードを選択し、(設定)を押す

ホワイトバランスとは

撮影する場所の明るさや状況の違い(例えば、屋内の照明や蛍光灯の下で撮影する場合と屋外の太陽光の下で撮影する場合など)によって、画像の色合いが実際の色合いとは異なって撮影される場合があります。そのような場合に「ホワイトバランス」で色合いを調整できます。

6 カメラ

■ 日付スタンプを設定する

静止画に写し込む日時の形式を設定します。
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

1 撮影画面で(メニュー)を押す

2 「日付スタンプ」を選択し、(OK)を押す

3 日付の形式を選択し、(設定)を押す

- 撮影後に日付スタンプの形式を変更することもできます(☞6-8ページ)。

デジタルカメラモード、ビデオモードのときはご利用できません。

カメラ機能を終了しても、設定は記憶されています。

■ セルフタイマーを使う

2、5、10秒間のセルフタイマーを使って撮影します。

1 撮影画面で(メニュー)を押す

2 「セルフタイマー」を選択し、(OK)を押す

3 時間を選択し、(設定)を押す

▶ディスプレイに「」(または「」、「」)が表示されます。

- セルフタイマーを解除するときは「OFF」を選択します。「」は消灯します。

4 ディスプレイを見ながら撮影範囲を選び、(開始)を押す

▶カウントダウンの確認音が鳴ったあとシャッター音が鳴り、撮影が完了します。

- 撮影を中止するときはclearまたは(**中止**)を押します。
- カウントダウン中にも、ズーム(☞6-12ページ)、明るさの調整(☞6-12ページ)、ライトやフラッシュの設定(☞6-12ページ)をすることができます。
- カウントダウン中に(**撮影**)を押して撮影することができます。

5 (保存)を押す

▶撮影を終了しデータを保存します。

6 カメラ

■ 連写モードで撮影する

写メールモードでは、静止画を12枚連続して撮影できます。撮影後は12枚それぞれが保存されるほか、12分割の一覧画像としても保存されます。

1 **撮影画面で（メニュー）を押す**

2 **「連写モード」を選択し、（OK）を押す**

3 **連写速度を選択し、（OK）を押す**

▶ディスプレイに「」が表示されます。

- 連写モードの撮影を解除するときは「OFF」を選択します。

4 **ディスプレイを見ながら撮影範囲を選び、（撮影）または（サイドキー）を押す**

▶連続して12枚の静止画が撮影されます。シャッター音は1枚ごとに鳴ります。

- 連写モードの撮影を途中で中止するときは（**停止**）を押します。
- 撮影後は、12分割の一覧画像が表示されます。を押すと、撮影した画像が順に表示されます。

5 **（保存）を押す**

▶撮影した12枚の静止画と、12分割の一覧画像がデータフォルダに保存されます。

- （**写メール**）を押すと静止画と12分割の一覧画像がデータフォルダに保存され、メールの宛先選択画面が表示されます。添付されるのはそのとき表示していたファイルのみです。以降の操作はVodafone live!編を参照してください。

デジタルカメラモードのときは連写モード撮影はできません。

撮影した12枚の静止画を使ってアニメーションを作成することができます(☞10-25ページ)。

■ シャッター音を設定する

撮影時のシャッター音を設定します。静止画撮影の場合は「カシャ」、「オルゴール」、「撮りますよ！カシャ」の中から、動画撮影の場合は「ピピッ」、「オルゴール」、「スタート／オーケー」の中から選択します。
お買い上げ時は「カシャ」(静止画)、「ピピッ」(動画)に設定されています。

1 **撮影画面で（メニュー）を押す**

2 **「シャッター音」を選択し、（OK）を押す**

3 **シャッター音を選択し、（設定）を押す**

- （**再生**）を押すと、選択したシャッター音が再生されます。
- マナーモード中でもシャッター音は鳴ります。シャッター音の音量は変更できません。
- 連写モードはシャッター音を変更できません。

■ 録音の設定をする

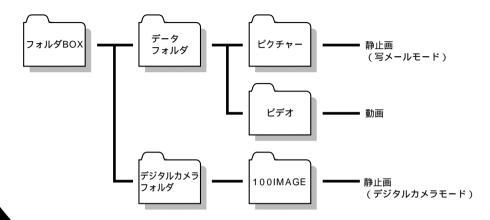
動画撮影時の音声録音のON／OFFを設定します。
カメラ起動時は「ON」に設定されています。

1 **撮影画面で（メニュー）を押す**

2 **「ボイス」を選択し、（OK）を押す**

3 **「ON」または「OFF」を選択し、（設定）を押す**

撮影した画像の確認

V401SAで撮影して保存した画像を確認します。
保存されているフォルダは以下のとおりです。

1 「フォルダBOX」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「フォルダBOX」

2 確認したい画像が保存されているフォルダを呼び出す

呼び出し方
静止画（写メールモード）：「データフォルダ」→「ピクチャー」
静止画（デジタルカメラモード）：「デジタルカメラフォルダ」→「100IMAGE」
動画：「データフォルダ」→「ビデオ」
▶ 画像の一覧画面が表示されます。

一覧画面

3 確認したい画像を選択し、◎（確認）を押す

▶ 画像の確認画面が表示されます。
- 動画の場合は、◎（**再生**）を押してください。

確認画面

一覧画面／確認画面で使用する機能

1 一覧画面／確認画面で✉（メニュー）を押す

2 各項目を選択し、◎（OK）を押す

それぞれの操作を行ってください。

一覧画面の場合

項　目	概　要	静止画（写メールモード）	静止画（デジタルカメラモード）	動　画	参照ページ
メール添付	選択した画像を添付ファイルとしてメールを新規作成します。	○	○	×	6-21
フォルダ作成	新しいフォルダを作成します。	○	×	○	10-20
赤外線送信	選択した画像を赤外線で送信します。	○	○	×	11-3
データフォルダ登録	サムネイル画像またはリサイズした画像をデータフォルダに登録します。	×	○	×	6-20
プロパティ	選択した画像の詳細情報を表示します。	○	○	○	–
ファイル名変更	選択した画像のファイル名を変更します。	○	×	○	10-20
ファイル形式変更	選択した画像のファイル形式を変更します。	○	×	×	10-12
連続表示	フォルダ内の画像を順番に表示します。	○	○	×	10-6
画像結合	選択した120×160サイズの画像4つを1つに結合します。	○	×	×	10-28
表示切替	サムネイル表示とリスト表示を切り替えます。	○	○	○	10-6
ソート	ファイルの表示順を並び替えます。	○	×	○	10-7
カレンダー登録	選択した画像をカレンダーに登録します。	○	○	○	10-24
ファイルコピー	選択した画像をメモリに保存します。	○	×	○	10-23
ファイルペースト	メモリに保存した画像をペースト（貼り付け）します。	○	×	○	10-23
フォルダ移動	選択した画像を別のフォルダに移動します。	○	×	○	10-22
消去	選択した画像を消去します。	○	○	○	10-21

確認画面の場合

項　目	概　要	静止画(写メールモード)	静止画(デジタルカメラモード)	動　画	参照ページ
メール添付	表示中の画像を添付ファイルとしてメールを新規作成します。	○	○	×	6-21
赤外線送信	表示中の画像を赤外線で送信します。	○	○	×	11-3
データフォルダ登録	サムネイル画像またはリサイズした画像をデータフォルダに登録します。	×	○	×	下記
プロパティ	表示中の画像の詳細情報を表示します。	○	○	○	−
画像編集	表示中の静止画を編集します。	○	×	×	10-8
ビデオ編集	表示中の動画を編集します。	×	×	○	10-13
ズームUP再生	サイズが250×330以上ある静止画を拡大、縮小表示します。	○	○	×	10-6
画像結合	選択した静止画4つを1つの画像に結合します。	○	×	×	10-28
アニメ作成	選択した静止画からアニメーションを作成します。	○	×	×	10-25
カレンダー登録	表示中の画像をカレンダーに登録します。	○	○	○	10-24
消去	表示中の画像を消去します。	○	○	○	10-21

デジタルカメラモードで撮影した画像をデータフォルダに登録する

デジタルカメラモードで撮影した画像をサムネイル(縮小)画像として、またはリサイズしてデータフォルダに登録することができます。

1 デジタルカメラフォルダの一覧／確認画面で(メニュー)を押す

2 「データフォルダ登録」を選択し、(OK)を押す

3 登録方法を選択し、(OK)を押す

「サムネイル登録」：サムネイル(縮小)画像を登録します。操作 **7** に進みます。
「リサイズ」　　　：画像の縮小／切り取りを行って画像サイズを小さくします。ただし、SXGA(960×1280)より大きいサイズの画像では選択できません。

4 サイズを選択し、(選択)を押す

「QQVGA(120×160)」：横120ドット、縦160ドットの枠が表示されます。
「QVGA(240×320)」　：横240ドット、縦320ドットの枠が表示されます。V401SAのディスプレイと同じ大きさです。
「マニュアル設定」　　：(縮小)または(拡大)を押して枠の大きさを設定します。

5 で画像を移動させて切り取る範囲を指定し、(OK)を押す

- 切り取りサイズと画像サイズが違う場合は、「サイズ変更」が表示されます。(**サイズ変更**)を押すと、画像の縦横比を変えないまま切り取りサイズの縦／横に合わせて拡大／縮小します。(**解除**)を押すと、元のサイズに戻ります。

6 (確定)を押す

7 登録先のフォルダを選択し、(OK)を押す

メール添付

画像を添付したメールを作成します。

1 「フォルダBOX」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→→「フォルダBOX」

2 確認したい画像が保存されているフォルダを呼び出す

呼び出し方
静止画(写メールモード)：「データフォルダ」→「ピクチャー」
静止画(デジタルカメラモード)：「デジタルカメラフォルダ」→「100IMAGE」

- 保存されているフォルダは6-18ページの図を参照してください。

3 メールに添付したい画像を選択し、(メニュー)を押す

- (**確認**)を押すと、選択した画像を確認できます。

4 「メール添付」を選択し、(OK)を押す

▶ 選択した画像が添付された新規メールの作成画面が表示されます。
以降の操作はVodafone live!編を参照してください。

- 静止画のファイルサイズが大きくて添付できないときは、添付できるサイズになるまで画像を加工できます(☞Vodafone live!編)。

静止画のプリント(PictBridgeモード)

V401SAとPictBridge対応プリンタを付属のUSBケーブルでつないで、静止画像をプリントできます。

■ PictBridgeモードについて

PictBridgeとは、デジタルカメラなどのUSB機器とプリンタをつなぐ共通の規格のことです。
PictBridge対応プリンタであればメーカーを問わず直接接続してプリントすることができます。

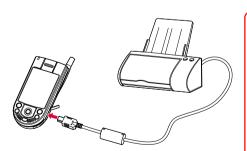
V401SAではプリント時に以下の設定ができます。

- プリント画像のレイアウト(種類についてはプリンタに依存します。)
- 36枚まで画像を選択できます。
- 1画像につき10枚までプリントできます(「インデックスプリント」の場合は一枚固定)。
- 用紙サイズ(種類についてはプリンタに依存します。)
- 日付を付けてプリントできます(種類についてはプリンタに依存します)。

■ PictBridgeモードでプリントする

操作の前に

1 V401SAとプリンタの電源をOFFにして、付属のUSBケーブルでつなぐ

- プリンタの電源ON/OFFの方法、USB端子の位置については、プリンタの説明書を参照してください。

USBケーブルの接続のしかた

USBケーブルを接続するときは、USB端子のキャップを180度回転させてください。キャップを回転させず無理に接続すると破損の原因になります。

2 プリンタの電源をONにし、V401SAの電源をONにする

静止画をプリントする

1 「PictBridgeモード」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「機能＆ツール」→「PictBridgeモード」

▶ PictBridgeのロゴが表示されたあと、レイアウト選択画面が表示されます。

2 レイアウトを選択し、◉(OK)を押す

「スタンダードプリント」：印刷用紙に合わせて画像を1枚ずつプリントします。
「インデックスプリント」：1枚の印刷用紙に複数の画像を一覧でプリントします。
「プリンタ指定」　：プリンタの設定に合わせたレイアウトでプリントします。

- 「インデックスプリント」ができるのは、デジタルカメラフォルダに保存されたデータのみです。

3 プリントする画像を選択し、◉(選択)を押す

- 36枚まで画像を選択できます。
- ◉(解除)を押すと、選択を解除します。
- ✉(確認)を押すと、選択した画像を確認できます。

4 ◯(完了)を押す

▶ 印刷枚数設定画面が表示されます。

5 1～10まで印刷枚数を入力し、◉(OK)を押す

▶ 印刷サイズ設定画面が表示されます。

6 印刷サイズを選択し、◉(OK)を押す

「プリンタ指定」：プリンタの設定サイズでプリントします。
「ハガキサイズ」：ハガキサイズでプリントします。
「A4」　：A4サイズでプリントします。
「L判」　：L判サイズでプリントします。

▶ 日付印刷設定画面が表示されます。

7 日付印刷の設定を選択し、◉(OK)を押す

「プリンタ指定」：プリンタの設定に合わせます。
「ON」　：日付をプリントします。
「OFF」　：日付をプリントしません。

▶ 印刷設定が一覧表示されます。

- 日付の形式は「YYYY/MM/DD」です。例えば2004年10月23日の場合は「2004/10/23」と表示されます。

8 設定を確認し、(印刷)を押す

▶ディスプレイに「印刷処理中」が表示されます。

- 印刷設定を変更する場合は、で変更したい項目を選択して(**OK**)を押します。各設定画面が表示されますので、設定を変更してください。
- 選択した画像を確認するときは、(**画像確認**)を押します。
- (**中止**)を押すとプリントを中止できます(動作については、プリンタに依存します)。

- プリントできる静止画ファイルの条件は、次のとおりです。

レイアウト	対応フォーマット		容量
スタンダードプリント	JPEG形式 Exif※1フォーマット	DCF※2サムネイルデータ付	1MB以下
		DCFサムネイルデータなし	100KB以下
インデックスプリント	JPEG形式 Exifフォーマット	DCFサムネイルデータ付	1MB以下

※1「Exchangeable Image File Format」の略称で、画像以外の情報をファイル内に記録できる画像ファイル規格です。
※2「Design rule for Camera File system」の略称で、画像ファイルなどを関連機器間で簡単に利用しあえる環境を整えることを目的とした規格です。

- 著作権保護されたデータはプリントできません。
- プリントできない画像は選択画面に表示されません。
- プリンタ側で対応していない項目は選択ができません。
- PictBridgeモード中の動作については、プリンタの機能などに依存する場合があります。

プリント中またはプリンタと接続中でも、着信動作やアラーム動作はおこなわれます。ただし、操作やプリントとの接続は破棄されます。このとき、待受画面に戻ってもプリント継続中の場合は、設定時間になっても節電状態(☞13-50ページ)にはなりません。

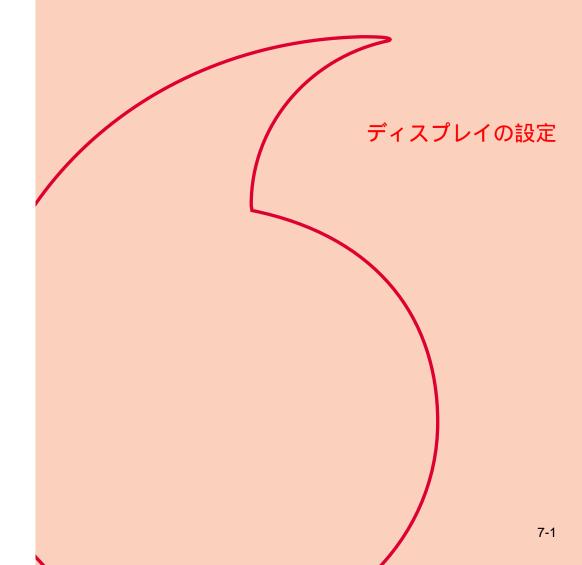
プリントが終わったら

終了確認が表示され、レイアウト選択画面に戻ります。

1 またはclearを押す

2 「YES」を選択し、(OK)を押す

▶「PictBridgeモード終了しました」と表示されます。

3 USBケーブルをはずす

ディスプレイの設定

待受設定

待受画面にお好みのイラストや画像などを表示させます。

■ 待受画面を設定する

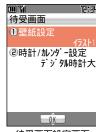
お買い上げ時の壁紙設定は「イラスト1」に、時計／カレンダーは「デジタル時計大」に設定されています。

1 **「待受設定」を呼び出す**

呼び出し方：待受画面→◎→「設定」→「画面設定」→「待受設定」

2 **◎(変更)を押す**

3 **「待受画面」を選択し、◎(OK)を押す**

▶待受画面設定画面が表示されます。

待受画面設定画面

壁紙を設定する(壁紙設定)

1 **待受画面設定画面から「壁紙設定」を選択し、◎(OK)を押す**

2 **画像の種類を選択し、◎(OK)を押す**

「固定データ」：内蔵されているイラストから選びます。また、「画像表示なし」(ただし、「配色設定」(☞7-7ページ)で選択した画像が表示されます)を選択することもできます。

「データフォルダ」：データフォルダに保存されている画像ファイルから選択します。操作**3**に進みます。

「デジタルカメラフォルダ」：デジタルカメラフォルダに保存されている画像ファイルから選択します。操作**3**に進みます。

「ピクチャーセット」：ピクチャーセットを選択します。操作**4**に進みます。

- 「ピクチャーセット」はあらかじめウェブやステーションでピクチャーセットを行わないと、選択できません。

3 **画像ファイルを選択し、◎(OK)を押す**

- 「データフォルダ」／「デジタルカメラフォルダ」を選択した場合は、フォルダを選択してからファイルを選択します。

4 **画像を確認して◎(OK)を押す**

- 画像位置を変更できるときは「◇」が表示されます。◎で位置を調整できます。
- 選択した画像が表示領域より大きい場合／小さい場合は、「サイズ変更」が表示されます。✉(**サイズ変更**)を押すと、画像の縦横比を変えないまま表示領域の縦／横に合わせて拡大／縮小します。✉(**解除**)を押すと、元のサイズに戻ります。
- 他の画像を選択できるときは「✱・#」が表示されます。✱／#を押すと前／次の画像に切り替わります。
- 「ピクチャーセット」を選択した場合は、画像位置や画像サイズを変更することはできません。

ピクチャーセットとは

ピクチャーセットとは、ウェブやステーションで見つけた画像を壁紙に設定することです。ウェブやステーション上の画像が更新されると、壁紙も自動更新されます(ただし、ウェブ上の画像の場合は、更新された情報画像を表示することで壁紙が更新されます)。あらかじめ以下の操作でピクチャーセットを行ってください。

1 **ウェブまたはステーションで壁紙に設定する画像を選択し、◎(選択)を押す**

2 **「ピクチャーセット」を選択し、◎(OK)を押す**

3 **画像を確認して◎(OK)を押す**

▶時計／カレンダーの種類を選択する画面が表示されます。以降の操作は「時計／カレンダーの表示を設定する」(☞下記)の操作**2**からを参照してください。

- 壁紙にピクチャーセットを設定すると、メニューから「待受設定」を呼び出した画面に、「」(ウェブの画像の場合)、「」(ステーションの画像の場合)が表示されます。

時計／カレンダーの表示を設定する(時計／カレンダー設定)

1 **待受画面設定画面から「時計／カレンダー設定」を選択し、◎(OK)を押す**

2 **時計／カレンダーの種類を選択し、◎(OK)を押す**

▶ディスプレイに選択した画面が表示されます。

- ✱、#を押すと、選択表示をメニュー順に切り替えられます。

3 **◎(OK)を押す**

■ 充電中の待受画面を設定する（デスクトップモード）

充電中の待受画面にお好みの画像やカレンダー、時計を表示させます。
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

1 「待受設定」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「設定」→「画面設定」→「待受設定」

2 ◎（変更）を押す

3 「デスクトップモード」を選択し、◎（OK）を押す

4 モードを選択し、◎（OK）を押す

「フォトスタンド」：「固定データ」（内蔵されているイラスト）、データフォルダ／デジタルカメラフォルダに保存されている画像ファイルから選択します。
「卓上時計」：時計を表示します。
「卓上カレンダー」：カレンダーを表示します。
「OFF」：壁紙を設定しません。

5 画像または時計／カレンダーの種類を選択し、◎（OK）を押す

- 「データフォルダ」／「デジタルカメラフォルダ」を選択した場合は、フォルダを選択してからファイルを選択します。
- 「固定データ」、「卓上時計」または「卓上カレンダー」を選択した場合は、[＊]、[#]を押すと、選択表示をメニュー順に切り替えられます。

文字サイズの変更

入力文字、電話番号入力などの文字サイズを設定します。
お買い上げ時は、すべて「普通」に設定されています。

1 「文字サイズ設定」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「設定」→「画面設定」→「文字サイズ設定」

2 ◎（変更）を押す

3 変更したい項目を選択し、◎（OK）を押す

- ◎（**一括設定**）を押すと、すべての項目を同じ文字サイズに設定します。

4 文字サイズを選択し、◎（OK）を押す

▶ 画面下半分に、選択している文字のサイズ見本が表示されます。

マイキャラクタ設定

着信時、電源を入れたとき、電源を切ったときに表示する画像を設定します。
お買い上げ時は次のように設定されています。
着信画像　　：イラスト
電源ON画像 ：ブランドフラッグ
電源OFF画像：ブランドフラッグ

1 「マイキャラクタ」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「画面設定」→「マイキャラクタ」

2 ◉(変更)を押す

3 変更したい項目を選択し、◉(OK)を押す

4 画像の種類を選択し、◉(OK)を押す

「固定データ」(着信画像のみ)：内蔵されているイラストを選びます。また、「画像表示なし」を選択することもできます。操作**5**に進みます。
「ブランドフラッグ」(電源ON／OFF画像のみ)：内蔵されているイラストを選びます。操作**6**に進みます。
「データフォルダ」：データフォルダに保存されている画像ファイルから選択します。操作**5**に進みます。
「デジタルカメラフォルダ」：デジタルカメラフォルダに保存されている画像ファイルから選択します。操作**5**に進みます。

5 画像ファイルを選択し、◉(OK)を押す

- 「データフォルダ」／「デジタルカメラフォルダ」を選択した場合は、フォルダを選択してからファイルを選択します。

6 画像を確認して◉(OK)を押す

- 画像位置を変更できるときは「◇」が表示されます。◎で位置を調整できます。
- 選択した画像が表示領域より大きい場合／小さい場合は、「サイズ変更」が表示されます。✉(**サイズ変更**)を押すと、画像の縦横比を変えないまま表示領域の縦／横に合わせて拡大／縮小します。✉(**解除**)を押すと、元のサイズに戻ります。
- 他の画像を選択できるときは「✱・#」が表示されます。✱／#を押すと前／次の画像に切り替わります。

画面の配色パターン設定(配色設定)

ディスプレイの配色を、3種類の配色パターンから選択します。
お買い上げ時は「標準」に設定されています。

1 「配色設定」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「画面設定」→「配色設定」

2 ◉(変更)を押す

3 配色パターンを選択し、◉(OK)を押す

- 配色パターンを選択するごとに、画面の色が変わり配色を確認できます。

メインメニューの設定

メインメニューの表示を切り替えたり、背景に壁紙を表示したり、機能の並びかたを変えたりできます。

■ メインメニューの表示を切り替える

メインメニューには、アイコン表示とリスト表示があり、切り替えることができます。お買い上げ時はアイコン表示に設定されています。

1 待受画面で◉(メニュー)を押す

▶ メインメニューが表示されます。

2 ✉(メニュー)を押す

3 「切り替え」を選択し、◉(OK)を押す

■ 機能の並びかたを変える

2つの項目を選択し、場所を入れ替えます。メインメニュー(アイコン表示、リスト表示)、Vodafone live!メニューごとに設定することができます。

1 メインメニューまたはVodafone live!メニューを呼び出す

メインメニューの呼び出し方：待受画面→◉
Vodafone live!メニューの呼び出し方：待受画面→◉→「Vodafone live!」

2 ✉(メニュー)を押す

3 「並べ替え」を選択し、◉(OK)を押す

4 項目を選択し、◉(選択)を押す

5 入れ替え先の項目を選択し、◉(変更)を押す

▶ 項目が入れ替わります。

- 複数の項目を入れ替える場合は、操作*4*～*5*を繰り返してください。

6 ◯(保存)を押す

- ✉(リセット)を押すと確認のメッセージが表示され、「YES」を選択し◉(OK)を押すと、お買い上げ時の状態に戻ります。

■ アイコンを作成する

メインメニューに表示されるアイコンを作成します。メインメニュー(アイコン表示、リスト表示)、Vodafone live!メニューごとに設定することができます。
1つのアイコンに対して、カーソルがあたっていないとき、カーソルがあたっているとき、カーソルがあたっているときに最後に表示する画像と、合計3枚の画像を選択します。
メインメニュー(アイコン表示)では、1枚の画像を9等分して9つのアイコンを一括して作成することができます。

1 メインメニューまたはVodafone live!メニューを呼び出す

メインメニューの呼び出し方：待受画面→◉
Vodafone live!メニューの呼び出し方：待受画面→◉→「Vodafone live!」

2 ✉(メニュー)を押す

3 「アイコン作成」を選択し、◉(OK)を押す

4 作成方法を選択し、◉(OK)を押す

「個別作成」：アイコンを1つずつ作成します。
「一括作成」：9つのアイコンを一括して作成します。

- メインメニュー(リスト表示)、Vodafone live!メニューでは、「一括作成」は選択できません。

5 ◉(OK)を押す

6 画像形式を選択し、◉(OK)を押す

「カメラ撮影」：カメラを起動して撮影し、その画像を貼り付けます。撮影モードは自動的に写メールモードになります。撮影のしかたは6-4ページ以降を参照してください。撮影を終えたら、操作*9*に進みます。
「データフォルダ」：データフォルダに保存されている画像ファイルから選択します。操作*7*に進みます。
「デジタルカメラフォルダ」：デジタルカメラフォルダに保存されている画像ファイルから選択します。操作*7*に進みます。

7 フォルダを選択し、◉(OK)を押す

8 画像ファイルを選択し、◉(OK)を押す

9 で位置を調整し、(OK)を押す

- 選択した画像が表示領域より大きい場合／小さい場合は、「サイズ変更」が表示されます。(**サイズ変更**)を押すと、画像の縦横比を変えないまま表示領域の縦／横に合わせて拡大／縮小します。(**解除**)を押すと、元のサイズに戻ります。
- 他の画像を選択できるときは「・」が表示されます。／を押すと前／次の画像に切り替わります。

10 操作 5 ～ 9 を繰り返す

11 よければ、(保存)を押す

▶ 作成したアイコンがデータフォルダのアニメーションフォルダに保存されます。作成したアイコンに変更するかどうか確認の画面が表示されるので、変更する場合は「YES」を選択します。以降の操作は「アイコンを変更する」(☞下記)の操作 **7** を参照してください。

- (確認)を押すと、選択した画像を確認できます。
- で変更したい画像を選択し、(**編集**)を押すと、画像を選択し直せます。「元の画像」を選択すると、選択中の画像が表示されます。

■ アイコンを変更する

メインメニューに表示されるアイコンを変更します。あらかじめアイコンの作成(☞7-9ページ)を行ってください。

1 メインメニューまたはVodafone live!メニューを呼び出す

メインメニューの呼び出し方：待受画面→
Vodafone live!メニューの呼び出し方：待受画面→→「Vodafone live!」

2 (メニュー)を押す

3 「アイコン変更」を選択し、(OK)を押す

4 変更方法を選択し、(OK)を押す

「個別変更」：アイコンを1つずつ変更します。操作 **5** に進みます。
「一括変更」：9つのアイコンを一括して変更します。操作 **5** に進みます。
「リセット」：アイコンをお買い上げ時の画像に戻します。確認のメッセージが表示されるので、「YES」を選択すると、リセットされます。

- メインメニュー(リスト表示)、Vodafone live!メニューでは、「一括変更」は選択できません。

5 フォルダを選択し、(OK)を押す

6 アイコンを選択し、(OK)を押す

- (**再生**)を押すと、選択したアイコンがアニメーション表示されます。

7 アイコンの位置を選択し、(OK)を押す

▶ アイコンが変更されます。

- 「一括変更」を選択したときは、確認のみです。よければ(**OK**)を押してください。
- 「個別変更」を選択したときは、続けて他のアイコンも選択するかどうかを確認するメッセージが表示されます。「YES」または「NO」を選択してください。
- 他の画像を選択できるときは「・」が表示されます。／を押すと前／次の画像に切り替わります。

■ 背景画像をON／OFFする

メインメニュー(アイコン表示)の背景画像の表示をON／OFFします。
お買い上げ時は「ON」に設定されています。

1 メインメニュー(アイコン表示)を呼び出す

呼び出し方：待受画面→

- メインメニューがリスト表示になっているときは、(**メニュー**)を押して「切り替え」を選択します。

2 (メニュー)を押す

3 「背景画像」を選択し、(OK)を押す

4 「OFF」を選択し、(OK)を押す

- 背景画像を表示するときは「ON」を選択します。

背景画像として表示されるのは、壁紙に選択した画像です(☞7-2ページ)。ただし、壁紙にアニメーションを選択した場合は、背景画像は表示されません。

ディスプレイ／ボタンの照明設定

ディスプレイ、ボタン部分の照明の点灯時間を設定します。また、照明の明るさを2段階で設定します。
お買い上げ時は「ディスプレイ＋ボタン」、点灯時間「10秒」、明るさ「標準」に設定されています。

■ 照明の点灯時間を設定する

1 「照明設定」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「設定」→「画面設定」→「照明設定」

2 ◎(変更)を押す

3 「パネル照明」を選択し、◎(OK)を押す

4 「ディスプレイ＋ボタン」または「ディスプレイ」を選択し、◎(OK)を押す

「ディスプレイ＋ボタン」：ディスプレイとボタンの照明を設定します。
「ディスプレイ」　　　　：ディスプレイ照明のみ設定します。

5 点灯時間（05〜99秒）を入力し、◎(OK)を押す

■ 照明の明るさを設定する

1 「照明設定」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「設定」→「画面設定」→「照明設定」

2 ◎(変更)を押す

3 「明るさ」を選択し、◎(OK)を押す

4 「標準」または「暗い」を選択し、◎(OK)を押す

電池／アンテナ表示の設定

電池レベルと電波状態の表示を変更します。
お買い上げ時は、いずれも「パターン1」（▮▮▮、Y.ıl）に設定されています。

1 「電池／アンテナ設定」を呼び出す

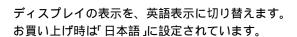
呼び出し方：待受画面→◎→「設定」→「画面設定」→「電池／アンテナ設定」

2 ◎(変更)を押す

3 「電池表示」または「アンテナ表示」を選択し、◎(OK)を押す

4 表示パターンを選択し、◎(OK)を押す

英語表示に切り替える

ディスプレイの表示を、英語表示に切り替えます。
お買い上げ時は「日本語」に設定されています。

1 「Language」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「設定」→「画面設定」→「Language」

2 ◎(変更)を押す

3 「English」を選択し、◎(OK)を押す

▶ 英語表示に設定されます。

日本語表示に戻すときは以下の操作を行ってください。
待受画面→◎→「Settings」→「Display」→「言語選択」→◎(Change)→「日本語」

音の設定

着信音量の設定

着信音の大きさを調節します。
音量はOFF(無音)、LEVEL1〜LEVEL5まで5段階、ステップアップ(LEVEL1→LEVEL5の順で変化)、ステップダウン(LEVEL5→ LEVEL1の順で変化)の8種類があり、7種類の着信種別それぞれについて設定できます。
お買い上げ時は「LEVEL5」に設定されています。

1 「着信設定」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「音設定」→「着信設定」

2 ◉(変更)を押す

3 着信種別を選択し、◉(OK)を押す

- ◎(**一括設定**)を押したあと、「全着信」を選択するとすべての着信音量を、「全メール着信」を選択するとロングメール着信、通常メッセージ着信、速達メッセージ着信、配信レポート着信の着信音量を、一括して設定できます。

4 「🔊」(着信音量)を選択し、◉(OK)を押す

5 ◎で音量を選択し、◉(OK)を押す

- 着信種別が「音声着信」の場合、「OFF」(無音) を選択すると、待受画面に「▭」が表示され、電話がかかってきても着信音は鳴りません。
- 「LEVEL5」(最大)からさらに◎を押すとステップアップ、ステップダウンに設定できます。

8

音の設定

6 ◎(保存)を押す

注意

付属のFMアンテナ付ステレオイヤホンまたは別売のイヤホンマイクを使用している場合は、着信音量を「OFF」(無音)に設定していても、イヤホンから「LEVEL1」の音量で鳴ります。

補足

電話がかかってきたときに◎を押しても、着信音量を調節できます(ただし、マナー設定で着信音量を「OFF」(無音)に設定している場合は調節できません)。

着信パターンの設定

着信呼出の着信音、バイブレータ、鳴動時間、着信ランプのパターンの設定をします。

■ 着信音パターンの設定

着信音を着信種別ごとに、内蔵されている音やメロディ、またはウェブからダウンロードしたメロディファイル(☞Vodafone live!編)などから設定します。
お買い上げ時は、音声着信は「パターン1」、それ以外は「通知音」に設定されています。

1 「着信設定」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「音設定」→「着信設定」

2 ◉(変更)を押す

3 着信種別を選択し、◉(OK)を押す

- ◎(**一括設定**)を押したあと、「全着信」を選択するとすべての着信音を、「全メール着信」を選択するとロングメール着信、通常メッセージ着信、速達メッセージ着信、配信レポート着信の着信音を、一括して設定できます。

4 「♪」(着信音パターン)を選択し、◉(OK)を押す

5 種類を選択し、◉(OK)を押す

「固定データ」　：内蔵されている音やメロディから選択します。操作 ***6*** に進みます。
「データフォルダ」：データフォルダに保存されているメロディファイルから選択します。操作 ***6*** に進みます。
「着信音なし」　：着信音を鳴らしません。操作 ***7*** に進みます。

6 着信音を選択し、◉(OK)を押す

- 「データフォルダ」を選択した場合は、フォルダを選択してからファイルを選択します。
- ◎(**再生**)を押すと、選択した着信音が再生されます。
- 内蔵されている音やメロディについては、次ページの「メロディの曲名」を参照してください。
- 着信種別が「音声着信」以外の場合、「通知音」も選択できます。

7 ◎(保存)を押す

8

音の設定

メロディの曲名

● **パターン音**
パターン1～3

● **固定曲**
Reverie
A Sigh
Dream in the Evening
Beautiful Evening
My Beloved Father
Rhapsody in blue
Ave Maria
Classical Music Medley

● **効果音**
ウェイクアップ
シャットダウン
コスモス
ミラージュ
ネイチャー
あたり
はずれ
黒電話
オルゴール風
おもちゃ箱風
いらっしゃいませ！
よろこんで！
目覚めのメル着
おどけたメル着
まじめなメル着

ウェブから入手したメロディは、音量が大きすぎる場合があります。音量を調節してください。

■ 着信をバイブレータでお知らせする

着信をバイブレータでお知らせします。着信種別ごとに、5種類のバイブレータパターンの中から設定します。
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

1 「着信設定」を呼び出す

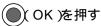
呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「音設定」→「着信設定」

2 ◉(変更)を押す

3 着信種別を選択し、◉(OK)を押す

- ◎(**一括設定**)を押したあと、「全着信」を選択するとすべてのバイブレータパターンを、「全メール着信」を選択するとロングメール着信、通常メッセージ着信、速達メッセージ着信、配信レポート着信のバイブレータパターンを、一括して設定できます。

4 「▯」(バイブレータ)を選択し、◉(OK)を押す

5 バイブレータパターンを選択し、

「パターン1～3」：あらかじめ用意されたパターンで振動します。
「メロディ連動」：着信音パターンに連動して振動します。
「OFF」：振動しません。

- 音声着信にバイブレータを設定すると、待受画面に「▭」が表示され、電話がかかってくるとバイブレータが振動します。

- バイブレータパターンが「メロディ連動」に設定されている場合でも、連動情報のないメロディや「着信音なし」に設定されている場合は、パターン1で振動します。
- マナーモードを「Sバイブ」で設定（☞3-3ページ）中は、音声着信時のバイブレータパターンを「OFF」に設定していても、「パターン1」で振動します。
- 音声着信以外のバイブレータの振動時間は、「鳴動時間」（☞下記）で設定できます。

6 ◎(保存)を押す

■ 着信呼出時間を設定する

音声着信以外の着信があったとき、着信音が鳴ったりバイブレータが動作したりする秒数を1～29秒の間で設定します。
お買い上げ時は「5秒」に設定されています。

1 「着信設定」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「音設定」→「着信設定」

2 ◉(変更)を押す

3 着信種別を選択し、◉(OK)を押す

- ◎(**一括設定**)を押したあと、「全メール着信」を選択するとロングメール着信、通常メッセージ着信、速達メッセージ着信、配信レポート着信のバイブレータパターンを一括して設定できます。

4 「⏱」(鳴動時間)を選択し、◉(OK)を押す

5 鳴動時間(1～29秒)を入力し、◉(OK)を押す

6 ◎(保存)を押す

■ 着信ランプの設定

着信ランプの色と点滅パターンを設定します。
お買い上げ時の点滅パターンは「パターン1」、色は次のように設定されています。

音声着信　　　　　：パターン1／カラー1
ロングメール着信　：パターン1／カラー2
通常メッセージ着信：パターン1／カラー2
速達メッセージ着信：パターン1／カラー2
配信レポート着信　：パターン1／カラー2
ウェブ着信　　　　：パターン1／カラー3
ステーション着信　：パターン1／カラー4

1 「着信設定」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「音設定」→「着信設定」

2 ◉(変更)を押す

3 着信種別を選択し、◉(OK)を押す

- (一括設定)を押したあと、「全着信」を選択するとすべての着信ランプを、「全メール着信」を選択するとロングメール着信、通常メッセージ着信、速達メッセージ着信、配信レポート着信の着信ランプを、一括して設定できます。

4 「」(着信イルミネーション)を選択し、◉(OK)を押す

5 点滅パターンを選択し、◉(OK)を押す

「パターン1～3」：あらかじめ用意されたパターンで点滅します。操作 ***6*** に進みます。
「メロディ連動」：着信音パターンに連動して点滅します。操作 ***6*** に進みます。
「OFF」　　　　：点滅しません。操作 ***7*** に進みます。

6 色を選択し、◉(OK)を押す

7 (保存)を押す

点滅パターンが「メロディ連動」に設定されている場合でも、連動情報のないメロディに設定されている場合は通常とは異なるパターンで点滅します。

各種効果音の設定

ボタンを押したとき、電源を入れたときや設定を完了したときなど、それぞれの効果音を設定します。

■ ボタン確認音を設定する

ボタンを押したときの確認音と音量を設定します。
お買い上げ時は確認音が「ピポパ音」に、音量が「LEVEL1」に設定されています。

1 「ボタン確認音」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「音設定」→「ボタン確認音」

2 ◉(変更)を押す

3 (音色)を押す

4 種類を選択し、◉(OK)を押す

「固定データ」　　：内蔵されている音やメロディから選択します。
「データフォルダ」：データフォルダに保存されているメロディファイルから選択します。

- 6KBより大きなファイルは選択できません。

5 音色を選択し、◉(OK)を押す

- 「データフォルダ」を選択した場合は、フォルダを選択してからファイルを選択します。
- (再生)を押すと、選択した音色が再生されます。
- 設定できる音色については、8-4ページの「メロディの曲名」を参照してください。そのほかに「ピポパ音」、「ドレミ音」、「単一音」も選択できます。

6 で音量を設定し、◉(OK)を押す

- 「ピポパ音」または「ドレミ音」に設定している場合、暗証番号の入力時には異なる確認音が鳴ります。
- 「ピポパ音」に設定している場合でも、0～9、*、#以外のボタンを押すと、異なる確認音が鳴ります。

■ 電源を入／切したときなどの効果音を設定する

電源を入れたときや本体を開閉したときなどの効果音と音量を設定します。
お買い上げ時の音量は「LEVEL3」、効果音は次のように設定されています。

電源ON ：ウェイクアップ　電源OFF ：シャットダウン
設定時 ：あたり　警告時 ：はずれ
オープン時：コスモス　クローズ時：コスモス
音量 ：LEVEL3

1 **「効果音設定」を呼び出す**

呼び出し方：待受画面→◎→「設定」→「音設定」→「効果音設定」

2 **◎(変更)を押す**

3 **設定項目を選択し、◎(OK)を押す**

「電源ON」 ：電源を入れたときの効果音
「電源OFF」 ：電源を切ったときの効果音
「設定時」 ：機能の設定完了時の効果音
「警告時」 ：警告メッセージが表示されたときの効果音
「オープン時」：本体を開いたときの効果音
「クローズ時」：本体を閉じたときの効果音

4 **(音色)を押す**

5 **種類を選択し、◎(OK)を押す**

「固定データ」 ：内蔵されている音やメロディから選択します。
「データフォルダ」：データフォルダに保存されているメロディファイルから選択します。

- 30KBより大きなファイルは選択できません。

6 **効果音を選択し、◎(OK)を押す**

- 「データフォルダ」を選択した場合は、フォルダを選択してからファイルを選択します。
- (**再生**)を押すと、選択した効果音が再生されます。
- 設定できる音色については、8-4ページの「メロディの曲名」を参照してください。

7 **◎で音量を調節し、◎(OK)を押す**

- 効果音設定画面で(**一括音量**)を押すと、すべて同じ音量に設定できます。

補足　「クローズ時」の効果音を設定していても、節電状態(☞13-50ページ)の本体を閉じたときは効果音は鳴りません。

メロディデータの再生音量の設定

データフォルダのメロディデータや、受信メールに添付されているメロディデータを再生するときなどの再生音量を設定します。
お買い上げ時は「LEVEL3」に設定されています。

■ 待受中に音量を設定する

1 **「メロディ音量」を呼び出す**

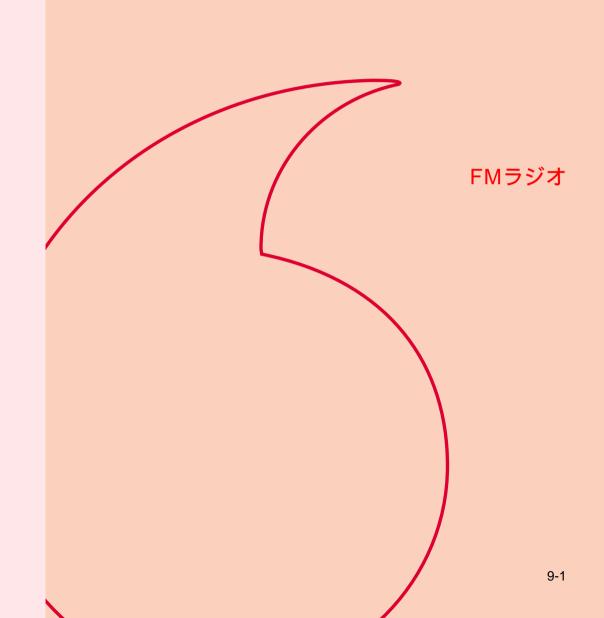
呼び出し方：待受画面→◎→「設定」→「音設定」→「メロディ音量」

2 **◎(変更)を押す**

3 **◎で音量を調節し、◎(OK)を押す**

■ メロディ再生中に音量を変更する

メロディ再生中画面で◎で音量を調節する

- 再生中に音量を変更できないファイルもあります。

FMラジオ

FMラジオをご使用になる前に

付属のFMアンテナ付ステレオイヤホンを接続してからFMラジオを起動してください。イヤホンコードがアンテナの役割をしています。
付属のFMアンテナ付ステレオイヤホンは、FMラジオのアンテナとして最適に設計されています。FMラジオは、イヤホンマイク（別売）でもご利用いただけますが、受信性能が若干劣る場合があります。

■ FMラジオ使用時のご注意

●自動車やバイク、自転車などの運転中は、FMラジオを聴かないでください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因になります。また歩行中でも周囲の交通に充分注意してください。特に踏切や横断歩道ではご注意ください。
●耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。
●FMラジオを聴いているときにカメラを使用するとノイズが入る場合があります。

■ FMラジオをクリアに聴くために

室内など電波の弱いところでは聴こえない場所があります。そのような場合以下のことをお試しください。

●イヤホンコードを伸ばして聴こえる方向を探してみる
V401SAのFMラジオは、イヤホンコードがアンテナの役割をしています。イヤホンコードをいっぱいに伸ばして一番よく聴こえる方向を探してみてください。

●できるだけ窓のそばで聴くようにする
電波は外から入ってきますので、できるだけ窓のそばで聴くようにしてください。

FMラジオを聴く

付属のFMアンテナ付ステレオイヤホンを接続してから操作します。
音が鳴らないマナーモード設定中でも、FMラジオを聴くことができます。

■ FMラジオを起動する

「FMラジオ」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「FMラジオ」
▶ FMラジオ操作画面が表示されます。

- イヤホンを接続しないでFMラジオを起動させたときは、警告メッセージが表示されます。◎（OK）を押すとFMラジオ操作画面が表示されます。イヤホンを接続してください。

FMラジオ操作画面

初めてFMラジオを聴く場合

初めてFMラジオを聴くときには、警告メッセージが表示されます。

1 ◎（OK）を押す
▶ ご利用になるエリアを選択するようメッセージが表示されます。

2 ◎（OK）を押す

3 ご利用になるエリアを選択し、（OK）を押す
▶ 選択されたエリアで受信可能な放送局の周波数が、ダイヤルボタン（0～9、*、#）に登録されます。ダイヤルボタンで簡単に選局できます（☞9-4ページ）。

- ご利用になるエリアや、ダイヤルボタンに登録された放送局の周波数は、あとで変更することができます（☞9-7ページ）。

補足

- FMラジオを聴いている間に音声着信があった場合は、スピーカーとイヤホンの両方から設定した着信音などでお知らせします。また、マナーモード中は設定したバイブレータパターンとイヤホンからは音声着信時の着信音パターンでお知らせします。
- イヤホンを接続した状態では、本体のレシーバー（受話口）では受話できません（イヤホンから聞こえるのみです）。発話は本体のマイク（送話口）でできます。
- 着信、通話中、動画録画中、ボイスデータ録音中にはFMラジオを聴くことはできません。
- お買い上げ時は2時間経つと自動的にラジオを終了するように設定されています（☞9-8ページ）。
- 電池レベルが1になると自動的に終了します。
- お買い上げ時は通信時にラジオの音声が鳴らないように設定されています（☞9-9ページ）。

■ チューニングを行う

を押す

：押すごとに受信周波数が0.1MHz上がります。
：押すごとに受信周波数が0.1MHz下がります。

- 受信周波数範囲は76.0～108.0MHzです。

オートスキャン

を長く(約1秒以上)押す

：現在の表示より上に自動チューニングを行います。
：現在の表示より下に自動チューニングを行います。

- オートスキャンを停止するには(**停止**)を押します。

ダイレクトチューニング

周波数を直接入力してチューニングを行います。

1 **(メニュー)を押す**

2 **「ダイレクトチューニング」を選択し、(OK)を押す**

3 **放送局の周波数を入力し、(OK)を押す**

- 入力可能な周波数範囲は76.0～108.0MHzです。

ダイヤルボタンで選局する

ダイヤルボタン(0～9、*、#)を押す

- ダイヤルボタンを押すと、画面に周波数と放送局名が表示されます。
- エリアによって設定されている放送局の数が違います。放送局の設定されていないボタンがある場合もあります。

■ FMラジオの音量を調節する

で音量を調節する

：押すごとに音量が1段階上がります。
：押すごとに音量が1段階下がります。

■ FMラジオを終了する

FMラジオを終了するには、2通りの方法があります。FMラジオの音声は引き続き流しながら、FMラジオ操作画面を閉じて他の操作を行う方法と、FMラジオの音声も消し完全に終了する方法です。

1 **(終了)またはを押す**

2 **終了方法を選択し、(OK)を押す**

「BGMとして鳴音」：FMラジオ操作画面が消えてチューニングなどの操作を行えなくなりますが、FMラジオの音声は引き続き聴けます。
「終了」：FMラジオを終了します。
「キャンセル」：終了を中止します。

> **補足** 「BGMとして鳴音」を選択した場合は、待受画面でを押すとFMラジオを終了するか確認のメッセージが表示されます。「終了」を選択すると、FMラジオを終了し、FMラジオの音声が消えます。

9 FMラジオ

Now on Airを利用する

ウェブを使って現在放送中の番組名、曲名、アーティスト名などの情報を取得することができます。

ラジオ受信中に◎(Now on Air)を押す

▶ 番組名、曲名、アーティスト名などの情報が表示されます。

- Now on Air情報に対応していない放送局ではご利用できません。
- 「ウェブ禁止」、「オフラインモード」を設定しているときは、Now on Airサイトにアクセスできません。
- 「ウェブ設定」の「セキュリティ設定」を設定しているときは、暗証番号を入力し、設定を解除してから操作してください。

- 「エリア設定」(☞次ページ)で放送局の周波数を変更した場合などでは、受信中の放送局と異なるサイトを表示することがあります。
- Now on Airの利用には通信料がかかります。通信料については、「ボーダフォンライブ！ガイドブック」をご覧ください。

FMラジオの設定

■ ご利用になるエリアを設定する(エリア設定)

ご利用になるエリアを変更すると、選択したエリアに合わせて、ダイヤルボタンに登録される放送局が変更されます。

1 FMラジオ操作画面で(メニュー)を押す

2 「エリア設定」を選択し、◎(OK)を押す

3 ご利用になるエリアを選択し、◎(OK)を押す

▶ 選択されたエリアで受信可能な放送局の周波数が、ダイヤルボタン(0〜9、*、#)に登録されます。ダイヤルボタンで簡単に選局できます(☞9-4ページ)。

- (編集)を押すと、選択したエリアにあらかじめ登録されている放送局の周波数を変更できます。

■ お気に入りの放送局を登録する

ダイヤルボタンに登録する放送局を自由に設定できます。複数のエリアから放送局を選択することも可能です。

1 FMラジオ操作画面で(メニュー)を押す

2 「エリア設定」を選択し、◎(OK)を押す

3 登録したい放送局があるエリアを選択し、(編集)を押す

4 登録したい放送局を選択し、(お気に入り)を押す

5 選択した放送局を登録するダイヤルボタンを選択し、◎(保存)を押す

- ダイヤルボタンを押して直接選ぶこともできます。

6 clearを押す

▶ エリア選択の画面に戻ります。

7 操作3〜6を繰り返して、お気に入りの放送局を登録する

8 エリア選択の画面で「お気に入り放送局」を選択し、◎(OK)を押す

操作**3**で「お気に入り放送局」を選択して（**編集**）を押すと、周波数、放送局名、Now on Air情報の取得先を自由に入力・選択または編集できます。

■ 自動的に電源を切る

設定された時間で自動的にラジオを終了させることができます。
お買い上げ時は「2時間」に設定されています。

1 **FMラジオ操作画面で（メニュー）を押す**

2 **「オートラジオOFF」を選択し、（OK）を押す**

3 **終了までの時間を選択し、（OK）を押す**

設定した内容は、電源を切っても記憶されています。

■ FMステレオ放送の受信方法を切り替える

FMステレオ放送の受信状態が悪いときは、「モノラル」に切り替えると良くなることがあります。
お買い上げ時は「オート」に設定されています。

1 **FMラジオ操作画面で（メニュー）を押す**

2 **「オート／モノラル切替」を選択し、（OK）を押す**

3 **受信方法を選択し、（OK）を押す**

「オート」　：ステレオ／モノラルの受信を自動で切り替えます。
「モノラル」：モノラルで受信します。

設定した内容は、電源を切っても記憶されています。

■ FMラジオ操作画面を変更する（スキン設定）

FMラジオ操作画面のスキン（絵柄）を3種類の中から選択して変更することができます。
お買い上げ時は「パターン1」に設定されています。

1 **FMラジオ操作画面で（メニュー）を押す**

2 **「スキン設定」を選択し、（OK）を押す**

3 **（切替）を押してスキンを切り替える**

▶ 押すごとに画面が切り替わります。

4 **よければ、（選択）を押す**

■ 通信時のラジオの音声を設定する（ミュート設定）

メールの送受信時や、Now on Airなどウェブに接続するときなどに、ラジオの音声を鳴らしておくか消すかを設定します。
お買い上げ時は「ON」に設定されています。

1 **FMラジオ操作画面で（メニュー）を押す**

2 **「ミュート設定」を選択し、（OK）を押す**

3 **「ON」を選択し、（OK）を押す**

- 音声を鳴らしておくときは「OFF」を選択します。

「OFF」に設定しているときは、場合によっては通信時にノイズが入ることがあります。

データ管理

データフォルダについて

V401SAで撮影したカメラ画像※や、動画、ダウンロードしたメロディ、アニメーションなどは、データフォルダに保存されます。また、メールに添付されて受信したファイルも、保存操作を行うとデータフォルダに保存されます。
これらのファイルを使いやすく整理したり、壁紙や着信音などに設定したりする方法を説明します。

※ デジタルカメラモードで撮影した静止画は、デジタルカメラフォルダに保存されます。デジタルカメラフォルダについては、6-18ページを参照してください。

■ データフォルダの構成

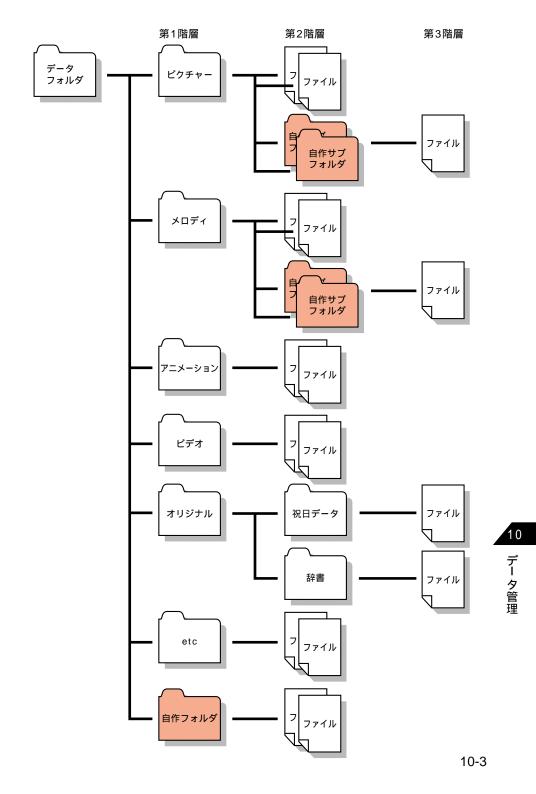
データフォルダには、あらかじめ6種類の種別フォルダがあります。作成・入手したデータは、ファイル形式に応じたフォルダに自動的に振り分けて保存されます。
データフォルダは次の図のように、3階層で構成されます。自作のフォルダを追加したり、各フォルダの中にサブフォルダを作成して、大量のファイルを整理できます。
データフォルダに保存できるデータ量はデジタルカメラフォルダと合わせて12Mバイト、件数は最大で1024件までです。

補足

- お客様が作成できるフォルダは10個まで、サブフォルダは各フォルダごとに10個までです。
- サブフォルダの中にさらにサブフォルダを作成することはできません。
- オリジナルフォルダの中には、サブフォルダを作成できません。

第1階層 第2階層 第3階層

データフォルダ
- ピクチャー
  - ファイル
  - 自作サブフォルダ
    - ファイル
- メロディ
  - ファイル
  - 自作サブフォルダ
    - ファイル
- アニメーション
  - ファイル
- ビデオ
  - ファイル
- オリジナル
  - 祝日データ
    - ファイル
  - 辞書
    - ファイル
- etc
  - ファイル
- 自作フォルダ
  - ファイル

10 データ管理

■ データフォルダに登録できるファイル

各フォルダに登録できるファイルの形式は、次のとおりです

フォルダ	アイコン	ファイルの種類	拡張子	対応機能
ピクチャー		PNGファイル	.png※5 .pnz※1	壁紙、マイキャラクタ、からくり時計※2、メモリダイヤル、アラーム※2、プロフィール、特別日画像※2、カレンダー、メール添付、赤外線通信
		JPEGファイル	.jpg .jpe .jpeg .jpz※1	
		フレームファイル※3※4	.png .pnz	フレーム付加
		スタンプファイル※3	.pnz	マーカースタンプ
		絵葉書ファイル※3	.pnz	絵葉書メール
メロディ		メロディファイル	.smd .smz※1	着信音、ボタン確認音※2、効果音、からくり時計※2、アラーム※2、カレンダー、メール添付
		スカイメロディ/スーパーハーモニー		
		SMAFファイル	.mmf	
		40和音SMAFファイル		
		テンプレートファイル		
アニメーション		PNGアニメ	－	壁紙、マイキャラクタ、メモリダイヤル、からくり時計※2、アラーム※2、プロフィール、特別日画像※2、カレンダー、メール添付
		JPEGアニメ		
		PNG/JPEGアニメ		
		ランチャーアイコンファイル	.pnz	メインメニュー※2
ビデオ		ビデオファイル	.3g2	マイキャラクタ、からくり時計※2、メモリダイヤル、アラーム※2、プロフィール、カレンダー
オリジナル 祝日データ		祝日ファイル※3	.pnz	祝日データ設定
オリジナル 辞書		辞書ファイル※3	.wnn	文字入力設定※2
etc		vCardファイル	.vcf	赤外線通信
		オリジナルフォルダに保存されるファイル以外のすべてのファイル(未対応のファイルも含む)を保存できます。		

※1 メール添付、赤外線通信には対応していません。
※2 データフォルダからは設定できません。各機能のメニューから設定してください。
※3 SANYOケータイプラネット(☞Vodafone live!編)から入手することができます。
※4 Vodafone live!の一般コンテンツから入手することができます。
※5 赤外線通信には対応していません。

保存されているファイルの確認

データフォルダに保存されている各種ファイルを表示/再生します。

1 「データフォルダ」を呼び出す

呼び出し方:待受画面→●→「フォルダBOX」→「データフォルダ」

▶ フォルダの一覧が表示されます。

フォルダの一覧

2 フォルダを選択し、●(OK)を押す

▶ ファイルの一覧が表示されます。

- サブフォルダがある場合は、さらにサブフォルダを選択し、●(OK)を押します。
- フォルダの一覧表示中に◎(📷)を押すと、デジタルカメラフォルダを表示することができます。◎(DATA)を押すとデータフォルダ表示に戻ります。
- 壁紙や着信音など各機能に設定されているファイルは、赤色で表示されます。

ファイルの一覧

3 ファイルを選択し、●(確認)または●(再生)を押す

▶ ファイルが表示または再生されます。

- ディスプレイ内に画像が表示しきれないときは、◎で表示位置を変更できます。
- 画像がディスプレイより大きい/小さい場合は、0を押すごとに拡大表示と縮小表示を切り替えられます。
- **メロディファイル再生中の操作**
  ◎:音量の調節、◎:早送り、◎:巻き戻し、●(**一時停止**):一時停止
- **ビデオファイル再生中の操作**
  ◎:音量の調節、◎:早送り、◎:巻き戻し、●(**一時停止**):一時停止
  ビデオファイル一時停止中の操作
  ◎:コマ送り、◎:コマ戻し、●(**再生**):再生
- マナーモード(☞3-3ページ)設定中にデータを再生した場合は、一時的に音量を調節することができます。
- 同じフォルダ内に他のファイルがあるときは「✱・#」が表示されます。✱/#を押すと前/次のファイルに切り替わります。

ファイルの確認画面

注意　ウェブから入手したメロディには、音量が大きいものがあります。音量を調節してください。

■ 大きな画像の一部を拡大して表示する(ズームUP再生)

250×330を超えるサイズの静止画の一部を拡大して表示します。また、QVGA(240×320)サイズに切り出して保存もできます。

1 ピクチャーファイルの確認画面で、(メニュー)を押す

2 「ズームUP再生」を選択し、(OK)を押す

3 (ズーム)／(ワイド)を押して、拡大／縮小する

- で画像の表示位置を変更できます。
- (**保存**)を押すと、画面に表示されている部分のみを切り出して新規の画像として保存することができます。

■ フォルダ内の画像を連続して表示する

フォルダに保存されている画像を、順番に表示します。

1 ファイルの一覧で、画像を選択する

2 (メニュー)を押す

3 「連続表示」を選択し、(OK)を押す

▶選択した画像から順に、約2秒ずつ連続して画像が表示されます。

4 終了するときは(停止)を押す

■ フォルダ内の表示方法を切り替える

フォルダ内の表示は、画像の内容がひと目でわかるサムネイル表示とファイル名が並ぶリスト表示を切り替えることができます。

1 ファイルの一覧で(メニュー)を押す

2 「表示切替」を選択し、(OK)を押す

■ ファイルの表示順を切り替える

フォルダ内のファイルが表示される順番を切り替えます。
お買い上げ時は「日付降順」(日時順に最新のものから表示)に設定されています。

1 ファイルの一覧で(メニュー)を押す

2 「ソート」を選択し、(OK)を押す

3 表示順を選択し、(OK)を押す

表示順の設定は、フォルダごとに記憶されます。

■ プロパティを確認する

ファイルの情報(プロパティ)を確認します。

1 ファイルの一覧で、ファイルを選択する

2 (メニュー)を押す

3 「プロパティ」を選択し、(OK)を押す

画像やアニメーションファイルの利用

■ 画像やアニメーションを壁紙などに設定する

ここでは、データフォルダのファイルの一覧から設定する方法を説明します。各ファイルの確認画面からも設定できます。

1 「データフォルダ」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「フォルダBOX」→「データフォルダ」

2 「ピクチャー」、「アニメーション」または「ビデオ」を選択し、◎(OK)を押す

- サブフォルダがある場合は、さらにサブフォルダを選択し、◎(OK)を押します。

3 ファイルを選択し、◎(設定)を押す

4 設定先を選択し、◎(OK)を押す

「壁紙設定」　：壁紙に設定します(☞7-2ページ)。
「マイキャラクタ」：マイキャラクタに設定します(☞7-6ページ)。
「メモリダイヤル」：着信画像に設定します(☞5-9ページ)。
「プロフィール」　：プロフィールの画像に設定します(☞5-22ページ)。
それぞれの設定を行ってください。

■ ピクチャーファイルの編集

データフォルダに保存されているピクチャーファイルを表示して、編集を行います。ただし、編集できるのはJPEG／PNGファイルのみです。

1 「ピクチャー」フォルダを呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「フォルダBOX」→「データフォルダ」→「ピクチャー」

2 ファイルを選択し、◎(確認)を押す

3 ◎(メニュー)を押す

4 「画像編集」を選択し、◎(OK)を押す

5 各項目を選択し、◎(OK)を押す

それぞれの編集を行ってください。

項　目	内　容	参照ページ
フレーム付加	画像にフレーム(枠)を貼り付けます。	下記
特殊効果	画像の色調を変えたり効果を加えます。	10-10
マーカースタンプ	画像の上にマークなどを貼り付けます。	10-10
テキスト	画像の上にメッセージなどを書き込みます。	10-11
画像加工	画像を太く／細くします。4種類の加工方法があります。	10-11
リサイズ	画像を部分的に切り取り、拡大／縮小します。	10-12
回転	画像を回転させます。	10-12

6 編集終了後、◎(保存)を押す

- ◎(継続)を押すと、続けて画像編集を行うことができます。

7 「新規保存」または「上書き保存」を選択し、◎(OK)を押す

「新規保存」　：修正前のファイルを残し、修正後の内容を別のファイルとして保存します。ファイル名を編集してしてください。
「上書き保存」：修正前のファイルに上書きして保存します。

画像にフレームを付ける(フレーム付加)

1 編集メニュー(☞上記)から「フレーム付加」を選択し、◎(OK)を押す

2 フレームを選択し、◎(選択)を押す

- ◎(確認)を押すと、画像を確認しながら◎でフレームを選択できます。

3 よければ、◎(確定)を押す

- ◎で画像の表示位置を変更できます。

セピア、モノクロなど特殊な加工をする（特殊効果）

1 **編集メニュー（☞10-8ページ）から「特殊効果」を選択し、◉（OK）を押す**

2 **効果を選択し、◉（選択）を押す**

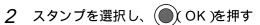
「セピア」　　　：セピア色（古い写真のような色調）にします。
「モノクロ」　　：モノクロにします。
「タイル」　　　：縮小された画像がタイルのように1画面に並べて表示されます。4枚、16枚、64枚の中から選択できます。
「ポートレート」：丸く画像が切り取られ、まわりが白く表示されます。
「フェードアウト」：画像のふちが白くぼかされます。
「スポットライト」：丸く画像が切り取られ、まわりが黒く表示されます。

- （**プレビュー**）を押すと、効果を確認しながら◌で選択できます。

3 **よければ、◉（確定）を押す**

- 「タイル」を選択した場合、を押すごとに4枚、16枚、64枚の中から選択できます。
- 「ポートレート」、「フェードアウト」、「スポットライト」を選択した場合、（**絞る**）を押すと切り取る円の大きさを3段階で変更できます。

画像にマークなどを貼り付ける（マーカースタンプ）

1 **編集メニュー（☞10-8ページ）から「マーカースタンプ」を選択し、◉（OK）を押す**

2 **スタンプを選択し、◉（OK）を押す**

- （←）、（→）でスタンプ大、中、小を切り替えます（画像より大きいスタンプは選択できません）。

3 **◌で貼り付ける位置を決める**

4 **◉（貼付）を押す**

- （**スタンプ**）を押すと操作 ***2*** に戻り、さらにスタンプを選択できます。
- 操作 ***2*** ～ ***4*** を繰り返して、1つの画像に20個までスタンプを貼り付けられます。
- clearを押すと、1つ前の状態に戻ります。

5 **よければ、（確定）を押す**

画像の上に文字を入れる（テキスト）

1 **編集メニュー（☞10-8ページ）から「テキスト」を選択し、◉（OK）を押す**

2 **テキストサイズを選択し、◉（選択）を押す**

3 **テキストを入力し、◉（OK）を押す**

- 入力できる文字数は画像のサイズにより異なります。

4 **◌で貼り付ける位置を決める**

- （**色変更**）を押すと文字の色を変更することができます（絵文字は変更しません）。

5 **◉（確定）を押す**

画像を太らせたりスリムにしたりする（画像加工）

〈例〉顔写真を加工する場合で説明します。

1 **編集メニュー（☞10-8ページ）から「画像加工」を選択し、◉（OK）を押す**

2 **画像加工の項目を選択し、◉（選択）を押す**

「折り返し」　：折り返し線を中心に、左右対称の画像が表示されます。折り返し線の位置を◌で、左右どちらの画像を折り返すかを（**切替**）で選択できます。◉（**OK**）を押すと、加工された画像が表示されます。
「激太り」「激痩せ」「スリム」：画面に表示される縦長の楕円を◌で顔の位置に合わせます。（）を押すと楕円が小さく、（）を押すと楕円が大きくなります。◉（**OK**）を押すと、加工された画像が表示されます。「激太り」は頬の部分が丸く太った顔に、「激痩せ」は頬が少し痩せた顔に、「スリム」は頬がくぼんだ顔になります。

3 **◉（確定）を押す**

画像の拡大／縮小／切り取りを行う(リサイズ)

1 編集メニュー(☞10-8ページ)から「リサイズ」を選択し、(OK)を押す

2 サイズを選択し、(選択)を押す

「QQVGA(120×160)」：横120ドット、縦160ドットの枠が表示されます。
「QVGA(240×320)」：横240ドット、縦320ドットの枠が表示されます。V401SAのディスプレイと同じ大きさです。
「マニュアル設定」：()または()を押して枠の大きさを設定します。

3 で画像を移動させて切り取る範囲を指定し、(OK)を押す

- 切り取りサイズと画像サイズが違う場合は、「サイズ変更」が表示されます。(**サイズ変更**)を押すと、画像の縦横比を変えないまま切り取りサイズの縦／横に合わせて拡大／縮小します。(**解除**)を押すと、元のサイズに戻ります。

4 (確定)を押す

画像を回転させる(回転)

1 編集メニュー(☞10-8ページ)から「回転」を選択し、(OK)を押す

2 ()または()を押して画像を回転する

- ()／()を押すたびに、画像がそれぞれの方向に90°ずつ回転します。

3 (確定)を押す

■ ファイル形式を変更する

データフォルダに保存されている画像のファイル形式を変更します。PNGファイルをJPEGファイルに、JPEGファイルをPNGファイルに変更できます。
ただし、変更できるのは16×16サイズ以上でQVGA(240×320)サイズまでの画像です。

1 ファイルの一覧で、画像を選択する

2 (メニュー)を押す

3 「ファイル形式変更」を選択し、(OK)を押す

4 「YES」を選択し、(OK)を押す

■ ビデオファイルの編集

データフォルダに保存されているビデオファイルを表示して、いろいろな編集を行います。V401SAで撮影した動画などが編集できます。

1 「ビデオ」フォルダを呼び出す

呼び出し方：待受画面→→「フォルダBOX」→「データフォルダ」→「ビデオ」

2 ファイルを選択し、(再生)を押す

3 (メニュー)を押す

4 「ビデオ編集」を選択し、(OK)を押す

5 各項目を選択し、(OK)を押す

それぞれの編集を行ってください。

項　目	内　容	参照ページ
キャプチャ	動画内の1フレーム(1コマ)を静止画として保存します。	下記
アフレコ	撮影済みの動画に音声を録音します。アフレコ編集を行ったファイルは、新規動画として保存されます。	10-14
切出し	動画内の1部分を、範囲を指定して切出します。	10-14

キャプチャ

1 ビデオ編集メニュー(☞上記)から「キャプチャ」を選択し、(OK)を押す

2 保存したいフレームを表示する

- **停止／一時停止中の操作**
  ：コマ送り、：コマ戻し、(**再生**)：再生
  (**先頭**)：先頭のフレームに戻る
- **再生中の操作**
  ：早送り、：巻き戻し、(**一時停止**)：一時停止、
  (**先頭**)：先頭のフレームに戻る

3 (保存)を押す

4 「YES」を選択し、(OK)を押す

- 「NO」を選択すると先頭のフレームに戻ります。

5 ファイル名を編集し、(OK)を押す

アフレコ

1 **ビデオ編集メニュー(☞10-13ページ)から「アフレコ」を選択し、◎(OK)を押す**

2 **(録音)を押す**

▶録音が始まります。

- ◎(**再生**)を押すとアフレコ前の動画を再生し、内容を確認できます。

3 **(終了)を押す**

- 録音中◎(**中止**)を押すと録音前の状態に戻ります。
- 録音中は◎(**中止**)、(**終了**)の操作以外できません。

4 **よければ、(保存)を押す**

- ◎(**再生**)を押すとアフレコ後の動画を再生し、内容を確認できます。

5 **ファイル名を編集し、◎(OK)を押す**

切出し

動画内の1部分を、範囲を指定して切出します。最大30秒まで切出せます。

1 **ビデオ編集メニュー(☞10-13ページ)から「切出し」を選択し、◎(OK)を押す**

2 **◎(再生)を押す**

- **再生中の操作**
  ◎：早送り、◎：巻き戻し、◎(**一時停止**)：一時停止、
  ◎(**先頭**)：先頭のフレームに戻る

3 **切出したい部分の先頭で(始点)を押す**

4 **切出したい部分の最後で(終点)を押す**

- 終点を指定しないまま再生が終了した場合は、動画の最後が終点になります。

5 **「YES」を選択し、◎(OK)を押す**

- 「NO」を選択すると先頭のフレームに戻ります。

6 **「新規保存」または「上書き保存」を選択し、◎(OK)を押す**

「新規保存」　：修正前のファイルを残し、修正後の内容を別のファイルとして保存します。ファイル名を編集してしてください。
「上書き保存」：修正前のファイルに上書きして保存します。

メロディファイルの利用

■ メロディを着信音などに設定する

ここでは、メロディフォルダのファイルの一覧から設定する方法を説明します。各ファイルの確認画面からも設定できます。

1 **「メロディ」フォルダを呼び出す**

呼び出し方：待受画面→◎→「フォルダBOX」→「データフォルダ」→「メロディ」

2 **ファイルを選択し、◎(設定)を押す**

3 **設定先を選択し、◎(OK)を押す**

「着信音パターン」：着信音に設定します(☞8-3ページ)。
「効果音設定」　　：各種効果音に設定します(☞8-8ページ)。
「メモリダイヤル」：指定着信設定に設定します(☞5-9ページ)。
それぞれの設定を行ってください。

■ メロディをメールに添付する

ここでは、メロディフォルダのファイルの一覧から設定する方法を説明します。各ファイルの確認画面からも設定できます。

1 **「メロディ」フォルダを呼び出す**

呼び出し方：待受画面→◎→「フォルダBOX」→「データフォルダ」→「メロディ」

2 **ファイルを選択し、(メニュー)を押す**

- ◎(**再生**)を押すと、選択したメロディを再生できます。

3 **「メール添付」を選択し、◎(OK)を押す**

▶メロディファイルが添付された新規メールの作成画面が表示されます。
以降の操作はVodafone live!編を参照してください。

祝日データの利用

カレンダーに表示される休日を1年ごとに登録します。お買い上げ時は2004年と2005年のみ、祝日と日曜日が休日に設定されています。あらかじめダウンロードしておいた祝日データをカレンダーに登録します。

1 「祝日データ」フォルダを呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「フォルダBOX」→「データフォルダ」→「祝日データ」

2 祝日ファイルを選択し、◎(設定)を押す

3 「YES」を選択し、◉(OK)を押す

vCardファイルの利用

■ vCardファイルについて

「vCardファイル」とは、V401SAのメモリダイヤルやプロフィールのデータを別の携帯電話(vCardファイル対応機)やパソコンなどとの間で受け渡しし、相互で利用できるようにしたファイル形式のことです。
vCardファイルを利用すると、別の携帯電話やパソコンなどで作成したデータをV401SAに取り込んだり、V401SAのメモリダイヤルをパソコンで管理したりすることが可能になります。vCardファイルを別の携帯電話やパソコンとの間で受け渡しするには、vCardファイルを作成し、赤外線通信で送信します。

- パソコンなどでvCardファイルを利用するには、vCardファイルに対応したソフトウェアが必要になります。データの内容によっては、V401SAに取り込めない場合やパソコンなどで利用できない場合があります。
- 他の機器から受信／入手したvCardファイルの内容によっては、V401SAで利用できない場合があります。

■ vCardファイルを作成／保存する

vCardファイルは、V401SAのメモリダイヤルやプロフィールのデータをデータフォルダに保存することにより、作成されます。vCardファイルはデータフォルダのetcフォルダに保存されます。

メモリダイヤルからvCardファイルを作成／保存する

1 メモリダイヤル一覧画面またはメモリダイヤル確認画面を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→メモリダイヤルを選択(→◉(OK))

2 (メニュー)を押す

3 「データフォルダに保存」を選択し、◉(OK)を押す

4 「YES」を選択し、◉(OK)を押す

- 着信画像が設定されている場合は、「画像ありで実行」または「画像なしで実行」を選択します。

転送不可の画像は、vCardファイルには保存できません。

- 保存される内容は、名前、ヨミ、電話番号、メールアドレス、着信画像(保存/保存しないを選択できます)、住所、メモ、PINコードの設定です。

プロフィールからvCardファイルを作成/保存する

1 「プロフィール」を呼び出す

呼び出し方:待受画面→◎→「設定」→「プロフィール」

- 待受画面→◎→「アドレス帳」→「プロフィール」でもプロフィールを呼び出せます。

2 (メニュー) を押す

3 「データフォルダに保存」を選択し、◎(OK)を押す

4 「YES」を選択し、◎(OK)を押す

- 「私の画像」が設定されている場合は、「画像ありで実行」または「画像なしで実行」を選択します。

- 保存される内容は、名前、ヨミ、誕生日、血液型、私の画像(保存/保存しないを選択できます)、電話番号(自局/1/2)、Eメールアドレス(自局/1/2)、自宅住所、会社名、会社住所、所属先名です。

■vCardファイルをメモリダイヤルに取り込む

入手したvCardファイルはメモリダイヤルに利用できます。

1 「etc」フォルダを呼び出す

呼び出し方:待受画面→◎→「フォルダBOX」→「データフォルダ」→「etc」

2 vCardファイルを選択し、◎(再生)を押す

▶vCardファイルの内容が表示されます。

3 **(登録)を押す**

- データが複数件ある場合は、◎で登録するデータを選択し、◎(**詳細**)を押してから◎(**登録**)を押します。

4 「YES」を選択し、◎(OK)を押す

注意

他の機器から受信/入手したvCardファイルの内容によっては、V401SAで利用できない場合があります。

フォルダやファイルの編集

■新しいフォルダを作成する

自作のフォルダを追加したり、各フォルダの中にサブフォルダを作成します。フォルダ、サブフォルダそれぞれ10個まで作成できます。

1 「データフォルダ」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「フォルダBOX」→「データフォルダ」

- サブフォルダを作成する場合はフォルダを選択して◎(**OK**)を押し、ファイルの一覧を表示します。

2 (メニュー)を押す

3 「フォルダ作成」を選択し、◎(OK)を押す

4 フォルダ名を入力し、◎(OK)を押す

- フォルダ名は、最大で全角5文字、半角10文字まで入力できます。
- フォルダ名に絵文字は入力できません。

■フォルダ名やファイル名を変更する

1 変更したいフォルダまたはファイルを選択し、(メニュー)を押す

2 「フォルダ名変更」／「ファイル名変更」を選択し、◎(OK)を押す

- 変更できないフォルダの場合は、選択できません。

3 フォルダ／ファイル名を入力・編集し、◎(OK)を押す

あらかじめ用意されている6種類の種別フォルダはフォルダ名を変更できません。

■フォルダやファイルを消去する

フォルダを消去する

選択したフォルダとフォルダ内のファイルを消去します。

1 消去したいフォルダを選択し、(メニュー)を押す

2 「フォルダ消去」を選択し、◎(OK)を押す

3 操作用暗証番号を入力する

- 入力した番号は、ディスプレイ上では「⚹」で表示されます。
- 入力途中で修正するときはclearを押します。
- 操作用暗証番号が一致しない場合は、警告メッセージが表示されます。

4 「YES」を選択し、◎(OK)を押す

- 消去を中止するときは「NO」を選択します。
- フォルダ内に各設定に使用しているファイルがある場合は、確認のメッセージが表示されます。使用中のデータと通常のデータの両方がある場合は、消去対象を選択できます。
- 消去できないフォルダを選択した場合、フォルダ内のファイルのみ消去されます。
- 消去中はオフラインモードになります。

あらかじめ用意されている6種類の種別フォルダは消去できません。

ファイルを消去する

1件または全件消去する場合

1 消去したいファイルを選択し、(メニュー)を押す

2 「消去」を選択し、◎(OK)を押す

3 「1件消去」または「全件消去」を選択し、◎(OK)を押す

「1件消去」　：選択したファイルのみ消去します。
「全件消去」　：フォルダ内の全ファイルを消去します。操作用暗証番号を入力してください。

4 「YES」を選択し、◎(OK)を押す

- 消去を中止するときは「NO」を選択します。
- 各設定に使用しているファイルがある場合は、確認のメッセージが表示されます。使用中のデータと通常のデータの両方がある場合は、消去対象を選択できます。
- 全件消去中はオフラインモードになります。

ファイルの確認画面で(**メニュー**)を押し、「消去」を選択しても1件消去できます。

複数選択して消去する場合

1 **ファイルの一覧で(メニュー)を押す**

2 **「消去」を選択し、(OK)を押す**

3 **「選択消去」を選択し、(OK)を押す**

4 **消去するファイルを選択し、(選択)を押す**

▶選択したファイルにチェックマークが付きます。

- 複数選択する場合は、この操作を繰り返してください。
- (**解除**)を押すと、選択が解除されます。
- (**選択**/**解除**)を長く(約1秒以上)押すと、全件選択/全件解除できます。

5 **(実行)を押す**

- 各設定に使用しているファイルがある場合は、確認のメッセージが表示されます。使用中のデータと通常のデータの両方がある場合は、消去対象を選択できます。

6 **「YES」を選択し、(OK)を押す。**

- 消去を中止するときは「NO」を選択します。
- 消去中はオフラインモードになります。

■ ファイルを移動する

データフォルダに保存されているファイルを新しく作成したフォルダまたはetcフォルダに移動します。オリジナルフォルダ内のファイルを移動することはできません。

1件または全件移動する場合

1 **移動したいファイルを選択し、(メニュー)を押す**

2 **「フォルダ移動」を選択し、(OK)を押す**

3 **「1件移動」または「全件移動」を選択し、(OK)を押す**

「1件移動」 : 選択したファイルのみ移動します。
「全件移動」 : フォルダ内の全ファイルを移動します。

4 **移動先のフォルダを選択し、(OK)を押す**

- 選択したファイルに移動できるフォルダが無い場合、「移動先がありません」と表示されます。

複数選択して移動する場合

1 **ファイルの一覧で(メニュー)を押す**

2 **「フォルダ移動」を選択し、(OK)を押す**

3 **「選択移動」を選択し、(OK)を押す**

4 **移動するファイルを選択し、(選択)を押す**

▶選択したファイルにチェックマークが付きます。

- 複数選択する場合は、この操作を繰り返してください。
- (**解除**)を押すと、選択が解除されます。
- (**選択**/**解除**)を長く(約1秒以上)押すと、全件選択/全件解除できます。

5 **(実行)を押す**

6 **移動先のフォルダを選択し、(OK)を押す**

- 選択したファイルに移動できるフォルダが無い場合、「移動先がありません」と表示されます。

注意 フォルダによって移動できるファイルの種類が決まっています(☞10-4ページ)。

■ ファイルをコピー/ペーストする

1 **コピーしたいファイルを選択し、(メニュー)を押す**

2 **「ファイルコピー」を選択し、(OK)を押す**

- コピーできないファイルの場合は、選択できません。

3 **ペースト先のフォルダを選択し、(メニュー)を押す**

4 **「ファイルペースト」を選択し、(OK)を押す**

5 **「実行」を選択し、(OK)を押す**

- 「ファイル確認」を選択すると、コピーしたファイルを確認できます。

注意 画像(ピクチャー、アニメーション)ファイルは5KB、メロディファイル5.6KB以内の、メール添付可能なファイルのみコピーできます。

■ 画像などをカレンダーに登録する

V401SAのカレンダーに画像などを登録しておくと、カレンダー表示時、ファイルの内容を確認することができます。
旅行した日付に記念写真を登録しておくなど、使い方はいろいろです。
カレンダーに登録できるのは、ピクチャー、メロディ、アニメーション、ビデオファイルです。

カレンダーに登録する

1 **登録したいファイルを選択し、(メニュー)を押す**

2 **「カレンダー登録」を選択し、(OK)を押す**

▶ カレンダー月間画面が表示されます。

3 **で登録する日付を選択し、(OK)を押す**

カレンダーの登録を解除する

1 **登録を解除したいファイルを選択し、(メニュー)を押す**

2 **「カレンダー登録解除」を選択し、(OK)を押す**

3 **「YES」を選択し、(OK)を押す**

- カレンダー登録の解除を中止するときは「NO」を選択します。

カレンダーの当日表示から登録を解除することもできます(☞13-31ページ)。

アニメーションの作成

静止画像を最大12枚までつなぎ合わせてアニメーションを作ります。
アニメーション作成後のサイズはQVGA(240×320)になります。それより大きな画像を選択した場合は、自動的に縮小してアニメーションを作成します。

1 **「アニメ作成」を呼び出す**

呼び出し方:待受画面→→「機能&ツール」→「アニメ作成」

- ピクチャーファイルの確認画面→(**メニュー**)→「アニメ作成」でも呼び出せます。

2 **「追加」を選択し、(OK)を押す**

3 **画像の追加方法を選択し、(OK)を押す**

「個別選択」 :データフォルダまたはデジタルカメラフォルダから画像を選択します。
「連写結合」 :あらかじめ撮影しておいた連写撮影画像を選択します。
「カメラ撮影(1枚)」:カメラを起動して静止画を1枚撮影します。
「カメラ撮影(連写)」:カメラを起動して連写撮影します。

4 **追加する画像を選択する**

画像の追加方法に応じて、それぞれの操作を行ってください(☞次ページ)。

5 **操作2 〜 4 を繰り返して、画像を最大12枚まで選択する**

- (**プレビュー**)を押すと、アニメーションが再生されます。
- (**OK**)を押すと、選択した画像を確認できます。
- (**メニュー**)を押すと、以下の編集操作を行えます。

「画像入替」 :選択した画像を消去し、データフォルダまたはデジタルカメラフォルダから別の画像を選択します。
「挿入」 :画像をデータフォルダまたはデジタルカメラフォルダから選択し指定したカーソルの位置に追加します。
「順序変更<↑>」 :選択した画像の再生順序を1つ上に上げます。
「順序変更<↓>」 :選択した画像の再生順序を1つ下に下げます。
「プロパティ」 :選択した画像のプロパティ(詳細)を表示します。
「アニメーション速度変更」:アニメーションの再生速度を変更します。
「リセット」 :すべてを消去し、作成開始に戻ります。
「消去」 :選択した画像を消去します。

6 「作成」を選択し、◎(OK)を押す

▶ アニメーションファイルが作成され、アニメーションフォルダに保存されます。

注意 作成した5KB以上のアニメーションファイルは、メール添付／ファイルコピーできません。

「個別選択」の場合

1 「個別選択」を選択し、◎(OK)を押す

2 「データフォルダ」または「デジタルカメラフォルダ」を選択し、◎(OK)を押す

3 フォルダを選択し、◎(OK)を押す

4 画像を選択し、◎(OK)を押す

- 選択できる画像はpngファイル、VGA（480×640）サイズ以下のjpgファイルです。

「連写結合」の場合

1 「連写結合」を選択し、◎(OK)を押す

▶ 一番最近撮影された連写画像が表示されます。

- データフォルダに連写画像が無い場合には選択できません。

2 ✱／#で連写画像を選択する

- ✱を押すと1つ古い日付の連写画像を、#を押すと1つ新しい日付の連写画像を表示します。

3 追加する画像にチェックマークを付ける

- 画像を選択して◎(**選択**)を押すごとに、チェックマークON／OFFを切り替えます。
- ◎(**選択**)を長く（約1秒以上）押すと、全画像のチェックマークON／OFFを切り替えます。
- ✉(**確認**)を押すと、選択した画像を確認できます。

4 画像を選択し終わったら◎(確定)を押す

「カメラ撮影（1枚）」の場合

1 「カメラ撮影（1枚）」を選択し、◎(OK)を押す

- 撮影モードは自動的に写メールモードになります。

2 カメラで静止画を撮影（☞6-4ページ）して、保存する

「カメラ撮影（連写）」の場合

1 「カメラ撮影（連写）」を選択し、◎(OK)を押す

- 撮影モードは自動的に連写モードになります。また、連写速度は「普通」になり、変更できません。

2 カメラで連写モードの静止画を撮影（☞6-16ページ）して、保存する

画像結合

QQVGA（120×160）サイズの画像を4枚組み合わせて、1枚のQVGA（240×320）サイズの画像を作ります。
また、QQVGAサイズ以外の画像でもQQVGAサイズに最適化して組み合わせることができます。

1 「画像結合」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→●→「機能＆ツール」→「画像結合」

- ピクチャーファイルの一覧画面／再生画面→✎（**メニュー**）→「画像結合」でも呼び出せます。

2 画像を貼り付ける場所を選択し、●（OK）を押す

3 データフォルダから画像を選択し、●（OK）を押す

4 操作2～3を繰り返して、画像を4枚選択する

5 ✎（決定）を押す

6 よければ、●（OK）を押す

7 ファイル名を入力し、●（OK）を押す

赤外線通信

赤外線通信をご利用になる前に

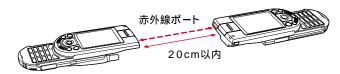
V401SA同士など赤外線通信機能を持つ携帯電話やパソコンなどの機器との間で、データを送受信できます。
メモリダイヤル、プロフィール、画像ファイル(拡張子.jpe/.jpg/.jpeg)、vCardファイルを送受信できます。

補足 メモリダイヤル、プロフィールはvCardファイル(☞10-17ページ)として送受信されます。

赤外線通信には次の3つのモードがあります。

赤外線通信のモード	概　要	参照ページ
赤外線送信モード	データを相手の機器に送信するときに使用するモードです。	11-3
赤外線受信モード	データを相手の機器から受信するときに使用するモードです。	11-5
名刺交換モード	V401SA同士またはV801SAとプロフィールを交換するときに使用するモードです。	11-6

赤外線通信するときは次のことに注意してください

●赤外線通信を行う前に、送信側と受信側の赤外線ポートを20cm以内に近づけます。

●机などの安定した台の上に置き、お互いの赤外線ポートが平行に向き合うようにしっかりと固定させてください。
●赤外線通信するときは、赤外線ポートにストラップなどがかからないように注意してください。
●データの送受信が終わるまで、お互いの赤外線ポートが向き合ったままにして動かさないでください。
●直射日光が当たっている場所や、蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
●赤外線通信中はオフラインモードになるため、通話など電波の送受信はできません。
●V401SAの赤外線通信はIrMC1.1に準拠しています。ただし、相手の機器がIrMC1.1に準拠していてもアプリケーションによっては送受信できないデータがあります。

赤外線通信の利用

■ データを送信する

各機能のサブメニューから「赤外線送信」を選択して送信する方法と、赤外線通信メニューから送信する方法があります。
データを送信するときは相手側を赤外線受信モードにする必要があります(☞11-5ページ)。送信側が送信を開始する操作と、受信側を受信モードにする操作は、どちらを先に行ってもかまいません。ただし、30秒以内に双方の操作を行ってください。

各機能のサブメニューから赤外線送信する

1 **赤外線通信が利用できる機能の画面を表示する**

メモリダイヤルを送信するとき

メモリダイヤルの一覧画面から送信するメモリダイヤルを選択するか、メモリダイヤルの確認画面を表示します。
呼び出し方：待受画面→◎→メモリダイヤルを選択(→◉(**OK**))

プロフィールを送信するとき

プロフィール画面を表示します。
表示方法：待受画面→◉→「設定」または「アドレス帳」→「プロフィール」

データフォルダ内の画像ファイル(.jpe/.jpg/.jpeg形式)を送信するとき

データフォルダのファイルの一覧からファイルを選択するか、ファイルの確認画面を表示します。
表示方法：待受画面→◉→「フォルダBOX」→「データフォルダ」→フォルダを選択→ファイルを選択(→◉(**OK**))

デジタルカメラフォルダ内の画像ファイルを送信するとき

デジタルカメラフォルダのファイルの一覧からファイルを選択するか、ファイルの確認画面を表示します。
表示方法：待受画面→◉→「フォルダＢＯＸ」→「デジタルカメラフォルダ」→「100IMAGE」→ファイルを選択(→◉(**OK**))

データフォルダ内のvCardファイルを送信するとき

データフォルダのファイルの一覧からファイルを選択するか、ファイルの確認画面を表示します。
表示方法：待受画面→→「フォルダBOX」→「データフォルダ」→フォルダを選択→ファイルを選択（→（**再生**））

2 **（メニュー）を押す**

3 **「赤外線送信」を選択し、（OK）を押す**

4 **「YES」を選択し、（OK）を押す**

▶ データが送信されます。

- 赤外線送信を中止するときは「NO」を選択します。
- メモリダイヤル、プロフィールを送信する場合で画像が登録されている場合は、「画像ありで送信」、「画像なしで送信」または「中止」を選択します。

赤外線通信メニューから送信する

1 **「赤外線通信」を呼び出す**

呼び出し方：待受画面→→「機能＆ツール」→「赤外線通信」

2 **「送信モード」を選択し、（OK）を押す**

3 **送信項目を選択し、（OK）を押す**

「メモリダイヤル」	：メモリダイヤルを送信します。
「データフォルダ」	：データフォルダ内の画像ファイル（拡張子.jpe/.jpg/.jpeg）、vCardファイルを送信します。
「デジタルカメラフォルダ」	：デジタルカメラフォルダ内の画像ファイルを送信します。

4 **「YES」を選択し、（OK）を押す**

- 赤外線送信を中止するときは「NO」を選択します。

5 **送信するデータを選択し、（OK）を押す**

▶ データが送信されます。

- 「データフォルダ」、「デジタルカメラフォルダ」を選択したときは、フォルダを選択してから送信するデータを選択します。

転送不可の画像、250KBを超える画像は送信できません。

補足

- 送信中に中止するときは（**中止**）またはを押します。
- 受信側が見つからない場合は、続けるかどうかを確認する画面が表示されます。「YES」を選択するともう一度通信をやり直します。お互いの赤外線ポートが向き合っているかなどを確認してください。
- 赤外線通信が受信側によって切断された場合は、再接続するかどうかを確認する画面が表示されます。「YES」を選択するともう一度通信をやり直します。

■ データを受信する

データを受信するときにこの操作を行います。
送信側が送信を開始する操作と、受信側を受信モードにする操作は、どちらを先に行ってもかまいません。ただし、30秒以内に双方の操作を行ってください。

1 **「赤外線通信」を呼び出す**

呼び出し方：待受画面→→「機能＆ツール」→「赤外線通信」

2 **「受信モード」を選択し、（OK）を押す**

3 **「YES」を選択し、（OK）を押す**

▶ 相手がデータを送信すると受信が開始され、受信完了のメッセージが表示されます。

- 赤外線受信を中止するときは「NO」を選択します。
- 受信したデータが登録条件を満たしていない場合は、警告メッセージが表示されます。

4 **「新規登録」／「新規保存」を選択し、（OK）を押す**

▶ メモリダイヤル、プロフィール、vCardファイルを受信すると内容をメモリダイヤルに登録します。空いている最小のメモリNo.に登録されます。
画像ファイルを受信するとデータフォルダに登録します。

- 画像ファイルを受信した場合は、「確認」を選択すると、画像を確認できます。
- 登録／保存を中止するときは「登録中止」／「保存中止」を選択します。

- 受信中に中止するときは（**中止**）またはを押します。
- 送信側が見つからない場合は、続けるかどうかを確認する画面が表示されます。「YES」を選択するともう一度通信をやり直します。お互いの赤外線ポートが向き合っているかなどを確認してください。

250KBを超える画像は受信できません。

プロフィールを交換する（名刺交換）

V401SA同士またはV801SAと、お互いのプロフィール情報を送受信しあうことができます。ご自分のプロフィール情報を送信すると、相手のプロフィール情報も送信されてきます。

■ 送信→受信の場合

先にご自分のプロフィール情報を相手に送信し、そのあと相手のプロフィール情報を受信する場合の操作です。相手の方が名刺交換の操作で「後で送信」を選択していることを確認してください。相手の方がV801SAの場合は「受信」を選択していることを確認してください。

1 プロフィール画面を表示する

表示方法：待受画面→◎→「設定」／「アドレス帳」→「プロフィール」

2 ✉（メニュー）を押す

3 「名刺交換」を選択し、◎（OK）を押す

4 「先に送信」を選択し、◎（OK）を押す

- 名刺交換を中止するときは「中止」を選択します。

5 「YES」を選択し、◎（OK）を押す

▶ 相手にご自分のプロフィール情報が送信されます。続いて相手の操作がおこなわれると相手のプロフィール情報が受信されます。

- 名刺交換を中止するときは「NO」を選択します。
- 画像が登録されている場合は、「画像ありで送信」、「画像なしで送信」を選択します。

6 「新規登録」を選択し、◎（OK）を押す

▶ 相手のプロフィール情報をメモリダイヤルに登録します。空いている最小のメモリNo.に登録されます。

- 登録を中止するときは「登録中止」を選択します。

- 送受信中に中止するときは◎（**中止**）またはclearを押します。
- 受信側が見つからない場合は、続けるかどうかを確認する画面が表示されます。「YES」を選択するともう一度通信をやり直します。お互いの赤外線ポートが向き合っているかなどを確認してください。
- 赤外線通信が受信側によって切断された場合は、再接続するかどうかを確認する画面が表示されます。「YES」を選択するともう一度通信をやり直します。

■ 受信→送信の場合

先に相手のプロフィール情報を受信し、そのあとご自分のプロフィール情報を送信する場合の操作です。相手の方が名刺交換の操作で「先に送信」を選択していることを確認してください。相手の方がV801SAの場合は「送信」を選択していることを確認してください。

1 プロフィール画面を表示する

表示方法：待受画面→◎→「設定」／「アドレス帳」→「プロフィール」

2 ✉（メニュー）を押す

3 「名刺交換」を選択し、◎（OK）を押す

4 「後で送信」を選択し、◎（OK）を押す

▶ 相手のプロフィール情報が受信されます。

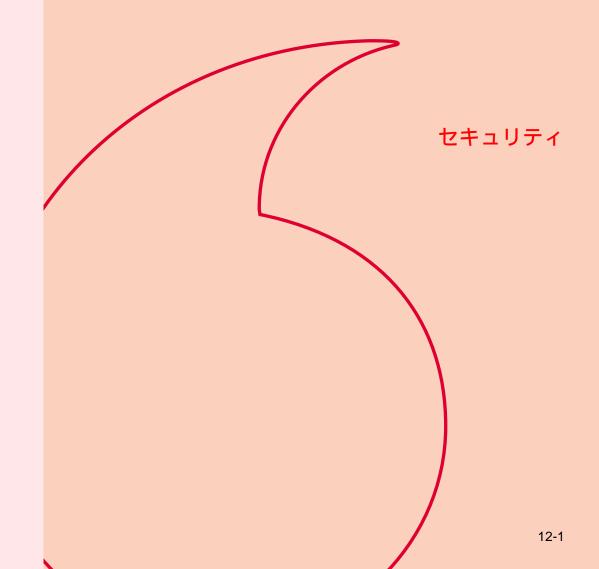
- 名刺交換を中止するときは「中止」を選択します。

5 「新規登録」を選択し、◎（OK）を押す

▶ 相手のプロフィール情報をメモリダイヤルに登録します。空いている最小のメモリNo.に登録されます。
続いて、ご自分のプロフィール情報を送信します。

- 登録を中止するときは「登録中止」を選択します。
- 画像が登録されている場合は、「画像ありで送信」、「画像なしで送信」を選択します。

- 送受信中に中止するときは◎（**中止**）またはclearを押します。
- 受信側が見つからない場合は、続けるかどうかを確認する画面が表示されます。「YES」を選択するともう一度通信をやり直します。お互いの赤外線ポートが向き合っているかなどを確認してください。
- 赤外線通信が受信側によって切断された場合は、再接続するかどうかを確認する画面が表示されます。「YES」を選択するともう一度通信をやり直します。

セキュリティ

操作用暗証番号の変更

操作用暗証番号を変更します。
お買い上げ時の操作用暗証番号は「9999」、もしくはご契約時にお決めいただいた4桁の番号に設定されています。

1 「暗証番号変更」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「規制／リセット」→「暗証番号変更」

2 ◉(変更)を押す

3 現在の操作用暗証番号を入力する

- 入力した番号は、ディスプレイ上では「⚹」で表示されます。
- 入力途中で修正するときはclearを押します。
- 操作用暗証番号が一致しない場合は、警告メッセージが表示されます。

4 新しく設定する操作用暗証番号を入力し、◉(OK)を押す

- 入力途中で修正するときはclearを押します。

注意 オプションサービスの遠隔操作などに必要な交換機用暗証番号は、この操作では変更できません。

無断で利用されたくないとき

■ダイヤル操作禁止を設定する

暗証番号を入力しないとダイヤル操作ができないようにします。他人に無断で使用されるのを防ぎます。
お買い上げ時は設定されていません。

1 「ダイヤル操作禁止」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「規制／リセット」→「ダイヤル操作禁止」

2 ◉(設定)を押す

3 操作用暗証番号を入力する

- 入力した番号は、ディスプレイ上では「⚹」で表示されます。
- 入力途中で修正するときはclearを押します。
- 操作用暗証番号が一致しない場合は、警告メッセージが表示されます。

補足
- ダイヤル操作禁止を設定すると、ディスプレイに「ダイヤル操作禁止設定中」が表示されます。
- ダイヤル操作禁止中でも、次の操作が可能です。
  - ・電話を受ける(☞2-6ページ)
  - ・電源を切る(☞1-13ページ)
  - ・着信時の簡易留守録応答(☞2-9ページ)
  - ・着信拒否(☞2-11ページ)
  - ・応答保留(☞2-8ページ)
  - ・着信中の留守番電話センターへの転送(☞14-6ページ)
  - ・通話中の受話音量の調節(☞2-12ページ)
  - ・着信時の着信音量の調節(☞8-2ページ)
  - ・警察(110番)および消防(119番)、海上保安本部(118番)への緊急通報
  - ・メール、ウェブ、ステーションの着信通知画面の消去
  - ・ステーションの強制表示(Vodafone live!編)の解除

ダイヤル操作禁止を解除するには

ダイヤル操作禁止中の待受画面には、「ダイヤル操作禁止設定中」と表示されます。

待受中に操作用暗証番号を入力する

- 入力した番号は、ディスプレイ上では「✱」で表示されます。
- 入力途中で修正するときは、clearを押します。
- 操作用暗証番号が一致しない場合は、警告メッセージが表示されます。
- 通話中でも操作用暗証番号を入力して解除できます。

■ 電源を入れるたびにダイヤル操作禁止を設定する(簡易ロック)

電源を入れるたびに自動的にダイヤル操作禁止(☞12-3ページ)がかかるようにし、ダイヤル操作禁止のかけ忘れを防ぎます。ダイヤル操作禁止の解除については、上記を参照してください。
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

1 「簡易ロック」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「設定」→「規制／リセット」→「簡易ロック」

2 ◎(変更)を押す

3 操作用暗証番号を入力する

- 入力した番号は、ディスプレイ上では「✱」で表示されます。
- 入力途中で修正するときはclearを押します。
- 操作用暗証番号が一致しない場合は、警告メッセージが表示されます。

4 「ON」を選択し、◎(OK)を押す

- 解除するときは「OFF」を選択します。

■ メモリダイヤルの使用を禁止する

メモリダイヤルの呼び出し、登録、修正、消去ができないように設定します。
ダイヤルボタン、リダイヤル、着信履歴、ノートパッドメモリ、メールデータを使って電話をかけることはできます。
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

1 「メモリ使用禁止」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「設定」→「規制／リセット」→「メモリ使用禁止」

2 ◎(変更)を押す

3 操作用暗証番号を入力する

- 入力した番号は、ディスプレイ上では「✱」で表示されます。
- 入力途中で修正するときはclearを押します。
- 操作用暗証番号が一致しない場合は、警告メッセージが表示されます。

4 「ON」を選択し、◎(OK)を押す

- 解除するときは「OFF」を選択します。

メモリ使用禁止設定中にメモリダイヤルを呼び出そうとすると、警告メッセージが表示されます。暗証番号を入力すると、メモリ使用禁止が一時解除されます。

■ ダイヤルボタンでの発信を禁止する

ダイヤルボタンを使って電話をかけられないように設定します。メモリダイヤルからの発信はできます。
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

1 「ダイヤル発信禁止」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「設定」→「規制／リセット」→「ダイヤル発信禁止」

2 ◎(変更)を押す

3 操作用暗証番号を入力する

- 入力した番号は、ディスプレイ上では「✱」で表示されます。
- 入力途中で修正するときはclearを押します。
- 操作用暗証番号が一致しない場合は、警告メッセージが表示されます。

4 「ON」を選択し、◎(OK)を押す

- 解除するときは「OFF」を選択します。

ダイヤル発信禁止設定中は、ダイヤルボタンで電話をかけようとしたとき、リダイヤルや着信履歴、ノートパッドメモリ、メールデータなどから電話をかけようとしたときに警告メッセージが表示されます。暗証番号を入力すると、ダイヤル発信禁止が一時解除されます。

ダイヤル発信禁止設定中でも、警察(110番)および消防(119番)、海上保安本部(118番)への緊急通報はできます。

電話の着信制限（指定着信拒否）

迷惑リストに登録した電話番号からの着信や、番号通知のない着信を拒否します。

■ 迷惑電話を拒否する（着信制限）

迷惑リストに登録した電話番号からの電話を自動的に拒否します。また、ワン切り着信があった場合に、着信音を鳴らさずワン切り着信用の履歴に記録が残るように設定できます。
お買い上げ時はいずれも「OFF」に設定されています。

迷惑電話拒否を設定する

迷惑電話拒否を設定すると、迷惑リストに登録（☞次ページ）した電話番号からの電話を自動的に拒否します。

1 「指定着信拒否」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「規制／リセット」→「指定着信拒否」

2 ◉（変更）を押す

3 操作用暗証番号を入力する

- 入力した番号は、ディスプレイ上では「¥」で表示されます。
- 入力途中で修正するときはclearを押します。
- 操作用暗証番号が一致しない場合は、警告メッセージが表示されます。

4 「着信制限」を選択し、◉（変更）を押す

5 「迷惑電話拒否」を選択し、◉（変更）を押す

6 「ON」を選択し、◉（OK）を押す

- 解除するときは「OFF」を選択します。

注意

迷惑リストに相手の電話番号を登録していても、相手が電話番号を通知してこなかった場合は、着信は拒否されません。

補足

- 通話中に迷惑電話防止（☞2-10ページ）を使用した相手の電話番号は、迷惑電話拒否の対象の電話番号として、自動的に迷惑リストに登録されます（相手が電話番号を通知してきた場合のみ）。
- 迷惑電話拒否で拒否した着信は、着信履歴に記憶されません。

迷惑リストに電話番号を登録する

迷惑リストには、迷惑電話防止（☞2-10ページ）を使用して自動登録された電話番号と、お客様ご自身で登録した電話番号を、合わせて20件まで登録できます。

1 「指定着信拒否」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「規制／リセット」→「指定着信拒否」

2 ◉（変更）を押す

3 操作用暗証番号を入力する

- 入力した番号は、ディスプレイ上では「¥」で表示されます。
- 入力途中で修正するときはclearを押します。
- 操作用暗証番号が一致しない場合は、警告メッセージが表示されます。

4 「着信制限」を選択し、◉（変更）を押す

5 「迷惑リスト」を選択し、◉（変更）を押す

6 ◉（新規）を押す

7 電話番号を入力し、◉（OK）を押す

- メモリダイヤル、リダイヤル、着信履歴から呼び出して入力することもできます。

注意

- 20件を超えて登録すると、古い日時のものから消去されます。
- 先頭に「184」、「186」を付加した電話番号や、ハイフン「－」を含んだ電話番号を登録すると、「184」、「186」、「－」は除かれて登録されます。また、電話番号にポーズ「・」が含まれている場合は、ポーズ「・」以降は登録されません。

補足

- 待受画面から着信履歴を呼び出して◎で登録する相手または電話番号を選択し、✉（メニュー）を押して「迷惑リスト登録」を選択しても登録できます。この場合、操作用暗証番号の入力が必要です。
- すでに迷惑リストに登録されている電話番号と同じ電話番号を登録すると、日時のみ更新されます。
- 迷惑リストから相手を選択して◉（詳細）を押すと、登録されている電話番号と迷惑リストに登録した日付が表示されます。メモリダイヤルに登録されている場合は、名前も表示されます。
- 迷惑リストから相手を選択して✉（消去）を押すと、登録を消去できます。「1件消去」または「全件消去」を選択します。

ワン切り対策

見覚えのない電話番号から、1回コールしただけですぐに切れる着信があり、着信履歴からその番号にかけ直すと、高額なサービスに接続されるというような悪質な迷惑電話を「ワン切り」といいます。このような着信を、着信音の流れる秒数で「ワン切り」と認識し、着信音、バイブレータ、着信ランプでの着信のお知らせはされないように設定できます。ただし、ディスプレイのパネル照明は点灯します。
通常の着信履歴ではなくワン切り履歴に記録されます。
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

1 「指定着信拒否」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「規制／リセット」→「指定着信拒否」

2 ◉（変更）を押す

3 操作用暗証番号を入力する

- 入力した番号は、ディスプレイ上では「¥」で表示されます。
- 入力途中で修正するときはclearを押します。
- 操作用暗証番号が一致しない場合は、警告メッセージが表示されます。

4 「着信制限」を選択し、◉（変更）を押す

5 「ワン切り対策」を選択し、◉（変更）を押す

6 「ON」を選択し、◉（OK）を押す

- 解除するときは「OFF」を選択します。

7 着信音の秒数（1〜9秒）を入力し、◉（OK）を押す

- ワン切りと判断する秒数を設定します。設定した秒数内で切れた着信はワン切りとみなされます。

- ワン切り対策を「ON」に設定すると、メモリダイヤルやプロフィールに登録されていない電話番号からの着信は、設定した秒数が経過してから着信音が鳴ります。設定秒数が長いと、着信音が鳴り始める前に相手が電話を切ってしまう可能性があります。また、そのような場合でも不在着信通知は表示されませんのでご注意ください。
- メモリダイヤルまたはプロフィールに登録されている電話番号からのワン切り着信や、非通知設定、公衆電話などからの電話番号のないワン切り着信は、ワン切りとはみなされません。
- ワン切り対策を「ON」から「OFF」に変更しても、それまでのワン切り履歴は消去されません。

- ワン切り履歴を表示するには、待受画面で◯を押して着信履歴を表示させたあと、✉（**メニュー**）を押して「ワン切り履歴」を選択します。ワン切り履歴には30件まで記録され、30件を超えると古いものから順に消去されます。

■ 番号通知のない着信を拒否する

電話がかかってきたときに相手が電話番号を通知してこなかった場合、その理由（非通知設定、公衆電話、発番通知不可）ごとに着信を拒否します。
お買い上げ時は、いずれも「許可」に設定されています。

1 「指定着信拒否」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「規制／リセット」→「指定着信拒否」

2 ◉（変更）を押す

3 操作用暗証番号を入力する

- 入力した番号は、ディスプレイ上では「¥」で表示されます。
- 入力途中で修正するときはclearを押します。
- 操作用暗証番号が一致しない場合は、警告メッセージが表示されます。

4 「非通知拒否」を選択し、◉（変更）を押す

5 非通知理由を選択し、◉（変更）を押す

「非通知」　：電話番号の通知のない着信を拒否します。
「公衆電話」　：公衆電話からかけてきている着信を拒否します。
「発番通知不可」：国際電話など番号通知できないエリアまたはネットワークからかけてきている着信を拒否します。

6 「拒否」を選択し、◉（OK）を押す

- 着信拒否しないときは「許可」を選択します。
- 必要に応じて操作***5***〜***6***を繰り返します。

- 非通知拒否を設定している場合、電話番号を通知してこなかった相手には、「恐れ入りますが、あなたの電話番号を通知しておかけ直しください。」とアナウンスが流れ、電話が切れます。
- アナウンスが流れている間も、相手側に通話料金がかかります。
- アナウンス中にエニーキーアンサー（☞2-7ページ）で電話を受けられます。
- 非通知拒否で拒否した着信は、着信履歴に「⃠」が表示されます。

秘密にしたい項目の登録

他人に見られたくないメモリダイヤル、スケジュール、タスクは、シークレットモード「ON」の状態で登録します。シークレットモードを「ON」にしないと登録内容を見ることも、メモリダイヤルから電話をかけることもできません。

■ シークレットモードを設定する

お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

1 「シークレット」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「設定」→「規制／リセット」→「シークレット」

2 ◎(変更)を押す

3 操作用暗証番号を入力する

- 入力した番号は、ディスプレイ上では「*」で表示されます。
- 入力途中で修正するときはclearを押します。
- 操作用暗証番号が一致しない場合は、警告メッセージが表示されます。

4 「ON」を選択し、◎(OK)を押す

- シークレットモードを設定すると、ディスプレイに「 」が表示されます。
- シークレットモードを解除するときは「OFF」を選択します。

シークレットモードは電源を切ると解除されます。

■ シークレットメモリを登録する

ここでは、登録済みのメモリダイヤルを呼び出して、シークレットメモリとして登録する方法を説明します。あらかじめシークレットモードを「ON」にしておく必要があります(☞12-10ページ)。

1 待受画面で◯を押す

2 シークレットメモリに登録するメモリダイヤルを選択し、◎(OK)を押す

3 ◎(編集)を押す

4 「 」を選択し、◎(選択)を押す

5 「ON」を選択し、◎(OK)を押す

- シークレットメモリ登録を解除するときは「OFF」を選択します。

6 ◎(保存)を押す

7 「YES」を選択し、◎(OK)を押す

- 登録済みのメモリダイヤルを呼び出して、シークレットメモリとして登録し直す場合は、登録時に必ず上書きしてください。上書きしないと、シークレットメモリに変更する前のメモリダイヤルが元のメモリNo.に残ります。

メモリリセット(☞12-14ページ)やオールリセット(☞12-15ページ)、メモリダイヤルの全消去(☞5-26ページ)を行うと、シークレットメモリとして登録されているメモリダイヤルも消去されます。

- シークレットメモリとして登録されたメモリダイヤルの相手から電話がかかってきた場合、シークレットモードが「ON」に設定されていないと、名前は表示されません。
- シークレットモードでシークレット登録されているメモリダイヤルを表示／選択すると、「 」が点滅します。

誤動作防止設定

電源を入れたままカバンやポケットなどに入れて持ち運ぶときに、誤動作しないようにボタンにロックをかけます。本体を閉じているときにロックがかかります。

待受画面で◉を長く（約1秒以上）押す

- 本体を開いていても閉じていても設定できます。
- もう一度◉を長く（約1秒以上）押すと設定が解除されます。
- 開いた状態で設定した場合、スライドを閉じてから設定が有効になります。

誤動作防止設定中は

- ◉以外のボタンがロックされます。
- 画面には「誤動作防止設定中」が表示されます。
- 本体を開くと設定は一時解除されます。閉じると再び設定が有効になります。
- 音声着信があった場合☎、☎ボタンが使用できます。通話中は、設定が一時解除になります。
- 音声着信以外の着信音、アラームが鳴った場合、◉または☎を押して止めることができます。

登録内容をお買い上げ時の状態に戻す（リセット）

■ 各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す（設定リセット）

各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 「リセット」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「規制／リセット」→「リセット」

2 ◉（実行）を押す

3 操作用暗証番号を入力する

- 入力した番号は、ディスプレイ上では「⚹」で表示されます。
- 入力途中で修正するときはclearを押します。
- 操作用暗証番号が一致しない場合は、警告メッセージが表示されます。

4 「設定リセット」を選択し、◉（実行）を押す

5 「YES」を選択し、◉（OK）を押す

- 中止するときは「NO」を選択します。
- リセット中はオフラインモードになります。

お買い上げ時の設定については、16-2ページの「機能一覧」を参照してください。

セキュリティ 12

■ メモリダイヤルなどの登録内容を消去する（メモリリセット）

メモリダイヤルなどの登録内容をすべて消去します。

1 **「リセット」を呼び出す**

呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「規制／リセット」→「リセット」

2 **◉（実行）を押す**

3 **操作用暗証番号を入力する**

- 入力した番号は、ディスプレイ上では「＊」で表示されます。
- 入力途中で修正するときはclearを押します。
- 操作用暗証番号が一致しない場合は、警告メッセージが表示されます。

4 **「メモリリセット」を選択し、◉（実行）を押す**

5 **「YES」を選択し、◉（OK）を押す**

- 中止するときは「NO」を選択します。
- リセット中はオフラインモードになります。

この操作を行うと、次の内容がすべて消去され、お買い上げ時の状態に戻ります。
・メモリダイヤル（☞5-2ページ）
・メモリダイヤルのグループ名（☞5-14ページ）
・ライブラリの編集内容（☞4-14ページ）
・顔文字の編集内容（☞4-24ページ）
・ノートパッドメモリ（☞2-14ページ）
・ペーストデータ（☞4-23ページ）

■ すべての登録内容を消去する（オールリセット）

メモリダイヤルやデータフォルダに保存したデータなどV401SAに登録した内容すべてを消去し、各機能の設定内容もすべてお買い上げ時の状態に戻します。

1 **「リセット」を呼び出す**

呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「規制／リセット」→「リセット」

2 **◉（実行）を押す**

3 **操作用暗証番号を入力する**

- 入力した番号は、ディスプレイ上では「＊」で表示されます。
- 入力途中で修正するときはclearを押します。
- 操作用暗証番号が一致しない場合は、警告メッセージが表示されます。

4 **「オールリセット」を選択し、◉（実行）を押す**

5 **「YES」を選択し、◉（OK）を押す**

- 中止するときは「NO」を選択します。
- リセット中はオフラインモードになります。

その他の機能

電話に出られないときに相手のメッセージを録音する

電話に出られないときに、V401SAが応答メッセージを流し、相手のメッセージをお預かりします。1件の録音時間は90秒までで、音声メモ(☞2-13ページ)、マイボイスメモ(☞2-13ページ)と合わせて最大99件、138秒まで録音できます。留守番電話センターがメッセージをお預かりする「留守番電話サービス」とは異なり、圏外ではご利用できません。
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
「ON」に設定した場合の応答メッセージは「固定」、応答時間は「10秒」に設定されています。

■ 簡易留守録を設定／解除する(簡易留守録)

(サイドキー)で設定する

待受画面で(サイドキー)を長く(約1秒以上)押す

▶ 簡易留守録が設定され、ディスプレイに「」が表示されます。

- もう一度(サイドキー)を長く(約1秒以上)押すと解除になります。

メニューから設定する

1 「簡易留守録」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「機能＆ツール」→「簡易留守録」

2 ◎(変更)を押す

3 「ON」を選択し、◎(OK)を押す

- 解除するときは「OFF」を選択します。

4 応答メッセージを選択し、◎(OK)を押す

「固定」　　：あらかじめV401SAに登録されている応答メッセージに設定します。
「自作1～3」：ご自分で録音した応答メッセージ(☞13-6ページ)に設定します。メッセージが録音されていると「」が表示されます。

- 録音されていないメッセージは選択できません。
- (再生)を押すと、選択した応答メッセージを再生して確認できます。

5 応答時間(01～29秒)を入力し、◎(OK)を押す

- 自動着信(☞13-61ページ)の応答時間と同じときは、自動着信が優先されます。
- 転送電話／留守番電話サービスの呼び出し時間との優先順位については、電波の状況などにより前後する場合があります。優先したいサービスまたは機能の設定時間を、他よりも短く設定しておかれることをおすすめします。
- 通話中にかかってきた電話に簡易留守録で応答することはできません。

簡易留守録設定中に電話がかかってきたら

①着信音が鳴る
②応答しないで設定時間が経過すると、自動的にメッセージを相手側に流す
③録音開始通知音が鳴り、録音が始まる
　▶ 録音開始からの秒数と録音可能な残り時間の目安が表示されます。
　録音終了時に、相手に通知音でお知らせします。
- 録音時間は90秒以内です。

④相手が終話する
　▶ お知らせ画面に「不在着信」が表示されます。
- かけてきた相手が電話を切ったり、録音時間が90秒を経過した場合にも同様の画面が表示されます。
- を押すと待受画面に戻り、「」が点灯します。録音された内容を確認するか消去すると、「」が「」に変わります。

簡易留守録設定中に、音声メモ、マイボイスメモと合わせて録音件数が99件に達した場合や録音可能時間が10秒未満になった場合は、「」が「」(赤色)に変わります。このときに電話がかかってきて応答時間が経過すると、警告メッセージが表示され、簡易留守録は起動しません。不要な応答メッセージ、簡易留守録、音声メモ、マイボイスメモを消去してください(☞13-5ページ)。

- 応答メッセージ送信中または簡易留守録録音中に◎(**通話**)や(サイドキー)を押すと、相手と通話できます。
- あらかじめ簡易留守録を設定していなくても、着信時に◎()または(サイドキー)を押すと相手からのメッセージを録音できます。(ただし、簡易留守録は設定されません。)

■ 簡易留守録、音声メモ、マイボイスメモを再生する

待受画面に「」、「」、「」のいずれかが表示されているときは、未確認の簡易留守録があります。録音内容は「ボイスデータ」として保存されています。簡易留守録を再生するには、ボイスデータの一覧画面または、着信履歴から再生する方法があります。また、ボイスデータの一覧画面からは音声メモやマイボイスメモも再生できます。

ボイスデータの一覧から再生する

1 待受画面で（サイドキー）を押す

▶録音されている件数だけ項目が表示されます。

- 未再生の簡易留守録には「」が表示されます。
- （**詳細**）を押すと、選択された録音内容の詳細（録音した日付・時刻など）が表示されます。（**一覧**）を押すと一覧表示に戻ります。
- 右端に「☎」の表示がある音声メモや簡易留守録は、を押すと電話をかけられます。

2 再生する項目を選択し、（再生）を押す

▶選択された録音内容が再生されます。
再生を中止するときは、（**停止**）を押します。

- （**メニュー**）を押し、「連続再生」を選択して（**OK**）を押すと、録音されているすべての簡易留守録、音声メモ、マイボイスメモを連続して再生します。
- 再生中は、次の操作ができます。
  - を押す：1つ前の録音内容を再生。先頭の録音内容を再生中の場合は、最後の録音内容を再生。
  - を押す：次の録音内容を再生。最後の録音内容を再生中の場合は、先頭の録音内容を再生。
  - ：再生音量を調節。

通話中にも音声メモ、マイボイスメモを再生できます。

着信履歴から再生する

1 待受画面でを押す

- 不在着信をお知らせする画面が表示されているときは（**確認**）を押します。メッセージが録音されている場合は「不在着信」の右に「」が表示されます。「不在着信」を選択して（**OK**）を押します。

2 「」が表示されている着信履歴を選択し、（詳細）を押す

3 （再生）を押す

- 再生を中止するときは、（**停止**）を押します。

通話中にも簡易留守録、音声メモ、マイボイスメモを再生できます。

■ 簡易留守録、音声メモ、マイボイスメモを消去する

簡易留守録、音声メモ、マイボイスメモの録音内容を1件ずつ、または全件まとめて消去します。

1 待受画面で（サイドキー）を押す

2 消去する項目を選択し、（メニュー）を押す

- 全件消去するときは、項目を選択する必要はありません。

3 「消去」を選択し、（OK）を押す

4 「1件消去」または「全件消去」を選択し、（OK）を押す

「1件消去」：選択した項目のみ消去します。
「全件消去」：すべての録音内容を消去します。

5 「YES」を選択し、（OK）を押す

ボイスアラーム（☞13-6ページ）に登録済みの録音内容を消去しようとすると、消去するかどうかを確認する画面が表示されます。「YES」を選択し、（**OK**）を押すと消去されます。

■ 簡易留守録、音声メモ、マイボイスメモをボイスアラームに登録する

簡易留守録、音声メモ、マイボイスメモをボイスアラームとして登録しておくと、目覚ましのアラーム音として利用できます。
ボイスアラームに登録できるのは、1件のみです。

1 待受画面で（サイドキー）を押す

2 アラーム音に設定する録音内容を選択し、（メニュー）を押す

3 「ボイスアラーム登録」を選択し、（OK）を押す

- ボイスアラームに登録した簡易留守録、音声メモ、マイボイスメモは、赤い文字で表示されます。
- すでに他の内容がボイスアラームに登録されている場合は、ボイスアラームを書き換えるかを確認する画面が表示されます。「YES」を選択し、（OK）を押すと書き換えます。
- ボイスアラームに登録済みの録音内容を選択したときは、サブメニューに「ボイスアラーム解除」が表示されます。

■ 自作の応答メッセージを録音する

簡易留守録の応答メッセージは、3件まで録音できます。録音時間は1件につき最大約12秒です。

1 「簡易留守録」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→→「機能＆ツール」→「簡易留守録」

2 （変更）を押す

3 「ON」を選択し、（OK）を押す

4 「自作1」〜「自作3」のいずれかを選択し、（録音）または（サイドキー）を押す

▶ 録音開始音が鳴り、録音が始まります。ディスプレイには残り秒数が表示されます。

- すでに録音されているメッセージの右端には「」が表示されています。録音済みの応答メッセージを選択し（サイドキー）を押すと、応答メッセージを書き換えるかを確認する画面が表示されます。「YES」を選択し、（OK）を押すと録音し直せます。

5 （停止）、（サイドキー）またはclearを押す

▶ 録音終了音が鳴り、録音が終了します。

- 録音開始後約12秒経過すると、自動的に録音が終了します。

- 自作の応答メッセージを録音できる残り時間が12秒未満のときは、不要な応答メッセージ、簡易留守録、音声メモ、マイボイスメモを消去してから録音してください（☞13-5ページ）。
- 自作の応答メッセージは追加して録音することはできません。消去してから再度録音するか、上書きしてください。
- 「」（赤色）が表示されているときは、すでに99件録音されているか録音可能な時間が10秒未満の状態です。不要な応答メッセージ、簡易留守録、音声メモ、マイボイスメモを消去してください（☞13-5ページ）。

- 応答メッセージを再生するときは、応答メッセージを選択して（**再生**）を押します。再生中に、を押すと他の応答メッセージが再生されます。（**停止**）を押すと止まります。
- 録音した応答メッセージを消去するときは、応答メッセージを選択して（**消去**）を押します。消去を確認する画面が表示されます。「YES」を選択し、（**OK**）を押すと消去されます。

録音時間について

簡易留守録の自作応答メッセージ（最大３件）が録音されていると、簡易留守録、音声メモ、マイボイスメモの録音時間は次のように変わります。

簡易留守録の自作応答メッセージ	簡易留守録、音声メモ、マイボイスメモ合計の録音可能秒数
録音なし	約138秒
1件録音	約126秒
2件録音	約114秒
3件録音	約102秒

小声で話す（ナイシヨ通話）

小声でも十分、相手とお話しできるようにします。小さな声でお話ししなければならない場合などにご使用ください。

通話中に（ナイショ）を押す

▶ナイショモードが設定されます。

- ナイショ通話中に◎（**解除**）を押すと、ナイショモードが解除されます。

注意	通話を終了すると、ナイショモードは自動的に解除されます。

電波が弱いことをお知らせする（通話品質アラーム）

通話状態が悪く途中で通話が切れてしまう恐れのある場合、直前にアラーム音を鳴らしてお知らせします。通話相手にはアラーム音は聞こえません。
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

1 「通話品質アラーム」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「その他」→「通話品質アラーム」

2 ◉（変更）を押す

3 「ON」を選択し、◉（OK）を押す

- 解除するときは「OFF」を選択します。

注意	急に通話状態が悪くなった場合は、アラーム音が鳴る前に通話が切れてしまう場合があります。

バイブレータで相手の応答確認をする（呼び出しバイブ）

相手が電話に応答したときに、バイブレータで確認できるように設定します。
お買い上げ時は、「OFF」に設定されています。

1 「呼び出しバイブ」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「音設定」→「呼び出しバイブ」

2 ◉（変更）を押す

3 「ON」を選択し、◉（OK）を押す

- バイブレータで応答確認をしないときは「OFF」を選択します。

注意	一部の電話番号に電話をかけた場合や、電波状態が悪いときは、呼び出しを「ON」にしていても振動しない場合があります。

イルミネーションの設定

通話中の状態や不在着信、メール、ウェブ、ステーション、アラームの通知をランプの点灯と色でお知らせします。

■ 通話中イルミネーションを設定する

通話中に着信ランプを点灯させるかどうかと、点灯パターン、色を設定します。
お買い上げ時は「パターン1、カラー1」に設定されています。

1 「イルミネーション設定」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「音設定」→「イルミネーション設定」

2 ◉（変更）を押す

3 「通話中イルミネーション」を選択し、◉（OK）を押す

4 点滅動作のパターンを選択し、◉（OK）を押す

- 通話中イルミネーションを設定しないときは「OFF」を選択します。

5 点灯色を選択し、◉（OK）を押す

■ お知らせイルミネーションを設定する

不在着信、メール、ウェブ、ステーション、アラームの通知があったときに、着信ランプを点灯させるかどうかと、色を設定します。
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

1 **「イルミネーション設定」を呼び出す**
呼び出し方：待受画面→◎→「設定」→「音設定」→「イルミネーション設定」

2 **◎（変更）を押す**

3 **「お知らせイルミネーション」を選択し、◎（OK）を押す**

4 **「お知らせ種別」を選択し、◎（OK）を押す**

5 **お知らせする通知の種別を選択し、◎（OK）を押す**

6 **「ON」を選択し、◎（OK）を押す**

- お知らせイルミネーションを設定しないときは「OFF」を選択します。
- 必要に応じて、操作**5**～**6**を繰り返します。

7 **clearを押す**

8 **「お知らせカラー」を選択し、◎（OK）を押す**

9 **点灯色を選択し、◎（OK）を押す**

プッシュトーンの送信

V401SAからプッシュトーンを送れます。ご自宅の留守番電話の遠隔操作などに利用できます。

通話中にプッシュトーンを1つずつ送る

通話中にダイヤルボタンで送信する番号を入力する

注意
- プッシュトーンで送れる番号は、0～9、*、#です。
- プッシュトーンは、電波状態が悪いと送れない場合があります。

通話中にプッシュトーンを一括して送る

留守番電話や銀行のオンライン操作番号などをあらかじめメモリダイヤルに登録しておくと便利です。

1 **あらかじめプッシュトーンをメモリダイヤルに登録する**

- メモリダイヤルの登録のしかたは5-3～5-12ページを参照してください。

2 **プッシュトーンの送り先に電話をかける**

3 **メモリダイヤルを呼び出す**

- メモリダイヤルの呼び出しかたは5-16～5-20ページを参照してください。

4 **（メニュー）を押す**

5 **「プッシュトーン一括送信」を選択し、◎（OK）を押す**
▶表示されている番号が送出されます。

補足
リダイヤル（☞2-15ページ）、着信履歴（☞2-15ページ）、プロフィール（☞2-22ページ）、ノートパッドメモリ（☞2-14ページ）を呼び出し、（**メニュー**）を押して「プッシュトーン一括送信」を選択してもプッシュトーンを一括して送ることができます。

リンクダイヤルの利用

ポーズ(・)を使って、1つのメモリダイヤルに電話番号とプッシュトーンをつなげて登録します。ポーズ(・)を含めて24桁まで登録できます。

〈例〉銀行の電話番号「03-123X-XXX1」、IDナンバー「111111」、口座番号「555555」をつなげて登録し、電話をかける場合

リンクダイヤルを登録する

1 待受画面で銀行の電話番号を入力する

03123XXXX1

2 (ー/・)を2回押す

▶ポーズ(・)が入力されます。

03123XXXX1・

3 IDナンバーを入力する

03123XXXX1・111111

4 (ー/・)を2回押す

▶ポーズ(・)が入力されます。

03123XXXX1・111111・

5 口座番号を入力する

03123XXXX1・111111・555555

6 (登録)を押す

以降の操作は、メモリダイヤルの登録と同様です。操作のしかたは5-3〜5-12ページを参照してください。

リンクダイヤルでプッシュトーンを送る

1 リンクダイヤルを登録したメモリダイヤルを呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→メモリダイヤルを選択

2 を押す

▶1つ目のポーズ(銀行の電話番号)までが点滅し、電話がかかります。

3 (送信)を押す

▶次のポーズ(IDナンバー)までが点滅し、プッシュトーンで送られます。

4 (送信)を押す

▶残りの番号(口座番号)までが点滅し、プッシュトーンで送られます。

注意　プッシュトーンは電波状態が悪いと、送れない場合があります。

その他の機能 13

セット発信の設定

セット発信を設定すると、電話をかけるときに登録した番号を自動的に電話番号の前に付けて発信します。一般電話の市外局番などを登録しておくと、市外局番を除いた電話番号をダイヤルするだけで電話がかけられます。
登録できる番号は、1件のみです。
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

1 「セット発信」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「その他」→「セット発信」

2 ◉(変更)を押す

3 「ON」を選択し、◉(OK)を押す

- 解除するときは「OFF」を選択します。

4 セット発信番号(2～5桁)を入力し、◉(OK)を押す

- 入力途中で修正するときは、clearを押します。
- ハイフン(－)とポーズ(・)は入力できません。

異なる市外局番で同一の電話番号(市内局番以降の番号)が存在するため、セット発信する場合は、かけ間違いにご注意ください。

- リダイヤルにはセット発信番号も含めて記録されます。
- 次の場合は、セット発信は行われずに通常の発信を行います。
  - ・セット発信番号の1桁目が「0」のときで、電話番号が4桁以下または1桁目が「0」「1」「※」「#」の場合
  - ・セット発信番号の1桁目が0以外(「184」「186」など)のときで、電話番号がそのセット発信番号で始まっている場合
  - ・セット発信番号が「184」のときで、電話番号の先頭が「186」の場合
  - ・セット発信番号が「186」のときで、電話番号の先頭が「184」の場合
  - ・セット発信番号と電話番号の先頭が「184」または「186」のときに、サブメニューから「184なし」または「186なし」を選択した場合
  - ・セット発信番号と電話番号の先頭が「184」のときに、サブメニューから「186付加」を選択した場合
  - ・セット発信番号と電話番号の先頭が「186」のときに、サブメニューから「184付加」を選択した場合
  - ・電話番号が「0046010」で始まっている場合
- セット発信番号を付けた結果、25桁以上になると発信できません。

本体を開くだけで電話に出る(オープンクローズ)

電話がかかってきたときに、本体を開くことで電話を受けたり、通話中に閉じることで電話を切ったりします。
お買い上げ時は、いずれも「OFF」に設定されています。

1 「オープンクローズ」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「その他」→「オープンクローズ」

2 ◉(変更)を押す

3 「オープン通話」または「クローズ終話」を選択し、◉(変更)を押す

4 「ON」を選択し、◉(OK)を押す

- 解除するときは「OFF」を選択します。

補足

オープン通話、クローズ終話が「ON」に設定されている場合の動作は、次のとおりです。

状態		オープン通話ON時 本体を開く	クローズ終話ON時 本体を閉じる
相手を呼び出しているとき		－	電話を切る
着信時	電話がかかってきたとき	電話に出る	－
	簡易留守録の応答中のとき	電話に出る	－
	着信拒否の応答中のとき	－	－
	応答保留中のとき	電話に出る	電話を切る
通話中	通話中のとき	－	電話を切る
	相手を保留にしているとき	電話に出る	保留中の電話を切る
その他	割込通話がかかってきたとき	－	－
	切り替え通話中、割込通話中のとき	相手が切り替わる	すべての電話を切る
	三者通話中のとき	－	すべての電話を切る
	通話中に別の相手を呼び出しているとき	－	すべての電話を切る
	データ通信中のとき	－	－

国際ショートコードを付けて国際電話をかける

国際電話をかけるときに、電話番号の前に国際ショートコード(国際電話識別番号+010)を簡単に追加できます。
お買い上げ時は「0046010」に設定されています。

国際ショートコードを設定する

1 「国際発信」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「設定」→「その他」→「国際発信」

2 ◎(変更)を押す

3 国際ショートコードを入力します。

- 24桁まで入力できます。

4 ◎(OK)を押す

5 「変更する」を選択し、◎(OK)を押します。

- 変更前に戻すときは「変更前に戻す」を選択します。お買い上げ時の状態に戻すときは「リセット」を選択します。

国際ショートコードを付けて国際電話をかける

1 メモリダイヤルを呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→メモリダイヤルを選択

2 (メニュー)を押す

3 「国際発信」を選択し、◎(OK)を押す

4 を押す

▶ 設定された国際ショートコードを先頭に付けて電話をかけます。

補足 国際電話のかけかたについて詳しくは、サービスガイドブックをご覧ください。

V401SAがどこにあるのかお知らせする(ココケータイ設定)

着信音が鳴らない設定になっていてV401SAが見つからないときでも、ココケータイを設定しておくと、通知音を鳴らして場所をお知らせします。
あらかじめ登録しておいた電話番号(自宅など)からV401SAに、設定した回数ワン切り発信を繰り返し、最後にもう一度V401SAに電話をかけると、ココケータイ機能が働きステップアップで5分間通知音を鳴らします。
お買い上げ時はココケータイ設定は「OFF」、ワン切り回数は「3回」に設定されています。

■ ココケータイ機能を設定する

1 「ココケータイ設定」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「設定」→「その他」→「ココケータイ設定」

2 (リスト)を押す

3 (新規)を押す

4 発信電話番号を入力し、◎(OK)を押す

- 発信電話番号リストには5件まで登録できます。
- 登録済みの電話番号を消去するときは、発信電話番号リスト画面で(消去)を押します。「1件消去」または「全件消去」を選択し、◎(OK)を押します。

5 clearを押す

▶ ココケータイ設定画面に戻ります。

6 ◎(変更)を押す

7 「ON」を選択し、◎(OK)を押す

- 解除するときは「OFF」を選択します。

8 ワン切り回数(0～5回)を入力し、◎(OK)を押す

■ ココケータイ機能を利用する

1 あらかじめ番号登録した電話から、設定した回数のワン切り発信をする

ワン切り回数を「0回」に設定している場合は、操作**2**から行ってください。

- ワン切り発信をするときは、発信者番号を通知して発信し、着信後5秒以内で電話を切ります。また、2回目以降の発信は同じ電話機から1分以内に行ってください。

2 再び電話をかけ、25秒以上待つ

- 番号登録した電話からの着信に対して、簡易留守録および自動着信は起動しません。

3 ココケータイ機能が作動し、通知音がステップアップで5分間鳴る

- 通知音が鳴っているときに、◎(**停止**)、またはいずれかのボタンを押すと通知音が止まります。

- ココケータイ機能を利用される場合は、着信転送サービスまたは留守番電話サービスの呼び出し時間を30秒に設定してください。
- 電話をかけてから30秒以上待っても、ココケータイ機能が作動しない場合があります。

指定した時刻に電源を入れる／切る(自動電源)

あらかじめ指定した時刻に、自動的に電源を入れたり切ったりします。
お買い上げ時は、いずれも「OFF」に設定されています。

自動電源ONを設定する

1 「自動電源」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「設定」→「その他」→「自動電源」

2 ◎(変更)を押す

3 「自動電源ON」を選択し、◎(変更)を押す

4 「ON」を選択し、◎(OK)を押す

- 解除するときは「OFF」を選択します。
- 自動電源ONを解除しても、設定時刻は記憶されています。

5 時刻を入力し、◎(OK)を押す

- 24時間表示で入力します。

自動電源OFFを設定する

1 「自動電源」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「設定」→「その他」→「自動電源」

2 ◎(変更)を押す

3 「自動電源OFF」を選択し、◎(変更)を押す

4 「ON」を選択し、◎(OK)を押す

- 解除するときは「OFF」を選択します。
- 自動電源OFFを解除しても、設定時刻は記憶されています。

5 時刻を入力し、◎(OK)を押す

- 24時間表示で入力します。

- 自動電源ONと自動電源OFFの各設定で、すでに先に設定した方と同じ時刻を設定しようとすると、警告音が鳴り、時刻入力画面に戻ります。
- 発信中、着信中、通話中に自動電源OFFの設定時刻になったときは、動作終了後に電源が切れます。
- スケジュールなどのアラームと同じ時刻に設定した場合、次の順で作動します。
  ① タスク
  ② スケジュール
  ③ 目覚まし
  ④ 自動電源OFF

その他の機能 13

からくり時計

設定した時刻に画像を表示し、着信ランプを点滅し、音を鳴らします。
1時間単位の設定で時報の役割をします。
お買い上げ時は、「OFF」に設定されています。「ON」に設定した場合の通知音は「アラーム通知音」、画像は「イラスト」に設定されています。

■ からくり時計を設定する

1 「からくり時計」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「時計設定」→「からくり時計」

2 ◉(変更)を押す

3 「動作時刻」を選択し、◉(OK)を押す

4 種類を選択し、◉(OK)を押す

「毎時間」　：毎時間動作します。
「時間選択」：選択した時刻に動作します。鳴らしたい時刻を選択して◉(**選択**)を押し、よければ◎(**完了**)を押します。(選択中に✉(**確認**)を押すと、選択した時間を一覧で確認できます。)
「OFF」　：からくり時計を設定しません。

5 「通知音設定」を選択し、◉(OK)を押す

6 種類を選択し、◉(OK)を押す

「固定データ」　：内蔵されている音やメロディから選択します。操作 ***7*** に進みます。
「データフォルダ」：データフォルダに保存されているメロディファイルから選択します。操作 ***7*** に進みます。
「通知音なし」　：通知音を鳴らしません。操作 ***8*** に進みます。

7 通知音を選択し、◉(OK)を押す

- 「データフォルダ」を選択した場合は、フォルダを選択してからファイルを選択します。
- ◎(**再生**)を押すと、選択した通知音が再生されます。
- 設定できる通知音については、8-4ページの「メロディの曲名」を参照してください。そのほかに「アラーム通知音」も選択できます。

8 「画像設定」を選択し、◉(OK)を押す

9 種類を選択し、◉(OK)を押す

「固定データ」　：内蔵されているイラストを選びます。また、「画像表示なし」を選択することもできます。
「データフォルダ」　：データフォルダに保存されている画像ファイルから選択します。
「デジタルカメラフォルダ」：デジタルカメラフォルダに保存されている画像ファイルから選択します。

10 画像ファイルを選択し、◉(OK)を押す

- 「データフォルダ」／「デジタルカメラフォルダ」を選択した場合は、フォルダを選択してからファイルを選択します。

11 画像を確認して◉(OK)を押す

- 画像位置を変更できるときは「◇」が表示されます。◎で位置を調整できます。
- 選択した画像が表示領域より大きい場合／小さい場合は、「サイズ変更」が表示されます。✉(**サイズ変更**)を押すと、画像の縦横比を変えないまま表示領域の縦／横に合わせて拡大／縮小します。✉(**解除**)を押すと、元のサイズに戻ります。
- 他の画像を選択できるときは「✱・#」が表示されます。✱／#を押すと前／次の画像に切り替わります。

設定した時刻になると

設定した時刻に設定した通知音、画像が着信ランプの点滅と共に再生されます。
- ランプの点滅パターンは「メロディ連動」、カラーは「緑」に固定されています。連動情報のないメロディに設定されている場合は、通常とは異なるパターンで点滅します。
- 音の大きさは「LEVEL3」に固定されています。マナー設定(アラーム音量OFF)をしているときは、音は鳴りません。
- からくり時計の動作中に、◉(**停止**)、またはいずれかのボタンを押すとからくり時計の動作を終了します。
- からくり時計動作中に着信や他の操作を行ったときは、からくり時計の動作を終了します。
- 設定した時刻になにか操作をしていたり、設定した時刻がほかの通知と同じ時刻であったときなどは、からくり時計は動作しません。

その他の機能 13

目覚まし

指定した時刻に通知音（アラームやメロディなど）、画像、バイブレータ、通知イルミネーションでお知らせします。また、指定した時間おきにお知らせを繰り返すスヌーズモードも設定できます。

■ 目覚ましを設定する

1 「目覚まし」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「スケジュール＆アラーム」→「目覚まし」

2 1～7のアラームNo.を選択し、◎（設定）を押す

- 目覚ましを鳴らすパターンを7通り設定できます。

3 「ON」を選択し、◎（OK）を押す

▶ 目覚ましの登録項目一覧画面が表示されます。

4 各項目を選択し、◎（編集）を押す

それぞれの設定を行ってください。

項　目	概　要	参照ページ
アラーム名	アラームの名前を設定します。	13-23
アラーム時刻	目覚ましを鳴らす時刻を設定します。	13-23
繰り返し	アラームの繰り返しかたを設定します。	13-23
スヌーズモード	スヌーズ時間を設定します。 スヌーズのON／OFFを切り替えます。	13-23
アラーム通知音	通知音を選択します。	13-24
アラーム音量	アラーム音量を設定します。	13-24
通知画像	表示する画像を選択します。	13-24
バイブレータ	バイブレータの動作パターンを選択します。	13-25
通知イルミネーション	着信ランプの点滅パターンを選択します。	13-25

5 設定終了後、（保存）を押す

目覚ましを登録・修正中に着信があっても、編集中のデータは消去されません（☞4-16ページ）。

その他の機能 13

アラーム名を設定する

1 登録項目一覧画面から「名」を選択し、◎（編集）を押す

2 アラーム名を入力し、◎（OK）を押す

- アラーム名は、最大で全角7文字、半角15文字まで入力できます。

アラーム時刻を設定する

1 登録項目一覧画面から「時刻」を選択し、◎（編集）を押す

2 時刻を入力し、◎（OK）を押す

- 時刻は24時間表示で入力します。

繰り返しを設定する

1 登録項目一覧画面から「繰り返し」を選択し、◎（編集）を押す

2 繰り返しの周期を選択し、◎（OK）を押す

「毎日」　　：毎日同じ時刻に目覚ましを設定します。
「月～金」　：月曜日から金曜日まで同じ時刻に目覚ましを設定します。
「月～土」　：月曜日から土曜日まで同じ時刻に目覚ましを設定します。
「休日以外」：カレンダーで休日に設定されている日（☞13-30ページ）を除いて、同じ時刻に目覚ましを設定します。
「曜日指定」：曜日を指定して、同じ時刻に目覚ましを設定します。◎で曜日を選択し、◎（**ON／OFF**）を押してON／OFFを切り替えます。よければ、（**完了**）を押します。
「繰り返しなし」：1回だけ目覚ましを設定します。

スヌーズモードを設定する

1 登録項目一覧画面から「スヌーズ」を選択し、◎（編集）を押す

2 「ON」を選択し、◎（OK）を押す

- スヌーズモードを設定しないときは「OFF」を選択します。

3 スヌーズ時間（01～10分）を入力し、◎（OK）を押す

- 指定した時間おきにアラームを繰り返します。

その他の機能 13

アラーム通知音を選択する

1 登録項目一覧画面から「♪」を選択し、◉(編集)を押す

2 種類を選択し、◉(OK)を押す

「固定データ」：内蔵されている音やメロディから選択します。また、登録してあれば、「ボイスアラーム」(☞13-6ページ)を選択することもできます。操作**3**に進みます。
「データフォルダ」：データフォルダに保存されているメロディファイルから選択します。操作**3**に進みます。
「通知音なし」：通知音を鳴らしません。

3 アラーム通知音を選択し、◉(OK)を押す

- 「データフォルダ」を選択した場合は、フォルダを選択してからファイルを選択します。
- ◎(**再生**)を押すと、選択したアラーム通知音が再生されます。
- 設定できる通知音については、8-4ページの「メロディの曲名」を参照してください。そのほかに「アラーム通知音」も選択できます。

アラーム音量を設定する

1 登録項目一覧画面から「🔊」を選択し、◉(編集)を押す

2 ◎でアラーム音量を選択し、◉(OK)を押す

- ボイスアラームを設定している場合は、アラーム音量の設定は反映されません。

通知画像を選択する

1 登録項目一覧画面から「▣」を選択し、◉(編集)を押す

2 種類を選択し、◉(OK)を押す

「固定データ」：内蔵されているイラストを選びます。また、「画像表示なし」を選択することもできます。
「データフォルダ」：データフォルダに保存されている画像ファイルから選択します。
「デジタルカメラフォルダ」：デジタルカメラフォルダに保存されている画像ファイルから選択します。

3 画像ファイルを選択し、◉(OK)を押す

- 「データフォルダ」／「デジタルカメラフォルダ」を選択した場合は、フォルダを選択してからファイルを選択します。

4 画像を確認して◉(OK)を押す

- 画像位置を変更できるときは「◇」が表示されます。◎で位置を調整できます。
- 選択した画像が表示領域より大きい場合／小さい場合は、「サイズ変更」が表示されます。✉(**サイズ変更**)を押すと、画像の縦横比を変えないまま表示領域の縦／横に合わせて拡大／縮小します。✉(**解除**)を押すと、元のサイズに戻ります。
- 他の画像を選択できるときは「✱・#」が表示されます。✱／#を押すと前／次の画像に切り替わります。

バイブレータのパターンを選択する

1 登録項目一覧画面から「📳」を選択し、◉(編集)を押す

2 パターンを選択し、◉(OK)を押す

「パターン1〜3」：あらかじめ用意されたパターンで振動します。
「メロディ連動」：アラーム通知音に連動して振動します。
「OFF」：振動しません。

通知イルミネーションを選択する

1 登録項目一覧画面から「💡」を選択し、◉(編集)を押す

2 点滅パターンを選択し、◉(OK)を押す

「パターン1〜3」：あらかじめ用意されたパターンで点滅します。
「メロディ連動」：アラーム通知音に連動して点滅します。
「OFF」：点滅しません。

3 色を選択し、◉(OK)を押す

設定した時刻になると

1 目覚ましが作動する

- アラーム通知音、通知画像、バイブレータ、通知イルミネーションなど、設定した内容でお知らせします。
- そのままにしておくと、約1分後に目覚ましは一度止まります。

2 **（停止）またはいずれかのボタンを押す**

▶目覚ましが止まります。

- スヌーズモードを設定した場合でも目覚ましが一度止まります。
- スヌーズモードを解除するか、スヌーズを6回繰り返すまで、指定した間隔をあけて目覚ましが作動します。

3 （解除）を長く（約1秒以上）押す

▶スヌーズモードが解除され、目覚ましが止まります。

- スヌーズを設定していない場合は、この操作は必要ありません。
- スヌーズを6回繰り返すと、自動的にスヌーズモードが解除され目覚ましが止まります。

補足
- バイブレータ通知を「OFF」に設定している場合でも、マナーモードが「Sバイブ」または「オリジナルマナー」（目覚ましのバイブレータ設定が「OFF」以外）に設定されているとバイブレータでお知らせします。
- 電源が入っていないときは自動的に電源が入り、目覚ましが作動します。
- 発信中、着信中、通話中などに設定時刻になった場合、それらが終了してから目覚ましが作動します。
- 自動電源OFFとアラームが同じ時刻に設定されていた場合は、目覚ましが作動したあと電源が切れます。
- 目覚ましとスケジュールやタスクのアラームが同じ時刻に設定されている場合は、次の順で作動します。
  ① タスク
  ② スケジュール
  ③ 目覚まし
  ただし、スヌーズ動作中に他のアラーム時刻になった場合は、スヌーズモードが解除されてからお知らせします。
- 目覚まし同士が同じ時刻に設定されていた場合は、アラームNo.順で作動します。

■ 目覚ましの設定を編集する

登録した目覚ましの設定をON／OFFしたり、消去します。

目覚ましの設定をON／OFFする

1 「目覚まし」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「スケジュール＆アラーム」→「目覚まし」

2 アラームNo.を選択し、**（ON／OFF）を押す**

- 目覚ましの設定をON／OFFします。
- ONに設定されているアラームNo.の右端には「⏰」が表示されます。

補足
登録内容を修正するときは、以下の操作を行ってください。
アラームNo.を選択→◎（**設定**）→「ON」→◎で修正する項目を選択→◎（**編集**）

目覚ましの設定を消去する

1 「目覚まし」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「スケジュール＆アラーム」→「目覚まし」

2 アラームNoを選択し、（リセット）を押す

3 「1件リセット」または「全件リセット」を選択し、◎（OK）を押す

「1件リセット」：選択したアラームNo.の設定のみ消去します。
「全件リセット」：すべてのアラームNo.の設定を消去します。

4 「YES」を選択し、◎（OK）を押す

カレンダー機能

カレンダーを表示します。スケジュール(☞13-32ページ)やタスク(期限を指定した予定☞13-39ページ)、誕生日などの特別日(☞13-45ページ)などが登録されている場合は、カレンダーで確認できます。また、データフォルダのファイルや、送受信したメールをカレンダーに登録しておくと、カレンダーからそのファイル/メールを呼び出して確認することができます。

■ カレンダーを表示する

月間表示と当日表示

1 待受画面で◯を押す

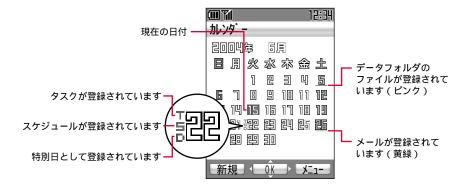
▶ 当月のカレンダー(月間表示)が表示されます。当日にはカーソルがあたります。

- 待受画面→◉→「スケジュール&アラーム」→「カレンダー」でも、カレンダーが表示されます。

2 日付を選択し、◉(OK)を押す

▶ 選択した日付の詳細情報(当日表示)が表示されます。

- ◯を押すと前日の内容が、◯を押すと翌日の内容が表示されます。

月間表示画面の見かた

当日表示画面の見かた

> **補足** ◯でスケジュール、タスク、特別日などの各項目を設定して◉(OK)を押すと、それぞれの詳細内容が表示されます。

日付を指定してカレンダーを表示する

1 待受画面で◯を押す

2 ✎(メニュー)を押す

3 「日付移動」を選択し、◉(OK)を押す

4 年月日を入力し、◉(OK)を押す

▶ 指定した日を含む月のカレンダーが表示されます。

- 日付入力中にカレンダー表示に戻るときは、clearを長く(約1秒以上)押したあと再度clearを押します。

> 当日表示画面のサブメニューから「日付移動」を選択して表示させることもできます。その場合は指定した日付の当日表示画面になります。

■ カレンダーを編集する

休日を設定する

カレンダーに休日を登録します。日、曜日、期間を指定して登録する方法と、1年分の祝日データが登録された祝日ファイルを利用して登録する方法があります。
お買い上げ時は、2004年と2005年の祝日と日曜日が休日に設定されています。

1 待受画面で◯を押す

2 日付を選択し、(メニュー)を押す

3 「休日設定」を選択し、(OK)を押す

4 項目を選択し、(OK)を押す

「当日のみ」：選択した日付を休日に設定します。
「毎週」　：選択した日付と同じ曜日を毎週休日に設定します。
「期間設定」：開始日と終了日を指定して休日に設定します。

補足　当日表示画面のサブメニューから「休日設定」を選択して設定することもできます。その場合は表示中の日付のみが休日になります。

休日を解除する

1 待受画面で◯を押す

2 日付を選択し、(メニュー)を押す

3 「休日解除」を選択し、(OK)を押す

「当日のみ」：選択した日付の休日設定を解除します。
「毎週」　：選択した日付と同じ曜日の休日設定を解除します。
「期間設定」：開始日と終了日を指定して、期間内の休日設定を解除します。
「リセット」：休日設定をお買い上げ時の状態に戻します。操作用暗証番号の入力が必要です。

補足　当日表示画面のサブメニューから「休日解除」を選択して解除することもできます。その場合は表示中の日付のみが解除になります。

祝日データを登録する

お買い上げ時、V401SAのカレンダーには2004年と2005年の祝日データしか登録されていません。2006年以降の祝日データは、「SANYOケータイプラネット」からダウンロードできます。ダウンロードのしかたは、Vodafone live!編を参照してください。
ここでは、ダウンロードした祝日データをV401SAのカレンダーに登録する方法を説明します。

1 待受画面で◯を押す

2 (メニュー)を押す

3 「祝日データ設定」を選択し、(OK)を押す

▶ データフォルダに保存されている祝日ファイルが表示されます。

4 登録するファイルを選択し、(設定)を押す

5 「YES」を選択し、(OK)を押す

- 登録を中止するときは「NO」を選択します。

登録を消去/解除する

カレンダーに登録したスケジュール、タスク、特別日を消去します。
カレンダーに登録したデータフォルダのファイルやメールは、登録を解除します。元のファイル/メールは消去されません。

1 待受画面で◯を押す

2 日付を選択し、(OK)を押す

3 消去/解除する項目を選択し、(メニュー)を押す

4 「消去」または「カレンダー登録解除」を選択し、(OK)を押す

- スケジュール、タスク、特別日を選択した場合は「消去」、データフォルダのファイルやメールを選択した場合は「カレンダー登録解除」を選択します。

5 「YES」を選択し、(OK)を押す

スケジュール機能

■ スケジュールを登録する

開始日時、終了日時、用件などを設定してスケジュールを登録できます。最大で100件まで登録できます。登録したスケジュールはカレンダーで確認できるほか、設定した時間にはアラームでお知らせします。

1 スケジュールの新規登録画面を呼び出す

次の4通りの呼び出し方があります。

- 待受画面→◯を長く（約1秒以上）押す→「スケジュール」
- カレンダーの月間表示／当日表示→✎（**メニュー**）→「スケジュール一覧」→◎（**新規**）
- カレンダーの月間表示／当日表示→◎（新規）→「スケジュール」
- 待受画面→◉→「スケジュール＆アラーム」→「スケジュール」→◎（**新規**）

2 各項目を選択し、◉（選択）を押す

それぞれの設定を行ってください。

項　目	概　要	参照ページ
開始日時	開始する年月日・時間を設定します。	13-33
終了日時	終了する年月日・時間を設定します。	13-33
繰り返し	同じ内容を定期的に繰り返す場合に設定します。	13-33
カテゴリ	旅行、会議などカテゴリを設定します。	13-34
用件	用件を全角8文字（半角16文字）以内で入力します。	13-34
確認アラーム 開始アラーム （アラーム日時／アラーム通知音／アラーム音量／通知画像／バイブレータ／通知イルミネーション）	開始日時または設定した日時になるとアラームが鳴るように設定します。画像を表示したり、着信ランプを点滅させたりすることもできます。	13-34
詳細	詳細内容を入力します。全角で64文字（半角128文字）まで入力できます。	13-35
優先度	優先度を3段階で設定します。	13-35
シークレット	シークレットモードが「ON」のとき、シークレットに設定できます。	13-36

3 設定終了後、◎（保存）を押す

スケジュールを登録・修正中に着信があっても、編集中のデータは消去されません（☞4-16ページ）。

開始日時を設定する

1 スケジュールの新規登録画面から「START」を選択し、◉（選択）を押す

2 年月日と時刻を入力し、◉（OK）を押す

- 年月日を入力後◎（**終日**）を押すと、開始時刻は当日の午前0時、終了時刻は翌日の午前0時に設定されます。登録項目一覧画面では、開始日時、終了日時ともに時刻は「終日」と表示されます。

終了日時を設定する

1 スケジュールの新規登録画面から「END」を選択し、◉（選択）を押す

2 年月日と時刻を入力し、◉（OK）を押す

繰り返しを設定する

1 スケジュールの新規登録画面から「⇄」を選択し、◉（選択）を押す

2 繰り返しの周期を選択し、◉（OK）を押す

「なし」：繰り返さないときに設定します。
「毎日」：毎日同じ設定を繰り返します。操作**3**に進みます。
「毎週」：毎週、同じ曜日になると同じ設定を繰り返します。操作**3**に進みます。
「毎月」：毎月、同じ日付になると同じ設定を繰り返します。操作**3**に進みます。

3 繰り返し期限を選択し、◉（OK）を押す

「あり」：繰り返し回数を設定します。操作**4**に進みます。
「なし」：繰り返しは無期限に設定されます。

4 繰り返し回数（01〜99回）を入力し、◉（OK）を押す

開始日時が31日の場合に毎月繰り返しを設定すると、31日がない月は月の最終日に設定されます。

カテゴリを設定する

1 スケジュールの新規登録画面から「類」を選択し、◎(選択)を押す

2 項目を選択し、◎(OK)を押す

- その他、プライベート、休日、旅行、仕事・授業、会議、クラブ・サークルの7種類から選択します。

用件を入力する

1 スケジュールの新規登録画面から「▯」を選択し、◎(選択)を押す

2 用件を入力し、◎(OK)を押す

- 用件は、最大で全角8文字、半角16文字まで入力できます。絵文字も入力できます。

アラームを設定する

開始時刻に鳴る開始アラームと、設定した日付時刻に鳴る確認アラームがあります。確認アラームは、開始日時になる前に鳴らしたいときなどに設定しておくと便利です。それぞれについて、ON／OFFの切り替えと、アラーム通知音、アラーム音量、通知画像、バイブレータ、通知イルミネーションを設定できます。

1 スケジュールの新規登録画面から「」または「」を選択し、◎(選択)を押す

2 「ON」を選択し、◎(OK)を押す

- アラームを解除するときは、「OFF」を選択します。

3 各項目を選択し、◎(OK)を押す

「」：確認アラームを鳴らす年月日と時刻を入力します。「開始アラーム」を選択したときは表示されません。
「♪」：アラーム通知音を選択します。
「」：アラーム音量を選択します。
「」：通知画像を選択します。
「」：バイブレータパターンを選択します。
「」：通知イルミネーションの点滅パターン、色を選択します。

- 「目覚まし」の「アラーム通知音を選択する」～「通知イルミネーションを選択する」(☞13-24～13-25ページ)の操作と同様ですので、そちらを参照してください。

4 設定終了後、◎(完了)を押す

詳細内容を入力する

1 スケジュールの新規登録画面から「」を選択し、◎(選択)を押す

2 詳細内容を入力し、◎(OK)を押す

- 詳細内容は、最大で全角64文字、半角で128文字まで入力できます。絵文字も入力できます。

優先度を設定する

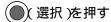
1 スケジュールの新規登録画面から「優」を選択し、◎(選択)を押す

2 優先度を選択し、◎(OK)を押す

- 「高」、「通常」、「低」から優先度を設定します。

シークレットに設定する

他人に見られたくないスケジュールはシークレットモードで登録します。あらかじめシークレットモードを「ON」に設定しておいてください（☞12-10ページ）。シークレットに設定したスケジュールは、シークレットモードが「ON」のときのみ表示されます。

1　スケジュールの新規登録画面から「🔑」を選択し、**（選択）を押す**

2　「ON」を選択し、◉（OK）を押す

アラームを設定した日時になると

アラームを「ON」に設定しているときは、設定した日時にアラーム通知音、通知画像、バイブレータ、通知イルミネーションなど、設定した内容でお知らせします。

- ◉（**停止**）またはいずれかのボタンを押すと、アラームが止まります。
- そのままにしておくと、約1分後にアラームが止まります。
- 確認アラームと開始アラームの両方が鳴っても、お知らせ画面に表示される件数は1件です。

- アラーム通知音を「通知音なし」以外に設定し、バイブレータ通知を「OFF」に設定している場合でも、マナーモードが「Sバイブ」または「オリジナルマナー」（スケジュールのバイブレータ設定が「OFF」以外）に設定されているとバイブレータでお知らせします。
- 電源が入っていないときは自動的に電源が入り、アラームが鳴ります。
- 発信中、着信中、通話中などに設定時刻になった場合、それらが終了してからアラームが鳴ります。
- 自動電源OFFとアラームが同じ時刻に設定されていた場合は、アラームが作動したあと電源が切れます。
- 目覚ましなどのアラームと同じ時刻に設定した場合、次の順で作動します。
  ① タスク
  ② スケジュール
  ③ 目覚まし

■ 登録したスケジュールを確認する

登録したスケジュールは、以下の画面で確認できます。

- カレンダーの月間表示画面（☞13-28ページ）
- カレンダーの当日表示画面（☞13-29ページ）
- スケジュール一覧

ここでは、スケジュールの一覧からスケジュールの詳細を確認する方法を説明します。

1　「スケジュール」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「スケジュール＆アラーム」→「スケジュール」

▶ スケジュールの一覧が表示されます。

- カレンダーの月間表示／当日表示→✉（**メニュー**）→「スケジュール一覧」でも表示できます。

2　確認するスケジュールを選択し、◉（OK）を押す

▶ スケジュールの詳細が表示されます。

登録内容を修正するときは、スケジュールの詳細画面で◉（**編集**）を押し、◎で修正する項目を選択して◉（**選択**）を押します。

■ 登録したスケジュールを消去する

1件または全件消去する場合

1　「スケジュール」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「スケジュール＆アラーム」→「スケジュール」

▶ スケジュールの一覧が表示されます。

- カレンダーの月間表示／当日表示→✉（**メニュー**）→「スケジュール一覧」でも表示できます。

2　消去するスケジュールを選択し、✉（メニュー）を押す

3　「消去」を選択し、◉（OK）を押す

4 「1件消去」または「全件消去」を選択し、◉(OK)を押す

「1件消去」：選択したスケジュールのみ消去します。
「全件消去」：すべてのスケジュールを消去します。操作用暗証番号を入力してください。

- 「全件消去」を選択した場合、シークレットで登録したスケジュールがあるときは、さらに消去の対象を「シークレットデータ」、「通常データ」から選択します。

5 「YES」を選択し、◉(OK)を押す

- 消去を中止するときは「NO」を選択します。

スケジュールの詳細画面で✎(**メニュー**)を押し、「消去」を選択しても1件消去できます。

複数選択して消去する場合

1 「スケジュール」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「スケジュール＆アラーム」→「スケジュール」

▶ スケジュールの一覧が表示されます。

- カレンダーの月間表示／当日表示→✎(**メニュー**)→「スケジュール一覧」でも表示できます。

2 ✎(メニュー)を押す

3 「消去」を選択し、◉(OK)を押す

4 「選択消去」を選択し、◉(OK)を押す

5 消去するスケジュールを選択し、◉(選択)を押す

▶ 選択したスケジュールにチェックマークが付きます。

- 複数選択する場合は、この操作を繰り返してください。
- ◉(**解除**)を押すと、選択が解除されます。
- ◉(**選択／解除**)を長く(約1秒以上)押すと、全件選択／全件解除できます。
- スケジュールの内容を確認するときは、確認するスケジュールを選択して✎(**確認**)を押します。

6 ◉(実行)を押す

- シークレットで登録したスケジュールがあるときは、さらに消去の対象を「シークレットデータ」、「通常データ」から選択します。

7 「YES」を選択し、◉(OK)を押す

タスク機能

これからやらなければならないことがらの内容、期限、優先度などをタスクとして登録しておき、期限日時にはアラーム音や画像でお知らせします。最大で50件まで登録できます。

■タスクを登録する

1 タスクの新規登録画面を呼び出す

次の4通りの呼び出し方があります。

- 待受画面→◯を長く(約1秒以上)押す→「タスク」
- カレンダーの月間表示／当日表示→✎(**メニュー**)→「タスク一覧」→◉(**新規**)
- カレンダーの月間表示／当日表示→◉(**新規**)→「タスク」
- 待受画面→◉→「スケジュール＆アラーム」→「タスク」→◉(**新規**)

2 用件を入力し、◉(OK)を押す

▶ タスクの登録項目一覧画面が表示されます。

- 用件は、最大で全角8文字、半角16文字まで入力できます。絵文字も入力できます。

3 各項目を選択し、◉(選択)を押す

それぞれの設定を行ってください。

項 目		概 要	参照ページ
完了日時		タスク完了後に、完了した年月日と時刻を入力します。	13-41
カテゴリ		旅行、会議などカテゴリを設定します。	13-40
用件		用件を全角8文字(半角16文字)以内で入力します。	上記
内容		詳細内容を入力します。全角で64文字(半角128文字)まで入力できます。	13-40
期限日時		タスクの期限(年月日と時刻)を入力します。	13-40
アラーム設定	アラーム日時	設定した日時になるとアラームが鳴るように設定します。画像を表示したり、着信ランプを点滅させたりすることもできます。	13-40
	アラーム通知音		
	アラーム音量		
	通知画像		
	バイブレータ		
	通知イルミネーション		
優先度		優先度を3段階で設定します。	13-41
シークレット		シークレットモードが「ON」のとき、シークレットに設定できます。	13-41

4 設定終了後、（保存）を押す

> 補足　タスクを登録・修正中に着信があっても、編集中のデータは消去されません（☞4-16ページ）。

カテゴリを設定する

1 登録項目一覧画面から「類」を選択し、（選択）を押す

2 項目を選択し、（OK）を押す

- その他、プライベート、休日、旅行、仕事・授業、会議、クラブ・サークルの7種類から選択します。

内容を入力する

1 登録項目一覧画面から「」を選択し、（選択）を押す

2 詳細内容を入力し、（OK）を押す

- 詳細内容は、最大で全角64文字、半角で128文字まで入力できます。絵文字も入力できます。

期限日時を設定する

1 登録項目一覧画面から「」を選択し、（選択）を押す

2 年月日と時刻を入力し、（OK）を押す

- 期限を設定しないときは、clearを長く（約1秒以上）押して年月日と時刻を消去し、（OK）を押します。

アラームを設定する

1 登録項目一覧画面から「」を選択し、（選択）を押す

2 「ON」を選択し、（OK）を押す

- アラームを解除するときは、「OFF」を選択します。

3 各項目を選択し、（OK）を押す

「」：アラームを鳴らす年月日と時刻を入力します。
「」：アラーム通知音を選択します。
「」：アラーム音量を選択します。
「」：通知画像を選択します。
「」：バイブレータパターンを選択します。
「」：通知イルミネーションの点滅パターン、色を選択します。

- 「目覚まし」の「アラーム通知音を選択する」〜「通知イルミネーションを選択する」（☞13-24〜13-25ページ）の操作と同様ですので、そちらを参照してください。

4 設定終了後、（完了）を押す

優先度を設定する

1 登録項目一覧画面から「優」を選択し、（選択）を押す

2 優先度を選択し、（OK）を押す

- 「高」、「通常」、「低」から優先度を設定します。

シークレットに設定する

他人に見られたくないタスクはシークレットモードで登録します。あらかじめシークレットモードを「ON」に設定しておいてください（☞12-10ページ）。シークレットに設定したタスクは、シークレットモードが「ON」のときのみ表示されます。

1 登録項目一覧画面から「」を選択し、（選択）を押す

2 「ON」を選択し、（OK）を押す

完了日時を設定する

タスク完了後に、完了した年月日と時刻を入力します。

1 登録項目一覧画面から「」を選択し、（選択）を押す

2 年月日と時刻を入力し、（OK）を押す

▶完了したことを表すアイコン「完」が表示されます。

アラームを設定した日時になると

アラームを「ON」に設定しているときは、アラームを設定した日時にアラーム通知音、通知画像、バイブレータ、通知イルミネーションなど、設定した内容でお知らせします。

- ◉（**停止**）またはいずれかのボタンを押すと、アラームが止まります。
- そのままにしておくと、約1分後にアラームが止まります。

- アラーム通知音を「通知音なし」以外に設定し、バイブレータ通知を「OFF」に設定している場合でも、マナーモードが「Sバイブ」または「オリジナルマナー」（タスクのバイブレータ設定が「OFF」以外）に設定されているとバイブレータでお知らせします。
- 電源が入っていないときは自動的に電源が入り、アラームが鳴ります。
- 発信中、着信中、通話中などに設定時刻になった場合、それらが終了してからアラームが鳴ります。
- 自動電源OFFとアラームが同じ時刻に設定されていた場合は、アラームが作動したあと電源が切れます。
- 目覚ましなどのアラームと同じ時刻に設定した場合、次の順で作動します。
  ① タスク　② スケジュール　③ 目覚まし

■ 登録したタスクを確認する

登録したタスクは、以下の画面で確認できます。

- カレンダーの月間表示画面（☞13-28ページ）
- カレンダーの当日表示画面（☞13-29ページ）
- タスク一覧

ここでは、タスクの一覧からタスクの詳細を確認する方法を説明します。

1 「タスク」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「スケジュール＆アラーム」→「タスク」

▶ タスクの一覧が表示されます。

- カレンダーの月間表示／当日表示→✉（**メニュー**）→「タスク一覧」でも表示できます。
- 完了日時を入力していないタスクには「未」が、入力したタスクには「完」が表示されます。

2 確認するタスクを選択し、◉（OK）を押す

▶ タスクの詳細が表示されます。

- カレンダーの月間表示画面には、期限日のみが「T」で表示されます。
- 登録内容を修正するときは、タスクの詳細画面で◉（**編集**）を押し、◎で修正する項目を選択して◉（**選択**）を押します。

■ 登録したタスクを消去する

1件消去、完了消去、全件消去する場合

1 「タスク」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「スケジュール＆アラーム」→「タスク」

▶ タスクの一覧が表示されます。

- カレンダーの月間表示／当日表示→✉（**メニュー**）→「タスク一覧」でも表示できます。

2 消去するタスクを選択し、✉（メニュー）を押す

3 「消去」を選択し、◉（OK）を押す

4 「1件消去」、「完了消去」または「全件消去」を選択し、◉（OK）を押す

「1件消去」：選択したタスクのみ消去します。
「完了消去」：完了したタスクをすべて消去します。
「全件消去」：すべてのタスクを消去します。操作用暗証番号を入力してください。

- 「完了消去」、「全件消去」を選択した場合、シークレットで登録したタスクがあるときは、さらに消去の対象を「シークレットデータ」、「通常データ」から選択します。

5 「YES」を選択し、◉（OK）を押す

- 消去を中止するときは「NO」を選択します。

複数選択して消去する場合

1 「タスク」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「スケジュール＆アラーム」→「タスク」

▶ タスクの一覧が表示されます。

- カレンダーの月間表示／当日表示→✉（**メニュー**）→「タスク一覧」でも表示できます。

2 ✉（メニュー）を押す

3 「消去」を選択し、◉（OK）を押す

4 「選択消去」を選択し、◉（OK）を押す

5 消去するタスクを選択し、◎(選択)を押す

▶選択したタスクにチェックマークが付きます。

- 複数選択する場合は、この操作を繰り返してください。
- ◎(**解除**)を押すと、選択が解除されます。
- ◎(**選択/解除**)を長く(約1秒以上)押すと、全件選択/全件解除できます。
- タスクの内容を確認するときは、確認するタスクを選択して✉(**確認**)を押します。

6 ◎(実行)を押す

- シークレットで登録したタスクがあるときは、さらに消去の対象を「シークレットデータ」、「通常データ」から選択します。

7 「YES」を選択し、◎(OK)を押す

特別日機能

誕生日、記念日、イベントのある日など特別な日を登録し、カレンダーで確認したり、当日メッセージや画像でお知らせしたりします。最大で20件まで登録できます。

■特別日を登録する

1 特別日の新規登録画面を呼び出す

次の4通りの呼び出し方があります。

- 待受画面→◎を長く(約1秒以上)押す→「特別日」
- カレンダーの月間表示/当日表示→✉(**メニュー**)→「特別日一覧」→◎(**新規**)
- カレンダーの月間表示/当日表示→◎(**新規**)→「特別日」
- 待受画面→◎→「スケジュール&アラーム」→「特別日」→◎(**新規**)

2 各項目を選択し、◎(選択)を押す

それぞれの設定を行ってください。

項　目	概　要	参照ページ
特別日	年月日を設定します。	下記
内容	内容を全角20文字(半角40文字)以内で入力します。	13-46
特別日画像	表示する画像を設定します。	13-46

3 設定終了後、◎(保存)を押す

補足 特別日を登録・修正中に着信があっても、編集中のデータは消去されません(☞4-16ページ)。

年月日を設定する

1 特別日の新規登録画面から「★」を選択し、◎(選択)を押す

2 年月日を入力し、◎(OK)を押す

- 毎年同じ日付を特別日に設定する場合は、年月日を入力したあと◎(**毎年**)を押します。設定した年(年月日)から2050年まで設定されます。毎年設定すると、特別日の一覧画面に「★」が表示されます。

内容を設定する

特別日になると、先頭の9文字（全角の場合）が画面に表示されます。

1 **特別日の新規登録画面から「 」を選択し、(選択)を押す**

2 **内容を入力し、(OK)を押す**

- 内容は、最大で全角20文字、半角40文字まで入力できます。絵文字も入力できます。

画像を設定する

1 **特別日の新規登録画面から「 」を選択し、(選択)を押す**

2 **種類を選択し、(OK)を押す**

「固定データ」：内蔵されている「特別日イラスト」を選びます。また、「画像表示なし」を選択することもできます。

「データフォルダ」：データフォルダに保存されている画像ファイルから選択します。

「デジタルカメラフォルダ」：デジタルカメラフォルダに保存されている画像ファイルから選択します。

「カメラ撮影」：特別日の画像をカメラで撮影します。撮影モード（☞6-4ページ）は自動的に写メールモードになります。撮影のしかたは6-4ページを参照してください。操作***4***に進みます。

3 **画像ファイルを選択し、(OK)を押す**

- 「データフォルダ」／「デジタルカメラフォルダ」を選択した場合は、フォルダを選択してからファイルを選択します。

4 **画像を確認して(OK)を押す**

- 画像位置を変更できるときは「 」が表示されます。で位置を調整できます。
- 選択した画像が表示領域より大きい場合／小さい場合は、「サイズ変更」が表示されます。(**サイズ変更**)を押すと、画像の縦横比を変えないまま表示領域の縦／横に合わせて拡大／縮小します。(**解除**)を押すと、元のサイズに戻ります。
- (**色変更**)を押すたびに、内容の文字色を変更できます。
- 他の画像を選択できるときは「 ・ 」が表示されます。／を押すと前／次の画像に切り替わります。

特別日になると

設定した特別日のメッセージや画像が終日待受画面として表示されます。
clearを押すごとに、通常の待受画面と特別日の待受画面を切り替えます。

■ 登録した特別日を確認する

登録した特別日は、以下の画面で確認できます。

- カレンダーの月間表示画面（☞13-28ページ）
- カレンダーの当日表示画面（☞13-29ページ）
- 特別日一覧

ここでは、特別日の一覧から特別日の詳細を確認する方法を説明します。

1 **「特別日」を呼び出す**

呼び出し方：待受画面→→「スケジュール＆アラーム」→「特別日」

▶ 特別日の一覧が表示されます。

- カレンダーの月間表示／当日表示→(**メニュー**)→「特別日一覧」でも表示できます。

2 **確認する特別日を選択し、(OK)を押す**

▶ 特別日の詳細が表示されます。

補足 登録内容を修正するときは、特別日の詳細画面で(**編集**)を押し、で修正する項目を選択して(**選択**)を押します。

■ 登録した特別日を消去する

1件または全件消去する場合

1 **「特別日」を呼び出す**

呼び出し方：待受画面→→「スケジュール＆アラーム」→「特別日」

▶ 特別日の一覧が表示されます。

- カレンダーの月間表示／当日表示→(**メニュー**)→「特別日一覧」でも表示できます。

2 **消去する特別日を選択し、(メニュー)を押す**

3 **「消去」を選択し、(OK)を押す**

4 **「1件消去」または「全件消去」を選択し、(OK)を押す**

「1件消去」：選択した特別日のみ消去します。

「全件消去」：すべての特別日を消去します。操作用暗証番号を入力してください。

5 **「YES」を選択し、(OK)を押す**

- 消去を中止するときは「NO」を選択します。

特別日の詳細画面で(メニュー)を押し、「消去」を選択しても1件消去できます。

複数選択して消去する場合

1 「特別日」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→→「スケジュール＆アラーム」→「特別日」

▶特別日の一覧が表示されます。

- カレンダーの月間表示／当日表示→(**メニュー**)→「特別日一覧」でも表示できます。

2 (メニュー)を押す

3 「消去」を選択し、(OK)を押す

4 「選択消去」を選択し、(OK)を押す

5 消去する特別日を選択し、(選択)を押す

▶選択した特別日にチェックマークが付きます。

- 複数選択する場合は、この操作を繰り返してください。
- (**解除**)を押すと、選択が解除されます。
- (**選択**／**解除**)を長く(約1秒以上)押すと、全件選択／全件解除できます。
- 特別日の内容を確認するときは、確認する特別日を選択して(**確認**)を押します。

6 (実行)を押す

7 「YES」を選択し、(OK)を押す

「毎年」に設定している特別日を消去すると、各年の同月日の設定がまとめて消去されます。

メモリの使用状況を確認する

メモリダイヤルの登録済み件数を確認します。受信／保存メモリ、送信メモリ、データフォルダ、デジタルカメラフォルダの使用率も表示できます。

1 「メモリ確認」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→→「設定」→「その他」→「メモリ確認」

▶メモリ使用状況が表示されます。

- シークレットモード(☞12-10ページ)を「ON」に設定している場合は、シークレットメモリの件数も表示されます。

2 またはを押して、表示を切り替える

「」　：受信／保存メモリ(受信メール、お気に入り、蓄積型メッセージ、保存情報)、送信メモリ(送信メール)の使用率が詳細表示されます。

「DATA」　：データフォルダのメモリ使用率が詳細表示されます。

「」　：デジタルカメラフォルダのメモリ使用率が詳細表示されます。

- (**OK**)を押すと、操作**1**の画面に戻ります。

メモリ容量や保存可能な件数について詳しくはVodafone live!編を参照してください。

電池の消費を抑える

電池の消費量を少なくするための機能です。

■ ディスプレイの省電力を設定する（節電設定）

一定時間操作を行わなかったときに、自動的に節電状態になってディスプレイが消灯します。再び操作を行ったときや着信などがあったときには、自動的にディスプレイが点灯します。
お買い上げ時は「30秒」に設定されています。

1 「照明設定」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「画面設定」→「照明設定」

2 ◉（変更）を押す

3 「節電設定」を選択し、◉（OK）を押す

4 省電力移行時間を選択し、◉（OK）を押す

■ 通話中の節電を設定する

通話中、自分が話していないときに電波の出力を抑えます。
お買い上げ時は「ON」に設定されています。
通話中の節電が「ON」に設定されていると、こちらの話し声の始まりの部分が相手に聞こえにくくなる場合があります。ここでは、通話中の節電を「OFF」に設定する方法を説明します。

1 「照明設定」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「画面設定」→「照明設定」

2 ◉（変更）を押す

3 「通話中の節電」を選択し、◉（OK）を押す

4 「OFF」を選択し、◉（OK）を押す

- 設定するときは「ON」を選択します。

FAX／データ通信を行う場合、通話中の節電は一時的に自動で解除されます。

簡易電卓

足し算、引き算、かけ算、割り算ができます。小数点を除いて8桁まで表示されます。

「簡易電卓」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「機能＆ツール」→「簡易電卓」
▶ 簡易電卓の画面が表示されます。
操作の詳細は次のとおりです。

ボタン	機　能
0～9	数字を入力する
	「＋」（足し算）を入力する
	「－」（引き算）を入力する
	「×」（かけ算）を入力する
	「÷」（割り算）を入力する
＊（.）	「．」（小数点）を入力する
◉（＝）	「＝」（イコール）を入力する
（C／AC）	1回押し：「C」入力した数字を全桁消去する 2回押し：「AC」計算過程をすべて消去する
	簡易電卓を終了する

〈例〉123＋456＝を計算するには

1 2 3 ◯ 4 5 6 ◉（＝）と押します。

- 計算結果が＋100000000以上の場合は、右端に「E」が表示されます。
- 計算結果が－100000000以下の場合は、右端に「－E」が表示されます。
- 計算結果は、最大で小数点以下7桁まで表示され、8桁以降は切り捨てられます。
- （**メニュー**）を押して「コピー」を選択すると、計算結果が文字入力のペースト一覧（☞4-23ページ）に登録されます。ペースト操作で、計算結果を文字入力できます。
- （**メニュー**）を押して、「M＋」「M－」「MR」「MC」を選択すると、電卓のメモリ機能が使えます。

英単語辞書

和英、英和、カタカナ英語辞書が利用できます。待受中に利用できるほか、文字入力中やメール内容を確認中などにも検索したい単語を指定して辞書を引くことができます。また、英単語クイズを楽しむことができます。

■ 辞書を使う

待受中に辞書を使う

1 英単語辞書を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「機能＆ツール」→「英単語辞書」

2 辞書を選択し、◎(OK)を押す

3 検索語を入力し、◎(検索)を押す

▶ 翻訳候補一覧が表示されます。完全一致する候補が1件のみの場合は、翻訳結果が表示されます。

- 検索語は「英和」の場合半角16文字以内、「和英」の場合全角8文字以内、「カタカナ英語辞書」の場合全角8文字以内で入力してください。
- 先頭が検索語に一致する単語を一覧表示します。

4 翻訳する単語を選択し、◎(OK)を押す

▶ 翻訳結果が表示されます。

カタカナ英語辞書を引いた場合は、翻訳結果表示画面で単語を選択して◎(**英和**)を押すと、英和辞書を引くことができます。◎(**カナ英**)を押すと元に戻ります。

文字入力中に辞書を引く

1 文字入力画面で、検索語の最初の文字にカーソルを移動し、◎(範囲)を押す

2 検索語の最後の文字にカーソルを移動し、◎(終点)を押す

3 「英単語辞書」を選択し、◎(OK)を押す

▶ 翻訳候補一覧が表示されます。完全一致する候補が1件のみの場合は、翻訳結果が表示されます。操作***5*** に進みます。

- 検索語がアルファベットのみの場合は英和、カタカナのみの場合はカタカナ英語、それ以外の場合は和英辞書を引きます。
- 先頭が検索語に一致する単語を一覧表示します。

4 翻訳する単語を選択し、◎(選択)を押す

▶ 翻訳結果が表示されます。

5 ◎(挿入)または✉(置換)を押す

◎(**挿入**)：翻訳結果を検索語の前に挿入します。
✉(**置換**)：検索語を翻訳結果に置き換えます。

- カタカナ英語辞書を引いた場合は、翻訳結果表示画面で単語を選択して◎(**英和**)を押すと、英和辞書を引くことができます。◎(**カナ英**)を押すと元に戻ります。
- 検索語のアルファベット、カタカナは全角でも半角でも構いません。

メール内容を確認中などに辞書を引く

メール本文を表示中、ウェブやステーションで情報を表示中(☞Vodafone live!編)に辞書を引きます。

1 ✉(メニュー)を押す

2 「範囲指定」を選択し、◎(OK)を押す

3 検索語の最初の文字にカーソルを移動し、◎(始点)を押す

4 検索語の最後の文字にカーソルを移動し、◎(終点)を押す

5 「英単語辞書」を選択し、◎（OK）を押す

▶ 翻訳候補一覧が表示されます。完全一致する候補が1件のみの場合は、翻訳結果が表示されます。

- 検索語がアルファベットのみの場合は英和、カタカナのみの場合はカタカナ英語、それ以外の場合は和英辞書を引きます。
- 先頭が検索語に一致する単語を一覧表示します。

6 翻訳する単語を選択し、◎（選択）を押す

▶ 翻訳結果が表示されます。

- カタカナ英語辞書を引いた場合は、翻訳結果表示画面で単語を選択して◎（**英和**）を押すと、英和辞書を引くことができます。◎（**カナ英**）を押すと元に戻ります。
- 検索語のアルファベット、カタカナは全角でも半角でも構いません。

■ 英単語クイズを楽しむ

1 英単語辞書を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「機能＆ツール」→「英単語辞書」

2 「英単語クイズ」を選択し、◎（OK）を押す

3 ゲームを選択し、◎（OK）を押す

- 「ルール説明」を選択すると、ルール説明が表示されます。
- 連続10問正解する毎にレベルが上がります。
- レベルをリセットするときは、◎（**リセット**）を押します。

ゲーム中に着信があった場合は、終話後にゲームを継続することができます。

キーライト

フラッシュ／スポットライトをキーライトとして利用します。

本体を開いた状態で［記号/絵文字］を長く（約1秒以上）押す

▶ ライトが点灯します。

- ［記号/絵文字］を押している間中、点灯し続けます。ただし、約90秒たつと消灯します。

低温時（－10℃以下）は動作しません。

次の場合にも消灯します。
・電話がかかってきたとき
・本体を閉じたとき
・メール、ウェブ、ステーションの着信があったとき
・スケジュール、タスク、目覚ましのアラーム通知があったとき
・自動電源OFFで電源が切れたとき
・電池残量の警告メッセージが表示されたとき

リモコン

V401SAを対応するメーカーのテレビ、ビデオデッキ、DVDプレーヤーのリモコンとして利用します。
V401SAの赤外線ポートを、操作する機器のリモコン受光部に向けて操作してください。

■ リモコンを設定する

操作する機器のメーカーを設定します。
お買い上げ時は、TV：三洋1、ビデオ：三洋1、DVD：三洋1に設定されています。

1 「リモコン」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「機能＆ツール」→「リモコン」

2 設定する機器を選択し、(設定)を押す

3 メーカーを選択し、◉(OK)を押す

対応メーカー一覧

TV	ビデオデッキ	DVDプレーヤー
三洋1	三洋1	三洋1
三洋2	三洋2	三洋2
松下1	三洋3	三洋3
松下2	三洋4	三洋4
ソニー	松下1	パイオニア1
シャープ	松下2	パイオニア2
東芝	松下3	パイオニア3
ビクター	松下4	ソニー1
三菱	松下5	ソニー2
日立	ビクター1	ソニー3
NEC	ビクター2	ソニー4
富士通ゼネラル	ビクター3	松下1
フナイ	ビクター4	松下2
アイワ	ビクター5	松下3
	ビクター6	

※メーカーによっては、リモコンの設定が数種類あります。操作する機器の取扱説明書を参照していただくか、実際に操作して確認してください。
対応メーカー一覧に該当するメーカー製の機器でも、その製品には対応しておらずリモコン操作ができない場合があります。また、一部の機能が操作できない場合もあります。

■ リモコンとして利用する

1 リモコンを呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「機能＆ツール」→「リモコン」

2 操作する機器を選択し、◉(OK)を押す

▶ 操作画面が表示されます。

- 操作画面は(サイドキー)を押すたびに、TV操作画面→ビデオ操作画面→DVD操作画面→DVDメニュー画面と切り替わります。
- を押すと待受画面に戻ります。

次の表に従って、リモコン操作することができます。

ボタン	TV	ビデオ	DVD	DVDメニュー
	電源	電源	電源	電源
	入力切換	入力切換	入力切換	入力切換
	消音	長く（約１秒以上）押す：録画	DVD MENUを開く	DVD MENUを閉じる
	ー	ー	ー	ー
clear	戻る →リモコン選択画面へ	短く押す：一時停止 長く（約１秒以上）押す：停止	短く押す：一時停止 長く（約１秒以上）押す：停止	戻る →リモコン選択画面へ
	音量を上げる	CH ＋	音量を上げる	カーソルを上に移動
	音量を下げる	CH ー	音量を下げる	カーソルを下に移動
	CH ー	短く押す：巻き戻し（REW） 再生中に長く（約１秒以上）押す：再生巻き戻し（REV）	前チャプターサーチ	カーソルを左に移動
	CH ＋	短く押す：早送り（FWD） 再生中に長く（約１秒以上）押す：再生早送り（CUE）	次チャプターサーチ	カーソルを右に移動
	ノーマル画面／ワイド画面の切り替え	再生	再生	OK

- ダイヤルボタンでのCH操作はできません。
- 音声着信やアラーム通知があった場合は、リモコン機能は一時中断されます。通話終了後やアラーム通知終了後に、再びリモコン画面に戻ります。メールなどを受信した場合は、ディスプレイの一番上でテロップを表示してお知らせします（☞Vodafone live!編）。
- での入力切替の操作は、どの機器においてもTVのメーカー設定に依存します。DVDの音量調節の操作も同様です。リモコンのTVの設定をご利用のTVのメーカーに設定してください。

機能の操作方法の確認(機能ガイド)

基本的な操作方法を案内してくれるガイド機能です。外出時などお手元に取扱説明書がないときに操作方法を参照してください。

1 「機能ガイド」を呼び出す

呼び出し方:待受画面→◉→「設定」→「機能ガイド」

2 を押す

▶ 各種操作が順番に呼び出されます。

補足 各種操作の機能ガイドが表示されている状態で操作を行っても、その機能は実行できません。ただし、「実行」が表示されている機能ガイドが選択されているときは、✎(**実行**)を押すとその機能の操作画面が表示されます。

ジャンプメニューを作る

よく使う機能やファイルをすばやく呼び出せるように、ジャンプメニューを作成します。登録できるのは、メインメニューの「設定」、「機能&ツール」、「スケジュール&アラーム」、「アドレス帳」から呼び出せる各機能と、フォルダBOXに保存されているファイルで、10件まで登録できます。
お買い上げ時は、「着信設定」、「待受設定」、「文字サイズ設定」、「配色設定」、「イヤホン設定」の機能が登録されています。

■ ジャンプメニューに登録する

1 「ジャンプメニュー」を呼び出す

呼び出し方:待受画面→◉→「ジャンプメニュー」

2 ✎(編集)を押す

3 登録する行を選択し、◉(OK)を押す

- 登録済みの行を選択した場合、元の項目は消去されます。

4 項目を選択し、◉(OK)を押す

「設定」	:設定メニューから登録する機能を選択して◉(**設定**)を押します。
「フォルダBOX」	:フォルダBOXから登録するファイルを選択して◉(**OK**)を押します。
「機能&ツール」	:機能&ツールメニューから登録する機能を選択して◉(**設定**)を押します。
「スケジュール&アラーム」	:スケジュール&アラームメニューから登録する機能を選択して◉(**設定**)を押します。
「アドレス帳」	:アドレス帳メニューから登録する機能を選択して◉(**設定**)を押します。

■ ジャンプメニューを編集する

ジャンプメニューに登録されている項目を消去したり、順番を変えたりします。

項目を消去する

1 「ジャンプメニュー」を呼び出す

呼び出し方:待受画面→◉→「ジャンプメニュー」

2 (編集)を押す

3 消去する項目を選択し、(消去)を押す

4 「1件消去」または「全件消去」を選択し、(OK)を押す

「1件消去」：選択した項目のみ消去します。
「全件消去」：すべての項目を消去します。

5 「YES」を選択し、(OK)を押す

- 消去を中止するときは「NO」を選択します。

項目の順番を変える

1 「ジャンプメニュー」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「ジャンプメニュー」

2 (編集)を押す

3 移動する項目を選択し、(移動)を押す

4 移動先を選択し、(OK)を押す

▶ 移動元の項目と移動先の項目が入れ替わります。

ジャンプメニューをリセットする

ジャンプメニューをお買い上げ時の設定に戻します。

1 「ジャンプメニュー」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「ジャンプメニュー」

2 (リセット)を押す

3 「YES」を選択し、(OK)を押す

- リセットを中止するときは「NO」を選択します。

■ ジャンプメニューを呼び出す

1 「ジャンプメニュー」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「ジャンプメニュー」

2 呼び出す項目を選択し、(OK)を押す

イヤホンを設定する

イヤホンマイク(別売)をご利用になる場合は、イヤホンマイク設定を「マイクつき」に設定します。「マイクなし」のままお使いになると、イヤホンマイクのマイクは機能しません。

■ イヤホンマイクを設定する

お買い上げ時は「マイクなし」に設定されています。

1 イヤホン設定を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「設定」→「その他」→「イヤホン設定」

2 (変更)を押す

3 「イヤホンマイク設定」を選択し、(変更)を押す

4 「マイクつき」を選択し、(OK)を押す

- 付属のFMアンテナ付ステレオイヤホンをご利用になる場合は、「マイクなし」を選択します。

■ イヤホンマイク接続中に自動的に電話を受ける(自動着信)

イヤホンマイクを接続中に電話がかかってきたときに、自動的に応答するまでの時間を1〜29秒の間で設定します。設定した秒数の間は着信音が鳴ります。
お買い上げ時は「OFF」、応答時間は「5秒」に設定されています。

1 イヤホン設定を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「設定」→「その他」→「イヤホン設定」

2 (変更)を押す

3 「自動着信」を選択し、(変更)を押す

4 「ON」を選択し、(OK)を押す

- 解除するときは「OFF」を選択します。

5 応答時間(01〜29秒)を入力し、(OK)を押す

- 自動着信を「ON」に設定すると、付属のFMアンテナ付ステレオイヤホン接続時にも、この機能が働きます。
- 設定は電源を切っても記憶されています。ご利用にならない場合は必ず設定を解除してください。
- 三者通話での第三者による呼び出しの応答には、この機能はご使用になれません。

- 応答時間の設定が「簡易留守録」の応答時間（☞13-2ページ）と同じ場合は、「自動着信」が優先されます。
- 「転送電話／留守番電話サービス」の呼び出し時間との優先順位については、電波の状況などにより前後する場合があります。優先したいサービスまたは機能の設定時間を、他よりも短く設定しておかれることをおすすめします。

FAX通信／パソコン通信

データ／FAX通信カード（別売）を介して、G3FAXやパソコン通信の送受信をします。

G3FAX との接続のしかたや FAX の使いかたは、FAX および G3FAX の取扱説明書を、パソコンとの接続のしかたや、パソコンの使いかたは、データ／FAX通信カードおよび、パソコンの取扱説明書を参照してください。

■ FAX通信をする

データ／FAX通信カードなどを使用する

▶ G3FAXが送信または受信状態になると右の表示になります。

■ パソコン通信をする

データ／FAX通信カードなどを使用し、外部接続端子にパソコンを接続する

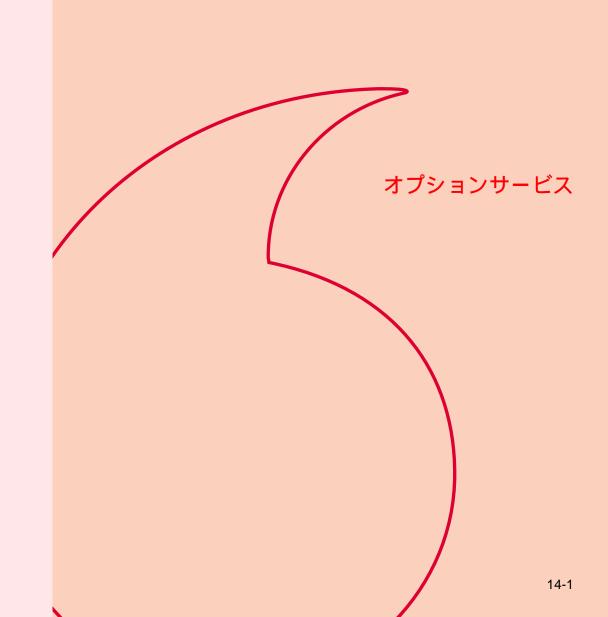
▶ パソコンが通信状態になると右の表示になります。

2400bpsのデータ通信中

9600bpsのデータ通信中

- FAX通信やパソコン通信を行うときには電波の安定したところで行うことをおすすめします。
- FAXとパソコンを同時に接続することはできません。

市販の9600bps対応用のデータカードを使用すれば、9600bpsのデータ通信を行えます。

その他の機能 13

オプションサービス

オプションサービスの概要

ボーダフォンでは、次のオプションサービスを利用することができます。

●電波の届かない場所や、ご契約いただいた地域以外のサービスエリアでは、V401SAからは操作できません。オプションサービスの詳細は「サービスガイドブック」をご覧ください。

●ご契約いただいた地域によっては、ご利用になれないサービスや機能が制限されるものもあります。

●ご利用にあたって、月額使用料がかかるサービスもあります。お申し込み時にご確認ください。

転送電話サービス	電源を切っているときや電波の届かない場所にいるとき、電話に出られないときに、かかってきた電話を、指定した電話番号へ転送します（☞次ページ）。
留守番電話サービス	電波の届かない場所や通話中のため電話に出られないとき（割込通話サービスを設定しているときは除く）などに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします（☞14-5ページ）。
割込通話サービス	今までお話ししていた相手との通話を保留にし、かかってきた電話を受けることができます（☞14-9ページ）。
三者通話サービス	2人での通話中に、もう1人に電話をかけ、3人同時に通話できます。また、相手を切り替えながらの通話もできます（☞14-11ページ）。
発信者番号通知サービス	お客さまの電話番号を相手に通知したり、かけてきた相手の電話番号を確認できます（☞14-13ページ）。

オプションサービスのご利用にあたっては、あらかじめ次の点をご確認ください。

オプションサービス	ご契約された地域		
	関東・甲信／東海／関西	北海道／北陸／九州・沖縄	東北・新潟／中国／四国
転送電話サービス	－	－	－
留守番電話サービス	お申し込みが必要	お申し込みが必要	お申し込みが必要
割込通話サービス	お申し込みが必要	お申し込みが必要	お申し込みが必要
三者通話サービス	お申し込みが必要	お申し込みが必要	お申し込みが必要
発信者番号通知サービス	お申し込みが必要	お申し込みが必要	お申し込みが必要

－：お申し込み不要で、そのままご利用になれます。

転送電話サービス

■転送先の電話番号を登録（変更）する

1 「転送電話サービス」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「設定」→「付加サービス」→「転送電話サービス」

2 ◎（実行）を押す

3 「転送先登録」を選択し、◎（OK）を押す

4 転送先の電話番号を入力し、◎（OK）を押す

▶接続中のメッセージが表示されたあと、登録した転送先電話番号が表示されます。
表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

• 転送先を携帯電話や自動車電話にする場合は、電話番号全桁を入力してください。一般電話の場合は、市外局番から入力してください。

転送先として登録できない電話番号

・「1」から始まる電話番号（例：110、119、118など）
・「0120」から始まる電話番号（フリーダイヤル）
・「0990」から始まる電話番号（ダイヤルQ2など）

■転送電話サービスを開始する

あらかじめ転送先の電話番号を登録しておいてください。

1 「転送電話サービス」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「設定」→「付加サービス」→「転送電話サービス」

2 ◎（実行）を押す

3 「サービス設定」を選択し、◎（OK）を押す

▶転送する前に、呼び出しをするかどうかを選択する画面が表示されます。

4 「あり」または「なし」を選択し、◉(OK)を押す

「あり」：着信音を鳴らしてから転送します。
「なし」：着信音を鳴らさずに転送します。

- 「なし」は、関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合のみご利用になれます。
- 転送までの呼び出し時間を変更することができます(☞14-8ページ)。ただし、東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様は設定できません。

- 転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。
- すでに留守番電話サービスを開始されているときに転送電話サービスを開始すると、留守番電話サービスは停止されます。

■ 転送電話サービスを停止する

1 「秘書停止」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「付加サービス」→「秘書停止」

2 ◉(実行)を押す

転送電話サービスと留守番電話サービスを総称して、秘書サービスと呼びます。

転送電話サービス開始後の着信中

■着信音が鳴っている間に☎を押すとそのまま通話できます。

- 転送時の呼び出しを「なし」にしているときは、そのまま転送先に転送されます。(関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合)

転送電話サービスの設定状況の確認

1 「秘書確認」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「付加サービス」→「秘書確認」

2 ◉(実行)を押す

▶設定状況に応じて、確認画面が表示されます。

留守番電話サービス

別途お申し込みが必要です。

■ 留守番電話サービスを開始する

1 「留守番電話サービス」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「付加サービス」→「留守番電話サービス」

2 ◉(実行)を押す

▶転送する前に、呼び出しをするかどうかを選択する画面が表示されます。

3 「あり」または「なし」を選択し、◉(OK)を押す

「あり」：着信音を鳴らしてから転送します。
「なし」：着信音を鳴らさずに転送します。

- 「なし」は、関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合のみご利用になれます。
- 転送までの呼び出し時間を変更することができます(☞14-8ページ)。ただし、東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様は設定できません。

- 留守番電話サービスと転送電話サービスを同時に利用することはできません。
- すでに転送電話サービスを開始されているときに留守番電話サービスを開始すると、転送電話サービスは停止されます。

留守番電話サービス開始後の着信中

■着信音が鳴っている間に(電話)を押すとそのまま通話できます。
- 転送時の呼び出し音を「なし」にしているときは、そのまま留守番電話センターに転送されます。（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）

留守番電話サービスの機能

■留守番電話サービスには、応答メッセージの録音や不在応答メッセージの利用など、いろいろな機能があります。利用できる機能や操作方法は、ご契約いただいた地域によって異なります。（詳しくは、「サービスガイドブック」をご覧ください。）

留守番電話サービス停止時

■着信中に(**留守番**)を押すと、その着信に限り留守番電話サービスセンターに転送されます。（留守番電話サービスは停止のままです。）
- 通話中に別の電話がかかってきたときも、同様の操作で留守番電話センターに転送できます。（割込通話サービスをお申し込みで、「ON」に設定している場合に限ります。）

■留守番電話サービスセンターに転送できなかったときは、「ご利用になれません」と表示され、着信画面に戻ります。

■ 留守番電話サービスを停止する

1 「秘書停止」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「設定」→「付加サービス」→「秘書停止」

2 ◎(実行)を押す

転送電話サービスと留守番電話サービスを総称して、秘書サービスと呼びます。

■ 伝言メッセージを聞く

留守番電話センターに伝言メッセージが入っているときは、次の操作を行うと「1416」が表示されます。

●電話をかけたとき
●電話がかかってきたとき
●通話を終了したとき
●電波の届く所で電源を入れたとき
●一定距離を移動したとき（この場合の一定距離とは、市街地の場合は数km～数十km、郊外では数十kmが目安です。）

1 「留守番再生」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「設定」→「付加サービス」→「留守番再生」

- 1 4 1 6 (電話)と押しても、伝言メッセージを聞けます。
- センター番号を変更するときは、このあと◎(**変更**)を押したあと、新しいセンター番号を入力し直し、◎(**OK**)を押します。

2 (電話)を押す

▶留守番電話センターに接続します。

3 ガイダンスに従って操作する

「1416」はV401SAから伝言メッセージを聞いたときに消えます。（一般電話から伝言メッセージを聞いたときは消えません。）

留守番電話サービスの設定状況の確認

1 「秘書確認」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◎→「設定」→「付加サービス」→「秘書確認」

2 ◎(実行)を押す

▶設定状況に応じて、確認画面が表示されます。

転送電話／留守番電話の呼び出し時間設定

東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合は、ご利用になれません。

転送電話サービスまたは留守番電話サービスを開始しているときに、V401SAにかかってきた電話が転送されるまでの時間（V401SAの着信音が鳴る時間）を5～30秒（5秒単位）の間で設定できます。

●電波の届かない場所やご契約いただいた地域以外のサービスエリアでは設定できません。また、一般電話からも設定できません。
●呼び出しを「なし」にしているときは、ここでの設定は無効になります。
（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）
●お買い上げ時には「20秒」に設定されています。

1 「呼出時間設定」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「付加サービス」→「呼出時間設定」

2 ◉（変更）を押す

3 呼び出し秒数（05～30秒）を入力し、◉（OK）を押す

- 入力途中で修正するときは、clearを押します。

「転送電話／留守番電話サービス」と「簡易留守録」（☞13-2ページ）や「自動着信」（☞13-61ページ）のサービスや機能をご利用になる場合は、優先したいサービスまたは機能の設定時間を、他よりも短く設定しておかれることをおすすめします。

転送電話サービスと留守番電話サービスを総称して、秘書サービスと呼びます。

割込通話サービス

別途お申し込みが必要です。

通話中に電話がかかってきたとき、今まで話していた相手との通話を保留にして、かかってきた電話を受けられます。

関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様は、割込通話サービスに加入されたあと、割込通話サービスを設定してください（下記参照）。この設定を行わないと、サービスをご利用になれません。

■ 割込通話サービスを設定する

関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様のみの機能です。サービスをご利用になるには、この設定が必要です。

1 「割込通話設定」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「付加サービス」→「割込通話設定」

2 ◉（実行）を押す

3 「サービス開始」を選択し、◉（OK）を押す

- 割込通話サービスを停止するときは「サービス停止」を選択します。

■ 割込通話サービスの設定を確認する

関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様のみの機能です。

1 「割込通話確認」を呼び出す

呼び出し方：待受画面→◉→「設定」→「付加サービス」→「割込通話確認」

2 ◉（実行）を押す

▶ 現在の設定が表示されます。

■ 割込通話サービスを受ける

1 **通話中に電話がかかってくると、呼出音が聞こえる**

- 相手が電話番号を通知してきた場合、電話番号が表示されます。また、メモリダイヤルに登録されているときは名前が表示されます。

2 **を押す**

▶今まで通話していた相手が保留になり、あとからかかってきた相手と通話できます。

- を押すたびに話す相手と保留の相手を切り替えられます。

通話中の電話を切り、保留中の相手と通話するには

を押すと通話中の電話が切れて、保留中の電話があることを知らせる警告音が鳴り、保留中の相手と通話できます。

通話中の相手が電話を切ったときには

「割込通話」の表示が点滅し、保留中の相手がいることをお知らせします。
を押すと保留中の相手と通話できます。

関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合
留守番電話サービス、転送電話サービスを開始していた場合、通話中にかかってきた電話を受けなければ留守番電話センターまたは転送先に転送されます。また、留守番電話サービス、転送電話サービスで「呼び出しなし」を設定している場合、通話中にかかってきた電話は直接、留守番電話センターまたは転送先に転送されます。

三者通話サービス

別途お申し込みが必要です。

2人で通話している間に、もうひとりに電話をかけ、相手を切り替えながら通話できます。また、3人で同時に通話できます。

■ 通話中にもう一人にかける

Aさんと通話中にBさんの電話番号を押し、を押す

▶Bさんに電話がつながると、通話中の相手Aさんは保留になります。

- メモリダイヤル、リダイヤル、着信履歴、ノートパッドメモリからかけることもできます。

■ 相手を切り替えながら通話する（切り替え通話）

今、通話している相手と保留になっている相手を切り替えながら通話します。

通話中にを押す

▶を押すたびに通話の相手が切り替わります。

- 通話中にを押すと、現在通話中の相手とは通話が切れて、保留中の相手とつながります。もう一度を押すと電話が切れます。
- 通話中の相手が電話を切った場合は、「切り替え通話」が点滅し、保留中の相手がいることをお知らせします。を押すと、保留中の相手とつながります。

AさんとBさんと切り替え通話中に自分だけ抜ける

関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様のみの機能です。

1 **切り替え通話中に「三者／転送」を呼び出す**

呼び出し方：切り替え通話中→◉→「設定」→「付加サービス」→「三者／転送」

2 **（転送）を押す。**

▶テンソウカンリョウと表示され自分の電話は切れます。
AさんとBさんは引き続き通話できます。

注意 自分から電話をかけた場合、引き続き通話料金がかかります。

■ 3人で同時に通話する（三者通話）

1 切り替え通話中に「三者／転送」を呼び出す

呼び出し方：切り替え通話中→◉→「設定」→「付加サービス」→「三者／転送」

2 **（三者）を押す。**

注意
- この機能は、切り替え通話の状態のときにしか設定できません。
- 三者通話にすると、切り替え通話に戻すことはできません。
- 三者通話中に☎を押すと、3人全員の通話が切れます。
- 三者通話中に相手のどちらかが電話を切ると、残りの方との通話になります。

AさんとBさんと三者通話中に自分だけ抜ける

関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様のみの機能です。

1 三者通話中に「三者／転送」を呼び出す

呼び出し方：三者通話中→◉→「設定」→「付加サービス」→「三者／転送」

2 **（転送）を押す。**

▶テンソウカンリョウと表示され自分の電話は切れます。

AさんとBさんは引き続き通話できます。

注意 自分から電話をかけた場合、引き続き通話料金がかかります。

発信者番号通知サービス

電話をかけたとき、お客様のV401SAの電話番号を相手の電話機のディスプレイに通知したり、お客様にかかってきた相手の電話番号をディスプレイに表示したりします。サービスを受けない場合はお申し込みが必要です。

■ サービスを受ける

電話をかけるとき

相手に電話番号を通知する場合

自動的に、あなたの電話番号が相手に通知されます。

意図しない相手に電話番号を知られる場合がありますのでご注意ください。

メモリダイヤル、リダイヤル、および着信履歴からの発信についても同様に相手に通知されます。

相手に電話番号の通知をしない場合

電話番号の先頭に「184」（イヤヨ）を付けて、ダイヤルする

184-○○○-△△△△-□□□□

あらかじめ電話番号の先頭に「184」（イヤヨ）を付けて、メモリダイヤルに登録できます。また、メモリダイヤルを呼び出したあと（**メニュー**）を押し、「184付加」を選択して「184」を付けることもできます。

電話を受けるとき

相手が電話番号を通知して電話をかけてきたときは、相手の電話番号が表示されます。

メモリダイヤルに登録してある相手から着信があった場合には、登録されている相手の名前が表示されます。

■ サービスを受けない

電話をかけるとき

相手に電話番号を通知しない場合

通常の操作で電話をかけた場合、あなたの電話番号は相手に通知されません。

相手に電話番号を通知する場合

電話番号の先頭に「186」を付けて、ダイヤルする
186-○○○-△△△△-□□□□

意図しない相手に電話番号を知られる場合がありますのでご注意ください。

あらかじめ電話番号の先頭に「186」を付けて、メモリダイヤルに登録できます。また、メモリダイヤルを呼び出したあと(**メニュー**)を押し、「186付加」を選択して「186」を付けることもできます。

電話を受けるとき

相手が電話番号を通知して電話をかけてきたときは、相手の電話番号が表示されます。

メモリダイヤルに登録してある相手から着信があった場合には、登録されている相手の名前が表示されます。

Abridged English Manual

For more information about handset operations and functions, please access the Vodafone K.K. Website (www.vodafone.jp) for the full manual* or dial 157 from a Vodafone handset for Customer Service.

Contents

* Please note that the full manual may not be available in English at time of purchase. In this case, call Customer Service or check Vodafone Website again at a later date.

Accessories

■**Battery**
Spray White (SABM01)
Grab Khaki (SABM02)
Trick Orange (SABM03)

■**Rapid Charger**
(SACM01)

■**Desktop Holder**
(SAEM01)

■**Stereo Earphone with FM Antenna**
(SALM01)

■**USB Cable**
(SAGM01)

Note:

- Accessories can also be purchased individually.
- If you have any questions about accessories, contact Vodafone Customer Center (☞page 15-36).

Safety Precautions

■To ensure safe use of the handset, please read these Safety Precautions carefully before use. After reading, please keep the Safety Precautions for future reference.

■The following precautions are provided for your benefit to protect you and others and to avoid damage to property. Please observe these Safety Precautions.

■This manual uses various icons to facilitate your understanding of the contents, ensure correct use to prevent injury to yourself or others and prevent damage to assets. The icons used and their meanings are described below. Read the main text after you thoroughly understand the contents.

Pictograph Descriptions

Pictograph	Meaning
⚠ **Danger**	Improper handling poses a high risk of death or serious injury.
⚠ **Warning**	Improper handling poses the risk of death or serious injury.
⚠ **Caution**	Improper handling poses the risk of injury or damage to the product or property.

Symbol Descriptions

Symbol	Meaning
	The action is prohibited.
	The action is compulsory.
	The power cable must be unplugged.

In the event of failure

- If the handset emits smoke or an abnormal smell or noise, turn the power off.
- If an irregularity occurs during charging, unplug the power cable from the outlet and contact your nearest customer center.

Vodafone shall not be liable for any damages incurred by you or a third party as a result of improper use of this product, failure during use, or any other nonconformity, unless the liabilities are specified by Japanese laws or regulations.

⚠ Danger

Handset

Do not use when thunder sounds.

If you hear thunder while using your phone on a golf course, etc., cease using the phone immediately. There is a risk of electric shock or death from being struck by lightning.

Do not use where inflammable gas is generated.

Do not use your phone if there is a risk of fire or explosion. Turn off the phone and refrain from charging in places where propane gas, gasoline or other inflammable gases are present.

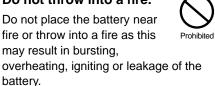
Battery

Use only the specified charger. Do not use the charger for batteries other than V401SA.

Failure to observe the following precautions may lead to electric shock, fire, bursting, overheating, igniting or leakage of the battery, overheating, igniting or failure of the charger.

- Use only the specified charger to recharge the battery.
- Do not use the charger for batteries other than V401SA.

Do not throw into a fire.

Do not place the battery near fire or throw into a fire as this may result in bursting, overheating, igniting or leakage of the battery.

Do not short-circuit the terminals.

Short-circuiting of the battery terminals with a car key or metal accessory, etc., may result in bursting, overheating, igniting or leakage of the battery. Always place in the battery case provided when carrying or storing the battery.

Do not disassemble or modify.

Disassembly or modification of the battery may result in electric shock, fire, bursting, overheating, igniting or leakage of the battery, overheating, igniting or failure of the charger.

Do not subject to strong impact.

Subjecting the battery to shock by dropping, bumping or hitting with a hammer may result in bursting, overheating, igniting or leakage of the battery.

⚠ Danger

Do not charge the battery where inflammable gas is generated.

Never charge the battery in a place where propane gas, gasoline or other inflammable gases are present.

Do not touch the charger terminals or power plug with wet hands.

Do not touch the battery terminals, charger terminals or power plug with wet hands as this may result in electric shock or failure.

⚠ Warning

Handset Use & Medical Equipment

These safety precautions are based on the guidelines produced at the Electromagnetic Compatibility Conference, Japan (April, 1997) and refer to the report produced at the Association of Radio Industries and Businesses (March, 2001).

If a mobile phone is used in the vicinity of an implanted cardiac pacemaker and implanted defibrillator or other electronic medical equipment, the equipment may be affected by the radio emissions. Please observe the following guidelines:

1 Do not use the handset within 22 cm of a cardiac pacemaker or implanted cardiac defibrillator.

2 In crowded areas such as on a train during rush hour, turn off your phone. Someone using an implanted cardiac pacemaker and implanted cardiac defibrillator may be near you. If your phone has an automatic power-on or alarm setting, cancel the setting.

3 Implanted cardiac pacemakers and implanted cardiac defibrillators can be affected by radio emissions from mobile phones.

4 Comply with the following in hospitals and health care facilities.
- Do not take the phone into operating theaters, intensive care units (ICU), or coronary care units (CCU).
- Turn off your phone in wards. If your phone has an automatic power-on or alarm setting, cancel the setting.
- Turn off your phone in the lobby or anywhere where there are electronic medical devices near you. If your phone has an automatic power-on or alarm setting, cancel the setting.
- Comply with the regulations of the hospital or health care facility regarding mobile phone use.

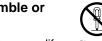
5 Patients using electronic medical equipment other than implanted cardiac pacemaker and implanted cardiac defibrillator should consult with the manufacturer to confirm whether or not its operation is effected by radio waves.

⚠ Warning

Handset

Do not use inside an aircraft.

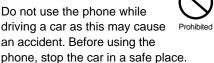
Turn off the phone in aircraft. The electromagnetic waves generated by the phone may affect the electronic equipment of the aircraft, impeding safety.

Do not disassemble or modify.

Do not disassemble or modify the phone. Electric shock, fire or failure may result.
Modification is a violation of the radio wave law.

Turn off if an abnormal smell or smoke is emitted.

If there is an abnormal smell or smoke is emitted, turn off the phone and remove the battery.

Do not use while driving.

Do not use the phone while driving a car as this may cause an accident. Before using the phone, stop the car in a safe place.

Do not subject to strong impact.

If the phone is subjected to shock caused by dropping, bumping, etc., the electronic components may become loose or damaged, resulting in electric shock, fire or failure.

Keep out of the reach of children.

To prevent accidents such as electric shock or fire, keep out of the reach of children.

Battery

If a leak is present, keep away from fire.

In the event of leakage or an abnormal smell of the battery, keep away from fire. The leaking fluid may ignite and then cause a fire.

Do not place in a microwave oven or dryer.

Do not put into a microwave oven or dryer as this may result in bursting, overheating, igniting or leakage of the battery.

If battery fluid gets in your eyes, rinse immediately with clean water.

If battery fluid gets in your eyes or on your skin as a result of battery damage, rinse with clean water and consult a doctor immediately. Battery fluid may cause blindness or inflammation of the skin.

Do not use the battery when it has damage.

⚠ Warning

Do not use if there is a smell or overheating.

Abnormal smell or overheating may result in electric shock, fire, bursting, igniting or leakage of the battery and failure of the charger.

Do not get the battery wet or use when wet.

A wet battery may result in electric shock, fire, bursting, overheating, igniting or leakage of the battery, and failure of the charger.

Charger

Do not charge any battery other than the one specified.

Charging other batteries may result in fire, bursting, overheating, igniting or leakage of the battery, and failure of the charger.

Do not disassemble or modify.

Disassembly or modification may result in electric shock, fire, bursting, overheating, igniting or failure of the charger.

Do not expose the charger to water.

Water on the charger may lead to electric shock, fire, bursting, overheating, igniting or leakage of the battery, and failure of the charger.

Do not use the charger if there is an abnormal smell or overheating.

If an abnormal noise, smell or smoke is emitted during charging, unplug the power cable from the outlet immediately and remove the battery from the charger. Continued use may result in electric shock, fire, bursting, overheating, igniting or leakage of the battery, and failure of the charger.

Do not short-circuit the charger terminals.

Do not short-circuit the charger terminals as this may result in electric shock, fire, bursting, overheating, igniting or failure of the charger.

Do not use the charger where inflammable gas is generated.

Never charge the battery in a place where propane gas, gasoline or other inflammable gases are present.

Do not touch the charger terminals or power plug with wet hands.

Touching the terminals of the battery or charger or the power plug with wet hands may result in electric shock or failure.

Do not use an outlet other than a household AC100V outlet.

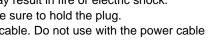
Do not use the charger in an outlet other than a household AC100V outlet.
Use of an outlet other than the specified outlet may result in fire, damage, overheating, igniting or failure of the charger.

⚠ Warning

Handle the power cable correctly.

Compulsory

Failure to comply with the following may result in fire or electric shock.
- When unplugging the power cable, be sure to hold the plug.
- Do not modify or damage the power cable. Do not use with the power cable trapped in a door, etc.
- Do not place heavy articles on the power cable, or pull or twist it.

⚠ Caution

Handset

If skin irritations occur, stop using handset immediately and consult a doctor.

Compulsory

Conditions such as skin irritations, a rash or eczema may develop in some rare cases.

Part	Material	Surface Finish
Outer Case (front side Display)	Magnesium Alloy	Baked Acrylic Paint
Outer Case (others)	PC/ABS Resin	Acrylic UV Cured Coating
Earpiece Ornament Panel	PC/ABS Resin	Acrylic UV Cured Coating
Display	Acrylic Resin	Acrylic UV Cured Coating
Camera	Acrylic Resin	Acrylic UV Cured Coating
Camera Ornament Panel	Aluminum	Alumite Tinction
Battery Case	Polycarbonate Resin	Acrylic UV Cured Coating
Keys (except plated keys)	Polycarbonate Resin	Acrylic UV Cured Coating
Keys (plated keys)	ABS Resin	Chrome Plated
Keys (function keys)	PC/ABS Resin	Acrylic UV Cured Coating
Antenna Tip	ABS Resin	None
Antenna Metal Part	Aluminum	Chrome Plated
Antenna (other than the tip and metal part)	Polyamide Resin/PBT Resin	None
Screw Cover (Backside top of LCD)	Polycarbonate Resin	Acrylic UV Cured Coating
Screw Cover (Backside top of Keypad)	Polycarbonate Resin	None
Screw Cover (Backside bottom of Keypad)	Silicone Rubber	None
Self-portrait Mirror	ABS Resin	Chrome Plated
Headset Jack and External Connector Covers	Elastomer Resin	None

⚠ Caution

Keep away from magnetic cards.

Prohibited

The speakers and earpiece contain a magnet and should be kept away from floppy disks or cash cards as the contents of the memory may be erased.

Do not leave in wet and humid places or in extreme temperatures.

Prohibited

Do not leave the phone in the following places as there is a risk of fire, bursting, explosion, igniting or leakage of the battery, and failure of the charger.
- Where there is vibration, dust or high humidity.
- Where it is liable to get water, rain, seawater, juice, etc. on it.
- Where it is exposed to direct sunlight, or near heating equipment.

Handling the phone as follows may result in failure or damage.

Prohibited

- Sitting with the phone in the back pocket of your trousers.
- If you put the phone in your bag, make sure that you do not put heavy objects on top of it.

Check the earpiece.

Compulsory

The earpiece contains a magnet and unexpected injury may result due to metal objects such as tacks and pins attaching themselves to the earpiece. Before using, always check that there is nothing attached to the receiver.

Do not use near electronic equipment.

Prohibited

Use of the phone near electronic equipment with precision control or low powered signals, such as electronic medical equipment or automatically controlled equipment, may affect the electronic equipment. If you use the phone near a regular phone, TV, or radio, the equipment may be affected. In rare cases, the phone may affect the electronic equipment in a car, depending on the type of car.

Be careful not to get your finger or an object caught in the sliding part when opening/closing the handset.

Compulsory

Since there are some gaps in the built-in camera part, etc., doing so may cause injuries or damages.

Battery

Do not leave in wet and humid places or in extreme temperatures.

Prohibited

Such action may result in fire, bursting, overheating, igniting or leakage of the battery, and deformation or damage of the soft case.

Keep out of the reach of children.

Compulsory

To prevent accidents such as electric shock or fire, keep the battery out of the reach of children.

⚠ Caution

Charger

Do not leave in wet and humid places or in extreme temperatures.

Prohibited

Such action may result in fire, bursting, overheating, igniting or leakage of the battery, and failure of the charger.

Keep out of the reach of children.

Compulsory

To prevent accidents such as electric shock or fire, keep the charger out of the reach of children.

Do not subject to strong impact.

Prohibited

Subjecting the charger to shock by dropping, bumping or hitting it with a hammer may result in damage, overheating, igniting or failure of the charger.

General Notes

General Usage

- The V401SA uses radio waves. Calls cannot be made or received where signal reception is poor such as: indoors, underground or inside a tunnel. Please note that calls may suddenly be terminated.
- When using the handset in public places, be mindful not to disturb others.
- Handsets are radio transmitters under Japanese Radio Law. By law, the handset is subject to inspection.
- Using the handset near fixed line phones, TVs or radios, may affect their sound and image quality.
- Vodafone takes no responsibility for accidental loss or damage of data (such as Phone Book entries, image files or sound files), resulting from equipment malfunction or accidents. Make backup copies of important data.

In Automobiles

- Do not use the handset while driving.
- Do not park your car in a no-parking zone to use the handset.
- In rare cases, handset use inside a vehicle may affect the vehicle's electronic equipment.

Aboard Aircraft

- When boarding an aircraft, cancel any Auto Power On or alarm setting and turn off your handset.

Handset Care

- Do not use the handset in extremely high or low temperatures or where exposed to direct sunlight.
- Do not subject the handset to impact by dropping it, or place any heavy objects on top of it as this may lead to failure.
- Use a soft dry cloth to clean your handset. Do not use alcohol, thinner or benzine as this may result in discoloration or cause the lettering to fade.
- The V401SA is not waterproof. Be cautious when using the handset near a river, lake, etc. Exposing the handset to rain may result in handset malfunction. Shield the handset from sea spray or salt air when using near the sea as such exposure may cause damage to internal parts of the handset.
- Take care not to expose the phone to sweat. Sweat may leak into the handset along the antenna and damage internal parts.
- The V401SA is a radio communication device made from precision parts. Never disassemble or modify the phone.
- If the handset's battery is removed or if the handset is left with a low battery charge for long periods of time, the stored data may be lost or damaged. Vodafone takes no responsibility for loss or damage of data occurring in such situations.

Observe Copyrights

- Music, images, computer programs, databases, other copyrighted materials and their respective copyright holders are protected by copyright laws. Duplication of such copyrighted material is permissible only with the purpose of use by the individual or use within the household. If the above purposes are exceeded and copies (including conversion of data types), modifications, transfer of copies or distribution on networks are made without the copyright holder's authorization, this may constitute a violation of intellectual property rights or copyright resulting in legal action. If copies are made using this product, please observe the copyright laws with doing so. Additionally, this product is equipped with a camera function and using the camera function to record materials is also subject to the above, and appropriate use should be observed.

Minding Mobile Manners

When using the handset, do not forget consideration for others.

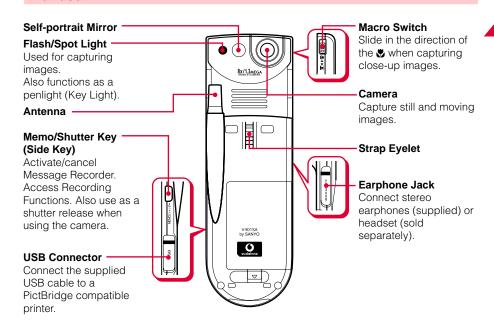
- Turn the power off or set Manner Mode on in theaters, museums, libraries and other public venues.
- Keep your voice down and the ring tone off when using the handset in quiet places such as restaurants and hotel lobbies.
- Observe signs and instructions regarding handset use such as aboard trains or in hospitals.
- Do not block thoroughfares when using the handset.

Manner-Related Features

Take advantage of the following built-in features:

- **Manner Mode**
  Use Manner Mode to silence the ring tone and keypad tone with one-touch setting and change how to notify incoming calls.
- **Off-line Mode**
  Use Off-line Mode to suspend radio transmissions so that incoming/outgoing calls and mail are blocked.
- **Ringer Volume**
  Adjust ringer volume for incoming calls/mail, etc. When Ringer Volume is set to ***OFF***, the handset is silenced.
- **Vibration**
  Use Vibration to alert you of incoming calls/mail, etc.
- **Message Recorder**
  Use Message Recorder to record the caller's message. In addition, Optional Services such as Call Forwarding (☞page 15-22) and Voice Mail (☞page 15-21) are available for handling incoming calls.
- **Whisper Mode**
  Use Whisper Mode to increase microphone sensitivity, allowing you to speak softly.

Handset Parts & Functions

Handset

Attaching Hand Strap

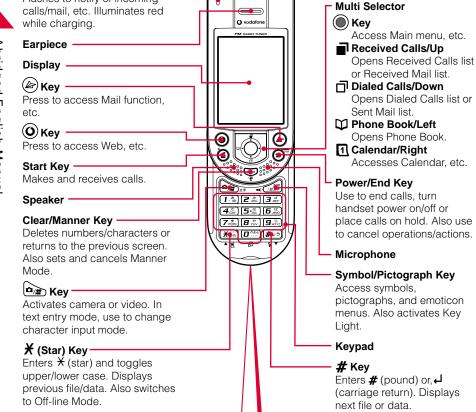
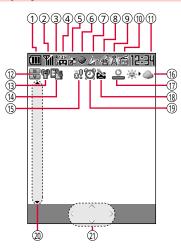
Attach hand strap as shown:

Attaching Earphone

To connect earphone or headset, open earphone jack by rotating the cover 180 degrees (as shown).

Opening and Closing the Handset

Slide the handset open, as pictured below. Slide the cover until it clicks open. Close the handset cover when not in use.

Note: Do not place labels on the back side of the handset cover. Labels may interfere when opening/closing the handset.

Display Indicators

① **Battery Strength**
Level 3 Full
Level 2 Moderate
Level 1 Low
Level 0 Charge immediately
Battery Charging

② **Signal Strength**
Weak Low Moderate Strong
Indicates signal strength. The more bars, the stronger the signal.
Out-of-Range
Off-line Mode On
Infrared
IrDA communication is in progress.

③ **Secret Mode On**

④ **Voice Mail**
Unchecked message(s) at Voice Mail Center.

⑤ **Enlarge/Reduce**
Appears when enlarge/reduce function is available.

⑥ **Web**
Unread Web information

⑦ **Mail**
Unread Sky Mail or Greeting message(s)

⑧ **Long Mail**
Unread Long Mail message(s)

⑨ **Station**
Unread Station information

⑩ **FM Radio Activated**

⑪ **Clock**
appears when previous/next file or data is available, for example when browsing files in the Data Folder.

⑫ **Silent Mode**
Ringer Volume for Incoming Call, is off.
Vibration
Vibration for Incoming Call, is on.

⑬ **(red) Vibration On**
Ringer Volume off/Vibration on
(blue) Vibration Off
Ringer Volume off/Vibration off
(green) Original Manner Mode On

⑭ **Schedule/Task**
Indicates Schedule or Task alarm is set.

⑮ **Notice**
Appears in Desktop Mode to notify of missed call(s), unread mail/Web/Station information and Schedule/Task time.

⑯ **Weather Indicator**
Weather forecast (requires fee)
Sunny Clear
Cloudy Rain
Snow Thunder
Occasionally Later

⑰ **Low Memory**
6 KB or less memory available
256 B or less memory available

⑱ **(black) Message Recorder On**
(black) Unchecked Message(s)
(red) Message Recorder Full
No free space available for recording new messages.
Message Recorder Off/Unchecked Message(s)
(red) Message Recorder Full/ Unchecked Message(s)

⑲ **Alarm On**

⑳ **Scroll Up/Down**
Scroll up or down to view all menu items.

㉑ **Scroll Directions**
Indicates available scroll directions

Symbols Used in This Manual

Soft Keys and Menu Key

A Soft Key's function varies by the task being performed. Each key corresponds to the indicator appearing above the key (as shown in picture on the right).

Example:

Press [key] to toggle "–" and "•"

Press [key] to save

Press [key] to open menu

Multi Selector

Use Multi Selector to select menu items, move cursor, scroll up/down, etc.

[key]: Press up

[key]: Press down

[key]: Press left

[key]: Press right

Menu Items

Use [key] to select an item. Press [key] to execute the operation.

Tip: Items preceded by numbers ([0]–[9]), [#] or [*] can be selected by pressing the corresponding key ([0]–[9], [#] or [*]).

Display Illustrations

Display illustrations appearing in this manual may differ from the actual appearance for better understanding.

Handset Codes

Security Code and Center Access Code are required to access some functions/ services. Do not forget these codes. Do not reveal your codes to others. Vodafone is not responsible for damages caused by misuse as a result of a third party's knowledge of these codes.

Security Code

Security Code protects private information and prevents unauthorized use of the handset by others. The code is initially set to "9999" or the 4-digit number selected at initial service subscription. The code can be changed from the handset.

Center Access Code

Center Access Code is required when setting optional services (☞page 15-34) from a landline. It is set to the 4-digit number selected at initial service subscription. To change the Center Access Code, contact Vodafone Customer Service (☞page 15-36).

Tip: If you forget the codes, contact Vodafone Customer Service (☞page 15-36).

Charging Battery

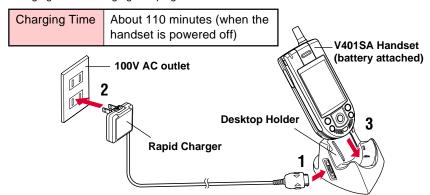
- Charge the battery before using the handset for the first time or if the handset has not been used for a long time. Charging time may take longer than usual.
- Keep the battery terminals clean. The battery may not be charged properly if dust has accumulated on the terminals. Periodically wipe the battery terminals using a soft clean cloth.
- During charging, the battery may become warm. This is normal.
- The battery is a consumable item. If operating time becomes extremely short for practice use, replace the battery with a new one.
- Do not dispose of exhausted batteries with municipal waste. Tape over charger terminals beforehand and send it to the nearest specified recycle collection or take it to the nearest Vodafone Shop.
- A lithium-ion battery is used in the V401SA handset. The battery cannot be fully charged in high or low temperatures. Charge the battery in temperatures between 5–35°C.
- When a TV or radio experiences interference or signal noise while the charger is being used, move the charger to another outlet away from the TV or radio antenna.
- If the charging indicator does not appear while charging, a bad electrical contact or battery failure is the likely cause. Use a clean cloth to clean the battery terminals and then try again. If the charging indicator still does not appear, contact your nearest Vodafone Shop.
- If you have not used the handset for a long period of time or the battery has not been charged after the no charge alarm (alert notifying of Level 0 battery charge) has sounded, Crg indicator may not light. Charging will start in several minutes unless battery life has not been exhausted or battery is out of order.
- Do not use the battery if it is damaged.

1 Connect Rapid Charger to Desktop Holder

2 Plug Rapid Charger into an AC outlet

3 Insert the handset into Desktop Holder

Charging starts. Charging Lamp lights red.

Charging Time	About 110 minutes (when the handset is powered off)

Note:
- Do not attempt to charge without a battery attached to the handset. This may cause equipment failure.
- Verify the handset is correctly aligned with Desktop Holder. Do not force the handset into Desktop Holder. Doing so may damage the handset or cause poor electrical contact.

Tip: To connect Rapid Charger directly to the handset, open cap and plug into external connector, as shown in figure on the right.

Basic Handset Operations

Turning Handset On/Off

Press (power key) for 1+ seconds

Changing Display Language

1 Open *Language*:
Press (center key) in Standby. Select 設定 *(Settings)* → 画面設定 *(Display)* → *Language*.

2 Press (center key) 変更 (Change)

3 Select *English* and press (center key) OK

Displaying Handset Number

Open *Profile*:
Press (center key) in Standby. Select *Settings* → *Profile*.

Setting Date & Time

1 Open *Clock Setting*:
Press (center key) in Standby. Select *Settings* → *Clock* → *Clock Setting*.

2 Press (center key) Change

3 Enter the date, month, year and time

4 Press (center key) OK

Making a Call

Enter a phone number and press (send key)

Making an International Call

Make international calls from your handset. Prior subscription required (No basic monthly charges or application fees required).

Enter 0 0 4 6 0 1 0 + country code + area code + phone number, and press (send key)

Note: For further information, call Vodafone General Information (☞page 15-36).

Receiving a Call

1 A call arrives

2 Press (send key)
Press any of these keys to answer a call: 0–9, * or #.

3 Press (power key) to end the call

Redialing a Number

1 Press (navigation key) in Standby

2 Select an entry and press (center key) Details

3 Press (send key) to make a call

Placing a Caller on Hold

1 Press (power key) when a call arrives

2 Press (send key) to start talking

Message Recorder & Voice Mail

Use Message Recorder and Voice Mail to record messages when you are unable to answer a call. The following table compares the differences between Message Recorder function and Voice Mail service.

	Message Recorder	Voice Mail
Message Recorded to	The handset	Voice Mail Center
To Activate	Press (Side Key) in Standby for 1+ seconds	1 Open *Voice Mail*: Press (center key) in Standby. Select *Settings* → *Services* → *Voice Mail*. 2 Press (center key) Execute 3 Select *ON* or *OFF* and press (center key) OK *ON:* Ringer on *OFF:* Ringer off [1]
To Activate while Ringing	Press (Side Key) or (center key) (icon)	Press (key) V.Mail
Indicators	(icons), (icon) or (icon)	(icon)
To Check Messages	1 Press (Side Key) in Standby 2 Select a message and press (center key) Play	1 Open *Voice Mail*: Press (center key) in Standby. Select *Settings* → *Services* → *Play Voice Mail*. 2 Press (send key) 3 Follow the guidance [2]
During a Call	Not Available	Available
When Out-of-Range	Not Available	Available
Subscription	Not required	Required

1 Currently not available to subscribers in Hokkaido, Hokuriku, Kyushu/Okinawa, Tohoku/Niigata, Chugoku and Shikoku areas.
2 The voice prompts are in Japanese. Contact Vodafone Customer Service for assistance in English (☞page 15-36).

Call Forwarding

Forward incoming calls automatically to a specified number.

1 Open *Call Forwarding*:

Press ◎ in Standby. Select ***Settings*** → ***Services*** → ***Call Forwarding***.

2 Press ◎ Execute

3 Select *Forwarding No.* and press

 OK

4 Enter a forwarding number and press ◎ OK

5 Repeat Steps 1 and 2

6 Select *Activate Service* and press

 OK

7 Select *ON* or *OFF* and press

 OK

ON: Ringer on

OFF: Ringer off (Currently not available to subscribers in Hokkaido, Hokuriku, Kyushu/Okinawa, Tohoku/Niigata, Chugoku and Shikoku areas)

Total Call Time/Charge

Open *Total*:

Press ◎ in Standby. Select ***Settings*** → ***Call Time/Charge*** → ***Total***.

Calling from Received Calls

1 Press ◎ in Standby

2 Select an entry and press

 Details

3 Press ◎ to make a call

Manner Mode

Set Manner Mode for using the handset in public areas where the ringer sound may disturb others.

Press clear for 1+ seconds in Standby

To cancel Manner Mode, press clear for 1+ seconds.

Selecting Manner Mode Type

1 Open *Manner Mode*:

Press ◎ in Standby. Select ***Settings*** → ***Manner Mode*** → ***Manner Mode***.

2 Press ◎ Change

3 Select *ON* and press ◎ OK

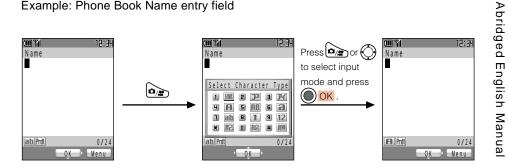
4 Select a Manner Mode type and press ◎ OK

Manner Mode	Description
Vibration On	All sounds are off. Vibration is on.
Vibration Off	All sounds are off. Vibration is off.
Original Manner	Customize Ringer Volume, Vibration settings, Sound Effect Volume, Keypad Tone Volume, Melody Volume, Alarm Volume, Alarm Vibration, and Message Recorder setting.

Entering Characters

Input Mode

Press ◎ from a text entry window to open menu. Press ◎ to select text input mode, and press ◎ OK .

Example: Phone Book Name entry field

Indicators in Text Mode:

Kanji/Hiragana	Double-byte Katakana
Single-byte Katakana	Double-byte Roman Letters (Upper Case)
Single-byte Roman Letters (Upper Case)	Double-byte Roman Letters (Lower Case)
Single-byte Roman Letters (Lower Case)	Double-byte Numbers
Single-byte Numbers	Symbols
Pictographs	Emoticons

Key Assignments

Key \ Text Mode	Roman Letters (Single-byte/Double-byte)	Numbers (Single-byte/Double-byte)
1	.@ - _ ／ : ~[1] 1	1
2	A B C a b c 2	2
3	D E F d e f 3	3
4	G H I g h i 4	4
5	J K L j k l 5	5
6	M N O m n o 6	6
7	P Q R S p q r s 7	7
8	T U V t u v 8	8
9	W X Y Z w x y z 9	9
0	0	0
*	Before character is entered, toggles lower/upper case	
#	Before character is entered, cycles through characters in reverse order	Line Feed[2]
	After character is entered, Line Feed[2]	
記号/絵文字	Access symbols, pictographs and emoticons	
clear	Press: Deletes the character highlighted by ■ (cursor). When the cursor is located at the end of the text, deletes the character before the cursor. Press for 1+ seconds: Deletes all text following ■ (cursor). When cursor is located at the end of the text, deletes all text.	
◀▶	Moves ■ (cursor) left or right	
▲▼	Moves ■ (cursor) up or down	
●	Press to enter character.	Saves text

1 ~ becomes ˜ when entering single-byte text.
2 Insert a carriage return for mail messages or Web entries (☞Vodafone live! Operations Manual). (Alternatively, use ▼ when the cursor is at the end of a sentence.)

Note: If two adjacent characters use the same key, press ▶ to move the cursor before entering the second character.

Entering Symbols, Pictographs & Emoticons

1 **Press 記号/絵文字 in a text entry window**

2 **Press 記号/絵文字 to toggle between symbols, pictographs and emoticons windows**

3 **Use ◆ to select a symbol, pictograph or emoticon, and press ● Select**

Phone Book

Saving Information to Phone Book

Phone Book Entry Items

Save up to 500 entries in Phone Book. Enter up to 2 Phone Numbers and 2 E-mail Addresses per entry.
Save/set the following for each Phone Book entry:

Item		Maximum Number of Characters	Description
Name		Up to 24 single-byte (12 double-byte) characters	Enter Name
Reading		Up to 24 single-byte characters	Reading is automatically entered when Name is entered. Edit as necessary.
Phone No.1		Up to 24 digits	Select one of six phone types/categories for each number
Phone No.2			
E-mail Address 1		Up to 60 single-byte alphanumeric characters	Select one of six e-mail address types/categories for each address
E-mail Address 2			
Group		–	Organize entries by group
Incoming Call	Ring Tone	–	Set Ringer Pattern for incoming calls
	Vibration	–	Set Vibration for incoming calls
	Illumination	–	Set LED Indicator color and flash pattern for incoming calls
Incoming Mail	Ring Tone	–	Set Ringer Pattern for incoming mail
	Vibration	–	Set Vibration for incoming mail
	Illumination	–	Set LED Indicator color and flash pattern for incoming mail
	Ring Time	–	Set Ringer and Vibration Time for incoming mail (1–29 seconds)
Incoming Image		–	Set Incoming Image
Answer Message		–	Set a message for Message Recorder
Address		Up to 128 single-byte (64 double-byte) characters	–
Memo		Up to 80 single-byte (40 double-byte) characters	–
PIN		–	Save PIN for recipients using PIN filter
Secret		–	Restrict access to entries

Creating Phone Book Entries

1 **Enter a phone number in Standby**

2 **Press Save**

3 **Select *New Entry* and press** **OK**

New Entry: Save as a new Phone Book entry.
Add to Entry: Add a phone number to an existing entry.

4 **Select a phone number type and press OK**

5 **Select a field and press** **Select**

Enter necessary information to each field.

6 **Press Save**

The lowest available Memory Number is automatically selected or you can enter another Memory Number.

7 **Press OK**

Editing Phone Book Entries

1 **Press in Standby**

2 **Select a Phone Book entry and press OK**

3 **Press Edit**

4 **Select a field and press Select**

5 **Edit the field and press OK**

Repeat Steps 4 and 5 to edit multiple fields.

6 **Press Save**

7 **Select *YES* or *NO* and press** **OK**

YES: Overwrite entry.
NO: Save as new entry. The lowest available Memory Number is automatically selected or you can enter another Memory Number.

Saving from Received Calls

1 **Press in Standby**

2 **Select an entry and press Menu**

3 **Select *Save to Phone Bk* and press** **OK**

4 **Select *New Entry* and press** **OK**

5 **Select a phone number type and press OK**

6 **Select a field and press** **Select**

Enter each field.

7 **Press Save**

The lowest available Memory Number is automatically selected or you can enter another Memory Number.

8 **Press OK**

Dialing from Phone Book

Memory Number Search

1 **Select *Memory No. Search*:**

Press in Standby. Press Search and select ***Memory No. Search***. If Search is not on the screen, press Menu and select ***Search Method***, then ***Memory No. Search***.

2 **Enter a Memory Number**

The Phone Book entry for the Memory Number appears.

3 **Select the entry and press**

Searching by Reading

1 **Select *Reading Search*:**

Press in Standby. Press Search and select ***Reading Search***. If Search is not on the screen, press Menu and select ***Search Method***, then ***Reading Search***.

2 **Enter a reading and press** **Search**

3 **Select a name and press**

Camera

Before Using Camera

Image Quality
- The V401SA handset display supports 65,000 colors.
- The camera has a resolution of 1,300,000 pixels.

Clean the lens-cover before shooting
- A dirty lens-cover affects image quality. Wipe with a clean soft cloth before shooting.

Camera
- The camera employs high precision technology but some pixels may seem brighter or darker than others.
- If the handset is left in a warm place (50–60°C) prior to shooting, image quality may be affected.

When Capturing Images
- Hold handset still when capturing images, or place handset on a firm surface and use Self-timer. Capturing pictures with the slightest handset movement may result in blurred images.
- Bright light may cause streaks in a picture. Use Brightness to avoid streaks. Streaks may not completely disappear.
- Maintain a distance of at least 30 cm from the subject and 10 cm in Macro mode.
- Make sure not to block the lens with your finger or hand strap.
- Shutter tone and video start/end tones sound even in Manner Mode. The volume cannot be altered.
- Do not flash directly into someone's eyes. Doing so may cause damage to the eyes. The flash is intended only as a supplement in dark places and is not as bright as a strobe light.
- Do not point the light close to someone's eyes. Avoid staring at the light when lit. Doing so may cause loss of visual acuity.

Capturing Still Images

Select from two modes and five sizes for capturing still images.

Shooting Mode	Image Size	Save Size	Main Use
Sha-mail (Mobile Camera)	QQVGA 120×160 dots	Normal: Up to 5 KB Fine: Approx. 10 KB	For sending images to compatible handsets.
	QVGA 240×320 dots	Normal: Approx. 20 KB Fine: Approx. 40 KB	Use for handset wallpaper.
Digital Camera	VGA 480×640 dots	Normal: Approx. 50 KB Fine: Approx. 150 KB	
	XGA 768×1024 dots	Normal: Approx. 100 KB Fine: Approx. 300 KB	
	SXGA 960×1280 dots	Normal: Approx. 150 KB Fine: Approx. 400 KB	

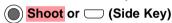
1 Open handset

2 Activate Camera:
Press ◎ in Standby. Select ***Camera***.

3 Select *Sha-mail* or *Digital Camera* and press ◎ OK

4 Select an image size:
Press ✎ Menu in the selected Camera Mode.
Select ***Image Size*** and press ◎ OK.
Select an image size and press ◎ Set.

5 Select image quality:
Press ◎ to toggle between ***Fine*** and ***Normal***.

6 Frame the shot and press
◎ Shoot or ▭ (Side Key)

7 Press ◎ Save
Images shot in Sha-mail mode are saved to Data Folder. Images captured in Digital Camera mode are saved to Digital Camera Folder.

8 Press ☎ to end camera

Note: Press 📷 in Standby as an alternative way of activating Camera. Image size is automatically set to the last setting.

Shooting Videos

Select from either ***Normal*** or ***Fine*** for Video Quality.

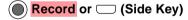
Video Quality	Image Size	Maximum Recording Time
Normal	176×144 dots	10 minutes
Fine	176×144 dots	2 minutes and 30 seconds

1 Open handset

2 Activate Video:
Press ◎ in Standby. Select ***Camera*** → ***Video***.

3 Select *YES* or *NO* and press
◎ OK
YES: Interrupt recording to receive incoming calls.
NO: Set Off-line Mode to reject incoming calls.

4 Select video quality:
Press ◎ to toggle between ***Fine*** and ***Normal***.

5 Frame the shot and press
◎ Record or ▭ (Side Key)

6 Press ◎ Stop

7 Press ☎ to end camera

Note: Press 📷 for 1+ seconds in Standby as an alternative way of activating Video.

FM Radio

Before Using FM Radio

Connect the stereo earphone with FM antenna to the handset before activating FM Radio. The earphone cord acts as the antenna.

Precautions

- Do not listen to the FM Radio while driving a car, riding a motorcycle or bicycle. Doing so may distract your attention or prevent you from hearing surrounding sounds and lead to possible accidents.
- Prolonged exposure to high-level sound may cause hearing loss.
- Using Camera while listening to the FM Radio may cause noise.

Clear Sound Quality

When sound quality is poor due to weak radio waves (ie: inside a building), try the following:

- Extend earphone cord. Move the handset and cord to a position where sound quality improves.
- For better reception, use the radio near a window.

Listening to FM Radio

Connect the stereo earphone with FM antenna before activating FM Radio. Radio function is available even when Manner Mode is set.

Activate FM Radio:

Press ◎ in Standby. Select ***FM Radio***.

Using FM Radio for the First Time

A warning appears.

1 Press ◎ OK

A message prompting you to select an area appears.

2 Press ◎ OK

3 Select your area and press ◎ OK

Available stations for the selected area are automatically preset to keys – , ✱ or #. Press the corresponding key to access the station.

Note:

- When FM Radio is activated without connecting earphone, a warning appears. Press ◎ OK to display FM Radio window and connect earphone to the handset.
- FM Radio is unavailable when a call is in progress.

Tuning an FM Station

Press ◎ or ◎ to change the frequency by 0.1 MHz

The receiving frequency ranges from 76.0 to 108.0 MHz.

Auto Scan

Press ◎ or ◎ for 1+ seconds to tune frequency automatically

Press ◎ Stop to stop Auto Scan.

Manual Tuning

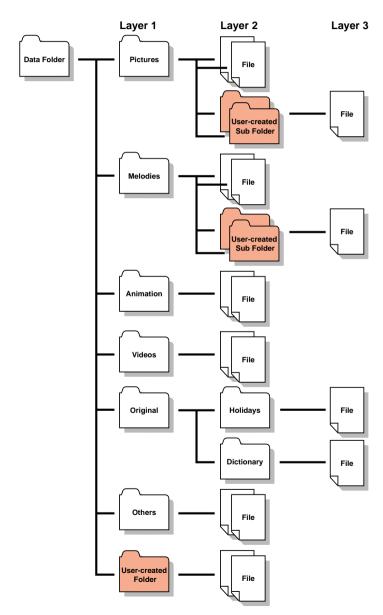
1 Press Menu

2 Select *Manual Tuning* and press ◎ OK

3 Enter station frequency and press ◎ OK

Data Folder

Six folders are available in Data Folder by default. Images captured with handset camera*, downloaded melodies or images are sorted and saved to folders by file format. Create new folders to organize files.

* Images taken in Digital Camera mode are stored to Digital Camera Folder.

Files are saved to folders by file type. Refer to the following chart for a description.

Folder		Icon	File Type	Extension
Pictures			PNG File	.png [1] .pnz
			JPEG File	.jpg [1 2] .jpe [1 2] .jpeg [1 2] .jpz
			Frame File [3 4]	.png .pnz
			Stamp File [3]	.pnz
			Postcard File [3]	.pnz
Melodies			Melody File, Super Harmony/Sky Melody	.smd [1] .smz
			SMAF File, 40-chd SMAF File	.mmf [1]
			Template File	
Animation			PNG Animation, JPEG Animation, PNG/JPEG Animation	—
			Main Menu Icons	.pnz
Videos			Video File	.3g2
Original	Holidays		Holiday File [3]	.pnz
	Dictionary		Dictionary File [3]	.wnn
Others			vCard File	.vcf [2]
			All other file types not compatible to Original Folder (including unsupported files)	

1 Can be attached to messages.
2 Can be sent via Infrared.
3 Download from SANYOケータイプラネット (☞Vodafone live! Operations Manual).
4 Download from various sites on Vodafone live!.

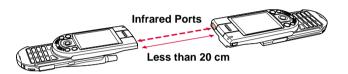
Infrared Data Communication

Exchange files with other V401SA handsets and infrared compatible handsets/PCs. Transmit such data as Phone Book, Profile, image and vCard files.

The following transmission types are available:

Send	Send Data to other devices.
Receive	Receive Data from other devices.
Card Exchange	Exchange Owner Profile with other V401SA or V801SA handsets.

Notes for IrDA Communication

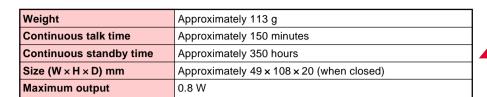
- Place sending and receiving device within 20 cm.

- Place devices on a stable surface, with the infrared ports aligned and facing each other.
- Maintain a clear line of sight between the ports during transmission.
- Do not move either device until transmission is complete.
- Transmission may fail under direct sunlight, fluorescent light or near other infrared devices.
- During transmission, the handset is in Off-line Mode and cannot send/receive signals.
- The V401SA's infrared communications function complies with IrMC 1.1 specifications. Some data cannot be sent or received depending on the application, even if the other device is IrMC 1.1 compliant.

Optional Services

The following optional services are offered. Available services may differ by service area.

Service	Description	Kanto/ Koshin, Tokai, Kansai	Hokkaido, Hokuriku, Kyushu/ Okinawa	Tohoku/ Niigata, Chugoku, Shikoku
Call Forwarding	Forwards incoming calls automatically to a specified number	Standard service	Standard service	Standard service
Voice Mail	Stores messages at Voice Mail Center when the handset is out-of-range or a call is unanswered	Subscription required	Subscription required	Subscription required
Call Waiting	Places a call-in-progress on hold to take another incoming call	Subscription required	Subscription required	Subscription required
3-Way Calling	Adds another party during a call or use to switch between parties	Subscription required	Subscription required	Subscription required
Caller ID	Displays the caller's phone number on recipient's handset	Subscription required	Subscription required	Subscription required

Specifications

Weight	Approximately 113 g
Continuous talk time	Approximately 150 minutes
Continuous standby time	Approximately 350 hours
Size (W×H×D) mm	Approximately 49×108×20 (when closed)
Maximum output	0.8 W

- The above figures were calculated with the battery installed.
- Continuous talk time is an average value calculated with the handset in a stationary state, in a place with strong signal reception and a new fully charged battery installed.
- Continuous standby time is an average value calculated with the handset in a stationary state, in a place with strong signal reception, without calls or operations. In weak signal conditions (i.e. inside buildings, in vehicles, in bags or when out-of-range), this value may be reduced by more than half. Standby time may also vary by temperature or condition when battery was charged.
- Battery life is a value calculated with stable signal reception. Talking in places with weak signal reception or leaving the handset on while out-of-range consumes battery power and battery life may be reduced by more than half.
- Frequent use with backlight on (for Vodafone live! operation, etc.) will result in shorter continuous talk time and continuous standby time.
- Using Station will result in shorter battery life due to automatic information updates.
- A portion of the software used in this product includes modules developed by Independent JPEG Group.

15 Abridged English Manual

Customer Service

If you have any questions about a Vodafone handset or services, please call General Information. For service or repairs, please call Customer Assistance.

Vodafone Customer Centers

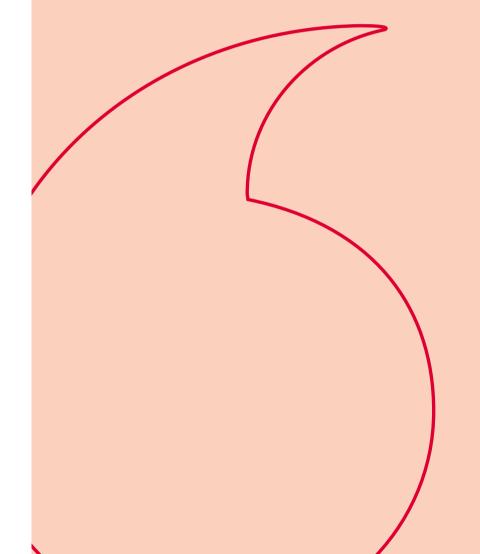
From a Vodafone handset, dial toll free at 157 for General Information or 113 for Customer Assistance

Call These Numbers Toll Free from Fixed Line Phones:

Subscription Areas

Area	Service	Number
Hokkaido · Aomori · Akita · Iwate · Yamagata · Miyagi · Fukushima · Niigata · Tokyo · Kanagawa · Chiba · Saitama · Ibaraki · Tochigi · Gunma · Yamanashi · Nagano · Toyama · Ishikawa · Fukui	General Information	0088-240-157
	Customer Assistance	0088-240-113
Aichi · Gifu · Mie · Shizuoka	General Information	0088-241-157
	Customer Assistance	0088-241-113
Osaka · Hyogo · Kyoto · Nara · Shiga · Wakayama	General Information	0088-242-157
	Customer Assistance	0088-242-113
Hiroshima · Okayama · Yamaguchi · Tottori · Shimane	General Information	0088-259-157
	Customer Assistance	0088-259-113
Tokushima · Kagawa · Ehime · Kochi	General Information	0088-247-157
	Customer Assistance	0088-247-113
Fukuoka · Saga · Nagasaki · Oita · Kumamoto · Miyazaki · Kagoshima · Okinawa	General Information	0088-250-157
	Customer Assistance	0088-250-113

付録

機能一覧

■：設定リセット(☞12-13ページ)でお買い上げ時の状態に戻ります。

機　能	概要／お買い上げ時の設定	参照ページ
スケジュール&アラーム		
目覚まし	目覚ましを設定します。 目覚まし：**OFF** アラーム名：**アラーム1～アラーム7** アラーム時刻：すべて**0:00** 繰り返し：すべて**繰り返しなし** スヌーズモード：すべて**OFF** スヌーズ時間：**5分** アラーム音：すべて**アラーム通知音** アラーム音量：すべて**LEVEL3** アラーム通知画像：**イラスト** バイブレータ：**OFF** アラーム通知イルミネーション：**パターン1／カラー5**	13-22
カレンダー	カレンダーを表示します。	13-28
スケジュール	スケジュールを設定します。	13-32
タスク	タスクを設定します。	13-39
特別日	特別日を設定します。	13-45
Vodafone live!	メール、ウェブ、ステーション機能を呼び出します。	Vodafone live!編
アドレス帳		
メモリダイヤル	メモリダイヤルの登録などを行います。	5-2
プロフィール	ご自分の電話番号などを表示します。	2-22、5-22
リダイヤル	以前にかけた電話の履歴を表示します。	2-15
着信履歴	かかってきた電話の履歴を表示します。	2-15
メールリダイヤル	以前に送信したメールの履歴を表示します。	Vodafone live!編
メール受信履歴	受信したメールの履歴を表示します。	Vodafone live!編
ノートパッドメモリ	通話中にメモした電話番号などを呼び出します。	2-15
設定		
音設定	音に関する設定を行います。	
着信設定	着信に関する設定を行います。 着信音パターン　音声着信：**パターン1** それ以外：**通知音** 着信音量：すべて**LEVEL5** バイブレータ：すべて**OFF** 着信イルミネーション 音声着信：**パターン1／カラー1** ロングメール着信：**パターン1／カラー2** 通常メッセージ着信：**パターン1／カラー2** 速達メッセージ着信：**パターン1／カラー2** 配信レポート着信：**パターン1／カラー2** ウェブ着信：**パターン1／カラー3** ステーション着信：**パターン1／カラー4** 鳴動時間：音声着信以外すべて**5秒**	8-2、8-3
効果音設定	効果音の設定を行います。 音色　電源ON：**ウェイクアップ** 電源OFF：**シャットダウン** 設定時：**あたり** 警告時：**はずれ** オープン時：**コスモス** クローズ時：**コスモス** 音量　効果音量：**LEVEL3**	8-8
ボタン確認音	ボタンを押したときの音の設定を行います。 音量：**LEVEL1** 音色：**ピポパ音**	8-7
受話音量	受話音量を設定します。 **LEVEL9**	2-12
メロディ音量	メロディファイル再生時の音量を設定します。 **LEVEL3**	8-9
呼び出しバイブ	相手が電話に応答したときにバイブレータを振動させます。 **OFF**	13-9
イルミネーション設定	着信ランプのイルミネーションの設定を行います。 通話中イルミネーション：**パターン1、カラー1** お知らせイルミネーション お知らせ種別：すべて**OFF** お知らせカラー：**カラー1**	13-9
画面設定	画面に関する設定を行います。	
待受設定	待受画面の設定を行います。 待受画面：**イラスト1、デジタル時計大** デスクトップモード：**OFF** ピクチャーセット：**解除**	7-2
マイキャラクタ	着信時や電源ON／OFF時に表示される画像を設定します。 着信画像：**イラスト** 電源ON画像：**ブランドフラッグ** 電源OFF画像：**ブランドフラッグ**	7-6
照明設定	照明に関する設定を行います。 パネル照明：**ディスプレイ+ボタン、10秒** 明るさ：**標準** 節電設定：**30秒** 通話中の節電：**ON**	7-12、13-50
文字サイズ設定	文字サイズの設定を行います。 すべて**普通**	7-5
Language	メニューの言語を設定します。 **日本語**	7-13
配色設定	画面の配色を設定します。 **標準**	7-7
電池／アンテナ設定	電池／アンテナ表示のアイコンを設定します。 電池表示：**パターン1** アンテナ表示：**パターン1**	7-13
時計設定	時計に関する設定を行います。	
時計設定	時刻の設定を行います。	1-14

機　能	概要／お買い上げ時の設定	参照ページ
からくり時計	からくり時計の設定を行います。	13-20
	動作時刻：**OFF** 通知音設定：**アラーム通知音** 画像設定：**イラスト**	
マナー設定	マナーモードの設定を行います。	3-3
	OFF（ON選択時は**Sバイブ**） オリジナルマナー　簡易留守録：**ON** それ以外：**OFF**	
規制／リセット	他人に無断で使用されないように設定したり、暗証番号を変更したり、迷惑電話を拒否するなど、セキュリティに関する設定を行います。	
ダイヤル操作禁止	ダイヤル操作を禁止します。	12-3
簡易ロック	電源を入れるたびにダイヤル操作禁止を設定します。	12-4
	OFF	
ダイヤル発信禁止	ダイヤルボタンでの発信を禁止します。	12-5
	OFF	
メモリ使用禁止	メモリダイヤルの使用を禁止します。	12-4
	OFF	
シークレット	シークレットモードを設定します。	12-10
	OFF	
指定着信拒否	迷惑電話などの着信を拒否します。	12-6
	迷惑電話拒否：**OFF** ワン切り対策：**OFF（3秒）** 非通知拒否：すべて**許可**	
リセット	設定やメモリダイヤルなどの登録内容をお買い上げ時の状態に戻します。	12-13
暗証番号変更	暗証番号を変更します。	12-2
その他	オフラインモードの設定やメモリの確認など、さまざまな設定・表示を行います。	
通話品質アラーム	通話状態が悪く通話が切れる恐れがあるときに、アラームを鳴らしてお知らせします。	13-8
	OFF	
自動電源	電源を自動的にON／OFFします。	13-18
	自動電源ON／OFF：**OFF** 時刻設定：**未登録の状態**	
オフラインモード	オフラインモードの設定を行います。	3-5
	OFF	
オープンクローズ	本体の開閉で電話を受けたり、電話を切るように設定します。	13-15
	オープン通話：**OFF** クローズ終話：**OFF**	
国際発信	国際ショートコードを設定します。	13-16
	0046010	
セット発信	セット発信の設定を行います。	13-14
	OFF、番号消去	
ココケータイ設定	ココケータイ機能に関する設定を行います。	13-17
	OFF	

機　能	概要／お買い上げ時の設定	参照ページ
メモリ確認	メモリダイヤルや受信メールなどの登録件数などを表示します。	13-49
イヤホン設定	イヤホンマイク（別売）をご利用になる場合の設定を行います。	13-61
	イヤホンマイク設定：**マイクなし** 自動着信：**OFF**	
通話時間／料金	通話時間、料金に関する設定・表示を行います。	
通話時間料金	最後にかけた電話の通話時間や通話料金の目安を表示します。	2-17
累積時間料金	累積通話時間・累積通話料金の目安などを表示します。	2-20
通話料金表示	通話終了後に通話料金の目安を自動的に表示します。	2-18
	OFF	
通話時間表示	通話終了後に通話時間の目安を自動的に表示します。	2-19
	ON	
付加サービス	オプションサービスに関する設定を行います。	
呼出時間設定	転送電話／留守番電話サービスを呼び出すまでの時間を設定します。	14-8
転送電話サービス	転送電話サービスに関する設定をします。	14-3
留守番電話サービス	留守番電話サービスに関する設定をします。	14-5
秘書停止	転送電話／留守番電話サービスを停止します。	14-4、14-6
秘書確認	転送電話／留守番電話サービスの設定状況の確認をします。	14-4、14-8
割込通話設定	割込通話サービスを開始します。	14-9
割込通話確認	割込通話サービスの設定状況の確認をします。	14-9
留守番再生	留守番電話センターに残された伝言メッセージを聞きます。	14-7
	留守番再生番号：**1416**	
三者／転送	三者通話を開始します。（通話中のみ実行できます。）	14-11
プロフィール	ご自分の電話番号などを表示します。	2-22、5-22
機能ガイド	V401SAの基本的な操作方法を表示します。	13-58
カメラ	カメラを起動して、静止画や動画を撮影します。	6-2
	ズーム：**ズーム1** フレーム：**なし** 連写モード：**OFF** セルフタイマー：**OFF** 明るさ：**±0** ホワイトバランス：**AUTO** 日付スタンプ：**なし** シャッター音（静止画）：**カシャ** シャッター音（動画）：**ピピッ** 特殊効果：**なし** 撮影モード：**写メールモード** 撮影サイズ（写メールモード）：**QQVGA** 撮影サイズ（デジタルカメラモード）：**VGA** ライト／フラッシュ：**OFF／AUTO** ライト：**OFF** 画質：**ノーマル** 情報表示：**ON** ボイス：**ON**	
機能＆ツール		
リモコン	V401SAをリモコンとして利用します。	13-56
	TVリモコン：**三洋1** ビデオリモコン：**三洋1** DVDリモコン：**三洋1**	

機　能	概要／お買い上げ時の設定	参照ページ
赤外線通信	赤外線通信を行います。	11-2
PictBridgeモード	プリンタと接続してカメラで撮影した画像などをプリントします。	6-22
簡易留守録	簡易留守録を設定します。 簡易留守録：**OFF** 応答メッセージ：**固定メッセージ** 自作メッセージ：**全消去** 応答時間：**10秒**	13-2
簡易電卓	電卓として利用します。	13-51
文字入力設定	文字入力に関する設定を行います。	—
	ユーザー辞書登録：**消去** ポケベル入力：**OFF** 入力予測設定：**ON** ダウンロード辞書：**配信辞書の設定を解除**	4-19 4-11 4-17 4-21
英単語辞書	英単語辞書として利用します。英単語クイズを楽しむこともできます。 クリアレベル(段)：**リセット** 挑戦中回数：**リセット**	13-52
マルチ写メール	マルチ写メールを作成します。	Vodafone live!編
絵葉書	絵葉書メールを作成します。	Vodafone live!編
画像結合	QQVGA(120×160)サイズの画像を4枚組み合わせて、1枚のQVGA(240×320)サイズの画像を作ります。	10-28
アニメ作成	アニメーションを作成します。	10-25
ジャンプメニュー	ジャンプメニューを表示します。	13-59
フォルダBOX	V401SAに保存した画像やメロディファイルなどを表示します。 表示方法：**サムネイル表示** ファイル並び：**日付降順**	10-2
FMラジオ	FMラジオを聴きます。 ボリューム調節：**レベル7** エリア設定値：**初期化** オートラジオOFF：**2時間** オート／モノラル切替：**オート** スキン設定：**パターン1** ミュート設定：**ON**	9-2

故障かな？と思ったら

症　状	確認すること	処　置
電源が入らない	☎を1秒以上押していますか？	☎を1秒以上押してください。
	電池切れになっていませんか？	電池パックを充電するか、充電済みの予備電池に交換してください。
ボタン操作できない	ダイヤル操作禁止がかかっていませんか？	ダイヤル操作禁止を解除してください(☞12-3ページ)。
ダイヤルしても(プープー…)という音がする	一般電話の場合、市外局番を忘れていませんか？	一般電話の場合は、市外局番からダイヤルしてください。
	「圏外」が表示されていませんか？	電波の届く場所に移動してかけ直してください。
「圏外」が表示され、電話がかけられない	サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？	電波の届く場所に移動してかけ直してください。
ダイヤルを押しても電話がかけられない	ダイヤル操作禁止がかかっていませんか？	ダイヤル操作禁止を解除してください(☞12-3ページ)。
	ダイヤル発信禁止がかかっていませんか？	ダイヤル発信禁止を解除してください(☞12-5ページ)。
メモリダイヤルを使って電話がかけられない	かけたいメモリダイヤルをシークレットメモリに登録していませんか？	シークレットモードにしてください(☞12-10ページ)。
	メモリ使用禁止がかかっていませんか？	メモリ使用禁止を解除してください(☞12-4ページ)。
電話が着信しない	オフラインモードが設定されていませんか？	オフラインモードを解除してください(☞3-5ページ)。
通話が途切れたり切れたりする	電波の届きにくいところにいませんか？	電波の届く場所に移動してかけ直してください。
	電池切れになっていませんか？	電池パックを充電するか、充電済みの予備電池に交換してください。
イヤホンマイク(別売)で話す声が相手に聞こえない	「イヤホンマイク設定」を「マイクつき」に設定されていますか？	「イヤホンマイク設定」を「マイクつき」に設定してください(☞13-61ページ)。

■ ディスプレイにこんな表示が出たときは

●ディスプレイに「圏外」が表示されたとき

サービスエリア以外の場所やサービスエリア内でも電波の届かない場所にいるため、サービスがご利用になれません。

対処方法：ディスプレイの「圏外」表示が消える場所まで移動してください。

●ディスプレイに「充電（電池交換）してください」が表示されたとき

通話中に警告音が鳴ったあと、しばらくすると通話が切れます。そのあと電源が切れます。
待受中の場合は、しばらくすると電源が切れます。

対処方法：電池パックを充電するか、充電済みの電池パックと交換してください。
電池パックの充電方法（☞1-10ページ）
電池パックの交換方法（☞1-9ページ）

●ディスプレイに「ダイヤル操作禁止設定中」が表示されたとき

ダイヤル操作禁止が設定されているため着信以外の操作ができません。

対処方法：ダイヤル操作禁止を解除してください（☞12-3ページ）。

●ディスプレイに「誤動作防止設定中」が表示されたとき

誤動作防止が設定されているため、本体を閉じていると、着信以外の操作ができません。

対処方法：本体を開くか、誤動作防止を解除してください（☞12-12ページ）。

●ディスプレイに「 」が表示されたとき

オフラインモードが設定されているため、電話やメールなど電波の送受信が必要な機能がご利用になれません。

対処方法：オフラインモードを解除してください（☞3-5ページ）。

●ディスプレイに「故障です」が表示されたとき

対処方法：電源を切って、最寄りのボーダフォンショップなどへご連絡ください（☞16-14ページ）。

主な仕様

■ V401SA

質量	約113g
連続通話時間	約150分
連続待受時間	約350時間
サイズ（幅×高さ×奥行き）mm	約49×約108×約20（閉じているとき）
最大出力	0.8W

※ 上記は、電池パック装着時の数値です。
※ 連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、最大パワー送信を設定のうえ、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。
※ 連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、車内、カバンの中など）や、圏外表示の状態での待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境（充電状態、気温など）によってはご利用時間が変動することがあります。
※ 電池の利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や、圏外表示での待受は電池の消耗が多いため、ご利用時間が約半分以下になることがあります。
※ ディスプレイの照明が点灯している状態でのご利用（Vodafone live!ご利用時など）が多い場合、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。
※ ステーションでは、情報を自動的に受信するというサービスの特性上、通常よりも電池を消耗することがあります。
※ 本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

■ 電池パック

電圧	3.7V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	700mAh
サイズ（幅×高さ×奥行き）	約37mm×約50mm×約6mm
質量	約18.5g

■ 急速充電器

入力電圧	AC100V、11VA、50／60Hz
出力	DC5.4、600mA
サイズ（幅×高さ×奥行き）	約43mm×約16mm×約45mm
充電可能温度	5～35℃
質量	約42g

■ 卓上ホルダー

サイズ（幅×高さ×奥行き）	約68mm×約47mm×約85mm
質量	約44g

※ 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

16 付録

索引

16 付録

た

な

は

ま

や

ら

わ

保証書とアフターサービス

■ 保証書について

V401SA本体をお買い上げいただいた場合は保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保障期間は、保証書をご覧ください。

本製品の故障、または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ アフターサービスについて

「故障かな？と思ったら」（☞16-7ページ）をお読みの上、もう一度お確かめください。
それでも異常がある場合は御契約いただいたボーダフォン各地域の故障受付（☞次ページ）または最寄のボーダフォンショップへご相談ください。
その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ボーダフォンお客さまセンター

総合案内　ボーダフォン携帯電話から157（無料）
紛失・故障受付　ボーダフォン携帯電話から113（無料）

一般電話からおかけの場合

ご契約地域

地域	窓口	電話番号
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-240-113（無料）
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-241-113（無料）
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-242-113（無料）
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県	総合案内	0088-259-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-259-113（無料）
徳島県・香川県・愛媛県・高知県	総合案内	0088-247-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-247-113（無料）
福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-250-113（無料）

MEMO

MEMO

V401SA 取扱説明書 基本操作編

2004年6月　第1版発行

ボーダフォン株式会社

＊ ご不明な点はお求めになられた
ボーダフォン携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：V401SA
製造元：三洋電機株式会社

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
※プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（メモリダイヤル・通信履歴・メール等）は事前に消去願います。

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。